

## ITU-R SG5関連会合報告書

資料番号	題 名
資料地5-2-1	ITU-R SG5 WP5A 第2回会合報告書(案)
資料地5-2-2	ITU-R SG5 WP5B 第2回会合報告書(案)
資料地5-2-3	ITU-R SG5 WP5C 第2回会合報告書(案)
資料地5-2-4	ITU-R SG5 WP5D 第4回会合報告書(暫定版)

## 第2回 Working Party 5A会合 報告書 (案)

### 1 WP5A

WP5AはIMTを除く陸上移動業務、アマチュア業務、アマチュア衛星業務を扱っている。なお、今回よりFWAについても所掌内となった。(ただし、SG5の組織構成が確定していないため、所掌は暫定)。

#### 1.1 会議の概要

第2回WP5A会合は、2008年10月28日から11月6日までの8日間、スイス国ジュネーブ市のITU本部において開催された。本会議には37カ国、60団体から約143名が参加し、日本からは別紙のとおり19名が出席した。暫定議長はJose Costa (カナダ)が担当し、Working Partyのもとに6 Working Groupを設置し、123件の寄与文書(日本からの寄与文書10件)について審議が行われた(Ad Hoc VOC、Ad Hoc LMHIは開催されず)。また、FWAの担当が5Cから5Aへ変更されたことに伴い、FWAに関し5A・5C合同会合が開催された。

表1 WP5Aの審議体制

	担務内容	議長
WP5A		Jose Costa (カナダ)
WG-1	Amateur services	Paul Rinaldo (米国)
WG-2	ITS	Paul Najarian (米国)
WG-3	Public protection, trunking and paging	Amy Sanders (米国)
WG-4	Interference and sharing	Bruno Espinosa (フランス)
WG-5	technology	吉野 仁 (日本)
WG-7	Wireless Access System	Lang Baozhen (中国)

## 2 審議の内容

### 2.1 WG1 (アマチュア及びアマチュア衛星業務)

WG1では、Paul Rinaldo (米)が議長を担当し、入力文書15件の審議を行い5件の出力文書を作成した。今回の会合では、WRC-11議題のうちWP5Aが主担当となっている議題1.23に関する検討のWork Plan及びCPMテキスト素案への作業文書作成を行った。また、関連グループとなっている議題1.15(短波海洋レーダー)に関する検討を行った。更に、短波帯雑音に関するWP1Cからのリエゾン文書に対する回答を作成した。

WG1の出席者は、P. Rinaldo (議長:USA)、C. Rissone (F)、Y. Averochkina (RUS)、H. Yin (CHN)、B. Jamal Allail (ARS)、M. Lenke (USA)、N. Serinken (CAN)、J.K. Pulfer (CAN, IARU)、L. Price (IARU)、西室、岡 (J)など、WG1議長を含めて合計10名程度であった。

#### 2.1.1 WRC-11議題1.23 (500 kHz帯におけるアマチュア業務への2次分配) に関する検討

入力文書：5A/74 (WP6A), 5A/87 (IARU), 5A/122 (CAN), 5A/162 (WP5C)

出力文書：5A/TEMP/42 (Rev. 1), 5A/TEMP/43, 5A/TEMP/44

- ・ 5A/74 (WP6A), 5A/87 (IARU), 5A/122 (CAN)からの入力、並びに WP5C の口頭報告があり、カナダからの入力文書 5A/122 を基に、5A/74 と 5A/87 の内容を取り入れた CPM Text 素案への作業文書を作成した。「放送業務への影響はない」とする WP6A の見解を取り入れている。5A/TEMP/42 (Rev. 1)として承認され、リエゾン文書 5A/TEMP/44 と共に WP5B, 5C, WP6A 宛に送付された。
- ・ また IARU からの入力文書 5A/87 を基に作成した WRC-11 までの Work Plan が 5A/TEMP/43 として承認され、WP5B, 5C, WP6A 宛にリエゾン文書として送付された。なお、WG1 開催以後に WP5C から入力されたリエゾン文書(5A/162)については、noted として処理された。

#### 2.1.2 WRC-11議題1.15 (短波海洋レーダ) に関する検討

入力文書：5A/51 (WP5B), 5A/70 (WP6A), 5A/73 (WP6A), 5A/89 (WMO), 5A/157 (WP6A),  
5A/160 (WP5C), 5A/164 (WP5C)

出力文書：なし

- ・ 5A/51 (WP5B), 5A/70 (WP6A), 5A/73 (WP6A), 5A/89 (WMO) の入力があったが、全ての文書について noted とし、今回出力文書は作成されなかった。また、WG1 開催

以後に各 WP から入力されたリエゾン文書 5A/157 (WP6A), 5A/160 (WP5C), 5A/164 (WP5C) についても、全て noted として処理された。

### 2.1.3 短波帯雑音関係 (Q 214-3/3)

入力文書 : 5A/80 (WP1C), 5A/97 (USA), 5A/161 (WP5C)

出力文書 : 5A/TEMP/41

- ・ HF周波数帯における雑音の測定及び評価手法に係るWP1Cからのリエゾン文書5A/80に対し、米国からの回答リエゾン文書案5A/97を基に、第3項としてAdditional Observationが加えられ、測定方法について触れられていない点を指摘した回答リエゾン文書5A/TEMP/41を作成し、WP1C宛てに送付することがWG1で承認された。
- ・ 10/31に開催されたプレナリーで、このWP1Cへの回答リエゾン文書については、SG5関係WPからの合同文書とすることとなり、5C/TEMP/54とマージすることで承認された。
- ・ このプレナリー開催以後にWP5Cから入力されたリエゾン文書(5A/161)については、notedとして処理された。

### 2.1.4 モールスコードに関するITU-R勧告M.1677の見直し

入力文書 : 5A/163 (WP5C)

出力文書 : なし

- ・ WP5Cから入力された回答リエゾン文書5A/163「現在勧告に記載されているメッセージ形式情報について削除を支持」については、次回会合で検討するとしnotedとして処理された。

## 2.2 WG2 (ITS関連)

ITS(Intelligent Transport Systems)関連は前回会合ではWG3(公共保安、トランキング、ページング)と併せて審議されたが、今回会合では再びWG2として独立して審議が行われた。

Paul Najarian (米)を議長とし、5件の入力文書を審議し、4件の出力文書を作成した。出席者Bernd Wolf(独)、Michael NDI(カナダ)、Robin Donoghue(英)、Haeyonung Lee(韓国)、Junfeng Wang(中国)、西室、小山、佐藤、小川(日本)の計10名であった。

入力文書 : 5A/45 Annex 4, Annex 5, Annex 6 (WP5A暫定議長報告), 5A/66 (ITU-T SG16), 5A/94 (ITU-T SG16), 5A/126 (日本), 5A/127 (日本)

出力文書 : 5A/TEMP/49, 5A/TEMP/51, 5A/TEMP/66, 5A/TEMP/77 (WG2議長報告)

### 2.2.1 ミリ波ITS通信

入力文書：5A/45 Annex 4, Annex 5 (WP5A暫定議長報告), 5A/126(日本)

出力文書：5A/TEMP/51

前回会合に続いて、日本からミリ波ITS通信に関する勧告を目指した作業文書(5A/126)を入力した。ミリ波ITSに関する寄書は本作業文書のみであった。

日本からの入力文書(5A/126)について審議を行い、今会合では欧州の63-64GHzのITS割り当てについてCEPTにて承認がまだなされていないことから勧告化は今回見送ることとなった。Table 1 System A(欧州部分)を除き、日本からの修正案はほぼ受け入れられた。次回会合に向けさらに文書の修正を日本から行う必要は無く、欧州の結論を待つことになった。エディトリアルな修正を経てTEMP文書(5A/TEMP/51)として出力した。

「ミリ波ITS通信に関する技術報告案」に関する審議

前回会合にて入力していたミリ波ITS技術報告については、今会合では日本を含め入力が無く、審議は行われなかった。ドラフトは前回と変更がないため今会合の議長報告には掲載されないが、現Study Periodの間は引用できることを確認した。

WG2でのミリ波ITS通信に関しては、今回会合でも大きな進捗は無く、前回会合と同様に暫定新勧告案(PDNR)を作成して作業を終えた(5A/TEMP/51)。このTEMP文書はWP5A暫定議長報告にAnnexとして添付されることになった。

### 2.2.2 M.1310(ITSの目的と要件)の改訂

入力文書：5A/127(日本)

出力文書：5A/TEMP/49

- ・前回会合でカナダから勧告M.1310は既に10年が経過しており、見直しが必要であるとの提案がなされている。
- ・日本からの入力文書(5A/127)はカナダ提案が反映済みのWP5A暫定議長報告に、更なる改訂案を追記したものである。
- ・会合ではエディトリアルな修正を加えたTEMP文書(5A/TEMP/49)を作成した。
- ・このTEMP文書はWP5A暫定議長報告にAnnexとして添付されることになり、次回会合

でWP5Aの承認取得を目指すことになった。

### 2.2.3 「VEHICLE GATEWAY PLATFORM」に関するITU-T SG16へのリエゾンバック

入力文書：5A/65 (ITU-T SG16), 5A/94 (ITU-T SG16)

出力文書：5A/TEMP/66

- ・ VEHICLE GATEWAY PLATFORMは韓国ETRIからの提案によりWTSA-08 で研究課題D4/16として承認されている。
- ・ 現時点ではWP5Aでの作業は無いと判断されるためITS関連勧告 (M. 1452, M. 1453-2) と現在審議中のミリ波ITS通信について参考情報として記載の上ITU-T SG16へリエゾンバックした。(5A/TEMP/66)

### 2.2.4 APSCリエゾン報告

出力文書：5A/TEMP/77 (WG2議長報告に含む)

- ・ APSC Telemov (Advisory Panel for Standards Cooperation on Telecommunications related to Motor Vehicles) の活動状況についてRapporteurのPaul Najarian (WG2議長) から報告があった。
- ・ ITU-T SG12関連のGSC-13/14: GSC ITS Task Force、ITU-T編集によるStandardization Activities for Intelligent Transport Systems、2009年3月にジュネーブで開かれるThe Fully Networked Car Workshop、Focus Group on From/In/To Cars Communication II (FG CarCom II) の経緯を記述。
- ・ ITU-T SG12とSG16 (前項2.2.3参照) の活動区分が不透明であり、APSCの事務局であるSG12の方向性確認が必要としている。

## 2.3 WG3 (ITS、公共保安、トランキング、ページング)

WG3では、「公共保安及び災害救援 (PPDR) のための調和の取れた周波数チャネル計画」に関する検討を扱い、Res. 644/646/647、Q. 37-5、Q. 204-5、Res ITU-R 53/55について検討を行い、入力文書5件の審議、技術検討などを行った。

出席者は、IBARRA Dante、SANDERS Amy、BAUM Kimberly、NAJARIAN Paul (米)、JAMIESON Alan (ニュージーランド)、AVEROCHKINA Yulia (露)、GORIA Paolo (伊)、WHARRAM Jennifer、NDI Michel Olivier (加)、COSTA Jose M (加 Notel)、ESINOSA Bruno (仏)、LANGTRY Colin (BR)、K. Michael (独)、RUSH Charles (米 Qualcomm)、RAGSDALE Jim (スウェーデン)、HASSAN Saad (アラブ)、MCDONALD Bill (豪)、WiMax

Forum、西室、山崎、小山、上村、酒井原(日)など、WG3議長を含めて合計30名強であった。

入力文書：5A/98 (USA), 5A/100 (USA), 5A/107 (France/CEPT ECG WG FM),  
5A/117 (CAN), Doc. 5A/45 Annexes 7 and 8 (WP5A議長報告)  
(ロシアより寄書外のレポート提出有)

出力文書：5A/TEMP/58, 5A/TEMP/59, 5A/TEMP/60Rev1,  
5A/TEMP/63 (WG3議長報告)

参考文書：PPDR-Annex 7\_rev-Russia.doc(露)

「公共保安及び災害救援 (PPDR) のための調和の取れた周波数チャンネル計画」  
に関して、勧告とテクニカルレポートを作成するDGがWG3の下に設置され、DGの議  
長は双方ともにAmy Sanders(米)が担当し、審議を行った。

削除: する

チャンネル案としては、①作業文書からPDNRへの格上げ(米国、仏・CEPT)、②  
周波数範囲の拡張(380-399.9MHz⇒380-470MHz)(仏・CEPT)、③broadband  
/wideband/narrowbandの定義の明確化、④タイトルの変更について議論された。  
文書の格上げに関してはロシアが共用検討が十分なされていないと強硬に反対し  
たが、議長レポートに1国が反対していることを記載し、プレナリでも説明する  
ことで合意した。周波数範囲の拡張に関してはCEPTとRegion1が同義ではないとし  
ての対応を暫定で実施した。定義の明確化に関しては実質、保留された。タイト  
ルに関しては、帯域に含まないVHFの記載が削除される等の微少修正のみ実施され  
た。結論としてタイトルに小変更が加えられ作業文書からPDNRに格上げされ議長  
報告に添付されて(TEMP/60)キャリアフォワードされることで合意された。

テクニカルレポートに関しては、議長が入力文書を元に、オフライン会議を開  
催し、素案を作りその文書を議論することで進められた。各種勧告を引用する形  
で作られたドキュメントに将来的なミスマッチが出来るとして、ハイパーリンク  
に変更すること以外については、大きな議論は無く、WORKING DOCUMENTのまま議長  
報告に添付されて(TEMP/59)キャリアフォワードされることで合意された。

議長の提案により、WG3の活動について、外部機関に何らかの紹介をすべきとし  
てリエゾン作成の活動を実施。議長自信が素案を作り、WGのミーティングにて議  
論された。PPDRに関する新レポート案作業文書の作成活動の紹介、および、次回  
WP5A会合への入力を歓迎する内容であり、微少なエディトリアルな修正のほか、  
問題なく承認された。(TEMP/58)

WP5Aのオープニングプレナリーにて、作業担当の確認を依頼された事項等に関  
する審議については、特段の議論無く、議長の提案通りに了承された。

また、各RegionのRapporteur ReportにてPPDR関連の活動の一部が報告され、ま  
た、WG4においてもPPDR関連の周波数に関する議論が始まっている旨の連絡がWG4  
担当よりアナウンスがあった。

### 2.3.1 新勧告案「公共保安及び災害救援（PPDR）のための調和の取れた周波数チャンネル計画」の審議

入力文書：5A/98 (USA), 5A/107 (France/CEPT ECC WG FM),  
5A/117 (CAN), Doc. 5A/45 Annexes 7 and 8 (WP5A議長報告)  
出力文書：5A/TEMP/60Rev1, 5A/TEMP/63 (WG3議長報告)  
参考文書：PPDR-Annex 7\_rev-Russia.doc (露)

- ・審議はDG1を作り米国 (S. Amy) を議長として進められた。
- ・入力文書である、米国 (5A/98)、5A/107 (仏蘭西・CEPT)、カナダ (5A/117) からの寄書と、ロシアからの寄書ではなく、期間中のレポート入力 (PPDR-Annex 7\_rev-Russia.doc) をベースにVHF帯・UHF帯のチャンネル案について議論が行われた。
- ・帯域にはVHF帯を含まないということで、タイトルからVHFの記載が削除され、UHFについてのみ議論されることとなった。
- ・寄与文書 (5A/98) に関して米国より説明。スウェーデンがサポートを表明。タイトルの明確化から進めるのが良いとコメントした。カナダは、変更が多く、提案されている、PDNRへの変更は早急であるとしたが、議長としては審議の進捗を示すべきであるとし、可能な限り進めるとした。
- ・寄与文書 (5A/107) について、フランスより説明。Region1の対応帯域を470MHzまで広げるもの (380-399.9MHz⇒380-470MHz)。しかし、対応困難な国もあるので、対応の国を整理して文書を分けることも検討したいとした。内容については、基本的にエディトリアルな内容の変更を加えて承認された。(帯域の管理に関してはuser organizationの判断によること。また、帯域については誤解の無いようにそれぞれのconsiderationの先頭にRegionを配置することなど)。内部にECCのドキュメントを参考にすることが記載されているが、WP5Aの議長 (J. Costa) 判断で、参照は記載としては問題ないことが確認された。ただし、元タイトル内の400MHz帯のバンドはRegion1のすべての国を包括してないとして、スウェーデンの提案で 'Certain Countries' を追加した。豪より、Certain Countries in Region 1, Some Countries in Region3と2種類の表記があるが統一しなくてよいかとコメントがあったが、米がRes646にSome Countriesの表記があるので、尊重すべきこと、Certain CountriesもRes646にあるものの意味合いが若干異なるのでどうするか判断が難しいとコメントし、スウェーデンが再度、Certain Countries of Region1とすることを主張したため合意された。さらに、' Certain Countries of' の記載が、一般性が求められるタイトル表記としてふさわしいのかという意見がフランスから出て [ ]でくくることとなった。



- ・寄与文書（5A/117）についてカナダから説明があり、narrow/wide/broadの定義は不要であるとして、記載の削除等を説明した。定義の明確化を指示する米国に対して、定義の議論の紛糾を避けるためANNEXのchannel plan例にて示すのみにするカナダ、の議論を中心に審議が進んだ。バンドに関する記載部分はFootNoteに幾つかの記載を残した（1, 10, 11など）が、提案元であるアメリカが再度の確認が必要であるとして、次回のWP5Aミーティングまでに新しい提案をすとした。更に、オフラインで米が定義を明確にする努力を進めたため、カナダはひとまず提案を取り下げた（considering c）をそのままとする）。Annexは2と3を提案元である米国が入れ替え、またチャネルプランについてもより具体化されたものに会合中に差し替えがされた（LTE規格準拠のものと思われる）。Annex内のNarrowBandの記載の中に、帯域をアグリゲートしてWideBand用途に使用出来るとの表現があったが、エリクソンが表現に不整合が出るとして、WideBandの項はそのまま残し、NarrowBandは、より広帯域可能と記載するが、WideBandのApplication…の記載は削除することを提案して了承された。
- ・参考レポート（PPDR-Annex 7\_rev-Russia.doc）について、ロシアから説明があった。Recommendationそのものの扱いについて意見として、Res646は03年の古い内容であり、その後の技術の進歩や800MHzでのリージョン間のシェアリングについて議論されていないとして、ドキュメントの中で、RRCのモバイル放送議論との協調（Region3との干渉問題等）も含めて、慎重に議論すべきとした。これに対し、Sharingにも関わる大きな変更でありこのままでは合意できないとのNZL、豪、米の意見を受けて、議長レポートに1国が反対していることを記載し、プレナリーでも説明することで合意した。
- ・また、審議中にタイトルとスコープの記載が同様という意見に端を発して、タイトルを「決議646(WRC-03)に記載のうち1GHz以下での調和の取れたPPDR周波数チャネル計画」と変更したらどうかというNZLからの提案があった。NZLが提案した「(sourceとなっている)決議646(WRC-03)に記載のうち「1GHz以下周波数帯」と変更する案は広義すぎるとの意見がDGで大勢を占めていたもののDGではNZLが不在のため結論は一時、保留となっていた。議長が、NZLにオフラインで確認したところ変更案を取り下げること了承した旨説明あり、他に変更案を支持する国も無かったことからタイトルの変更は取り下げられた。
- ・結論としてタイトルに小変更が加えられ作業文書からPDNRに格上げされ議長報告に添付されて(TMP/60)キャリアフォワードされることで合意された。

削除:もと

### 2.3. 新レポート案「公共保安及び災害救援（PPDR）のための746-806 MHz帯における技術規格候補」の審議

入力文書：5A/100 (USA), Doc. 5A/45 Annexes 7 and 8

(WP5A議長報告)

出力文書：5A/TEMP/59, 5A/TEMP/63 (WG3議長報告)

- ・ 審議はDG2を作り米国 (S. Amy) を議長として進められた。
- ・ 前回会合に米国、Qualcommにより起草されたことが発端で作成作業が始まった作業文書。今回の審議においては、WORKING DOCUMENTとの状態を維持し、内容においてのみ議論された。
- ・ 前回議長報告の添付の同作業文書 (5A/45 ANNEX8) に対し、米国から入力があり (5A/100) 内容について米国から説明がされた。対象の周波数帯は746-806 MHz (決議646 (WRC-03) によると、Region2と、Region3の一部のPPDR候補周波数)。
- ・ 内容としてはPPDRのbroadband/wideband/narrowbandに適用可能な無線IFについてM. 1801等から情報を抜粋入力しているもの。無線IFは、IMT-2000 CDMA-MC、IMT-2000 CDMA-DS、OFDMA TDD WMAN、project25等。
- ・ 審議の結果、カナダからM. 1801等 (他にM. 1457, M. 2014) 勧告から抜粋すると将来的な改訂でミスマッチの懸念あるとのコメントがあり、カナダ・アメリカ・議長によるオフライン会議の結果、情報をハイパーリンクとする改訂を行い、そのドキュメントをベースとして、変更内容を確認するという手順で審議が行われた。
- ・ そのほか大きな議論はなかったが、内容の精査、追加入力が今後も必要として作業文書のまま議長報告に添付されて (TEMP/59) キャリーフォワードされることで合意された。
- ・ またリンクにおいては、WiMAX関連の部分がOFDMA TDD WMANという記載で引用されているが、IMTではTDDのみが認められており、今回の提案であるFDD (ターミナルとネットワークへのアクセス周波数が明確に分けられている) との不整合がある事について、オフラインで確認したが、次回までに検討するとのコメントのみ入手した。今後更に、他の規格の引用が進められるものと思われる。

削除: ax

### 2.3.3 PPDRに関連する外部機関に対するリエゾンステートメント

出力文書：5A/TEMP/58

- ・ 現在のWG3の活動について、外部機関に何らかの紹介をすべきという議長の発案により、リエゾン作成の活動を実施。
- ・ 議長自信が素案を作り、WGのミーティングにて議論された。内容は上記、PPDRに関する新レポート案作業文書の作成活動の紹介、および、次回WP5A会合

への入力を歓迎する内容であり、微少なエディトリアル修正のほか、問題なく承認された。(TEMP/58)

- ・なお、上記PPDRに関連する外部機関は、WP5A議長報告(TEMP/83)のANNEX1の4章を参照。(ASTAP/AWF/ARIBなどは含まれていない)

削除:で

#### 2.3.4 WG3の活動範囲に関する審議

プレナリーにて、作業担当の確認を依頼された事項等に関する議論。特段の議論無く、議長の提案通りに了承された。

- ・ ANNEX1 to 5A/45 (Chairman's Report)  
Q37-5(Digital land mobile systems for dispatch traffic)の担当をWG2->WG3へ変更する。
- ・ WG7の議長名の変更承認。
- ・ ガイドブック、Guide to the use of ITU-R texts related to the land mobile service(Chap. 6&9)へ、Res6.4.4(WRC-03 rev. WRC-07)、Res6.4.6の記載等を追記する。

#### 2.3.5 その他の報告

入力文書: 5A/142-E (Region1 Rapporteur)

- ・ Region1 Rapporteur の報告文書の中で、CEPTにて行われているPPDR関連活動の報告があった。ただし、Region1全てがCEPTに加入しているわけではないため、Certain Countriesでの活動報告とされた。
- ・ PPDR用途については、380 - 470 MHz rangeとして提案していることが報告された。
- ・ 5GHz帯域では、Broadband Disaster Relief (BBDR)として新しい勧告が、2008年9月に承認されたことが報告された。
- ・ また、本会合に対して寄書をフランスから入力した旨が報告された。
- ・ また、将来におけるセーフティとセキュリティに関してのUHF帯における検討が進められている旨報告された。

入力文書: 5A/165-E (Region2 Rapporteur)

- ・ Region2 Rapporteur の報告文書の中で、PPDR周波数に関連する報告があった。
- ・ WRC-07にて携帯電話用途にアサインされた698-806 MHzの帯域において、PPDR用途においても考慮して運用が検討されている旨の報告があった。

入力文書： 5A/154-E (Region3 Rapporteur)

- ・ Region3 Rapporteur の報告文書の中で、AWF及びASTAPIにおける次回の会合の日程と、活動の報告があった。
- ・ AWFにおいてはPPDR周波数に関する検討がSWG-2 (PPDR Frequency harmonization)にて行われている旨の報告があった。
- ・ ASTAPIに関しては、DMGS-EG (Disaster Management Communication System- Expert Group) にて、勧告の改訂が行われている旨の報告があった。
- ・ WG4の会合の中で、PPDRの周波数に関する議論がされた。138-174MHzの周波数帯は、現在VHF帯の跡地利用のバンドに関連しており、ウオッチングが必要である。特に、公共バンドとして割り当てられている170-205MHz帯は移動業務利用を想定しており、今後の対策も考慮すべきと思われる。
- ・ クロージングプレナリーにてWRC-07決議647「災害発生時における使用可能周波数のデータベース構築」に関するBRからの協力要請文書に対する回答が3カ国しか集まっておらず、重ねて回答を求めるBRからのコメントがあり、NZLから支持発言があった。

## 2.4 WG4 (干渉保護条件及び共用研究)

WG4は、干渉保護条件及び共用研究について審議するWGである。本WGでは以下に示す入力文書についてWG4全体会合 (8回) 及び数回のドラフティンググループにて審議した。

- (1) 議長： Bruno Espinosa (仏)
- (2) 主要メンバー： J. Costa (加)、K. Baum(米)、A. Jamieson (NZL)、M. Kraemer (独 E-Plus)、J. Ragsdale (米Ericsson)、C. Rush (米Qualcomm)、R. Arefi (米Intel)、西室、小川、榎木、山崎、上村、(日)など約30名。
- (3) 入力文書：

共用検討 116 (Canada); 132 (WP 5D)  
698-862MHz関連 83 (IEEE); 131 (WP 5D)  
FSS-BWA関連 50 (WP 5C); 64 (WP 4A); 102 (USA); 147, 153 (WP 4A)  
FWA関連 109, 110, 111, 112 (Japan); 134 (WP 5D); 135 (Russia); 158 (WP 5C)  
機上無線LAN関連 123 (WMO)  
AI 1.5 ENG - Res. 954 46 (WP 5C); 68 (ITU-T SG 9); 76 (WP 6C); 79 (SG 6); 156 (WP 6A)  
AI (1.10) - Res. 357 77 (WP 6A)  
AI (1.11) - Res. 753 58 (WP 7B);  
AI (1.12) - Res. 754 55, 144 (WP 7B)  
AI (1.13) - Res. 551 63 (WP 4A)  
AI (1.14) - Res. 611 47 (WP 5B); 96 (USA); 78 (WP 6A)  
AI 1.18 - Res. 613 99 (USA); 146 (WP 4C)  
AI (1.20) HAPS - Res. 734 48 (WP 5C); 62 (WP 4A)  
AI (1.24) - Res. 672 57 (WP 7B); 89-Sect.3.6 (WMO)  
AI 1.25 MSS-Res. 231 61 (WP 4C); 71 (WP 6A); 136 (WP 4C); 159 (WP 5C)

(4) 出力文書 : 出力文書:5A/TEMP/37, 38, 52, 53, 54, 55, 61r1, 69r1, 70, 76, 79, 80, 81

(5) 審議概要

審議の結果、3.4-4.2GHz帯でのFSS-BWAの共用検討レポートについて、WP4Aに対してBWAの暫定パラメータの報告と、将来の共同レポート、共同会合の必要性を示唆するリエゾンを作成。BWA関連外部機関に今回作成したBWA暫定パラメータの値について確認するリエゾンを作成した。また、WRC11の各アジェンダアイテムに関連して、必要なWPIに向けて、WP5Aでの作業の開始を伝えるリエゾンを作成した。

#### 2.4.1 LMS.VHF-ISOLATION関連

(1) 入力文書

116 (Canada)

(2) 出力文書

5A/TEMP/37; 53

(3) 審議概要

- ・ PROPOSED PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R M.[LMS.VHF-ISOLATION]の新規提案(カナダ)。
- ・ 作業文書として(TEMP37)を作成し、WP5A議長報告に添付。キャリアフォワード。
- ・ WP1Aに宛てて作業開始を知らせるリエゾン文書(TEMP53)を作成。WP5A承認。

#### 2.4.2 M.2116関連

(1)入力文書

5A/132 (WP 5D)

(2)出力文書

5A/TEMP/53

(3)審議概要

- ・ BWA共用検討レポートM.2116についてIEEE802.16eの記載をWP5Dのレポートに移す件についてWP5Dから合意のリエゾン(5A/132)が入力された。
- ・ 今回のWP5A会合ではIEEE802.16eの議論は実施せず。
- ・ 3GHz帯のBWAシステムの記載追加を見据えて継続検討。

#### 2.4.3 698-862MHz共用検討関連

(1)入力文書

5A/83 (IEEE); 131 (WP 5D)

(2)出力文書

なし

(3)審議概要

- ・ IEEEよりシェアリングパラメタの寄与文書(5A/83)が入力。
- ・ WP5DよりWP5Bからのリエゾンに対する返答のコピー(5A/131)が入力。
- ・ 現時点でWP5Aへの直接のリエゾンは無いのでリエゾン作成等のアクションはとらない。

#### 2.4.4 BWA-FSS共用検討関連

(1)入力文書

5A/50 (WP 5C); 64 (WP 4A); 102 (USA); 147, 153 (WP 4A)

(2)出力文書

5A/TEMP/52; 55

(3)審議概要

- ・ WP4Aにて3.4-4.2GHz帯にてFSSに主眼を置いた共用検討レポートを作成中であり、WP5AにBWAパラメタの入力を求めている。
- ・ WP4AにBWAの暫定パラメタと、将来の共同レポート、共同会合の必要性を示唆するリエゾン(TEMP55)を作成。WP5A承認。
- ・ 外部機関(EO)に今回作成したBWAの暫定パラメタについて正確な値の入力を求めるリエゾン(TEMP52)を作成。WP5A承認。

#### 2.4.5 AI 1.5関連

(1)入力文書

5A/46 (WP 5C); 68 (ITU-T SG 9); 76 (WP 6C); 79 (SG 6); 156 (WP 6A)

(2) 出力文書

なし

(3) 審議概要

- ・ WP5Cに対して、AI1.5に関連して共用検討対象とする周波数帯の特定を求めるリエゾン (TEMP68)を作成。WP5C議長よりWP5CはAI1.5のリーディングでもなく、リエゾンは不要との示唆にてWP5Aプレナリーにて取下げ。

#### 2.4.6 AI 1.10関連

(1) 入力文書

5A/77 (WP 6A)

(2) 出力文書

なし

(3) 審議概要

- ・ WP6Aよりリエゾン文書(5A/77:WP5Bへのリエゾンのコピー)が入力。WP5Aよりノーアクション。

#### 2.4.7 AI 1.11関連

(1) 入力文書

5A/58 (WP 7B)

(2) 出力文書

5A/TEMP/54

(3) 審議概要

- ・ WP7Bよりリエゾン文書(5A/58:22.55-23.15GHzの共用検討関連)が入力。
- ・ WP7Bに対して、22.55-23.15 GHz におけるLMSのシステムパラメタや情報を集めてからWP7Bに報告する旨のリエゾン(TEMP54)を作成。WP5A承認。

#### 2.4.8 AI 1.12関連

(1) 入力文書

5A/55, 144 (WP 7B)

(2) 出力文書

5A/TEMP/80

(3) 審議概要

- ・ WP7Bよりリエゾン文書(5A/55、5A/144)が入力。
- ・ WP7Bに対して、37-38 GHz におけるLMSのシステムパラメタや情報を集めてからWP7B

に報告する旨のリエゾン(TEMP80)を作成。WP5A承認。

#### 2.4.9 AI 1.13関連

(1)入力文書

5A/63 (WP 4A)

(2)出力文書

なし

(3)審議概要

- ・ WP4Aよりリエゾン文書(5A/63:リージョン1及び3における21.4-22GHzの共用検討関連)が入力。
- ・ WP4Aに向けて21.4-22 GHzにおけるLMSのシステムパラメタや情報を集めてからWP4Aに報告する旨のリエゾン文書(TEMP62)を作成。イラン、シリアより、WP4Aからのリクエスト内容はWRCにて議論された内容であり、リエゾンは不要との示唆にてWP5Aプレナリーにて取下げ。

#### 2.4.10 AI 1.14関連

(1)入力文書

5A/47 (WP 5B); 96 (USA); 78 (WP 6A)

(2)出力文書

5A/TEMP/61rev1

(3)審議概要

- ・ 米、加、露を中心にリエゾンドラフトを議論。
- ・ WP5Bに向けて、VHF帯におけるLMR利用に関するリエゾンバック文書(TEMP61r1)を作成。WP5A承認。

#### 2.4.11 AI 1.18関連

(1)入力文書

5A/99 (USA); 146 (WP 4C)

(2)出力文書

5A/TEMP/76

(3)審議概要

- ・ USA(5A/99)、WP4C(5A/146)よりリエゾン文書が入力。
- ・ WP4Cに向けて2 483.5-2 500MHzの一部でIEEE802.16eを展開している国がある旨の情報提供と、当該帯域において更にLMSのシステムパラメタや情報を集めてからWP4Cに報告する旨のリエゾン文書(TEMP76)を作成。WP5A承認。



#### **2.4.12 AI 1.20関連**

(1)入力文書

5A/48 (WP 5C); 62 (WP 4A)

(2)出力文書

5A/TEMP/38

(3)審議概要

- ・ WP5C (5A/48)、WP4A (5A/62) よりリエゾン文書が入力。
- ・ WP5Cに対して5850-7075MHzにおけるDSRCの利用に関する情報提供のリエゾン文書 (TEMP38)を作成。WA5A承認。

#### **2.4.13 AI 1.24関連**

(1)入力文書

5A/57 (WP 7B); 89-Sect.3.6 (WMO)

(2)出力文書

5A/TEMP/79

(3)審議概要

- ・ WP7B (5A57)、WMO (5A/89) よりリエゾン文書が入力。
- ・ WP7Bに向けて7 850-7 900 MHzにおけるLMSのシステムパラメタや情報を集めてから WP7Bに報告する旨のリエゾン文書 (TEMP79)を作成。WP5A承認。

#### **2.4.14 AI 1.25関連**

(1)入力文書

5A/61 (WP 4C); 71 (WP 6A); 136 (WP 4C); 159 (WP 5C)

(2)出力文書

5A/TEMP/81

(3)審議概要

- ・ WP4C (5A/61)、WP6A (5A/71)、WP4C (5A/136)、WP5C (5A/159) よりリエゾン文書が入力。
- ・ WP4Cへの回答として、5A/136にて指定された帯域についての勧告情報の提供と、更に詳しい帯域情報をWP4Cに求めるリエゾン文書 (TEMP81)を作成。WP5A承認。

#### **2.4.15 FWA関連**

(1)入力文書

5A/109, 110, 111, 112 (Japan); 134 (WP 5D); 135 (Russia); 158 (WP 5C)

(2)出力文書

5A/TEMP/70

### (3) 審議概要

- ・ 日本(5A/109、110、111、112)、WP5D(5A/134)、ロシア(5A/135:クエスチョンとレポート作成の提案)から入力文書。
- ・ 日本の入力文書についてはWP5Cとの役割分担の議論(会期中の共同会合で明確化)があったため、今回は審議せず、キャリアフォワード。
- ・ ロシアの入力文書に対して作業文書(TEMP70:Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[LMS-CROSS-BORDER])を作成。WP5A議長報告に添付。

## 2.4.16 機上無線LAN Res229関連

### (1) 入力文書

5A/123 (WMO)

### (2) 出力文書

5A/TEMP/69rev1

### (3) 審議概要

- ・ WMOよりCバンドにおける機内無線LANと気象レーダーの干渉についてのリエゾン(5A/123)が入力。
- ・ WP5Bに向けて5GHz帯における機内無線LANと気象レーダーとの共用検討について次回会合以降、レポートM.2115をアップデートすること他を伝えるリエゾン(TEMP69r1)を作成。WP5A承認。

## 2.4.17 ITU-R M.358-5、M.1018-1、M.1019のサブレス提案

### (1) 入力文書

なし

### (2) 出力文書

なし

### (3) 審議概要

- ・ WG4より、古いレポートで現状に合わない等の理由で3つのレポートのサブレス提案がなされ、WP5Aにて承認。SG5審議へ。

## 2.5 WG5 (Technology)

(1) 議長: 吉野 仁 (日本)

(2) 主要メンバー: Jose Costa、Michel Ndi (カナダ)、Pekka Ojanen (フィンランド)、Bruno Espinosa (仏)、Gabriel Owen (蘭)、Alexander Kuehn、Bernd Wolf (独)、Haeyoung Lee (韓)、Marie Wijk (スウェーデン)、Saad Hassan(UAE)、Dante Ibarra、Stephen Ward (米)、Paolo

Goria(テレコム伊)、Jim Hoffmeyer (SDR Forum)、Kodo Shu(Nokia)、Sverker Magnusson、Jim Ragsdale(エリクソン)、西室、櫻木、村上、山本、西森、清水、小川、山崎、小山、上村、岡、吉野、(日)など約35名

- (3) 入力文書 : 5A/56(WP7B), 65(ITU-T SG16), 81(WP1B), 82 (WP1A), 89 (Section 3.5) (WMO), 95 (USA),101 (USA),104 (UAE), 105 (UAE),108 (SDR Forum), 114(KOR),119(CAN),120(CAN), 124(CAN), 128(J), 129 (J), 130(J), 133(IEEE),138(Nokia Corporation and Nokia Siemens Networks), 139 (D, F, HOL, Alcatel-Lucent France, France Télécom, Telecom Italia), 140 (Alcatel-Lucent France, France Télécom, Telecom Italia, F, D, HOL), 141(Alcatel-Lucent France, France Télécom, Telecom Italia, F, D, HOL), 143(CAN), 145(WP4A),150(WP5D),155 (WP5B)
- (4) 出力文書 : 8A/TEMP/78R1, 85, 73R2 (WP1Bへのリエゾン), 72R1 (WP1Aへのリエゾン), 45R1, 64R1 (WP1A, 1B, 4C, 5B, 5D, ITU-D SG2へのリエゾン), 65R1, 74R1
- (5) 審議概要

WG5は、コグニティブ無線システム(CRS)、ソフトウェア無線(SDR)、アダプティブアンテナ(AA)等の技術について審議するWGである。本WGは今会合中16回開催され、26件の入力寄与文書を審議し、8件の出力文書を作成した。

WG5での具体的な審議としては、(1) 前回WP5A第1回会合より継続審議となっているコグニティブ無線システムのレポート草案に向けた作業文書の改訂、(2)ソフトウェア無線のシステム特性に関する新勧告草案作成に関するUAEの提案、(3) SDRとCRSに関するWRC-11議題1.19関連(WP1Bへのリエゾン)、(4) 広域センサーアクチュエータネットワークのための無線アクセスシステムに関する日本の提案、(5) 短距離デバイスに関するWRC-11議題1.22関連(WP1Aへのリエゾン)、(6) AAレポート改訂に関する米国提案、(7) ITU-T SG16からの研究課題223/5(移動通信のIPアプリケーション)に関するリエゾンを取り扱った。

### 2.5.1 コグニティブ無線

入力文書 : 5A/101 (USA), 104(UAE), 108(SDR Forum), 114(KOR), 119(CAN), 120(CAN), 128(J), 133(IEEE), 138(Nokia Corporation and Nokia Siemens Networks), 139 (D, F, HOL, Alcatel-Lucent France, France Télécom, Telecom Italia), 140 (Alcatel-Lucent France, France Télécom, Telecom Italia, F, D, HOL), 141(Alcatel-Lucent France, France Télécom, Telecom Italia, F, D, HOL), 143(CAN)

出力文書 : 5A/TEMP/78R1, 5A/TEMP/85

コグニティブ無線システム(CRS)に関しては、前回WP5A第1回会合より作成を開始したレポート草案に向けた作業文書の改訂を行った。

今会合では、CRSの定義について、入力寄書(5A/104(UAE), 140(欧州E3プロジェクトメンバ国・会社), 119(カナダ)、128(日本)、133(IEEE)、108(SDRF)、138(ノキア、ノキアシーメンス))をもとに、集中的に議論した。まず、各国の寄与文書から、定義の基本要素をリストアップし、定義に必要な項目を特定し、定義に i) Awareness/Observation of operational environment, ii) Decision and adjustment/control of its operational parameters, iii) Learning processを記述することで合意した。合意した主要要素をもとに定義のテキストの作成を行い、暫定定義を合意した。そして合意した暫定定義をレポート草案作業文書(TEMP/78R1)に記述するとともに、WP1Bへのリエゾン(TEMP/73R2)にも含めることで合意した。

さらに、入力寄書(5A/101, 104, 108, 114, 119, 120, 128, 133, 138, 139, 140, 141, 143)をもとに、コグニティブ無線のレポート草案を更新(TEMP/78R1)し、議長報告へ添付しキャリアフォワードすることで合意した。

また、今回会合(WP5A第2回会合)と次回会合(WP5A第3回会合)の間に、コレスポンデンスグループ(CG)活動を行うことで合意した。CG活動は、コグニティブ無線のレポート草案について、1)第2章のScope、2)第5章Requirementsに記述すべき内容の2点について議論合意し、その合意内容をCG活動のConvenor(招集者)がWP5A次回会合へ寄書入力することとした。Convenorには、吉野(日本)が選出された。また、活動期間は、2009年1月12日～3月31日とした。上記CG活動の所掌事項などをまとめた出力文書を作成した(5A/TEMP/85)。

## 2.5.2 Software Defined Radio(SDR)関連

入力文書：5A/105(UAE)

出力文書：5A/TEMP/86 - Section 2

アラブ首長国連邦より入力されたソフトウェア無線の特性に関する新勧告草案作成の提案(5A/105)は、新勧告草案作成の合意が得られなかった。妥協案として、既存レポートITU-R M. 2117を入力寄書に従い更新する意見がニュージーランドより出された。しかし、今回はレポート更新に必要な材料がないとしてレポートITU-R M. 2117の見直しは行われなかった。上記結論について、WG5議長報告に記載することで合意した(5A/TEMP/86, Section 2)。

## 2.5.3 議題1.19(コグニティブ無線・ソフトウェア無線)関連

入力文書：5A/56(WP7B), 81(WP1B), 124(CAN), 145(WP4A), 155(WP5B)

出力文書：5A/TEMP/73R2(WP1Bへのリエゾン)

SDRとCRSに関する情報提供を求めるWP1Bリエゾン(5A/81)へのリエゾンバックを議

論した。

カナダより入力された寄書(5A/124)をもとに、SDRの定義を議論。勧告ITU-R M.1797(語彙)に記述されている定義のNote 3から”within the mobile service”を削除すれば、移動業務以外の業務のSDRの定義として有効であるとの点で合意し、上述のGRSの暫定定義とともに、WP1Bへのリエゾン(TEMP/73R2)へ記述することで合意した。

リエゾン文書(TEMP/73R2)については、カナダより入力されたリエゾン雛形(5A/124)とWP5Bの意見が記述されたWP5Bからのリエゾン(5A/155)をもとに、文案を作成。米国がSG5のリードWPであるWP5Aからのリエゾンには、WP5B、WP5Cの意見を含むべきとして、WP5Cの意見が反映されていないリエゾン案の承認に難色を示す。シリアから一主管庁の意見をリエゾンへ入れるべきではないとの意見が出され。最終的に、米国の主張は、WP5A議長報告へ記述することとし、リエゾン案を承認(TEMP/73R2)した。

#### 2.5.4 広域センサーアクチュエータネットワークのための移動アクセスシステム関連

入力文書：5A/129 (J), 130 (J)

出力文書：5A/TEMP/45R1, 5A/TEMP/64R1 (WP1A, 1B, 4C, 5B, 5D, ITU-D SG2へのリエゾン), 5A/TEMP/65R1

日本から提案(5A/129)している広域センサーアクチュエータネットワークのための移動アクセスシステムの研究課題案を作成し、WP5A議長報告へ添付しキャリアフォワードした(TEMP/45R1)。また、研究課題において、カナダが、ITU-D SG2からのリエゾンに記載された鳥インフルエンザを運ぶ渡り鳥の調査のための無線システムの検討を本研究課題の一部にできないかとの意見を表明した。議論の結果、これら動物にセンサーをつけた場合も研究対象にすべく、recognizingなどにanimalが明記された。さらに、研究課題作成開始をWP1A, 1B, 4C, 5B, 5D, 7CとITU-D SG2に周知するリエゾンを特段の議論無く承認した(TEMP/64R1)。

また、日本からの入力(5A/130)をもとに、作業文書を作成し、WP5A議長報告へ添付しキャリアフォワードした(TEMP/65R1)。

#### 2.5.5 WRC-11議題1.22と決議953(短距離デバイス)

入力文書：5A/82 (WP1A), 89 (Section 3.5) (WMO), 150 (WP5D)

出力文書：5A/TEMP/72R1 (WP1Aへのリエゾン)

入力寄書(5A/82, 89 (Section 3.5), 150)をもとに、WP1Aからの短距離デバイス(SRD)に関するリエゾンへ返答するリエゾンを作成し、特段の議論なく承認した(TEMP/72R1)。本リエゾンは、(1)WP5AではSRDの研究に着手していないため研究結果をWP1Aに提供できないこと、(2)SRDデバイスから移動通信を保護するためのWP1Aの研究については、WP5A所掌の3件の勧告およびレポートが参考になること、を伝える内容である。

### 2.5.6 アダプティブアンテナ関連(Q.224-2/5)

入力文書：5A/95 (USA)

出力文書：5A/TEMP/74R1

カナダからの提案により、アダプティブアンテナに関する研究課題(Q. 224-2/5)を削除することで合意した。特段の議論なくSG5への削除提案をおこない、承認された。米国からの提案(5A/95)により、レポートITU-R M. 2040の改訂作業文書を作成し、WP5A議長報告へ添付してキャリアフォワードした(TEMP/74R1)。米国提案は特定の会社のアダプティブアンテナ技術(Multi-Antenna Signal processing:MAS)について書かれており、さらに、特定の技術に有利な記述がなされていた。カナダが、ITU-Rのレポートとして特定の企業に利するテキストを採用することに懸念が示され、日本もAdaptive Antenna Signal Processingなどの一般的用語にすることを提案した。議論の結果、MASに関する記述は削除され、特定の会社のアダプティブアンテナ技術に関連した記述も採用されなかった。最小限のテキスト修正を行い作業文書を作成し、次回会合で継続審議となった(5A/TEMP/74R1)。アダプティブアンテナの研究課題の削除提案をすることで合意されたが、実際にSG5会合で削除が決まるまで、研究課題224-2/5は有効であるとして、作業文書の作成には異議が出されなかった。研究課題が削除された場合は、BWA、ITSなどの陸上移動通信システムに関する他の研究課題の下で継続してレポートの修正を行うか、中止するかを次回会合で議論する予定となっている。

### 2.5.7 IPアプリケーション関連 (Q.223/5)

入力文書：5A/65 (ITU-T SG16)

ITU-T SG16からのリエゾン(5A/65)を審議し、ノートした。ITU-T SG16へのリエゾン返答の作成は行わないこととなった。

## 2.7 WG7 (WAS : Wireless Access System)

- (1) 議長：.Lang BAOZHEN (中国)
- (2) 主要メンバー：Lang BAOZHEN (中国)、Amy SANDERS(USA)、P. Najarian(USA)、西室、上村、西森、清水、村上他など約30名
- (3) 入力文書：
  - (a) BWA M.1801の改訂に関する入力： 84, 85 (IEEE); 88 (TIA TR45.5); 91 (ARIB); 115 (TTA); 118 (Canada); 125 (Japan); 137 (Alcatel-Lucent France, et al); 151 (ATIS);
  - (b) Land Mobile Handbook(LMH)に関する入力： 93 (Vol. 5 Editor)
  - (c) Q.101/5 (QoS)に関する入力： 121 (Canada)

- (d) 勧告F.387-10の改訂案 : 103 (ロシア)
  - (e) ANTS(Access Network Transport standard)に関する入力 : 49(WP51C), 52; 53, 54 (ITU T SG 15), 149 (WP5C)
  - (f) Satellite-land systemsに関する入力 : 60, 92 (WP 4B)
- (4) 出力文書 : 5A/TEMP/39, 40, 46, 47, 48, 50, 57R1, 67
- (5) 審議概要
- ・ WG7は、無線LAN(RLAN: Radio Local Area Network)、BWA(Broadband Wireless Access)のような高速ワイヤレスアクセスシステムについて審議するWGである。本WGは今会合中4回開催され、19件の入力文書を審議し、8件の出力文書を作成した。
  - ・ WG7では、1つのドラフティンググループ(DG)を設置し、2回の会議が開催され、BWAに関する勧告M.1801の改訂のための暫定改訂作業文書の作成を行うとともに、LMHの修正、LMHに関する寄書のinvitation文章の作成について文書を作成した。

#### 2.7.1 BWAに関する勧告M.1801の改訂の検討

- (1) 入力文書 : 84, 85 (IEEE); 88 (TIA TR45.5); 91 (ARIB); 115 (TTA); 118 (Canada); 125 (Japan); 137 (Alcatel-Lucent France, et al); 151 (ATIS)
- (2) 出力文書 : 5A/TEMP/46, 47
- (3) 審議概要

議長より、M.1801の修正に対し9つの提案を1つにまとめた文書が作成され、それをもとに議論を行った。日本の寄書に関しては、入力5A/125に基づき、Annex 5中のXGP(eXtended Global Platform:次世代PHSの新名称)に関する記述の更新が行われた。また、日本からの要望で4章にXGPとSC-FCDMAの2つの略称について追記が行われた。結果、日本からの入力はそのまま承認される形となった。

Ericssonよりの提案で、Annex 2中のE-UTRANに関する ” E-UTRAN supports an FDD and TDD mode of operation.” という記述が削除された。また、Ericssonより、Annex 2の1.6節 (IMT-2000 ODFMA TDD WMAN)のセクションに802.16の記述があるが削るべきだとの指摘があったものの、ドイツなどの提案により第1段落と第2段落を結合して1つの段落とし誤読を防ぐということで妥結した。

Annexが7つもある点について議論が交わされた。Annexの順番を入れ替えることで読みやすくするという案、IMT系やIEEE系でグルーピングして再構成するという案、各SDOからの入力を尊重しそのままにするべきという意見など、様々な意見が出て議論が収束しなかったが、この点については次回以降の検討課題となった。Annex 7の表について、E-UTRANとUMBに関連した項目の記述について煩雑になっていることから、記述の方式について追加の提案を求めることになった。また、Ericssonより、ARIBの寄書(5A/91)が反映されていないというコメントがあったが、日本よりこれはInformativeな入力であり問題ないとの回答が行われた。

以上の議論を経て、若干のeditorialな修正が施された上すべての修正案が受け入れられ、本文書は5A/TEMP/47として、議長報告に添付して次回会合にキャリアフォワードされた。また、この文書がアップデートされたことを関連するSDOに対して伝えることを目的として、BWA勧告M.1801の改訂に向けた更新情報を照会したリエゾン文書を送付することになった。こちらは、5A/TEMP/46としてWG7, WP5Aのプレナリーで承認を受けた。5A/TEMP/47の考察を活性化するため、このリエゾン文書では2009年5月まで(次回会合の期限)に文書を出すように外部機関に促している。

### 2.7.2 Land Mobile Handbook (LMH) vol.5\_BWA

LMHレポートは議長であるAmy SANDERS(USA) が議長として、DG会合の中で1回の審議を実施した。議論内容は、LMHのrevisionについての確認と、著者へ向けた作成依頼のための手紙の文面の案の作成であった。

(1) 入力文書 : 93 (Vol. 5 Editor), (2) 出力文書 : 5A/TEMP/57R1

(3) 審議概要

今回の会合では、最初に議長より、前回WP5A会合にてLMHのオーバービューのパートについての入力を外部機関(3G Americans ATIS, CDG GSM-A, UMTS Forum, WiMAX Forumを含む)とWP5A参加者にも個別でリクエストしていることがコメントされた。また、現時点で空欄であるセクション毎に前回会合参加者に状況を確認した。また、上記の情報入力の後、エディトリアルチェックため、コレスポネンスグループを継続する必要がある旨をエディターに通知することとした。

著者へ向けた作成依頼のための手紙の文面の案の作成においては、WP5A議長より、ドキュメントのコンタクト先についてLMHレポートを含めず、エディターとWP5A議長とすべきとして修正された。クアルコムからの今回の締め切り後の入力内容は外部機関へのレターに添付するLMHドラフト版に含めるかについては、含めた上でVer8として添付することとした。デッドラインについては2009年3月5日を完成目標とし、入力文書の締め切りなど完成までの手順についてはコレスポネンスグループにて決めることとした。こちらは、5A/TEMP/57R1としてWG7で承認、WP5Aのプレナリーでは紹介が行われた。

### 2.7.3 Q.101/5 (QoS)に関して

(1) 入力文書 : 121 (Canada), (2) 出力文書 : 5A/TEMP/39, 40

(3) 審議概要 : ワイヤレスアクセスシステムにおけるQoSの要求条件に関するドラフト勧告 (ITU-R M. [WAS.QOS])を開始するためであり、これは、Question ITU-R101-4/5におけるアイテムとワイヤレスアクセスのユーザの経験の品質向上を高めることとも関係している、今回は、作業文書を作成するためのフレームワークとリエゾン文書が作成された。議論はほとんどなく、原案通りに承認され



る形となった。フレームワークは5A/TEMP/39として、議長報告に添付して次回会合にキャリアフォワードされた。WP6BとITU-T SG12, 15, 16に対するリエゾン文書は、5A/TEMP/40としてWG7, WP5Aのプレナリーで承認を受けた。

#### 2.7.4 Q.215/5 (FWA)に関して

- (1) 入力文書 :
- (2) 出力文書 : 5A/TEMP/48 (Question ITU-R 215-2/5のUpdate)
- (3) 審議概要 : SG5の決定に基づきFWAの業務がWP5CからWP5Aに移行されることになり、WP5Aでのスコープとして固定業務におけるいくつかの側面が含まれることが必要となるということがWG7の中で議長より示された。この経緯を踏まえ、WP5Aの議長であるCosta氏の提案のもと、移動業務用帯域のFWAに関するQuestion ITU-R 215-2/5について、固定業務に分配された帯域のFWAも含めるよう修正すべきだということになり、WG7の中で議論されることとなった。具体的にはタイトルにland mobile serviseの部分がfixed and land mobile serviseと修正された。他、文面でもこの部分に関する表記が修正された。今回は、これを5A/TEMP48としてアップデートされることとなった。

#### 2.7.5 ANTS (Access Network Transport Standards) に関して

- (1) 入力文書 : 49(WP5C), 52; 53, 54 (ITU T SG 15), 149(WP5D)
- (2) 出力文書 : 5A/TEMP/67
- (3) 審議概要 : ITU SG15に対するANTSに関するリエゾン文書である。コメントとして、本リエゾン文書内で紹介しているPDNR ITU-R M.[WAS.QOS]について、参照文書番号 (TEMP\_NO等) が記載されていない事が指摘され、WG7議長より後刻「TEMP39」を追記された。本リエゾン文書は、5A/TEMP/67としてとしてWG7, WP5Aのプレナリーで承認を受けた。

#### 2.7.6 衛星-陸上業務の共用条件について

- (1) 入力文書 : 60, 92 (WP 4B),
- (2) 出力文書 : 5A/TEMP/50
- (3) 審議概要 :  
インテグレートでかつハイブリッドの衛星通信システムについて2個のリエゾン文書の入力がWP4Bよりあった。文書4B/51のAnnex14のTable 1に示されるシステムの特徴に賛成する形で、5A/TEMP/50として、WP4Bにリエゾン文書を送付することになった。ハイブリッドシステムは地上と衛星のネットワークに対して同じ周波数を割り当てることに拘束する必要がないという文書が加えられた

## 2.8 FWAに関するWP5A/5C合同会合について

- (1) 議長：5A議長（Costa氏（カナダ））および5C議長（Glass氏（米国））、
- (2) メンバー：米、カナダ、ブラジル、英国、イタリア、ロシア、日本（計約30名）
- (3) 入力文書：5A/86(5C/71)
- (4) 出力文書：Document 5A/166-E(5Cから5Aへのリエゾンとして結論を記載)
- (5) 審議概要

前回2008年2月に開催されたSG5関連WP会合でFWAに関する検討についてその一部を、WP5CからWP5Aに移管することが承認されたが、FWAに関するITU-R勧告・レポート、および検討中の個別課題の所掌WP、検討の進め方については未確定の部分があった。今回のSG5関連会合期間中に、FWAに関するWP5AとWP5Cの合同会合が開催された。審議内容を以下に示す。

### 2.8.1. FWAとP-Pシステムの分類法の定義

FWAのうち、一般ユーザ向け公衆アクセスFWA方式をWP5Aに移行し、その他のFWA（例えばビジネスユーザ向け方式）は引き続きWP5Cの所掌とする。

### 2.8.2. 個別勧告・レポートの所掌WPの審議および分配

Doc. 5A/86(5C/71)のAnnex 2のFシリーズ勧告およびレポートについて所掌WPを確認した。F. 1336, F. 1509, F. 1760, F. 1766の4つの勧告については、所掌WPが5Aと記載されているが、P-Pの要素もあるため、5Aと5Cの共同所掌に変更した。

### 2.8.3. Both system (WP5Aと5C共同で所掌する勧告) に対する考察

以下のカテゴリーに分類されるFシリーズ勧告については、WP5Cが所掌することとした。

- ・最近10年間改定されていない古い勧告（14勧告）。
- ・特定のアプリケーション（HAPS、ENG）に関する勧告（12勧告）。

Doc. 5A/86(5C/71)のTable2に載っているうち残りの32勧告については、FWAとP-Pの部分に分割、あるいは現状のまま（WP5Aと5Cで共同所掌）とする。

### 2.8.4. 今回会合でのFWAに関わる入力文書の審議方法

以下の課題についてはWP5Cでの審議がWP5Aより先行しているため、WP5Cのみで審議し、WP5Aに審議結果をリエゾン送付する。

- ・「近隣国との周波数共用に関するガイダンス」のレポート作成
- ・F. 758の改定
- ・F. 1336の改定

## 2.9 Vocabulary Rapporteur group

Vocabularyについては特段入力は無かったが、次回WP5Aに向けて前回WP5Aの議

長報告に添付された内容 (Doc. 5A/45 Annex 11) を引き続き議論することがプレナリーに確認された。

## 2.10 Land Mobile Handbook (LMH) vol.5\_BWA

LMHについては特段の議論は無かった。LMHはコレスポネンスグループにて審議を進めており、引き続きコレスポネンスグループにて作業を継続することがプレナリーにて報告された。

## 3 今後の予定

WP5Aの次回会合の各WGの主な審議事項は以下のとおり。

### 3.1 WG1

- (1) WRC-11議題1.23に関する検討を引き続き行うこと。
- (2) WRC-11議題1.15に関する検討を引き続き行うこと。
- (3) ITU-R勧告M.1677の改訂について引き続き検討を行うこと。
- (4) RR第25条及びITU-R勧告M.1544に関連し、アマチュア局の国際運用(ローミング)に関する検討を行うこと。

### 3.2 WG2 ITS

- (1) ITU-R勧告M.1310の改訂(次回WP5A会合での作業終了を目指す)
- (2) ミリ波ITS通信に関する勧告化の推進(次回WP5A会合でDNR出力を目指す)
- (3) ミリ波ITS通信に関する勧告化の推進(次回WP5A会合でPDN Reportの出力を目指す)
- (4) ITU-T SG16のVGP、及びITU-T SG12のAPSCIに関するフォローアップ

### 3.3 WG3 公共保安、トランキング、ページング関連

WP5Aの次回会議でWG3が審議する主な課題は以下の事項である。

- (1) 今回含め継続されるPPDRにおける周波数計画の勧告化、及び連携するテクニカルレポートに関する審議。
- (2) 決議646(WRC-03)に記載されている、今後のPPDR通信システムに関する技術的研究。
- (3) 議決(WRC-07)に記載されている、今後のデータベース構築に関する審議。

### 3.4 WG4

- (1) 3.4-4. 2GHzにおけるBWA-FSS共用検討の継続
- (2) Report ITU-R M.2116への3GHz以上のモバイルBWAシステムの追加検討と、WP5DにおけるOFDMA TDD WMANの報告内容の検討
- (3) Agenda Items 1.5, 1.11, 1.12, 1.13, 1.14, 1.18, 1.20, 1.24, 1.25.に関して必要な情報の収集と適切なガイダンスの作成
- (4) Working document towards a PDN Report M. [LMS-VHF-ISOLATION]の作業継続
- (5) Working document towards a PDN Report M. [LMS-CROSS-BORDER]の作業継続
- (6) Report M.2115 on the Testing procedures for implementation of dynamic frequency selection in 5 GHz WAS/RLANs のレビュー開始
- (7) WP5Aが関連する、WG4の所掌に関連するWRC-11のAIに対しての適切なアクションの検討

### 3.5 WG5

- (1) コグニティブ無線に関して、レポート草案作業文書の継続改訂を行なう。なお、次回会合にて今回作業文書Annexに盛り込まれた日本のR&Dの状況に関するテキストの審議が予定されるので必要な内容はレポート本体に移し、Annex自体は簡略化を図る。日本からの提案のテキストは未審議の状況でレポート草案作業文書に記載されている。全体の章構成の中での位置づけを明確化し、日本の意見が反映残されるように、修正提案を行う必要がある。また、コグニティブ無線の定義については、WP1Bでの検討結果を考慮し必要があれば修正の提案を行う。
- (2) 広域センサーアクチュエータネットワークのための移動アクセスシステムに関しては、作成された新研究課題案に対して、各国からのコメントや修正提案が入力されるので、必要な対応を行う寄与文書の入力が必要である。また、新勧告/レポート草案作業文書については、内容の充実を図る提案を行う必要がある。
- (3) WRC-11議題1.22短距離デバイスに関しては、WP5AからWP1Aに出されたリエゾン(5A/TEMP/72R1)のWP1Aでの審議状況を考慮しつつ、WP5A所掌の移動通信システムへの有害な干渉からの保護が適切に議論されるように必要な対応を検討し、必要があれば寄与文書の入力を行う。
- (4) アダプティブアンテナに関しては、特定のアダプティブアンテナ技術を推奨するような内容のテキストが盛り込まれないように注意し対応する。カナダが主張したように、アダプティブアンテナ技術が移動通信システムの構成要素として定着しつつある現状を鑑み、移動通信システムの周波数利用効率を向上させる要素技術としてシステム関連の勧告レポートにおいて議論されるようにする。アダプティブアンテナ勧告やレポート自体の修正はMIMO技術の追加などが議論される予定であるが、その記述は、必要最小限となるように対処することを検討する必要がある。

- (5) ソフトウェア無線に関するレポートの改訂については、UAEから再度提案がある場合は、改訂の議論が行われる可能性がある。レポート更新が必要な事項があるかを検討し、ある場合は寄書入力を検討することになる。

### **3.6 WG7**

WG7は次回会合では、WASIに関連して以下の検討課題の継続的審議を行う。

- (1) BWA勧告M.1801の暫定改定作業文書の作成 SD0からの新規入力情報の反映等
- (2) PDNR ITU-R M. [WAS, QoS] (タイトル: Performance and availability requirements and objectives for wireless access systems)に向けた作業文書の作成 フレームワーク作りの続き等

### **3.7 LMH**

2008年11月を完成目標として、コレスポネンスグループを含めてvol.5 BWAの作成作業を継続する。

### **3.8 VOC**

新勧告の作成もしくは勧告ITU-R M. 1797 (Vocabulary of terms for the land mobile service) の改訂等にて用語の作成を継続して作業。

## **4. 次回会合のスケジュール**

次回(第3回)暫定WP5A会合は、2009年5月18-27日、ジュネーブ(スイス)にて開催される予定。

表2 日本入力文書の審議結果

文書番号	題 目	審議結果	出力文書
5A/125	Proposed modification to a revision of Recommendation ITU-R M.1801 – Radio interface standards for broadband wireless access systems, including mobile and nomadic applications, in the mobile service operating below 6 GHz	改訂勧告草案に盛り込まれ 継続審議	5A/TEMP/46 5A/TEMP/47
5A/126	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[MM-ITS] – Millimetre wave radiocommunication systems for ITS applications	改定勧告草案に盛り込まれ 継続審議	5A/TEMP/51
5A/127	Preliminary draft revision to Recommendation ITU-R M.1310 – Intelligent transport systems (ITS) – Objectives and requirements	改定勧告草案に盛り込まれ 継続審議	5A/TEMP/49
5A/128	Proposed revision for a preliminary draft new Report “Cognitive radio systems in the land mobile services”	新報告案に向けた作業文 書に盛り込まれ、継続審議	5A/TEMP/78R1 5A/TEMP/85
5A/129	Proposal for a preliminary draft new Question ITU-R [SAC]/5 – Mobile wireless access systems providing communications to a large number of ubiquitous sensors and/or actuators scattered over wide areas	新研究課題草案として継続 審議	5A/TEMP/45R1
5A/130	Working document towards a preliminary draft new Recommendation/Report – Mobile wireless access systems providing communications to a large number of ubiquitous sensors and/or actuators scattered over wide areas	新レポート(or勧告)草案とし ての作業文章として継続審 議	5A/TEMP/65R1

表3 WP5A入力文書一覧表

文書番号 5A/	提出元	題 目	担当WG
045	WP5A議長	CHAIRMAN'S REPORT – MEETING 4-13 FEBRUARY 2008	Plenary
046	WP5C	Liaison statement to Working Party 5A – Harmonization of spectrum for use by terrestrial electronic news gathering systems	WG4
047	WP5B	Liaison statement to WPs 5A and 5C – Compatibility studies between radiolocation and mobile/fixed service in the band 30–300 MHz	WG4
048	WP5C	Liaison statement to WP 4A (copied to WPs 3M, 5A, 5B, 7B and 7C) – Gateway links for high altitude platforms stations in the range from 5 850 to 7 075 MHz	WG4
049	WP5C	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 – Copy for information to Working Parties 4B, 5A and 5D	WG7
050	WP5C	Liaison statement to Working Parties 4A and 5A – Compatibility of broadband wireless access networks and fixed-satellite service networks in the 3 400–4 200 MHz band	WG4
051	WP5B	Liaison statement to WPs 5A, 5C, 6D, 7A and 7D – Sharing studies required for WRC-11 Agenda item 1.15	WG1
052	ITU-T SG 15	Reply to liaison statement on ANTS	WG7
053	ITU-T SG 15	Draft new ITU-T Recommendation G.hnta – Generic home network transport architecture	WG7
054	ITU-T SG 15	Liaison statement – New versions of the Access Network Transport (ANT) Standardization Plan and Work Plan	WG7
055	WP7B	Liaison statement to Working Parties 4A, 5A, 5B and 5C – WRC-11 Agenda item 1.12	WG4
056	WP7B	Liaison statement to Working Party	WG5

		1B concerning the study of software defined radio and cognitive radio systems in Working Party 1B (copy for information to Working Parties 1A, 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6D, 6G, 7C, 7D)	
057	WP7B	Liaison statement to Working Party 5A – Sharing analyses between non-geostationary meteorological satellite systems operating in the space-to-Earth direction and mobile service systems in the band 7 850–7 900 MHz for WRC-11 Agenda item 1.24	WG4
058	WP7B	Liaison statement to Working Party 5A – Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R SA.[23 GHz SRS SHARING] – Sharing between the space research service (Earth-to-space) and the inter-satellite, fixed and mobile services in the band 22.55–23.15 GHz	WG4
059	Chairmen, SGs 5 and 6	Consideration on and proposals for the studies requested in Resolution 224 (Rev.WRC-07) and Resolution 749 (WRC-07)	Plenary
060	WP4B	Liaison statement to Working Parties 5A, 5B, 5C, 5D and Study Group 5 – Definition of networks that utilize both satellite and terrestrial components	WG7
061	WP4C	Liaison statement to Working Parties 7A, 7B, 7C, 7D, 4A, 4B, 6D, 6X, 6G, 1A, 1B, 1C, 5A, 5B, 5C and 5D (copy for information to Working Parties 3J, 3K, 3L and 3M) – Information for studies related to WRC-11 Agenda item 1.25	WG4
062	WP4A	Liaison statement to Working Party 5C for information and possible action to Working Parties 3M, 5A, 5B, 7B and 7C – Gateway links for high altitude platform stations in the range from 5 850 to 7 075 MHz	WG4
063	WP4A	Liaison statement to Working Parties 5A, 5C and 6X (copy for information	WG4



		and possible action to Working Parties 3M, 4B, 6D, 6G and 7D) – Use of the band 21.4–22 GHz for broadcasting–satellite service and associated feeder–link bands in Regions 1 and 3	
064	WP4A	Liaison statement to Working Parties 5A and 5C – Compatibility of broadband wireless access (BWA) networks and fixed–satellite service (FSS) networks in the 3 400–4 200 MHz band	WG4
065	ITU–T SG16	Liaison statement to Study Group 5 on Question ITU–R 223–2/8 “Internet protocol applications over mobile systems”	WG2, WG5
066	ITU–T SG16	Liaison statement to Study Groups in ITU and other Groups on initiation of a new question on vehicle gateway platform	WG2
067	Chairman, SG 5	Work on the topic addressed in document 5D/118 from Study Group 4	Plenary
068	ITU–T SG9	Reply liaison statement to WP 5A on BAS study	WG4
069	Chairman, SG 5	Availability of meeting reports of Working Parties	Plenary
070	WP 6A	Liaison statement to Working Party 5B (copied to Working Parties 5A, 5C, 7B and 7D for information) – Consider possible allocations in the frequency range 3–50 MHz to the radiolocation service for oceanographic radar applications – (WRC–11 Agenda item 1.15)	WG1
071	WP 6A	Liaison reply to Working Party 4C (copied to Working Parties 3J, 3K, 3L, 3M, 7A, 7B, 7C, 7D, 4A, 4B, 6A, 6B, 6C, 1A, 1B, 1C, 5A, 5B, 5C and 5D for information) – Studies related to WRC–11 Agenda item 1.25	WG4
072	Chairman, SG 5	Analytical list of the Recommendations within Working Party 5A	Plenary
073	WP6A	Liaison statement to Working Parties 5A, 5B, 5C, 7A and 7D – Sharing studies required for WRC–11 Agenda item 1.15	WG1

074	WP6A	Liaison reply to Working Party 5A (copied to WPs 5B and 5C for information) to consider an allocation of about 15 kHz in part of the band 415–526.5 kHz to the amateur service on a secondary basis, taking into account the need to protect existing services	WG1
075	Chairmen, SGs 5 and 6	Result of the first meeting of Joint Task Group 5–6	Plenary
076	WP6C	Liaison statement to Working Party 6A (and for information to Working Parties 5A and 5C) – Radio microphones system parameters operated in the mobile service	WG4
077	WP6A	Liaison statement to ITU–R Working Party 5B on additional allocations to the maritime mobile service below 1 GHz – (Copy for information to ITU–R Working Parties 5A, 5C, 7B, 7C and 7D)	WG4
078	WP6A	Liaison statement to ITU–R Working Party 5B on a primary allocation to the radiolocation service in the portion of the band 30–300 MHz (copy for information to ITU–R Working Parties 3L, 5A, 5C, 7B and 7D)	WG4
079	SG6	Liaison statement to ITU–R Working Party 5C (copy to Working Parties 4A, 4C, 5A, 6A, 6B, 6C, 7B and 7D for information) – Harmonization of spectrum for use by terrestrial electronic news gathering systems	WG4
080	WP1C	Liaison statement to Working Parties 5A, 5B, 5C, 6A and 6B (copy to Working Party 3L for information) – Radio noise in the HF frequency band	WG1
081	WP1B	Liaison statement to ITU–R WPs 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 6A, 7B, 7C and 7D (copy for information to ITU–R WPs 1A, 3J and 3K) – On the study of software–defined radio and cognitive radio systems	WG5
082	WP1A	Liaison statement to relevant Working	WG5

		Parties of Study Groups 3, 4, 5, 6, 7 – Information on short-range devices required for WRC-11 Agenda item 1.22	
083	IEEE	Parameters of radio interface technologies (copy for information to WP 5A)	WG4
084	IEEE	Revision of Recommendation ITU-R M.1801	WG7
085	IEEE	Revision of Recommendation ITU-R M.1801	WG7
086	Acting Chairmen, WP5A & WP5C	Organization of the work on fixed wireless access (FWA)	Plenary
087	IARU	Draft Liaison statement to Working Parties 5B, 5C and 6A – Work plan for studies related to WRC-11 Agenda item 1.23	WG1
088	Director, BR	CDMA-MC update for a revision of Recommendation ITU-R M.1801 – “Radio interface standards for broadband wireless access systems, including mobile and nomadic applications, in the mobile service operating below 6 GHz”	WG1, WG7
089	WMO	Preliminary WMO position on WRC-11 agenda	WG4, WG5
090	ITU-D SG2	Liaison statement – Proposal on the role of Telecommunication/ICT to be used for an integrated ICT network to monitor the avian influenza	Plenary
091	Director, Radiocommunication Bureau	Report on recent activities of radio interface standards for broadband wireless access systems in ARIB – Response to liaison statement to relevant external organizations sent out by Working Party 5A requesting input for a revision of Recommendation ITU-R M.1801	WG7
092	WP4B	Liaison statement to Working Parties 5A, 5C, 5D and 6A on Preliminary draft new Question ITU-R [HYBRID]/4 – “System architecture and performance aspects on hybrid satellite and terrestrial systems”	WG7
093	Editor Vol.5 LMH	Update on the correspondence	WG7

		activities since the 1st meeting of Working Party 5A	
094	ITU-T SG16	Liaison statement to Study Groups in ITU and other Groups on progress achieved in the Ad Hoc – Group on Vehicle Gateway Platform (VGP)	WG2
095	United States of America	Proposed changes to Report ITU-R M.2040	WG5
096	United States of America	Land mobile radio use of the VHF band and proposed response to liaison statement from Working Party 5B regarding WRC-11 Agenda item 1.14	WG4
097	United States of America	Draft reply to liaison statement from Working Party 1C – Radio noise in the HF frequency band	WG1
098	United States of America	Proposed changes to the working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[LMS.PPDR.VHF/UHF]	WG3
099	United States of America	Characteristics of systems in the land mobile service necessary for sharing studies in the band 2 483.5–2 500 MHz for Agenda Item 1.18	WG4
100	United States of America	Proposed changes to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[LMS.PPDR.VHF/UHF TECH]	WG3
101	United States of America	Update of working document towards a preliminary draft new Report – “Cognitive radio systems in the land mobile service”	WG5
102	United States of America	Draft liaison statement to Working Party 4A – Compatibility of broadband wireless access networks and fixed-satellite service (FSS) networks in the 3 400–4 200 MHz band	WG4
103	Russian Federation	Draft modification of Recommendation ITU-R F.387-10 – Radio-frequency channel arrangements for fixed wireless systems operating in the 11 GHz band	WG7
104	United Arab Emirates	Cognitive radio systems – Technical issues	WG5
105	United Arab Emirates	Preliminary draft new Recommendation – Software defined radios	WG5
106	Liaison Rapporteur	Report on disaster relief	Plenary
107	France	Proposed revision to the working	WG3

		document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[LMS.PPDR.VHF/UHF]	
108	Software Defined Radio Forum	Proposed modifications to working document towards a preliminary draft new Report [DOC.5A/TEMP26(Rev.1)]	WG5
109	Japan	Proposals for early completion of the work for draft revision of Recommendation ITU-R F.758-4 – Considerations in the development of criteria for sharing or compatibility between digital fixed wireless systems in the fixed service and systems in other services and other sources of interference	WG4
110	Japan	Review of certain Recommendations developed by former Working Party 9D	WG4
111	Japan	Draft updating of Recommendation ITU-R F.1335 – Technical and operational considerations in the phased transitional approach for bands shared between the mobile-satellite service and the fixed service at 2 GHz	WG4
112	Japan	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1336-2 – Reference radiation patterns of omnidirectional, sectoral and other antennas in point-to-multipoint systems for use in sharing studies in the frequency range from 1 GHz to about 70 GHz	WG4
113	Acting Chairman, WP 5A	Results from the meeting of Study Group 5 (18-19 February 2008) of interest to Working Party 5A	Plenary
114	Korea (Republic of)	Proposed text for working document towards a preliminary draft new Report: cognitive radio systems in the land mobile service	WG5
115	Director, BR	Report on recent activities of radio interface standards for broadband wireless access systems in TTA response to liaison statement to relevant external organizations sent out by WP 5A requesting input for a revision of Recommendation ITU-R M.1801	WG7
116	Canada	Proposed preliminary draft new Report ITU-R M[LMS.VHF-ISOLATION] – Study of the isolation between VHF land mobile radio antennas in close proximity	WG4

117	Canada	Comments on the working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[LMS.PPDR.VHF/UHF]	WG3
118	Canada	Revision of Recommendation ITU-R M.1801	WG7
119	Canada	Input to vocabulary of terms for cognitive radio systems	WG5
120	Canada	Requirements for cognitive radio systems	WG5
121	Canada	Proposed new Recommendation on quality of service (QOS) for wireless access systems	WG7
122	Canada	Elements of draft CPM text for WRC-11 A.I. 1.23	WG1
123	WMO	Status of the issue of C-Band meteorological radars interference from 5 GHz RLAN and specific case of potential use of 5 GHz RLAN on-board aircraft	WG4
124	Canada	Proposed draft reply liaison statement to Working Party 1B on the study of software-defined radio and cognitive radio systems	WG5
125	Japan	Proposed modification to a revision of Recommendation ITU-R M.1801 – Radio interface standards for broadband wireless access systems, including mobile and nomadic applications, in the mobile service operating below 6 GHz	WG7
126	Japan	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[MM-ITS] – Millimetre wave radiocommunication systems for ITS applications	WG2
127	Japan	Preliminary draft revision to Recommendation ITU-R M.1310 – Intelligent transport systems (ITS) – Objectives and requirements	WG2
128	Japan	Proposed revision for a preliminary draft new Report “Cognitive radio systems in the land mobile services”	WG5
129	Japan	Proposal for a preliminary draft new Question ITU-R [SAC]/5 – Mobile wireless access systems providing communications to a large number of ubiquitous sensors and/or actuators scattered over wide areas	WG5
130	Japan	Working document towards a preliminary draft new Recommendation/Report – Mobile wireless access systems providing	WG5

		communications to a large number of ubiquitous sensors and/or actuators scattered over wide areas	
131	WP 5D	Liaison statement to Working Party 5B (copy to Working Parties 5A and 6A for information) – IMT parameters in the 790–862 MHz frequency band	WG4
132	WP 5D	Liaison statement to Working Party 5B (copy to Working Parties 5A and 6A for information) – IMT parameters in the 790–862 MHz frequency band	WG4
133	IEEE	Proposed revisions to the working document towards a preliminary draft new Report – Cognitive radio systems in the land mobile service	WG5
134	WP 5D	Liaison statement to Working Parties 5A and 5C – Draft revision of Report ITU-R M.2113 – “Sharing studies in the 2 500–2 690 MHz band between IMT–2000 and fixed broadband wireless access systems including nomadic applications in the same geographical area”	WG4
135	Russian Federation	Proposal for establishing a draft new ITU-R Question and framework of corresponding draft new ITU-R Report	WG4
136	WP 4C	Liaison statement to Working Party 5A – Information for studies related to WRC–11 Agenda item 1.25	WG4
137	Alcatel–Lucent France, TELECOM ITALIA S.p.A., Nokia Siemens Networks, Nokia Corporation, MOTOROLA, Inc., Telefon AB–LM Ericsson, AT&T	Updated material on IMT–2000 CDMA DS and IMT–2000 CDMA TDD for a revision of Recommendation ITU-R M.1801	WG7
138	Nokia Corporation, Nokia Siemens Networks GmbH & Co. KG	A view towards the definition of “Cognitive radio systems”	WG5
139	Alcatel–Lucent France, Netherlands (Kingdom of the), Germany (Federal Republic of), France, TELECOM	Proposed contribution to working document towards a preliminary draft new Report – Cognitive radio systems in the land mobile service – Cognition supporting pilot channel	WG5

	ITALIA S.p.A., France Telecom		
140	Alcatel-Lucent France, Netherlands (Kingdom of the), Germany (Federal Republic of), France, TELECOM ITALIA S.p.A., France Telecom	Proposed contribution to working document towards a preliminary draft new Report – Cognitive radio systems in the land mobile service – Definition of cognitive radio systems	WG5
141	Alcatel-Lucent France, Netherlands (Kingdom of the), Germany (Federal Republic of), France, TELECOM ITALIA S.p.A., France Telecom	Proposed contribution to working document towards a preliminary draft new Report – Cognitive radio systems in the land mobile service – Cognitive networks	WG5
142	Liaison Rapporteur	Report on relevant activities in certain countries in region 1	Plenary, WG3
143	Canada	Applications of cognitive radio systems	WG5
144	WP 7B	Liaison statement to Working Parties 4A, 5A, 5B and 5C on WRC-11 Agenda item 1.12	WG4
145	WP 4A	Liaison statement to Working Parties 1B and 5A (information copy to Working Party 4C) – On the study of software-defined radio and cognitive radio systems (WRC-11 Agenda item 1.19)	WG5
146	WP 4C	Liaison statement to ITU-R Working Parties [5A], 5B and [5C] – WRC-11 Agenda item 1.18	WG4
147	WP 4A	Liaison statement to Working Party 5A (copy to Working Party 5C for information) – Studies on compatibility of broadband wireless access (BWA) networks and fixed-satellite service (FSS) networks in the 3 400–4 200 MHz band	WG4
148	Director, BR	Renumbered Questions within Study Group 5	Plenary
149	WP 5D	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 on ANTS (copy for information to ITU-R WP 5A)	WG7
150	WP 5D	Liaison statement to Working Party	WG5



		1A (copy for information to Working Party 5A) – Information on short-range devices required for WRC-11 Agenda item 1.22	
151	Alliance for Telecommunications Industry Solutions	Updated material on IMT-2000 TDMA-SC for a revision of Annexes 2 and 6 of Recommendation ITU-R M.1801	WG7
152	BR Study Group Department	List of documents issued	Plenary
153	WP 4A	Liaison statement to Working Party 5D (copy to Working Party 5A for information) – Methodologies for determining whether an IMT base station at a given location could transmit in the band 3 400–3 600 MHz without exceeding the PFD limits in Nos. 5.430A, 5.432A, 5.432B and 5.433A of the radio regulations	WG4
154	Liaison Rapporteur	Report on relevant activities in certain countries in Region 3	Plenary
155	WP 5B	Liaison statement to ITU-R Working Party 5A (and copy to WP 5C for information) on the study of Software-Defined Radio and Cognitive Radio Systems and their potential impact to the maritime mobile service including Global Maritime Distress and Safety System (GMDSS); Aeronautical mobile service and radiodetermination service	WG5
156	WP 6A	Liaison statement to Working Party 5C – Progress on WRC-11 Agenda item 1.5 – Harmonization of spectrum for use by terrestrial electronic news gathering systems	WG4
157	WP 6A	Liaison statement to Working Party 5B – Consider possible allocations in the frequency range 3–50 MHz to the radiolocation service for oceanographic radar applications (WRC-11 Agenda item 1.15)	WG1
158	WP 5C	Liaison statement to Working Party 5A – Preliminary review of certain F-series Recommendations developed by former Working Party 9D	WG4
159	WP 5C	Liaison statement to Working Party 4C (copy to WPs 5A and 5B for information) – Information for studies related to WRC-11 Agenda item 1.2	WG4
160	WP 5C	Liaison statement to Working Parties 6A and 5B (copy to WP 5A for	WG1

		information) – Consider possible allocations in the frequency range 3–50 MHz to the radiolocation service for oceanographic radar applications	
161	WP 5C	Liaison statement to Working Party 1A (copy to Working Parties 5A, 5B and 6A for information) – Interference issues from power line telecommunication systems using the electricity supply wiring	WG1
162	WP 5C	Liaison statement to Working Party 5A – Considerations relating to sharing and compatibility studies in support of WRC-11 Agenda item 1.23	WG1
163	WP 5C	Liaison statement to Working Party 5A (copy to WP 5B and ITU-T Study Group 2 for information) – Response liaison statement to Working Party 5A on possible suppression of message formats in Recommendation ITU-R M.1677	WG1
164	WP 5C	Liaison statement to Working Party 5B (copy to WPs 5A, 6A, 7A and 7D for information) – Sharing studies required for WRC-11 Agenda item 1.15	WG1
165	Liaison Rapporteur	Report on relevant activities in certain countries in Region 2	Plenary, WG3
166	Acting Chairman, WP 5C	Joint agreement on organization of the work on fixed wireless access	Plenary

表4 WP5A出力文章

文書番号 (5A/TEMP/ )	担当WG	題 目	処理
[ 37 ]	WG4	Preliminary draft new Report – Study of the isolation between VHF land mobile radio antennas in close proximity	議長レポート Annex 9
[ 38 ]	WG4	Liaison statement to Working Party 5C – Gateway links for high altitude platform stations in the range from 5 850 to 7 075 MHz	WP 5C に送付
[ 39 ]	WG7	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[WAS.QoS] – Performance and availability requirements and objectives for wireless access systems	議長レポート Annex 16
[ 40 ]	WG7	Liaison statement to WP 6B and ITU-T Study Groups 12, 15 and 16 on “Performance and availability requirements and objectives for wireless access systems”	WP 6B ITU-T SG 12 ITU-T SG 15 ITU-T SG 16 に送付
[ 41 ]	WG1	Liaison statement to Working Party 1C – Radio noise in the HF band	WP1Cに送付
[ 42 ] (Rev.1)	WG1	Working document towards draft CPM text – WRC-11 Agenda item 1.23	議長レポート Annex 4
[ 43 ]	WG1	Liaison statement to Working Parties 5B, 5C and 6A – Work plan for studies related to WRC-11 Agenda 1.23	WP 5B WP 5C WP 6A に送付
[ 44 ]	WG1	Liaison statement to WPs, 5B, 5C, 6A on “A working document towards draft CPM text for WRC-11 Agenda item 1.23	WP 5B WP 5C WP 6A に送付

[ 45 ] (Rev.1)	WG 5	Preliminary draft new Question ITU-R [LMS.SAC]/5 – Mobile wireless access systems providing communications to a large number of ubiquitous sensors and/or actuators scattered over wide areas	議長レポート Annex 12
[ 46 ] (Rev.1)	WG7	Liaison statement to external organizations – Request for input for a revision of Recommendation ITU-R M.1801 – Radio interface standards for broadband wireless access systems, including mobile and nomadic applications, in the mobile service operating below 6 GHz	external organizations に送付
[ 47 ]	WG7	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1801 – Radio interface standards for broadband wireless access systems, including mobile and nomadic applications, in the mobile service operating below 6 GHz	議長レポート Annex 15
[ 48 ]	WG7	Draft revision of Question ITU-R 215-2/5 – Frequency bands, technical characteristics, and operational requirements for fixed wireless access systems in the fixed and land mobile services	承認されSG5 での審議へ (議長レポートAnnex 2)
[ 49 ]	WG2	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1310	議長レポート Annex 6
[ 50 ]	WG7	Liaison statement to Working Party 4B on preliminary draft new Question ITU-R [HYDBRID]/4 – “System architecture and performance aspects on hybrid satellite and terrestrial systems”	WP 4B に送付
[ 51 ]	WG2	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[MM-ITS] – Millimetre wave radiocommunication systems for ITS Applications	議長レポート Annex 5

[ 52 ]	WG4	Liaison statement to external organizations – Invitation to review preliminary BWA characteristics for use in compatibility studies with fixed-satellite service systems in 3 400–4 200 MHz	external organizations に送付
[ 53 ]	WG4	Liaison statement to Working Party 1A – Preliminary draft new Report ITU-R M.[LMS.VHF-ISOLATION] “Study of the isolation between VHF land mobile radio antennas in close proximity”	WP 1A に送付
[ 54 ]	WG4	Liaison statement to Working Party 7B – Sharing between the space research service (Earth-to-Space) and the inter-satellite, fixed and mobile services in the band 22.55–23.15 GHz	WP 7B に送付
[ 55 ]	WG4	Liaison statement to Working Party 4A (copy for information to WP 5C) – BWA characteristics for use in compatibility studies with fixed-satellite service systems in 3 400–4 200 MHz	WP 4A WP 5C に送付
[ 56 ]	WP 5A (プレナリーにて作成)	Liaison statement to ITU-D Study Group 2 – Role of telecommunication/ICT to be used for an integrated ICT network to monitor the avian influenza	議長レポート Annex 2
[ 57 ] (Rev.1)	WG7	Draft correspondence from the land mobile handbook rapporteur to external organizations (CDG, GSM-A, UMTS Forum, and WIMAX Forum) – Material for the land mobile handbook on the deployment of broadband wireless access systems	議長レポート Annex 3
[ 58 ]	WG3	Liaison statement to external organizations – invitation for contributions on the proposed draft new Report ITU-R M.[LMS.PPDR.UHF TECH]	external organizations に送付

[ 59 ]	WG3	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[LMS.PPDR.UHF TECH] – Radio interface standards that could be used for public protection and disaster relief operations in the 746–806 MHz band in Region 2 and some countries in Region 3	議長レポート Annex 8
[ 60 ] (Rev.1)	WG3	Preliminary Draft New Recommendation ITU-R M.[LMS.PPDR. UHF] – Harmonized frequency arrangements for public protection and disaster relief operations in the ranges 380–470 MHz in [certain countries in] Region 1 and 746–806 MHz in Region 2 and some countries in Region 3	議長レポート Annex 7
[ 61 ] (Rev.1)	WG4	Liaison statement to Working Party 5B (Copy to Working Party 5C for information) – Land mobile radio use of the VHF Band and proposed response to liaison statement from Working Party 5B regarding WRC-11 Agenda item 1.14	WP 5B WP 5C に送付
[ 62 ]	WG4	Draft liaison statement to Working Party 4A – Use of the Band 21.4–22 GHz for broadcasting–satellite service and associated feeder–link bands in Regions 1 and 3 – (WRC-11 Agenda item 1.13)	Withdrawn
[ 63 ]	WG3	Meeting report for Working Party 5A, Working Group 3 – Public protection and trunking	議長レポート Annex 3
[ 64 ] (Rev.1)	WG5	Liaison statement to ITU-R Working Parties 1A, 1B, 4C and 5B and ITU-D SG2 – The study of mobile access systems providing communications to a large number of ubiquitous sensors and/or actuators scattered over wide areas	WP 1A WP 1B WP 4C WP 5B WP 5D WP 7C ITU-D SG 2 ITU-T SG 16 に送付

[ 65 ] (Rev.1)	WG5	Working document towards a preliminary draft new [Recommendation/Report] – Mobile wireless access systems providing communications to a large number of ubiquitous sensors and/or actuators scattered over wide areas in the land mobile service	議長レポート Annex 13
[ 66 ]	WG2	Reply liaison statement to ITU-T Study Group 16 – Initiation of a new Question on Vehicle Gateway Platform	SG16 に送付
[ 67 ] (Rev.1)	WG7	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 on ANTS (copy for information to WP 5D)	SG15 WP5D に送付
[ 68 ]	WG4	Draft liaison statement to Working Party 5C – Harmonization of spectrum for use by terrestrial electronic news gathering systems (WRC-11 Agenda item 1.5)	Withdrawn
[ 69 ] (Rev.1)	WG4	Liaison statement to WP 5B – Possible use of 5 GHz RLAN on board aircraft	WP 5B に送付
[ 70 ] (Rev.1)	WG4	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[LMS-CROSS-BORDER] – Guidance to administrations wishing to reach an agreement on compatibility within the land mobile service and sharing between stations of the land mobile service with stations of other terrestrial services operating in the neighbouring countries in [the frequency bands above 29.7 MHz]	議長レポート Annex 10
[ 71 ]	WG1	Working Group 1 Chairman's Report	議長レポート Annex 3
[ 72 ] (Rev.1)	WG5	Liaison statement to Working Party 1A (copy for information to WPs 5B, 5C and 5D) – Information on short-range devices related to WRC-11 Agenda item 1.22	WP 1A WP 5B WP 5C WP 5D に送付

[ 73 ] (Rev. 2)	WG 5	Liaison statement to Working Party 1B on the study of software-defined radio and cognitive radio systems (copy for information to WPs 5B and 5C)	WP 1B WP 5B WP 5C に送付
[ 74 ] (Rev.1)	WG5	Working document toward a preliminary draft revision to Report ITU-R M.2040 – Adaptive antennas concepts and key technical aspects	議長レポート Annex 14
[ 75 ]	WP 5A (Ad hoc Vocabulary Group)	Report of the Convenor of the Ad Hoc Vocabulary Group	議長レポート Annex 3
[ 76 ]	WG4	Liaison statement to Working Party 4C – WRC-11 Agenda item 1.18	WP 4C に送付
[ 77 ]	WG 2	Chairman’s report of Working Group 5A-2 – Intelligent Transport Systems (including APSC Rapporteur’s report)	議長レポート Annex 3
[ 78 ] (Rev.1)	WG 5	Working document towards a preliminary draft new Report – Cognitive radio systems in the land mobile service	議長レポート Annex 11
[ 79 ]	WG4	Liaison statement to Working Party 7B – Sharing analyses between non-geostationary meteorological satellite systems operating in the space-to-Earth direction and mobile service systems in the band 7 850–7 900 MHz for WRC-11 Agenda item 1.24	WP 7B に送付
[ 80 ]	WG4	Liaison statement to Working Party 7B – (WRC-11 Agenda item 1.12)	WP 7B に送付
[ 81 ]	WG4	Liaison statement to Working Party 4C –> (WRC-11 Agenda item 1.25)	WP 4C に送付
[ 82 ]	WG 7	Report on the activities of Working Group 7 – Wireless access systems, including RLANs	議長レポート Annex 3
[ 83 ]	WP 5A	Draft Annex 1 to WP 5A Acting Chairman’s Report – Working Party 5A management	議長レポート Annex 1



[ 84 ]	WP 5A	Guide to the use of ITU-R texts related to the Land Mobile Service	議長レポート Annex 2
[ 85 ]	WG 5	Draft Terms of Reference for the Correspondence Group activity on cognitive radio system between 2nd and 3rd Working Party 5A meetings	議長レポート Annex 3
[ 86 ]	WG5	Meeting report of Working Group 5A5 – Technology	議長レポート Annex 3

ITU-R SG5 WP5A 第2回会合 日本代表团

	氏名	所属
団長	西室 洋介	総務省総合通信基盤局電波部移動通信課係長
	梶原 隆道	総務省総合通信基盤局電波部基幹通信課補佐
	荒木 正治	ドコモ・テクノロジー(株) 知的財産部 担当部長
	小川 博世	(社)電波産業会 研究開発本部 次長
	大本 隆太郎	日本電信電話(株) NTTアクセスサービスシステム研究所 ワイヤレスアクセスプロジェクト 主任研究員
	岡 誠一	(社)日本アマチュア無線連盟 総務部 部長付(国際問題担当)
	小山 敏	(株)日立製作所トータルソリューション事業部 道路交通システム部 担当部長
	樫木 勸四郎	(株)KDDI研究所 コグニティブ無線G 主幹研究員
	上村 治	(株)ウィルコム 電波企画部 課長
	小坂 克彦	(独)情報通信研究機構 研究推進部門 標準化推進グループ
	酒井原 邦彦	パナソニック株式会社(株) システムソリューションズ社 先行技術センター コア技術開発グループ ネットワーク技術チーム 主任技師
	佐藤 勝善	(独)情報通信研究機構 新世代ワイヤレス研究センター ユビキタスマバイルグループ 主任研究員
	清水 雅史	日本電信電話(株) 未来ねっと研究所 ワイヤレスシステムイノベーション研究部 主幹研究員
	西森 健太郎	日本電信電話(株) 未来ねっと研究所 ワイヤレスシステムイノベーション研究部 主任研究員
	橋本 明	(株)NTTドコモ 無線標準化推進室長
	村上 誉	(独)情報通信研究機構 新世代ワイヤレス研究センター ユビキタスマバイルグループ 主任研究員
	山崎 高日子	三菱電機(株) 通信システム事業本部 通信システムエンジニアリングセンター 戦略事業推進グループ 専任
	山本 俊明	(株)国際電気通信基礎技術研究所 適応コミュニケーション研究所 自律システム研究室 研究員
	吉野 仁	NTTドコモ(株) 先進技術研究所 研究推進グループ 主幹研究員

# ITU-R SG5 WP5B(第2回)会合報告書

## 1 WP5B

### 1.1 所掌

WP5Bは、国際電気通信連合無線通信部門(ITU-R)の第5研究委員会(SG5:陸上・海上・航空移動業務、無線測位業務、アマチュア・アマチュア衛星業務、固定業務)の1作業部会であり、無線測位業務、航空移動業務及び海上移動業務を扱っている。

### 1.2 会議の概要

(1) WP5B第2回会合は、2008年10月29日(水)から11月7日(金)までの10日間、スイス国ジュネーブ市のITU本部において開催された。本会合には、41の主管庁、3のSIO、6のROA、6の地域国際機関及び3の国連専門機関から214名が参加、日本からは表1に示す10名が出席した。

(2) WP5B議長は、Mr. J. Mettrop(英)が担当し、表2に示す3つのWG(5B1、5B2、5B3)を設置し、135件の寄与文書(前回会合からの継続文書5件、5B/45 Annex1-27, 5B/46-174)について審議を行い、新勧告草案2件、改定勧告草案1件、新レポート草案1件、新課題草案2件の全6件をSG5へ送付した。

リエゾン文書24件を他のWP及び組織あてに、そして改訂勧告に係る覚書1件を無線通信局長あてに送付した。更に次回WP5Bでの作業文書30件(WP5B所管のWRC-11の7つの議題のCPMテキスト、作業計画と日程を含む。)の出力文書を作成した。

SG5議長から提出されたMシリーズ勧告リストの見直しについては問題はなかった。

(3) 覚書(情報)としての寄与文書は、次の12文書のとおり。

5B/46, 47, 48, 54, 56, 65, 66, 67, 71, 74, 158, 162

(4) WP5Bの長期作業日程表(5B/45 Annex19)の審議を行い変更なく作成された。

(5) コレスポネンダグループ及び他グループとのリエゾンラポーターは次のとおり。

Group	E-mail reflector	FTP server	Convenor
Working Party 5B	<a href="mailto:rwp5b@itu.int">rwp5b@itu.int</a>	<a href="http://ties.itu.int/u/itu-r/ede/rsg5/rwp5b">http://ties.itu.int/u/itu-r/ede/rsg5/rwp5b</a>	Mr. John Mettrop (英)
Radar WG	<a href="mailto:rwp5b-radar@itu.int">rwp5b-radar@itu.int</a>	<a href="http://ties.itu.int/u/itu-r/ede/rsg5/rwp5b/rwp5b-radar">http://ties.itu.int/u/itu-r/ede/rsg5/rwp5b/rwp5b-radar</a>	Mr. David Reed (米)
Maritime WG	<a href="mailto:rwp5b-maritime@itu.int">rwp5b-maritime@itu.int</a>	<a href="http://ties.itu.int/u/itu-r/ede/rsg5/rwp5b/rwp5b-maritime">http://ties.itu.int/u/itu-r/ede/rsg5/rwp5b/rwp5b-maritime</a>	Mr. Jon Turban (米)
Aeronautics I WG	<a href="mailto:rwp5b-aero@itu.int">rwp5b-aero@itu.int</a>	<a href="http://ties.itu.int/u/itu-r/ede/rsg5/rwp5b/rwp5b-aero">http://ties.itu.int/u/itu-r/ede/rsg5/rwp5b/rwp5b-aero</a>	Mr. Hugues De Bailliencourt (仏)
Radar unwanted emissions	<a href="mailto:rwp5b-radar-ue@itu.int">rwp5b-radar-ue@itu.int</a>	<a href="http://ties.itu.int/u/itu-r/ede/rsg5/rwp5b/rwp5b-radar-ue">http://ties.itu.int/u/itu-r/ede/rsg5/rwp5b/rwp5b-radar-ue</a>	Ms. Lisa Clark (加)

WP 5D

WP 6A, WP 5C, WP 5A

IEC-TC80 on test standards for GMDSS equipment

IALA

ISO

T.B.C.

Mr. Paul Rinaldo (米)

Mr. Kim Fisher (英)

Mr. Alan Stewart (英)

Mr Jon Turban (米)

(6) キャリーオーバーされた文書は次のとおり。

5B/10, 20, 45Annex1, 45Annex7, 45Annex8, 45Annex16, 62, 85, 86, 88, 100, 105, 114, 127, 131, 147, 149

なお、表5に入力文書一覧、表6に出力文書一覧を示す。

表1 日本からの出席者

氏名	所属
広瀬 毅	総務省 総合通信基盤局 電波部 衛星移動通信課 国際係長
橋本 明	(株)NTTドコモ 無線標準化推進室長
小坂 克彦	(独)情報通信研究機構 研究推進部門標準化推進グループ
藤井 智史	琉球大学 工学部 教授
古川 恵太	国土交通省 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋研究部 海洋環境研究室長
永松 宏	国際航業株式会社 コンサルタント事業本部 河川・環境事業部 海洋情報室
古山 賢二	日本無線(株) 海上機器事業部 部長
立岡 良夫	日本放送協会 技術局計画部 副部長
三留 隆宏	(株)日立製作所 トータルソリューション事業部 公共・社会システム本部 公共システム部 主任技師
北沢 弘則	(株)K&A スペクトラムインテグレーション 代表取締役社長

表2 WP5Bの審議体制

グループ	担務内容	議長
WP5B	陸上・海上・航空移動業務、無線測位業務、アマチュア・アマチュア衛星業務、固定業務	Mr. J. Mettrop(英)
WG5B1	無線測位業務	Mr. D. Reed(米)
DG5B1a	・WRC-11議題1.14関連 30-300MHz宇宙デブリ用レーダ周波数割当	Mr. Kadyrov(口)
DG5B1b	・WRC-11議題1.15関連 短波海洋レーダの3-50MHzの周波数割当	Ms. L. Clark(加)
DG5B1c	・WRC-11議題1.21関連 15.4-15.7GHz帯無線標定業務一次割当	Ms. Zeleke(米)
	・レーダー不要輻射に係るRG議長の報告 ・関連議長報告案 ・暫定新勧告案の見直し	
WG5B2	航空移動業務	Mr. H. de Bailliencourt(仏)

DG5B2a	・WRC-11議題1.4関連その他 112-117.975/960-1164/5000-5030 MHz帯に おける新たなAM(R)S の利用	Mr. E. Allaix(仏)
DG5B2b	・87-108 MHz付近の音声放送業務と108-137 MHz 帯の新航空業務との両立性	
DG5B2c	・WRC-11議題1.3関連 無人航空機システム(UAS)のスペクトラム要求	Mr. M. Lewllen(米)
	・無線航空機内通信(WAIC)及びその他	Mr. J. Taylor(加)
	・関連ITU-R勧告の見直し	
WG5B3	海上移動業務	Mr. J. Turban(米)
DG5B3a	・WRC-11議題1.9関連 HFデータ通信の導入のためにHF帯周波数分配 (RR 附録第17)の見直し	Mr. S. Ward(米)
DG5B3b	・WRC-11議題1.10関連 船舶及び港湾の安全性向上のための規則と周 波数分配の検討	
DG5B3c	・AIS及びVHFデータ通信関連	1週目: Mr. A. Stewart(英) 2週目: Mr. S. Ward(米)
DG5B3d	・ITU 刊行物関連	Mr. J. Steenge(蘭)
Ad-hoc	・DSC関連及びその他	Mr. J. Turban(米)
	・ソフトウェア無線(SDR)及びコグニティブ無線(CRS)	Mr. J. Conner(米)

## 2 審議の内容

### 2.1 WG5B1 (無線測位業務関係)

WG5B1はMr. D Reed(米)が担当し、プレナリー会議を3回開催。WRC-11議題関連の案件は3件(議題1.14, 1.15 1.21)。扱った入力文書は全50件。出力文書は全21件(SG5会合へ3件(勧告案2件、レポート案1件)。他のWPへのリゾソ文書8件。議長報告書に添付した文書10件。)。次回WP会合へキャリアフォワードした文書7件(5B/45Annex1, 45Annex7, 45Annex8, 45Annex16, 5B/100, 127, 131)。

なお、WG5B1では主要事項の検討を行うために、3つのDGを立上げ、表2に示す議長の下で審議し出力文書を作成した。

入力文書: Doc.8B/441 Annex16, 441 Annex22, Doc.8B/641 Annex8, Doc.5B/45 Annex1, 45 Annex2, 45 Annex3, 45 Annex7, 45 Annex14, 45 Annex15, 45 Annex16, 45 Annex18, Doc.5B/25, 51, 52, 68, 71, 72, 76, 77, 78, (81), (82), 83, (84), 89, 91, 95, 100, 103, 104, 112, 113, 118, 121, (122), 123, 124, 125, 126, 127, 128, 131, 132, 140, 141, 142, 143, 151, 152, 156, 158, 164, 167, 171

出力文書: Doc.5B/TEMP/41, 42, 43, 51, 52Rev.1, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68

#### 2.1.1 30-300MHz宇宙デブリ用レーダー周波数割り当て関連(DG5B1a)

本件はWRC-07において、WRC-11議題1.14とすることが承認されたもの。議題の内容は、30-300MHz帯宇宙デブリ観測レーダー用無線標定業務の周波数割当てについて検討すること。

今回、Kadyrov議長(露)のドラフティンググループDG5B1a(3回開催)で9件の入力文書について

審議を行い、最終的に7件の出力文書を作成した。

入力文書： Doc.5B/45 Annex14, Doc.5B/76, 89, 140, 141, 142, 143, 152, 164

出力文書： Doc.5B/TEMP/58, 59, 60, 64, 66, 67, 68

露提案(5B/140)を基に、第2地域と中国で138-144MHzを用いていること、そしてその周波数帯のレーダーシステムの技術諸元を154-156MHz帯レーダーと他業務との共用検討に追加した新レポート案への作業文書を作成した(5B/TEMP/64)。ここでは、両周波数帯における移動及び固定業務の保護基準値として[12dB( $\mu$ V/m)/25kHz]が想定されており、航空移動業務の基準値は更なる検討が必要としている。また、勧告M.1802附属書から上記新レポート案の共用検討部分を削除する露の改訂草案(5B/143)について、勧告P.1546ではなく勧告M.1461 を他業務との共用検討に利用することを[]付きでrecommend及びAnnex1の技術特性の章に追加し承認した(5B/TEMP/67)。

CPM報告書案については、154-156MHz帯の移動及び固定業務との共用検討及び156-174MHz帯の他業務との隣接検討を追加する露提案(5B/141)と138-144MHz帯の共用検討に言及した仏提案(5B/152)をそれぞれ[]付きで記載する作業文書を作成した(5B/TEMP/68)。また、露から提案された作業計画案(5B/142)を議論した結果、関連勧告及びレポートの完成を第4回とする等の修正を加えて承認した(5B/TEMP/66)。

リエゾンについては、WP6A(Doc.5B/76, 164)を審議し76-108MHz帯放送業務については今のところ検討対象ではないこと、放送業務との共用検討の場合はWP6Aと共同作業する旨、ラポータをSorokin氏(露)として作業計画案と共に送付した(5B/TEMP/60)。他にWP5A、WP5C、WP7Bに対して138-144MHz帯と154-156MHz帯を共用検討対象としている旨を作業計画案と共に送付した(5B/TEMP/58, 59, 60)。

### 2.1.2 短波海洋レーダー周波数割当関連(DG5B1b)

本件はWRC-07において、3-50MHz帯における短波海洋レーダーに対する周波数分配要求をWRC-11議題1.15とすることが承認されたもの。議題の内容は、ワークプラン、CPMテキスト案、レーダー特性、共存条件、関連WPとのリエゾンについての検討。

表3に前回WPからの文書の流れを掲載する。今回、Ms. L. Clark議長(加)のドラフティンググループDG5B1b(2回開催)で全21件の入力文書について審議を行い、全6件の出力文書を作成した。

入力文書： Doc.5B/45 Annex3, 45 Annex15, 45 Annex18, Doc.5B/51, 52, 68, 72, 77, 78, 104, 112, 118, 125, 126, 127, 128, 131, 151, 165, 167, 171

出力文書： Doc.5B/TEMP/51, 52Rev1, 53, 54, 56, 57

審議の詳細は下記(1)から(5)に示す。これら以外に、5B/127, 131は未だ検討不十分として出力には反映せず、次回WP5B(第3回)へキャリアフォワードすることとした。

表3 WRC-11 議題1.15関連文書の流れ

分類	WRC-07からの出力	WP5B第1回からWP5B第2回への議長報告	WP5B第2回への入力文書	WP5B第2回からの出力文書	今後
ワークプラン	決議612	5B/45 Annex18	5B/128(仏)	5B/TEMP/53	
CPMテキスト	[COM6/15]	5B/45 Annex15	5B/151(仏)	5B/TEMP/57	CPM Text

レーダ特性	課題240/8	5B/45 Annex3	5B/118(米) 5B/126(仏)	5B/TEMP/56	PDNRep.
共存条件			5B/125(仏) 5B/127(仏) 5B/131(米)	5B/TEMP/54	PDNRep.
リエゾン			共用検討の技術情報関連 5B/51(WP5A) 5B/52(WP7D) 5B/72(WP6A) 5B/77(WP3L) 5B/78(WP3L) 5B/171(WP5C) 5B/165(WP6A) 5B/104(加)	5B/TEMP/51	
			勧告M.2080との関連 5B/68(WP6A) 5B/167(WP5C) 5B/112(米)	5B/TEMP/52 Rev1	

(1) 作業計画(ワークプラン)

今回のWPで議題1.15のCPM作成に向けたワークプランが設定された(5B/TEMP/53)。第4回までに共用条件の検討を終了し最終のリエゾン文書を関係WPへ発出、第5回でレポートと勧告の完成、CPM文書等の合意を目指す。ただし、議論の進捗を憂慮し、第3回と第4回の間にWP5Bを追加開催すべきとの意見も出されている(場所・時期は未定:米国がホストの検討を表明)。このプロセスにおいて海洋レーダーの推進している米国との十分な情報共有・連携が必要である。

入力文書: Doc.5B/45 Annex18, Doc.5B/128

出力文書: Doc.5B/TEMP/53

(2) CPMテキスト案

今回、短波海洋レーダーの基本的特性を記した ITU-R M.[HF-RADAR]及び、既存サービスとの共用条件を検討する ITU-R M.[RLS 3-50MHz SHARING]の2つを骨子とするCPMレポートの骨子が提案された。具体的内容は、まだ記述されずに骨子のみである。

入力文書: Doc.5B/45 Annex15, Doc.5B/151

出力文書: Doc.5B/TEMP/57

(3) レーダー特性の暫定新報告案

第1回のWP5Bにおいて、日本および米国からの入力文書を元に5B/45 Annex3として、短波海洋レーダーの特性が記述された。今回、5B/118(米)が提出され、DGにおいて、PDNR M.[HF-RADAR]として取りまとめられ、米・フランス・日本のシステムを基本に記載がなされた(5B/TEMP/56)。

今後、我が国のシステム情報の記載に遺漏ないこと、技術情報に誤りがないこと等に注視し、作成文書をチェックしていくことが必要である。

入力文書: Doc.5B/45 Annex3, Doc.5B/118, 126

出力文書: Doc.5B/TEMP/56

(4) 共存条件の暫定新報告案

第1回のWP5Bにおいて、日本および米国からの入力文書を元に5B/45 Annex3として、短波

海洋レーダー特性の中の共存条件の検討の部分及び、今回、5B/125(仏)、5B/127(仏)、5B/131(米)が提出され、DGにおいて、PDNR M.[RLS 3-50MHz SHARING]としてとりまとめられ、短波海洋レーダー信号の伝搬モデルの選定、他のサービス保護のための空間的分離距離、周波数的分離距離の設定方法といった点が技術的検討課題として記述された(5B/TEMP/54)。

本報告案については、順次、寄与文書、リエゾン文書等によりWP5Bだけでなく、WP5A、WP5C、WP6A、WP7Bなどに情報提供しながら検討を進めることとなっているので、我国のシステム特性等を考慮した寄与文書の提出も含め作成文書のチェックをしていく必要がある。

なお、次回WP5B第3回へキャリアフォワードされた文章(5B/127, 131)の中で、周波数を3つのカテゴリ分けが提案されている(A: 共用検討を行うことが好ましい帯域、B: 検討は可能であるが共用は困難と思われる帯域、C: 通信の安全性を考慮し、無線標定業務の新システムの導入は避けるべき帯域)。このBをどのように扱うのか(Bだから排除するのか、特別な検討を行って場合としては容認するのか)の議論が今後行われるかもしれないことを考慮する必要がある。今後、我が国のシステム情報の特性に合わせ、記載に遺漏ないこと、技術情報に誤りがないこと等に注視し、適宜、寄与文書を積極的に発信すべきと思われる。

入力文書: Doc.5B/45 Annex3, Doc.5B/125, 127, 131

出力文書: Doc.5B/TEMP/54

#### (5) 他WPへのリエゾン文書

関連WP(放送業務等)から入力された共用検討に関する配慮事項を指摘するリエゾン回答に対し、指摘に配慮しながら作業を進める旨のリエゾン返信(5B/TEMP/51)を行った。また、ITU-R報告書M.2080(4-10MHz帯の共用条件)の改訂と並行しての作業を提案するリエゾンに対しては、本件(議題1.15)の審議は、その特殊性からM.2080と切り離し、WP5Bが専任して審議する改正を進める旨のリエゾン返信(5B/TEMP/52Rev.1)を行った。

入力文書: Doc.5B/ 51, 52, 68, 72, 77, 78, 104, 112, 165, 167, 171

出力文書: Doc.5B/TEMP/51, 52Rev.1

### 2.1.3 15.4-15.7GHz帯での無線標定業務への一次分配関連(DG5B1c)

本件はWRC-07において、WRC-11議題1.21とすることが承認されたもの。議題の内容は、15.4-15.7GHz帯での無線標定業務への一次分配について検討すること。

今回、Ms. L. Zeleke議長(米)のDG5B1cで4件の入力文書について審議を行い、6件の出力文書を作成した。

入力文書: Doc.5B/45 Annex1, 45 Annex16, Doc.5B/103, 132

出力文書: Doc.5B/TEMP/55, 61, 62, 65

5B/45 Annex1, 45 Annex16 については、寄与が無いため次回 WP へキャリアフォワードし、フィンランド及び米からの寄与文書 5B/103, 132 をもとに I/N や検討の計算手法について議論し、新レポート案のための作業文書を作成した(5B/TEMP/55)。また、今後の作業計画案を検討し、2009年9月までに関連報告・文書の作成を終了するとした計画案を承認した(5B/TEMP/65)。

また、WP4A 及び WP7D へのそれぞれのリエゾンを作成、作業計画案と共に送付した(5B/TEMP/61, 62)。



## 2.1.4 無線測位業務で運用されるレーダーの特性及び保護基準(課題226/8)

### (1) 地上設置気象レーダー特性(WD-PDNR)

5B/91(WMO): 新勧告草案 MET-RAD の Attachment1 を新勧告案「METRADAR」(5B/TEMP/42)として、Attachment 2 を新レポート案「METRAD-TEST」(5B/TEMP/41)として WP5B へ上程。

入力文書: Doc.5B/45 Annex2, Doc.5B/91, 121

出力文書: Doc.5B/TEMP/41, 42

### (2) ウインドプロファイラーレーダー特性(WD-PDNR)

8B/641 Annex8については、今回寄与文書が無かったため次回WP5Bでの寄与を期待することとし、前会期2003-2007から次回会合へキャリアフォワードすることとした。

入力文書: Doc.8B/641 Annex8

出力文書: なし

### (3) 5250-5850MHz帯のレーダー特性(WD-PDRR ITU-R M.1638)

8B/441 Annex16については、2年以上ものあいだ寄与文書がなかったことから、次回会合へはキャリアフォワードしないこととした。

入力文書: Doc.8B/441 Annex16

出力文書: なし

## 2.1.5 1215 – 1300 MHz 帯レーダー 決議 608 (WRC-03), RNSS からのレーダ保護

寄与文書を考慮する時間が無かったとして決定を次回まで延期を提案、仏支持。露も進展が必要な内容であり、次回審議を行う。

入力文書: Doc.5B/45 Annex 7, Doc.5B/100

出力文書: なし

## 2.1.6 無線測位レーダーシステム保護のため、統計 及び運用局面の使用に関する目的と実現の可能性

8B/441 Annex22については、2年以上ものあいだ寄与文書がなかったことから、次回会合へはキャリアフォワードしないこととした。

入力文書: Doc.8B/441 Annex 22

出力文書: なし

## 2.1.7 干渉評価のためのレーダ放射パターンの計算モデル

5B/113(米): 新勧告案「干渉評価のためのレーダ放射パターンの計算モデル」へエディトリアルな修正を反映し、WP5Bへ上程(5B/TEMP/43)。

入力文書: Doc.5/25 Rev.1, Doc.5B/95, 113

出力文書: Doc.5B/TEMP/43

## 2.1.8 レーダー不要輻射に係るラポーターグループ(RG)からの報告

レーダー不要輻射に係る RG からの議長報告について、WP5B から WP1A にリエゾンを送付。(5BTEMP/63)

入力文書: Doc.5B/83

出力文書: Doc.5B/TEMP/63

## (1) 概要

2008年10月27-28日の2日間、スイス・ジュネーブにおいて第2回WP5B RG会合が開催された。

※ 本件RG会合は前会期のWP8Bにおいて終了となったJRG会合の後を受け、ITU-R勧告SM.1541-2 Annex8の設計目標 (Design Objective) について検討を行う会合である。

今回の第2回RG会合は、第2回WP5B会合の直前に開催され、RG議長のMs. Lisa Clark (加) 及びWP1AラポーターのMr. ABBAS (英) のもと、日本、米国、英国、フランス、ドイツ、オーストラリア、ロシアの8カ国から約25名の参加があった。日本からは北沢弘則氏が参加した。

## (2) 検討結果

第2回RG会合は全部で6回行われ、その検討内容は次のとおりであり、結果はRG議長報告としてWP5Bに入力された後、WP5BからWP1Aにリエゾン報告された。

1. 入力文書 (レーダーカテゴリーに関する3入力文書及びB-40帯域幅の計算式に関する3文書) の確認とワークプラン (RG-2) の作成
2. レーダーカテゴリーとそれぞれのB-40帯域幅の計算式、ロールオフマスクの適合に関する一覧の作成
3. 次回RG会合のスケジュール検討を行った。

今回第2回RG会合の前にWP1AからRGに送られたリエゾン文書には、前回第1回RG会合から具体的な目標及び計算式に関する報告がなされなかったことに対する不満が書かれており、今回第2回RG会合は、このままRGにおいて「ITU-R勧告SM.1541-2 Annex8」の審議が継続されるかどうか、今後の方向性を決める重要な会合であった。

具体的に今回のRG会合では、将来のレーダー方式として採用されるであろうFMCWレーダーの中で更に細分化された方式についてB-40帯域幅の計算式、さらにロールオフについて検討を行った入力文書が議論された。しかしながら、理論考察でとどまり、実際の測定データ等はなく、計算式やロールオフを検討する材料として十分ではなかった。米国からSARIに関する測定データと英国からQinetiQによる測定データの提出があったが、周波数変調パルスやFMCWに関するデータはほとんど無い状態であった。

このためワークプラン作成の段階で、前会期のJRG会合で陥った議論 (具体的な実施時期の検討が将来方式のレーダーカテゴリーの問題で振り回され、本来の検討すべき方向を見失う。) が再燃したが、結局、マイルストーンとして以下のワークプランが決められ、RG議長報告としてWP5Bに入力し、WP1Aにリエゾンバック (5B/TEMP/63) された。

- ・ 第2回WP 5B会合 2008年10月
  - レーダー波形の暫定カテゴリー
  - LFMCW方式のB-40帯域幅の計算式
  - LFMパルス方式のB-40帯域幅の計算式
- ・ 第3回WP 5B会合 (2009年5月予定)
  - レーダー波形及び (又は) 運用要件のカテゴリーに係る同意

LFMCW及びLFMPパルス方式のB-40帯域幅の最終定義

無変調パルス方式のB-40帯域幅の計算式

位相コード波形のB-40帯域幅の計算式

- ・ 第4回WP 5B会合(2009年11月予定)  
実用的な帯域幅の計算式の取扱係数  
レーダーの異なる波形及び(又は)カテゴリでのOoBロールオフマスクの値
- ・ 第5回WP 5B会合(2010年5月予定)  
ITU-R勧告SM.1541 Annex8の改訂  
推移領域の提案(必要ならば、新OoBロールオフマスクの値)  
その他勧告への影響の確認

### (3) 今後の予定と動向

次回RG会合の開催は、第3回WP5B(2009年5月18日~29日の予定)の直前2日間を予定。

今回のRG会合にもWP1Aのメンバーが参加しており、技術的困難さや、さらなる検討の必要性を強調して決定を先送りにするような意見に対して警告を発していた。

日本からも、RG会合初日の冒頭で一部のカテゴリにこだわるあまり全体を未決定にすることなく、各カテゴリ毎に決定できるものは決めていく必要があることを発言したが、RG会合2日目の審議で、結局、マイルストーンがかなり先延ばしになってしまった。

また、私の委員からSM1541の検討項目はロールオフマスクだけでなく、B-40帯域幅も同様に検討項目であることが再度発言され、この点は非常に重要であり、以前より指摘しているようにWP1AのメンバーはB-40帯域幅そのものを狭くすることを望んでおり(オフラインでは現用の50%減を主張している。)WP5Bでの取扱い、WP1Aでの動向等を注目しなければならぬ。

## 2.1.9 その他

- Doc.5B/71: MシリーズのITU勧告の分析表  
無線測位WGからSG5議長提案の分析表に対する意見はない(同意する)。
- Doc.5B/123: IMTパラメーター  
次回会合へ、ノート。
- Doc.5B/124: 無線測位勧告のエディトリアル修正  
更に調査が必要。
- Doc.5B/156: Radar work in the UK  
情報としてノート。
- Doc.5B/158: WRC-11議題1.18に係るWP4Cからのリエゾン  
情報としてノート。

## 2.2 WG5B2(航空移動業務関係)

WG5B2議長はMr. H. de Baillencourt(仏)が担当し、53件の入力文書について審議を行い、25件の出力文書を作成した。

入力文書: Doc.5B/45 Annex5, 45 Annex6, 45 Annex8, 45 Annex9, 45 Annex10, 45 Annex11, 45 Annex27, Doc.5B/(49), 50, 53, (55), 58, 61, 69, 70, 71, 73, 79, (81), (82), 84,

92+Corr1, 93+Corr1, 94+Corr1, 96, 97, 98, 99, 108, 109, 110, 111, 116, 117, (121), (122), (127), 130, 133, 134, 135, 136, 137, 138, 144, 145, 146, 147, 148, 149, 150, 153, 154, (157), 159, 160, 161, 166, 168, 169, 170

出力文書: Doc.5B/TEMP/44, 45, 46, 47, 48, 49, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 95, 97

なお、WG5B2では主要事項の検討を行うために、3つのドラフティンググループ(DG)を立上げ、表3に示す議長の下で審議し出力文書を作成した。

表3 WG5B2の主要事項の審議体制

グループ	主要事項	議長
DG5B2a	航空移動(R)業務(AM(R)S)関連 WRC-11議題1.4	Mr. E. Allaix(仏)
DG5B2b	無人航空機システム(UAS)関連 WRC-11議題1.3	Mr. M. Lewllen(米)
DG5B2c	無線航空機内通信(WAIC)及びその他関連	Mr. J. Taylor(加)

上記のDGで審議された以外の文書のほとんど(5B/61, 166, 168, 169, 170)は情報文書扱いであったため、特段の審議は行わず、WG5B2ではノートするのみとした。

### 2.2.1 航空移動(R)業務(AM(R)S)関連(DG5B2a)

本件はWRC-07において、新たなAM(R)Sシステム導入のための検討を、WRC-11議題1.4とすることが承認されたもの。議題の内容は、決議第413(WRC-07改)「AM(R)SIによる108-117.975MHz帯の使用」、決議第417(WRC-07)「AM(R)SIによる960-1164MHz帯の使用」及び決議第420(WRC-07)「AM(R)Sの空港内地上アプリケーションのための5000-5030MHz帯の検討」により、新たなAM(R)Sの利用について検討すること。

今回、AM(R)S関連では、15件の入力文書について審議を行い、14件の出力文書を作成した。  
入力文書: Doc.5B/69, 79, 92+Corr1, 93+Corr1, 94+Corr1, 99, 116, 117, 130, 136, 138, 144, 145, 159, 160

出力文書: Doc.5B/TEMP/46, 47, 48, 49, 74, 75, 77, 78, 81, 84, 85, 86, 87, 88

文書5B/94+Corr1にてオランダがWRC-11議題1.4の作業計画を提案し、審議の後に修正が行われて5B/TEMP/81として出力された。

文書5B/136によって米国がWRC-11議題1.4のCPMテキスト案を提案した。編集上の修正と5GHz帯の周波数需要検討結果に関する入力であった。下記の(3)の5GHz帯の議論を反映し、5GHz帯の周波数需要については更なる検討が必要なため[]をつけて次回会合以降も継続審議することとし、5B/TEMP/78として出力された。

WP6Aからの連絡文書5B/69にもCPMテキスト案が添付されていたが、CPMテキスト案の作成はWP5Bが担当であることと、下記の(1)に示すようにWP6AにおいてWRC-11議題1.4の範囲に誤

解があると考えられたため、5B/69の内容は出力には反映されていない。

(1) VHF帯

a 決議413(WRC-07改)

決議413(WRC-07改)では、108-117.975MHz帯AM(R)Sとデジタル放送との両立性検討が要求されている。

ICAOから5B/145により、112-117.975MHz帯AM(R)SからFM放送への干渉検討が入力された。112MHz帯以上のVDL mode 4 systemはFM放送へ有害な干渉を与えないという結論となっている。今後の検討のベースとしていくこととし、5B/TEMP/47として新レポート草案M.[AMRS-VHF]にむけた作業文書が出力された。

ICAOから5B/144により、FM放送から112-117.975MHz帯AM(R)Sへの干渉検討が入力された。112MHz帯以上のVDL mode 4 systemへは非常にまれな状況において干渉が発生する可能性があるとして、干渉緩和技術の検討の必要性が言及されている。今後の検討のベースとしていくこととし、5B/TEMP/86として新レポート草案M.[VHF-AM(R)S]に向けた作業文書が出力された。

WP6Aからの連絡文書Doc.5B/69により、WP6Aで行ったVHF帯のアナログ及びデジタル放送から航空業務へのインパクト検討が入力された。この連絡文書に関して、議題1.4に関連したWP6Aへの連絡文書返信が作成され、5B/TEMP/74として出力された。この連絡文書返信では、デジタル音声放送に関する更なる情報提供を求めている。また、新レポート草案M.[AMRS-VHF]にむけた作業文書(5B/TEMP/47)と新レポート草案M.[VHF-AM(R)S]に向けた作業文書(5B/TEMP/86)が添付された。VDL mode 4 systemへの干渉の可能性があるITU-R勧告M.1841のtype A1干渉モードに対するコメントをWP6Aに求めている。(5B/TEMP/87)

WP3Kからの連絡文書5B/79は、このVHF帯の両立性検討に用いることのできる伝播モデルはITU-R勧告P.528にあるとの連絡であった。特に議論されず、ノートするのみとした。

b 新研究課題案XXX/5

WRC-11議題1.4の範囲外の研究を扱うために新研究課題案XXX/5が5B/TEMP/46として出力された。87-108MHz帯のデジタル音声放送と108-117.975MHz帯ARNS及び117.975-137MHz帯AMRSとの間の両立性が研究される。これは5B/93+Corr1による、オランダ(CEPTとして承認)からの決議413(WRC-07改)の範囲に入らないこの両立性検討が必要であることを明確化するために研究課題を作成する必要があるとの提案による。

WP6Aからの連絡文書5B/69により入力されたVHF帯のアナログ及びデジタル放送から航空業務へのインパクト検討に対する連絡文書返信が5B/TEMP/87として出力された。デジタル音声放送とARNSとの間の両立性検討及びデジタル音声放送と117.975MHz以上のAM(R)Sとの間の両立性検討はWRC-11議題1.4の範囲外であるが、WP5Bはこの検討を行うことに合意したことを連絡している。また、上記の新研究課題案XXX/5が参考までに添付された。

連絡文書5B/69Annex2に含まれていた検討は、新レポート草案M.[COMPAT-VHF]に向けた作業文書(5B/TEMP/85)として出力された。上記の新研究課題案XXX/5の検討がこの作業文書をベースにて今後行われることとなる。

(2) 1GHz帯

決議417(WRC-07)では、前回WP5Bにおいて、5000-5030MHz帯RNSSの特性の提供を依頼する連絡文書をWP4Cへ送付しており、その返信として5B/160がWP4Cより提示された。RNSS

特性として、RNSSシステム特性を含むDNR ITU-R M.[1317\_NEW]とRNSS受信機特性を含むDNR ITU-R M.[CHAR-RX3]の2つが添付されている。2008年10月16-17日に行われたSG4によりDNR ITU-R M.[1317\_NEW]は採択されたが、DNR ITU-R M.[CHAR-RX3]はWP4Cへ差し戻しになったことが説明された。しかし、SG4から差し戻しになった理由は技術パラメータに関するものでなくRRの解釈に関するものであったためWP5Bにおける技術検討においてこれらの技術パラメータを使用することに問題はないとの説明があり、WP5B内ではここで提供された技術パラメータを使用して検討を行っていくことが確認された。

文書5B/92+Corr1によってオランダ(CEPTとして承認)から、新レポート草案ITU-R M.[AM(R)S\_1GHz\_SHARING]に向けた作業文書の見直し提案があった。主にARNSシステム特性の見直しを行っている。

文書5B/99によって、新レポート草案ITU-R M.[AM(R)S\_1GHz\_SHARING]に向けた作業文書に対して、ロシアから自国のARNS(non-ICAO標準)の技術データのアップデートがあった。

これらオランダとロシアの入力を反映して、新レポート草案ITU-R M.[AM(R)S\_1GHz\_SHARING]に向けた作業文書が5B/TEMP/84として出力された。

### (3) 5GHz帯

決議420(WRC-07)では、5GHz帯のAM(R)Sの周波数需要を検討し、WRC-07にて新規分配がなされた5091-5150MHz帯においてAM(R)Sの周波数需要が満たされないことが明らかになった場合には5000-5030MHz帯における共用・両立性検討によりAM(R)Sの新規周波数分配の可能性を検討することとなっている。

前回WP5Bにおいて、5000-5030MHz帯RNSSの特性の提供を依頼する連絡文書をWP4Cへ送付しており、その返信として5B/160がWP4Cより提示された。

入力文書5B/116, 117によって、米国が新レポート案M.[AMRS \_RNSS\_RAS](WRC-07前のSG8にて新レポート案として提示され審議がなされたが、検討が不十分としてWP5Bへ差し戻しとなったもの)をそれぞれ5000-5010MHz帯と5010-5030MHz帯の2つのレポートに分けることと文書のステータスを作業文書とすることを提案した。連絡文書5B/160のコンタクトパーソン(日本)から「これらのレポートの共用・両立性検討において、5B/160にて入力されたRNSS技術特性は考慮されるのか」と質問があり、次回WP5B会合以降にて考慮していくことが確認された。また、連絡文書5B/160のコンタクトパーソン(日本)から、「5000-5010MHz帯と5010-5030MHz帯のRNSSは互いに関係していることもあり、レポートを2つに分けることが妥当かどうかについて検討が必要」とコメントがあった。米国は「5000-5010MHz帯と5010-5030MHz帯では共用条件が大きく異なるため、別々に扱うほうが適当」と意見し、議論の結果、今回WP5B会合では5000-5010MHz帯と5010-5030MHz帯の2つの作業文書(5B/TEMP/48, 49)を出力するものの、WP5B議長報告本文にこれらの文書の扱い(2つに分けることが適当かひとつにまとめることが適当か等)についてノートすることとした。このノートのテキスト案は日本が中心となって作成し、議長報告本文に反映された。次回WP5B会合において、各主管庁は、技術検討のみならずレポートの形態についても入力が求められている。

また、AM(R)Sの周波数需要を検討した文書が5B/130として米国から入力された。AM(R)Sの周波数需要は100MHz帯以上であり、WRC-07で分配された5091-5150MHz帯の59MHzでは足りないとの意見であり、ドイツ、フランス、オランダ等がこの米国の周波数需要検討に対して質問や異議を唱えたため、これらの主管庁を含む小グループにてこの検討の妥当性が議論された。

結論は得られず、更なる入力を次回以降のWP5B会合に求めることとなっている。このため、入力文書5B/130のAM(R)Sの周波数需要に対する意見は[]付でCPMテキスト案(5B/TEMP/78)に反映されて出力された。

WP4Cへの連絡文書返信(5B/TEMP/77)が作成され、5GHz帯AM(R)Sの周波数需要に関して上記のCPMテキスト案(5B/TEMP/78)と、両立性検討として新レポート草案ITU-R M.[AMRS-RNSS]に向けた作業文書(Doc.5B/TEMP/48)及び新レポート草案ITU-R M.[AMRS-RNSS-RAS]に向けた作業文書(Doc.5B/TEMP/49)の2件の、合計3つのTEMP文書が添付されて出力された。

また、4990-5000MHz帯RASへの不要放射の関連として、WP7Dへの連絡文書(5B/TEMP/75)が作成され、新レポート草案ITU-R M.[AMRS-RNSS-RAS]に向けた作業文書が添付された。

また、WP4Cからの連絡文書5B/138によって、5030-5150MHz帯におけるMLS (Microwave Landing System)の5000-5030MHz帯への不要放射に関する情報提供が依頼された。現在のところWP5B内においては本件について提供できる情報がないので、情報を有しているICAOからの入力を待つこととし、その旨を連絡するWP4Cへの連絡文書返信を5B/TEMP/88として出力した。次回WP5B会合は次回WP4Cの後であるため、次回WP4Cで必要な情報が得られないことが懸念されたが、ICAOから直接WP4Cへ入力するかもしれないことが口頭で説明された。

## 2.2.2 無人航空機システム(UAS)関連(DG5B2b)

本件はWRC-07において、UASの運用に関する周波数分配要求をWRC-11議題1.3とすることが承認されたもの。議題の内容は、決議421(WRC-07)「無人航空機システムの運航についての適切な規制上の規定の措置」により、UASの安全な運用を支えるための周波数帯とその必要帯域幅を含む規定について検討すること。

今回、UAS関連では、13件の入力文書について審議を行い、4件の出力文書を作成した。

入力文書: Doc.5B/96, 97, 98, 108, 109, 133, 134, 135, 139, 147, 149, 153, 154

出力文書: Doc.5B/TEMP/73, 76, 79, 82

DG5B2bにおいては、表4に示すDGが組織され、各事項を審議した。

表4 DG5B2bの主要事項の審議体制

グループ	主要事項	議長
DG5B2b1	作業計画	他の案件の進捗後に議論として特に議長設置せず。
DG5B2b2	CPMテキスト案	Mr. Nellis (米)
DG5B2b3	WP4Cへの連絡文書	Mr. Weber (独)
DG5B2b4	UAS レポート	Mr. Allaix (仏)

審議の詳細は下記(1)から(4)に示す。これら以外に、5B/147, 149にてフランスが5000-5150MHz帯のAMS(R)Sの周波数帯を用いるUASシステムの検討状況とそのMLSとの共用検討を入力した。この2つの文書は未だ検討不十分として出力には反映せず、次回WP5Bへキャリ

一フォワードすることとした。

#### (1) 作業計画

米国から、前回WP5B会合で出力された作業計画の見直し案(5B/109)を提案した。主要提案は、周波数需要の検討において、UASミッションの多様性によってデータレートその他の要求がこ  
となってくることを考慮することであった。

DGでの審議を経て、5B/TEMP/79が出力された。

#### (2) CPMテキスト案

5B/108により、米国がCPMテキスト案の提案を行ったが、主に技術検討においてカバーすべ  
き項目を提案したのみであった。

5B/153により、フランスが周波数需要検討に用いることのできるデータレートその他の技術デ  
ータを入れることを提案した。

基本的にこれら2つの入力を反映してCPMテキストが作成されたが、フランスの入力にあった  
データレートについては、今後の更なる検討が必要として[xxx]と表記し、値の検討について次回  
WP5B会合以降に持ち越した。5B/TEMP/82として出力された。

#### (3) WP4Cへの連絡文書

5B/139にてWP4Cから連絡文書返信があり、UASにて用いられるAMS(R)Sに含まれる通信に  
関するWP4Cの意見が入力された。また、UASのための航空運行管理のための周波数需要は  
WRC-11議題1.7(AMS(R)S)で検討すべきかどうか、aeronautical operational control (AOC)  
messagesが制御系通信か航空運行管理通信かの2つの質問がWP4Cより入力されている。

5B/96にてドイツがWRC-11議題1.3とWRC-11議題1.7の間の整理の提案を行った。

上記の入力を反映してWP4Cへの連絡文書返信が作成された。ここで、議題1.3の範囲として、  
「制御系通信、検知及び回避通信、ATC中継通信」、議題1.7の範囲として「航空運行管理」とな  
るとのWP5Bの見解が示された。また、全てのUASに関する案件については議題1.7とは切り離  
して扱うとのWP5Bの見解も示された。さらに、WP4Cへの回答として、aeronautical operational  
control (AOC) messages については議題1.3と議題1.7のいずれの範囲でもないとのWP5Bの  
見解も示された。Doc.5B/TEMP/73として出力された。

#### (4) UASレポート

UASの周波数需要を検討するレポート ITU-R M.[UAS-SPEC]に向けた作業文書は前回  
WP5B会合報告5B/45Annex6として出力されており、Doc.5B/11と29がキャリアフォワードされて  
いる。今回WP5B会合にて、この作業文書に対して下記の6件の入力となされた。

5B/97によって、ドイツが、関連用語の定義と周波数需要計算方法を提案した。

5B/98によって、Eurocontrolが、各フライトフェーズ毎の必要データレートを検討し、ビデオ信号  
が最も広い周波数帯域幅が必要なため、これを周波数需要検討にて考慮すべきと提案している。

5B/133によって、米国が、2030年ころまでのUASの想定機数とデータレート予測結果を入力し  
た。

5B/134によって、米国が無人航空機(UAS)1機当たりの必要周波数帯域幅を提案した。

5B/135によって、米国が、Doc.5B/133と134の検討をあわせてUASとして必要な総合周波数  
帯域幅を提案した。LOS (Line of Sight)地上系システムに12.1MHz、 BLOS (beyond LOS)  
衛星系システム (segmented-beam) に 31 MHz、 BLOS 衛星系システム  
(CONUS-coverage-beam)に 126 MHz が必要としている。



5B/154によって、フランスが、ドイツの文書5B/96と同様の関連用語の定義と周波数需要計算方法を提案している。ドイツの提案に加えて、周波数需要計算方法に入力データを入れて、地上系及び衛星系の必要周波数帯域幅の計算結果を示している。

上記の入力をあわせて、DGによる審議の後に、新レポート草案 ITU-R M.[UAS-SPEC]に向けた作業文書が5B/TEMP/76として出力された。

### 2.2.3 無線航空機内通信(WAIC)及びその他関連(DG5B2c)

WAICとは、単一の航空機内に限り、2か所以上の短距離のコミュニケーションを提供し、飛行乗組員、機体内(エンジン等)の無線センサーシステム等、航空機内に閉じた中での情報伝達に利用される無線システムで、空対空や空対地の情報伝達を目的としたシステムではない。

飛行の安全性や飛行無線技術等の利益のため、今後、無線周波数の効率的な使用を考慮に入れた保護評価基準を導くために、まずはWP5Bでの新研究課題を策定するもの。

今回、DG5B2cでは、13件の入力文書について審議を行い、6件の出力文書を作成した。

入力文書: Doc.5B/50, 53, 58, 70, 73, 84, 110, 111, 137, 146, 148, 150, 161

出力文書: Doc.5B/TEMP/45, 80, 83, 89, 95, 97

WAICに関する新研究課題案[WAIC]/5が5B/TEMP/45として出力された。前回WP5B会合において新研究課題草案となっていたものに対し、5B/146(ICAO), 150(仏)の入力及び関連議論を反映して出力されたもの。

議論の多くはWAICは安全業務かどうか、WAICはMSかAMSかというものであった。WAICを推進する米国(Boeing)からは「WAICは安全業務の場合もあるしそうでない場合もある、MSかAMSかは今後の議論であり、研究を始めるに支障はない」との説明があった。

また、米国が文書5B/110にてWAICの技術特性と運用目的に関する作業文書のアップデート案を入力した。主に編集上の修正のみで5B/TEMP/83として出力されたが、勧告にむけた作業文書かレポートに向けた作業文書かは今後の入力及び議論待ちの状態である。

この他、下記のWRC-11議題に関する(1)から(4)の事項についてもDG5B2cにて議論され、それぞれのWPへのリエゾンが出力されている。

#### (1) WRC-11議題1.12関連

WRC-11議題1.12のCPMテキスト案作成の主担当であるWP7Bから連絡文書5B/53及び5B/148が入力されており、WP7Bの作業状況(CPMテキスト案等)の情報提供がされている。また、37-38GHz帯AMSの技術特性及び保護クライテリア等の情報提供をWP5Bに求めている。

WP4Aは既に連絡文書5B/161にてWP7Bに37-38GHz帯FSSの情報提供を行っている。

米国からの入力文書5B/111をベースにしてWP7Bへの連絡文書返信が作成された。米国提案通りに37-38GHz帯ではAMSは運用されていないが、5B/TEMP/45のDNQで検討されるWAICが使用するかもしれないとの内容が記載され、連絡文書返信が5B/TEMP/80として出力された。

また、ICAOからの入力文書5B/146によっても37-38GHz帯がWAICに用いられるかもしれないと書かれていることも上記の連絡文書返信(5B/TEMP/80)で考慮された。

#### (2) WRC-11議題1.22関連

WRC-11議題1.22のCPMテキスト案作成の主担当であるWP1Aから連絡文書5B/84が入力されており、SRD(特にRFID)からのインパクトに関連する情報提供が求められた。

WP5Bでは特にSRDとの両立性検討は行っていないが、過去にTG1/8で検討された結果がITU-RレポートM.2057になっていること、WP5Bの扱う業務にRR1.59の安全業務に対しては適切な保護が求められる必要があること等を記載した連絡文書返信が5B/TEMP/89としてWP1Aへ出力された。

(3) WRC-11議題1.23関連

WRC-11議題1.23のCPMテキスト案作成の主担当であるWP5Aから連絡文書5B/50が入力されており、415-526.5kHz帯関連の情報提供が求められた。

当該周波数帯では航空業務においてnon-directional beacon (NDB)が運用されており、将来的にはNDBはこの周波数帯からはなくなる方向であるものの当面は運用が行われるので、NDBの運用に影響を及ぼさないように配慮が必要であるとのWP5Bの見解を入れて、WP5Aへの連絡文書返信が作成された。海上関連の情報もあわせて5B/TEMP/95として出力された。

WP6Aは連絡文書返信5B/73によって、既にWP5Aへ放送業務関連の情報提供を行っている。

(4) WRC-11議題1.25関連

WRC-11議題1.25のCPMテキスト案作成の主担当であるWP4Cから連絡文書5B/58及び137が入力されており、WP4Cの検討しているMSSの新規周波数分配可能性のある帯域(WP4Cは未だ候補帯域は選定していないとしている)の内、WP5B担当の業務分配のある周波数帯についての情報提供を求められた。

WP4Cへの連絡文書返信はWG5B2が中心にまとめを行ったが、航空業務のみでなくレーダー及び海上通信関連の情報も他WGの協力により入れられた。議論の中で、ニュージーランドから、WP5Bには安全業務に用いられる業務が多いことを強調すべきとの提案があり、連絡文書返信中のテキストに反映された。5B/TEMP/97として出力された。

WP6Aは連絡文書返信5B/70によって、既にWP4Cへ放送業務関連の情報提供を行っている。

## 2.2.4 その他

(1) SG5議長からITU-R勧告Mシリーズについて

5B/71はSG5議長からITU-R勧告Mシリーズについて、古い勧告でscopeがないものへのscopeの追加等が求められているものであるが、会合中にどの主管庁からも特段の提案がなかったため、キャリアフォワードすることとした。

入力文書: Doc.5B/71

出力文書: なし

(2) CPMLレポートのためのテキスト案関連

CPMLレポートのためのテキスト案の期限は2010年6月であり、2010年5月のWP5BからCPMLレポートのためのテキスト案を出力する必要がある。2010年5月及び6月にはSG5は予定されていないので、2009年12月のSG5にてCPMLレポートから参照することが目的のITU-R勧告・レポートは採択・承認されるべきとのスケジュールがWP5B議長から確認された。

(3) ペーパーレスの方向

WP5B会合が次回以降から基本的に文書は電子版のみで進められるとの連絡がカウンセラーからなされた。WP5A及びWP5Cは既に今回会合からほぼペーパーレスで進めており、WP5Bも同様にする方向とのこと。

## 2.3 WG5B3（海上移動業務関連）

WG5B3 議長はMr. J. Turban（米）が担当し、41件の入力文書について審議を行い、18件の出力文書を作成した。

入力文書： 5B/10, 5B/20, 5B/45 Annex4, 45 Annex12, 45 Annex13, 45 Annex17, Doc.5B/49, 50, 55, 57, (58), 59, 60, 62, 63, 64, 71, 73, 75, 77, 80, 81, (84), 85, 86, 87, 88, 89, 90, 101, 102, 105, 106, 107, 114, 115, 119, 120, 124, 129, 137, 155, 157

出力文書： 5B/TEMP/50 Rev.1, 69, 70, 71 Rev.1, 72 Rev.1, 90, 91, 92, 93, 94, 96, 98, 99, 100, 101, 102, 103, 104

WG5B3は更に4つのドラフティンググループを立上げ、各々表3に示す議長の下で担当議題を審議して出力文書を作成した。

表3 WG5B3の審議体制

グループ	検討事項	議長
DG5B3a	議題1.9及び1.10関連	Mr. S. Ward (米)
DG5B3b	AIS及びVHFデータ通信関連	1週目: Mr. A. Stewart (英) 2週目: Mr. S. Ward (米)
DG5B3c	ITU Service Publication関連	Mr. J. Steenge (蘭)
DG5B3d	DSC関連及びその他	Mr. J. Turban (米)

### 2.3.1 議題1.9及び1.10関連

議題1.9及び1.10関連のドラフティンググループ議長は Mr. S. Ward (米) が担当し、13件の入力文書について審議を行い、8件の出力文書を作成した。

入力文書:

(議題1.9) 5B/45 Annex12, Doc.5B/89, 101, 102, 119, 155

(議題1.10) 5B/45 Annex13, Doc.5B/ 60, 75, 77, 89, 106, 120

出力文書:

(議題1.9) Doc.5B/TEMP/72 Rev.1	WRC-11議題1.9に関する作業計画案
Doc.5B/TEMP/94	ITU-R勧告M.1798の暫定改定案に向けた作業文書
Doc.5B/TEMP/101	WRC-11議題1.9 CPMテキスト案
(議題1.10) Doc.5B/TEMP/69	WRC-11議題1.10 に関するWP6Aへのリエゾン
Doc.5B/TEMP/71 Rev.1	WRC-11議題1.10に関する作業計画案
Doc.5B/TEMP/100	ITU-R新報告M.[CARGO-IDS]に向けた作業文書
Doc.5B/TEMP/102	WRC-11議題1.10 CPMテキスト案
Doc.5B/TEMP/103	RFIDに関するISO-WP5Bラポータ通知に関するISOへのリエゾン

#### (1) 議題1.9

- 議題1.9はHFデータ通信の導入のためにHF帯周波数分配(RR Appendix 17)の見直しを行うもので、今回は仏よりAppendix17の現在の使用状況を図式化した情報文書(5B/101)、

蘭、米より本議題の作業計画とマイルストーン提案(5B/102, 119)、及び仏より10-20kHz帯域を使用した30kbpsワイドバンドデータ通信規格をITU-R勧告M.1798にAnnex4として追加する提案(5B/155)が寄与文書として入力された。

審議の結果、蘭、米提案の作業計画項目とAppendix17の現在の使用状況の図式化したものは今後の検討課題としてCPMテキスト案に併記する形で取り纏められ(5B/TEMP/101)、議長報告に添付して次回審議に持ち越しとなった。また、マイルストーンとしては下記内容が取り纏められた(5B/TEMP/72 Rev.1)。

- ・ WP5B 第3回会合[2009/5月]: 議題解決メカニズム、Appendix 17改訂方法の合意、勧告/報告改訂作業、関連WP/機関へのリエゾン、規則オプションを含む暫定CPMテキスト案作成
  - ・ WP5B 第4回会合[2009/11月]: Appendix 17改訂解決策の確立、関連勧告/報告の完了、SG5への承認提出、SCからの指示対応、暫定CPMテキスト案作成
  - ・ WP5B 第5回会合[2010/5月]: CPMテキスト案と規則関連事項の合意
- 仏提案の10-20kHz帯域を使用した30kbpsワイドバンドデータ通信規格案については、Kenta Electronics社(仏)よりプレゼンテーションが行われた。主な内容は下記のとおり。
- ・ HFワイドバンドデータ通信システムは4-26MHz帯で10-20kHz帯域を使用して30kbpsのデータ通信を行うもの。
  - ・ IPBC(Internet Protocol Boat Communication)プロジェクトとして2007年に初期研究が行われ、2008-2009年に実験を、2009年5月には最初のレポートが纏まる予定。
  - ・ File転送システムであるので船-船間通信は不可。
  - ・ GPSにより時刻同期を行う。
  - ・ 海岸局送信機は2台持ち、半複信マルチチャンネル送信を行う。海岸局はチャンネル管理情報を常時送信する。
  - ・ 10kHz帯域の場合、OFDMサブキャリア数は228本。
- 本提案については、ITU-R勧告M.1798の暫定改訂案作業文書として取り纏められ(5B/TEMP/94)、議長報告に添付して次回審議に持ち越しとなった。

## (2) 議題1.10

- 議題1.10は船舶および港湾の安全性向上のための規則と周波数分配の検討を行うもので、今回はISOよりコンテナに取り付けるRFIDの規格を開発しており、議題1.10に適用可能、としてISOとWP5Bのレポートの選定提案(5B/60)、米よりISOでのRFID開発状況と国際共通周波数の必要性を記述した暫定新報告案(5B/106)と本議題に関する作業計画とマイルストーンの提案(5B/120)が寄与文書として入力された。

審議の結果、米提案をベースにRFIDの暫定新報告案ITU-R M.[CARGO-IDS]が作業文書として取り纏められ(5B/TEMP/100)、議長報告に添付して次回審議に持ち越しとなった。

また、米提案の作業計画項目がCPMテキスト案に組み込まれ(5B/TEMP/102)、議長報告に添付して次回審議に持ち越しとなった。

なお、米提案の作業計画としては、下記の項目が上がっている。

- ・ AIS関連事項としてAISメッセージの衛星検出
- ・ 保安通信と保安情報の放送関連事項
- ・ 国際港を出入するコンテナと船舶の識別のために必要な周波数関連事項

- ・ e-Navigationを含む船舶/港湾の安全・保安通信システムの近代化(VHFデータ通信)

さらに、WP6Aに対しては現時点での作業計画をリエゾン文書(5B/TEMP/69)により通知し、ISO TC104に対してはRFIDに係るISO-WP5Bラポータ(Mr. Jon V. Turban(米))を合わせて通知するリエゾン文書(5B/TEMP/103)を送付した。

また、マイルストーンとしては下記内容が取り纏められた(5B/TEMP/71 Rev.1)。

- ・ WP5B 第2回会合(2008/10-11月): AIS衛星検出新報告、ITU-R勧告M.1842の改訂、RFID報告案、作業計画文書の完成
- ・ WP5B 第3回会合[2009/5月]: AIS衛星検出新勧告案、Appendix 18分析新報告案、安全・保安通信新報告案、勧告/報告改訂継続作業、関連WP/機関へのリエゾン、規則関係のSCへの送付
- ・ WP5B 第4回会合[2009/11月]: 勧告/報告の最終化、暫定CPMテキスト案作成、規則関係のSCへの送付
- ・ WP5B 第5回会合[2010/5月]: CPMテキスト案と規則関連事項の合意

### 2.3.2 AIS及びVHFデータ通信関連

AIS及びVHFデータ通信関連のドラフティンググループ議長は1週目がMr. A. Stewart (英) 、2週目がMr. S. Ward (米) が担当し、12件の入力文書について審議を行い、5件の出力文書を作成した。

入力文書: Doc.5B/59, 63, 64, 80, 85, 86, 87, 88,105, 107, 115, 129

出力文書: Doc.5B/TEMP/50(Rev.1)	AIS-SARTのID及び送信メッセージに関するIMO、IEC、IALA、CIRMへのリエゾン
Doc.5B/TEMP/70	ITU-R 勧告 M.1371 に対する IALA Technical Clarification改訂時に決議18参照の修正を要請するIALAへのリエゾン
Doc.5B/TEMP/91	VHFデータ通信に関する勧告M.1842改訂案
Doc.5B/TEMP/96	AISの衛星検出改善に関するIMO、IALAへのリエゾン
Doc.5B/TEMP/98	AISの衛星検出改善に関する新報告案

#### (1) AIS-SART の ID と送信メッセージ

AIS-SARTのID体系と送信メッセージに関するIMOからのリエゾン(5B/063)について検討し、その結果をIMO、IEC、IALA、CIRMへ返信するリエゾンが作成され、承認された(5B/TEMP/50 Rev 1)。リエゾン内容としては下記のとおり。

- ・ ID体系としてはWP5B提案の「9<sub>1</sub>7<sub>2</sub>0<sub>3</sub>X<sub>4</sub>X<sub>5</sub>Y<sub>6</sub>Y<sub>7</sub>Y<sub>8</sub>Y<sub>9</sub>」でIMOも了解したものと理解。
- ・ Msg14のテキストとして、IMOから「SART ACTIVE」、「SART TEST」が有用であるとの回答を得ているが、テスト送信の開始と終了を明確にするため、開始時に「SART UNDER TEST」を、終了時に「SART TEST OVER」を送信することを立案しているのでIMOの見解を求めたい。
- ・ Msg1のNav statusについて、実送信時には「14=DISTRESS」を、テスト送信時には「15=not defined」を送信したいとするWP5B案に対し、IMOからはNav statusの新コードに対応できるAIS装置がないとしてメリットがないとの回答を得ているが、勧告M.1371で

はNav status 11-14は将来使用に確保されていること、15はnot definedとして定義されており、新コードではないことを説明すると共に、Nav statusで実送信かテスト送信かを区別することはSAR機関等が不必要な活動開始を避けるために有用であること、また今回の審議で実送信時には「2=not under command」を使用する案と、「14=distress」ではなく「14=SART ACTIVE」とする案があり、IMOの見解を求めたい。

#### (2) AIS の衛星検出

AISの衛星検出の改善について、米及び仏より前回から継続審議になっている暫定新報告案の修正案が寄与文書として入力された(Doc.5B/115, 129)。

米提案(5B/115)は、伝搬遅延バッファを長くするための新Msg 27、通報間隔 3分、Msg 27はClass-A AISのみ対象、海上移動業務専用チャンネルが必要でCH75、CH76を候補という内容は前回と同様であるが、今回はClass-A AISでもAIS基地局のカバー範囲にいる場合はMsg 27を送信せず、衛星での受信数の削減を図るもの。また、仏提案(5B/129)は、新Msg27の採用、通報間隔、Class-A AISのみ対象、専用チャンネルの使用については米提案と同様であるが、最新の処理技術とアンテナ技術の採用で伝搬遅延バッファを米提案程長くする必要はなく、その場合送信情報量をより多くできる、との提案である。これに対し、米からは衛星は既に軌道上にあり、アンテナを変更することはできないとの反論があった。

審議の結果、米提案に仏提案を併記する形で新報告案が取り纏められ(5B/TEMP/98)、議長報告に添付して次回継続審議とすることとなった。なお、この新報告案(5B/TEMP/98)は、IMO COMSAR及び IALAに検討用としてリエゾンを送付することとなった(5B/TEMP/96)。

また、IMO NAV小委員会よりAIS衛星検出に関するIMOポリシーの検討をMSC85に要請したこと(5B/87)、IALAよりITU-R勧告M.1371の改訂作業に協力するとして提案(5B/86)があったが、両提案共議長報告に添付して次回審議に持ち越しとなった。

#### (3) AIS 安全関連バイナリーメッセージ

IMOより、AISの安全関連バイナリーメッセージを使用して遭難関係のテキストを送信すべきでないとのリエゾンが寄与文書として入力されたが(5B/64)、特段のアクションは必要ないとされ、本寄与文書はノートされたに留まった。

#### (4) 決議 18 の参照

ICRCより、ITU-R勧告M.1371-3、M.493-12は決議18を参照しているが、WRC-11で決議18が削除された場合に参照先がなくなるとして両勧告の修正を考慮すべきとの提案が寄与文書として入力された(5B/088)。審議の結果、ITU-R勧告M.1371のTechnical Clarificationを作成しているIALAに対し、次回改訂の際に考慮して欲しいとするリエゾンを送付することとなった(5B/TEMP/70)。

#### (5) VHF データ通信

VHFデータ通信に関するITU-R勧告M.1842に50kHz帯域を使用した153.6kbpsの方式をAnnex 3として追加することが前回のWP5Bで承認されSG5へ送付されたが、1か国から検討時間が欲しいことと改訂間隔が短すぎることでSG5で指摘され、WP5Bへ差し戻しになった。これに対して、今回米より2008/6月のIMO/ITUエキスパートグループ会議で、諾のMarintek社から200kbpsの通信速度が必要とのレポートが認められたことを受け、Annex 3 AlternativeとしてETSI規格ベースの100kHz帯域を使用した307.2kbps方式が提案された。

審議に於いて、Telenor社から机上のシステムではなくフィールド試験の実績を得てから勧告

に入れるべきとの反論があったが、本提案は米システムではなくEITS規格に基づくものであり、陸上で実際に使用されているものであることを米が説明し、英からも支持を得た。また、Annex 3として前回提案の153.6kbps方式を入れるかが検討された結果、153.6kbps方式を Annex 3に、307.2kbps方式をAnnex 4に入れたITU-R勧告M.1842の改訂案が作成された。WP5Bプレナリーでは、シリアからSG5で勧告の承認を求めらば、特許が関係していないか確認したいとの質問があったが、ETSI規格をベースにしたものであり特許問題はないことの説明が米からあり、WP5Bで承認され(5B/TEMP/91)、SG5へ送付されることとなった。

(6) MMSI

MMSIに関するITU-R勧告M.585-4について、IALAよりAnnex 2の海岸局へのMMSI割当にシステムMMSIを追加すること、及びAtoN AIS用メッセージMSg 21を送信する場合はAnnex 4 のAtoN用MMSI体系を使用するとした提案があった(5B/085)。また、加よりAnnex 5 の母船の付随船へのMMSI割当について、母船の付随船搭載の装置にMMSIを割り当てると読み取れる表記を、母船の付随船にMMSIを割り当てるとする表記に修正すべきとの提案があった(5B/105)。審議に於いて、ITU-R勧告M.585-4はRR第19条で義務参照されていることから、慎重に検討すべきとなり、両文書とも議長報告に添付して次回審議に持ち越しとなった。

### 2.3.3 ITU Service Publication関連

ITU Service Publication関連のドラフティンググループ議長は Mr. J. Steenge (蘭) が担当し、2件の入力文書について審議を行い、3件の出力文書を作成した。

入力文書: Doc.5B/45 Annex 17, Doc.5B/90

出力文書: Doc.5B/TEMP/90	Maritime Manual の構成案に関するIMO COMSARへのリエゾン
Doc.5B/TEMP/92	新List IV 及び新List V に含めるデータ項目等の作業文書
Doc.5B/TEMP/93	Maritime Manual の構成案に関する作業文書

(1) 新List IV及び新 List V

WRC-07において、ITU Service Publicationの見直しのための決議355が承認されことを受け、現在のList IV (海岸局リスト)とList VI (特殊業務局リスト)を統合して新List IV (海岸局と特殊業務局リスト)とすること、List V (船舶局リスト)とList VIIA (コールサインリスト)を統合して新List V (船舶局とMMSIリスト)とすることとなっている。今回、これらのListに含めるべき項目と版の更新周期がITU-R BRより提案された(5B/90)。審議に於いて、新List IVに含める局は船舶が直接通信等で必要な局とすることとなり、コスパスサーサットのMCC局は船舶と直接通信する局でないとして含めないこととなった。また、AIS局は船舶側からアクセスする局ではないため含めなくても良いのではないかとの意見もあったが、現在のListにはカテゴリーがないため特殊業務局に含めているとの現状説明がBRよりあり、どのように扱うかは次回検討することとなった。

今回審議した新List IV、VIに含めるデータ項目は作業文書として取り纏められ(5B/TEMP/92)、議長報告に添付して次回に持ち越しとなった。

(2) Maritime Manual

前回WP5BでMaritime ManualはVOL IとVOL IIの2巻構成とすることや目次案が検討され、

今回審議に持ち越しとなっていた(5B/45 Annex 17)。2008/6月に開催されたIMO/ITUエキスパートグループ会議でも、2巻構成が合意されたことを受け、Maritime Manual作成のための進め方が議論された。IMOからの出席者は、このままでは作業が進まないことを指摘し、主管庁の積極的な貢献をコミットすべきとのコメントがあった。このため、小グループを作って進めるか、コレスポネンスグループで進めるかが議論されたが、結局コレスポネンスグループで作業を進めることとなり、参加者はe-mailアドレスをDG議長に提出するよう要請された。現時点での参加国は、仏、諾、フィンランド、瑞、加、露、英、IMOである。

また、2巻構成についてDG議長より、VOL I として5B/45 Annex 17の1～6章を、VOL II として7～11章を記述するとするオプション1、VOL I として現在のManualと5B/45 Annex 17をベースにした一般バージョン、VOL II として主管庁等で使用する規則関係を纏めたものとするオプション2、及び現在のManual と同等のものにするオプション3の3つが提案されたが、審議の結果オプション2とすることとなった(5B/TEMP/93)。このオプション2に対するコメントをIMO COMSARに求めるためのリエゾンが作成、承認され(5B/TEMP/90)、IMOへ送付することとなった。

### 2.3.4 DSC関連及びその他

DSC関連、その他のドラフティンググループ議長は Mr. J. Turban (米) が担当し、18件の入力文書について審議を行い、2件の出力文書を作成した。

入力文書: Doc.5B/10, 20, 50, 62, 88, 114, 49, 55, 57, 58, 59, 71, 73, 81, 84, 124, 137, 157

出力文書: Doc.5B/TEMP/99 海上移動業務以外のITU-R勧告リストについて関連WPへの連絡をBRに要請

Doc.5B/TEMP/104 海上及び無線測位関連のITU-R勧告の見直し

#### (1) Class-D DSC

IMO COMSARより、ITU-R勧告M.493-12でClass-D DSCは遭難中継、遭難呼出応答等、高度な機能が認められているが、IMO MSC/Circ.803で非SOLAS船がGMDSSに参入する場合の機能要件に関するガイドラインを示しており、元々Class-D DSCは基本的な遭難/安全/緊急警報に限定しているとして、ITU-R勧告M.493-12のClass-D DSCから遭難中継等を削除することを求める寄与文書が入力された(5B/62)。また、仏、英、蘭からも同様主旨とITU-R勧告M.493-12の改訂案が寄与文書として入力された(5B/114)。

審議に於いて、瑞は遭難中継を行っているのは殆どがSOLAS船であり、Class-D DSCからは殆どない。また、M.493-12 Annex3、Annex 4により操作が大幅にシンプルになることからM.493-12からClass-D DSCの高度な機能を削除する必要はないと主張した。これに対して加よりClass-D DSCから遭難中継、遭難警報応答の削除を支持する意見が出された。デンマークからは、IMOからのリエゾン(5B/62)にあるように、M.541の改訂が必要との意見があり、独が支持した。これに対し、UKからM.541-9はRRで義務参照になっているので扱いは慎重にすべきとのコメントが述べられた。また、M.493-12 Annex3、Annex4の有効性について、今までPCでシミュレーションされたのみであり、実際のフィールドテストが必要ではないかとの意見がデンマークよりあった他、英からはAnnex3、Annex4がどのように動作するのかをIMOでデモンストレーションするのはどうかとの意



見もあった。最終的には次回のWP5Bに5B/114に対するコメントの提出を求めるとし、同文書を議長報告に添付して次回審議に持ち越しとなった。

(2) Class H DSC

前回WP5Bで議論し今回に持ち越しとなっているClass-H DSCについて議論された。前回同様、米はClass-H DSCの有用性を主張したのに対し、欧州勢、特に瑞からはClass-H DSCはA1エリアがカバーしきれないこと、DSCよりも音声による遭難呼び出しが現実的であること等により反対の立場をとった。また、英より本件はIMOへリエゾンしているが、リエゾン送付のタイミングにより次回COMSAR13での検討となることが説明され、デンマークよりIMOでの議論に委ねるべきとの意見が出された結果、次回審議に持ち越しとなった。

(3) ITU-R 勧告の見直し

旧勧告番号等を参照しているMシリーズITU-R勧告の確認がIMO/ITUエキスパートグループで行われた結果についてBRより確認要請があった(5B/124)。海上移動業務関連について、少メンバーで詳細検討が行われた結果、BRより提供された勧告の内、海上及び無線測位関連でない勧告が含まれており、これらについては関連WPへ連絡するようBRに要請する文書が作成され、承認された(5B/TEMP/99)。また、海上移動業務に関するITU-R勧告については、要否及び参照先の見直しを行い、修正版が取り纏められ、承認された(5B/TEMP/104)。

## 2.4 Ad-hoc SDR/CRS (ソフトウェア無線(SDR)及びコグニティブ無線(CRS))

Ad-hoc SDR/CRS 議長はMr. J. Conner (米) が担当し、2件の入力文書について審議を行い、1件の出力文書を作成した。

入力文書: Doc.5B/82, 122

出力文書: Doc.5B/TEMP/44

Ad Hoc SDRグループは、5B/122に記述されている定義の見直しを行わず、さらにWP5Bの範囲内の無線通信業務に係る、5B/82(WP1B)で提案されたSDRの定義に対し何も意見を提出しなかった。その代わりに、WP5Bの無線通信業務、特に人命安全に係るSDR及びCRSの取扱いに注意するよう、WP5Aに対してリエゾン文書を作成した。(5B/TEMP/44)

WP5Aは、SDR及びCRSの定義についてコメントしない、とするWP5Bからのリエゾン文書に注意を払い、WP5A及びWP5Bのジョイント・リエゾン文書には、[ ]を付して定義を支持すると明記した。しかし、その後のWP5B会合において、WP5Bの記述に[ ]を移すことで意見が一致した。

米国としては、WP5Bの範囲内の無線通信業務に係るSDR及びCRSの定義に対して、サポートすべきではないと考えている。

## 2.5 次回会合

次回WP5B会合: 2009年5月19日(火)から28日(木)まで、スイスジュネーブ

寄与文書の入力期限は、2009年5月12日(火) 16:00(UTC)まで



表5 WP5B入力文書一覧

文書 番号 Doc.5B/	提出元	題目	担当 WG	出力文書 Doc.5B/ TEMP/
174	Director, BR	Final List of Participants - Working Party 5B (29 October - 7 November 2008)	5B1 5B2 5B3	—
173	Acting Chairman, WP5A	Draft liaison statement to Working Party 1B on the study of Software-Defined Radio and Cognitive Radio Systems (Agenda item 1.19)	Ad-h oc	—
172	WP5C	Liaison statement to Working Party 5A (copy to WP 5B and ITU-T Study Group 2 for information) - Response liaison statement to Working Party 5A on possible suppression of message formats in Recommendation ITU-R M.1677	5B3	—
171	WP5C	Liaison statement to Working Party 5B (copy to WPs 5A, 6A, 7A and 7D for information) - Sharing studies required for WRC-11 Agenda item 1.15	5B1	51
170	WP5A	Liaison statement to Working Parties 5B, 5C and 6A - Working document towards draft CPM text for WRC-11 Agenda item 1.23	5B2	—
169	WP5A	Liaison statement to Working Parties 5B, 5C and 6A - Work plan for studies related to WRC-11 agenda item 1.23	5B2	—
168	WP5C	Liaison statement to Working Party 1A (copy to WPs 5A, 5B and 6A for information) - Interference issues from power line telecommunication systems using the electricity supply wiring	5B2	—
167	WP5C	Liaison statement to Working Parties 6A and 5B (copy to WP 5A for information) - Consider possible allocations in the frequency range 3-50 MHz to the radiolocation service for oceanographic radar applications	5B1	52Rev1
166	WP5C	Liaison statement to Working Party 4C (copy to WPs 5A and 5B for information) - Information for studies related to WRC-11 Agenda item 1.25	5B2	—
165	WP6A	Liaison statement to Working Party 5B - Consider possible allocations in the frequency range 3-50 MHz to the radiolocation service for oceanographic radar applications (WRC-11 Agenda item 1.15)	5B1	51 (52Rev1)
164	WP6A	Liaison statement to Working Party 5B - Protection of ISDB-TSB system and FM sound broadcasting operating in 76-108 MHz band under Agenda item 1.14	5B1	60
163	BR Study Group Department	List of documents issued	5B1 5B2 5B3	—
162	Director, BR	Renumbered questions within study group 5	5B1 5B2 5B3	—
161	WP4A	Liaison statement to Working Parties 7B, 5B and 5C - WRC-11 Agenda item 1.12	5B2	—
160	WP4C	Liaison statement to Working Party 5B - Compatibility between aeronautical mobile (R) service systems and radionavigation-satellite service systems in the 5 000-5 010 MHz and 5 010-5 030 MHz bands	5B2	77

文書 番号 Doc.5B/	提出元	題目	担当 WG	出力文書 Doc.5B/ TEMP/
159	WP4C	Liaison statement to Working Party 5B - Compatibility between aeronautical mobile (R) service systems in the 960-1 164 MHz band and radionavigation-satellite services systems in the 1 164-1 215 MHz band	5B2	
158	WP4C	Liaison statement to ITU-R Working Parties [5A], 5B and [5C] - WRC-11 Agenda item 1.18	5B1 5B2 5B3	—
157	WP7C	Liaison statement to WPs 3L, 5B and 5C - Arrival time difference lightning detection systems in the meteorological aids service in operation below 20 kHz (WRC-11 Agenda item 1.16)	5B2 5B3	
156	UK	Update on the work being carried out in the UK with respect to radar planning and protection criteria	5B1	
155	France	WRC-11 Agenda item 1.9 - Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1798 - Characteristics of HF radio equipment for the exchange of digital data and electronic mail in the maritime mobile service	5B3	94
154	France	Working document towards a draft new Report ITU-R M.[UAS-SPEC] - Characteristics and spectrum requirements for unmanned aircraft systems (UAS)	5B2	76
153	France	WRC-11 Agenda item 1.3 - Working document towards draft CPM text	5B2	—
152	France	WRC-11 Agenda item 1.14 - Working document towards draft CPM text	5B1	—
151	France	WRC-11 Agenda item 1.15 - Working document towards draft CPM text	5B1	57, 68
150	France	Preliminary draft new Question ITU-R [WAIC]/5	5B2	45
149	France	Sharing between AMS(R)S and MLS in the 5 GHz band	5B2	—
148	WP7B	Liaison statement to Working Parties 4A, 5A, 5B and 5C - WRC-11 Agenda item 1.12	5B2	80
147	France	Description of a preliminary 5 GHz AMS(R)S system	5B2	—
146	ICAO	Discussion on a Preliminary Draft New Question (PDNQ) on a system for Wireless Aircraft Intra Communications (WAIC)	5B2	45
145	ICAO	Agenda item 1.4 and Resolution 413 (Rev. WRC-07) - Assessment of potential interference from VDL Mode 4 transmissions in the band 112-117.975 MHz into FM broadcasting receivers	5B2	47
144	ICAO	Agenda item 1.4 and Resolution 413 (Rev.WRC-07) - Assessment of potential interference from FM broadcasting stations into aeronautical VDL Mode 4 systems in the band 112-117.975 MHz	5B2	86

文書 番号 Doc.5B/	提出元	題目	担当 WG	出力文書 Doc.5B/ TEMP/
143	Russian Federation	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1802 - Characteristics and protection criteria for radars operating in the radiolocation service in the frequency band 30-300 MHz	5B1	67
142	Russian Federation	Work plan on WRC-11 Agenda item 1.14	5B1	66
141	Russian Federation	Proposals for modification of draft CPM Report on WRC-11 Agenda item 1.14	5B1	68
140	Russian Federation	Working document towards a draft new Report ITU-R M.[RLS 30-300 MHZ SHARING] on RLS sharing feasibility in the 138-144 MHz and 154-156 MHz bands	5B1	58, 64, 68
139	WP4C	Liaison statement to Working Party 5B and Working Party 5C _ Organization of AMS(R)S spectrum requirement studies (WRC-11 Agenda item 1.3 and 1.7)	5B2	73
138	WP4C	Liaison statement to Working Party 5B - Unwanted emission characteristics in the 5 010-5 030 MHz band from the International Civil Aviation Organization (ICAO) standard Microwave Landing System (MLS) operating in the band 5 30-5 150 Mhz	5B2	88
137	WP4C	Liaison statement to Working Party 5B - Information for studies related to WRC-11 Agenda item 1.25	5B2 5B3	97
136	USA	WRC-11 Agenda Item 1.4 - Working document towards draft new CPM Text - Chapter 1	5B2	78
135	USA	Aggregate bandwidth requirements for control and non-payload communications of Unmanned Aircraft in U.S. Airspace	5B2	76
134	USA	Bandwidth requirements for control and non-payload communications of a Single Unmanned Aircraft	5B2	76
133	USA	Unmanned aircraft systems (UAS) deployment scenarios	5B2	76
132	USA	Working document toward a preliminary draft new Report - Compatibility analysis and results for radiolocation systems planned to operate in the 15.4 to 17.3 GHz band and aircraft landing system operating in the 15.4-15.7 GHz band	5B1	55
131	USA	Preliminary draft new ITU-R Report - WRC Agenda item 1.15 - Determining required separation distances nad frequency separation between oceanographic radars and allocated services operating within sub-bands in the 3 MHz to 50 MHz band.	5B1	54
130	USA	Spectrum requirements of 5 GHz aeronautical mobile (R) service systems supporting surface applications at airports	5B2	
129	France	WRC-11 Agenda item 1.10 - Satellite detection of AIS - Proposed modifications to the preliminary draft new Report ITU-R M.[SAT-AIS]	5B3	71Rev1, 98
128	France	Proposed work plan on Agenda item 1.15	5B1	53

文書 番号 Doc.5B/	提出元	題目	担当 WG	出力文書 Doc.5B/ TEMP/
127	France	Prioritisation of frequency bands for sharing studies linked to WRC-11 Agenda item 1.15	5B1 5B2	54
126	France	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[HF-RADAR] - Technical and operational characteristics of high-frequency oceanographic radars operating in sub-bands within the frequency range 3-50 MHz	5B1	56
125	France	Proposed working document towards a draft new Report ITU-R M.[RLS 3-50 MHZ SHARING] on RLS sharing feasibility in the 3-50 MHz bands	5B1	54
124	Director, Radiocomm unication Bureau	ITU-R Recommendations dealing with maritime and radiodetermination issues	5B1 5B3	99, 104
123	WP5D	Liaison statement to Working Party 5B (copy to Working Parties 5A and 6A for information) - IMT parameters in the 790-862 MHz frequency band	5B1	
122	Canada	Proposed draft reply liaison statement to Working Party 1B on the study of software-defined radio and cognitive radio systems	Ad-h oc	44
121	WMO	Status of the issue of C-Band meteorological radars interference from 5 GHz RLAN and specific case of potential use of 5 GHz RLAN on-board aircraft	5B1 5B2	41, 42
120	USA	Draft working document towards a work plan for WRC-11 Agenda item 1.10	5B3	102
119	USA	Draft working document towards a work plan for WRC-11 Agenda item 1.9	5B3	72Rev1, 101
118	USA	Preliminary draft new Report ITU-R M.[HF-RADAR] - Technical and operational characteristics of high-frequency oceanographic radars operating in sub-bands within the frequency range 3-50 MHz	5B1	(54), 56
117	USA	Initial considerations on compatibility between proposed new aeronautical mobile (R) service (AM(R)S) and both radionavigation satellite service (RNSS) in the 5 000-5 010 MHz band and radio astronomy in the 4 990-5 000 MHz band	5B2	49, 75
116	USA	Initial considerations on compatibility between proposed new aeronautical mobile (R) service (AM(R)S) and radionavigation satellite service (RNSS) in the 5 010-5 030 MHz band	5B2	48
115	USA	Preliminary draft new Report ITU-R M.[ ] - Improved satellite detection of AIS	5B3	98
114	France , UK , Netherlands (Kingdom of the)	Working towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.493-12 - DSC functionality for equipment intended or use on non-SOLAS vessels and general design considerations.	5B3	—
113	USA	Proposed revisions to draft new Recommendation ITU-R M.[ANT PAT] "Mathematical models for radiodetermination radar systems antenna patterns for use in interference analyses"	5B1	43
112	USA	Consideration of the radiolocation service in the frequency range 3-50 MHz for oceanographic radar applications	5B1	52Rev1

文書 番号 Doc.5B/	提出元	題目	担当 WG	出力文書 Doc.5B/ TEMP/
111	USA	Draft liaison statement to Working Party 7B, Working Party 4A, and Working Party 5C providing information regarding aeronautical mobile applications used or planned in the band 37-38 GHz, including technical characteristics and protection criteria	5B2	
110	USA	Working document on technical characteristics and operational objectives for installed wireless avionics intra-communications (WAIC)	5B2	83
109	USA	Working document on the workplan and milestones for studies required for WRC-11 Agenda item 1.3 (UAS)	5B2	79
108	USA	WRC-11 Agenda item 1.3 - Working document towards draft CPM text	5B2	82
107	USA	[PRELIMINARY] draft revision of Recommendation ITU-R M.1842 - Characteristics of VHF radio system and equipment or the exchange of data and electronic mail in the maritime mobile service Appendix 18 channels	5B3	91
106	USA	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[ ] maritime usage of radio frequency identification tags for freight containers (WRC-11 Agenda item 1.10)	5B3	100, 102
105	Canada	Proposed preliminary draft revision to Recommendation ITU-R M.585-4	5B3	—
104	Canada	Proposed draft liaison statement to Working Party 5A, copies to Working Parties 5C, 6C, 7B, and 7D on studies related to WRC-11 Agenda item 1.15	5B1	51
103	Finland	Technical and operational studies needed to study the protection of the aeronautical radionavigation service (ARNS) in the band 15.4 - 15.7 GHz	5B1	55
102	Netherlands (Kingdom of the)	Work plan on Agenda item 1.9	5B3	72Rev1, 101
101	France	Actual usage of the appendix 17 of the radio regulations	5B3	101
100	Russian Federation	Proposals for a preliminary draft new Report ITU-R - Radionavigation satellite service effect on receivers in the Radiodetermination systems in the 1215-1300 MHz frequency band	5B1	—
99	Russian Federation	Characteristics of the ARNS systems in the frequency band 960-1 164 MHz	5B2	84
98	Eurocontrol Agency	Agenda item 1.3 - An initial analysis of the data rates required for the operation of unmanned aerial systems in various categories of airspace	5B2	
97	Germany (Federal Republic of)	Working document towards a draft new Report ITU-R M.[UAS-SPEC] - Characteristics and spectrum requirements for unmanned aircraft systems (UAS)	5B2	76
96	Germany (Federal Republic of)	AMS(R)S spectrum requirements work organisation between Working Party 5B and Working Party 4C	5B2	73
95	Chairman, Study Group 5	Draft new Recommendation ITU-R M.[ANT PAT] - Mathematical models for radiodetermination radar systems antenna patterns for use in interference analyses	5B1	43
94 94-corr	CEPT	Working document on the milestones for WRC-11 Agenda item 1.4	5B2	81

文書 番号 Doc.5B/	提出元	題目	担当 WG	出力文書 Doc.5B/ TEMP/
93 93-corr	CEPT	Preliminary draft new Question ITU-R XXX/5 - Compatibility between digital sound-broadcasting in the band of about 87-108 MHz and both aeronautical radio navigation and aeronautical mobile (route) services in the bands 108 - 117.975 MHz and 117.975 - 137 MHz respectively.	5B2	46
92 92-corr	CEPT	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[AM(R)S_1GHz_SHARING] on AM(R)S sharing feasibility in the 960-1 164 MHz band	5B2	84
91	WMO	Technical and operational aspects of ground-based meteorological radars	5B1	41, 42
90	Director, BR	Implementation of Resolution 355 (WRC-07) concerning the maritime service publications	5B3	92
89	WMO	Preliminary WMO position on WRC-11 agenda	5B1 5B3	
88	International Committee of the Red Cross	Considerations on further work on Resolution 18 (Rev. WRC-07)	5B3	70
87	IMO	Liaison statement to IUT-R WP 5B - Satellite detection of AIS	5B3	
86	IALA	Liaison statement to ITU-R Working Party 5B - Preliminary draft new Report ITU-R M. [SAT-AIS] "Improved Satellite detection of AIS"	5B3	—
85	IALA	Proposed revision of Recommendation IUT-R M.585-4 - Assignment and use of maritime mobile service identities	5B3	—
84	WP 1A	Liaison statement to relevant Working Parties of Study Groups 3, 4, 5, 6, 7 - Information on short-range evices required for WRC-11 Agenda item 1.22	5B1 5B2 5B3	89
83	WP 1A	Liaison statement to Working Party 5B - Progress of work in the WP 5B Rapporteur Group on future work related to annex 8 of Recommendation ITU-R SM.1541-2	5B1	63
82	WP1B	Liaison statement to ITU-R WPs 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 6A, 7B, 7C and 7D (copy for information to ITU-R WPs 1A, 3J and 3K) - On the study of software-defined radio and cognitive radio systems	Ad-h oc	44
81	WP1C	Liaison statement to Working Parties 5A, 5B, 5C, 6A and 6B (copy to Working Party 3L for information) - Radio noise en the HF frequency band	5B1 5B2 5B3	
80	WP3M	Liaison statement to Working Party 5B on draft new report ITU-R M.[LRD-AIS]	5B3	
79	WP3K	Liaison statement to Working Party 5B (copy to 6A and 4C for information) - Compatibility between digital sound-broadcasting in the band of about 87-108 MHz and the aeronautical services in the bands between 108 and 137 MHz	5B2	



文書 番号 Doc.5B/	提出元	題目	担当 WG	出力文書 Doc.5B/ TEMP/
78	WP3L	Reply to the liaison statement from Working Party 5C in Document 3L/2 - 5B/41 (copy to Working Party 5B) - WRC-11 Agenda item 1.15	5B1	51
77	WP3L	Reply to liaison statement from Working Party 5B in documents 3L/3, 3K/3 and 3J/5 - Considerations relating to propagation models for studies in support of WRC-11 Agenda item 1.15	5B1 5B3	51
76	WP6A	Liaison statement to ITU-R Working Party 5B on a primary allocation to the radiolocation service in the portion of the band 30-300 MHz (copy for information to ITU-R Working Parties 3L, 5A, 5C, 7B and 7D)	5B1	60
75	WP6A	Liaison statement to ITU-R Working Party 5B on additional allocations to the maritime mobile service below 1 GHz - (Copy for information to ITU-R Working Parties 5A, 5C, 7B, 7C and 7D)	5B3	69, 102
74	Chairmen, SGs 5 and 6	Result of the first meeting of Joint Task Group 5-6	5B1 5B2 5B3	—
73	WP6A	Liaison reply to Working Party 5A (copied to WPs 5B and 5C for information) to consider an allocation of about 15 kHz in part of the band 415-526.5 kHz to the amateur service on a secondary basis, taking into account the need to protect existing services	5B2 5B3	
72	WP6A	Liaison statement to Working Parties 5A, 5B, 5C, 7A and 7D - Sharing studies required for WRC-11 Agenda item 1.15	5B1	51
71	Chairman, SG 5	Analytical list of the M-Series Recommendations within Working Party 5B	5B1 5B2 5B3	—
70	WP6A	Liaison reply to Working Party 4C (copied to Working Parties 3J, 3K, 3L, 3M, 7A, 7B, 7C, 7D, 4A, 4B, 6A, 6B, 6C, 1A, 1B, 1C, 5A, 5B, 5C and 5D for information) - Studies related to WRC-11 Agenda item 1.25	5B2	97
69	WP6A	Liaison statement to Working Party 5B - Compatibility between digital sound-broadcasting in the band of about 87-108 MHz and the aeronautical services in the bands between 108 and 137 MHz	5B2	46, 74, 85, 87
68	WP6A	Liaison statement to Working Party 5B (copied to working Parties WP 5A, WP 5C, WP 7B and WP 7D for information) - Consider possible allocations in the frequency range 3-50 MHz to the radiolocation service for oceanographic radar applications - (WRC-11 Agenda item 1.15)	5B1	52Rev1
67	Chairman, SG 5	Availability of meeting reports of Working Parties	5B1 5B2 5B3	—
66	WP6D	Liaison statement to Working Parties 5D, 5B and 5C and for information to Joint Task Group 5-6 - Sharing studies between IMT and the primary services, including broadcasting, to which the UHF band is allocated	5B1 5B2 5B3	—
65	Chairman, SG 5	Work on the topic addressed in document 5D/118 from Study Group 4	5B1 5B2 5B3	—

文書 番号 Doc.5B/	提出元	題目	担当 WG	出力文書 Doc.5B/ TEMP/
64	IMO	Liaison statement to ITU, CIRM, IEC and IALA AIS safety related broadcast messages used for distress purposes	5B3	
63	IMO	Liaison statement to ITU, IEC, IALA and CIRM AIS search and rescue transmitter (AIS-SART)	5B3	50Rev1
62	IMO	Recommendation ITU-R M.493-12 on digital selective calling system for use in the maritime mobile service	5B3	—
61	WP4A	Liaison statement to Working Party 5C for information and possible action to Working Parties 3M, 5A, 5B, 7B and 7C - Gateway links for high altitude platform stations in the range from 5 850 to 7 075 MHz	5B2	
60	ISO	Liaison statement to ITU-R Working Party 5B - Proposed cooperative effort concerning freight container identification and communication as applicable ITU-R WRC Agenda item 1.10	5B3	103
59	Chairman, Study Group 5	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1842 - Characteristics of VHF radio system and equipment for the exchange of data and electronic mail in the maritime mobile service channels of appendix 18 of the Radio Regulations	5B3	
58	WP4C	Liaison statement to Working Parties 7A, 7B, 7C, 7D, 4A, 4B, 6D, 6X, 6G, 1A, 1B, 1C, 5A, 5B, 5C and 5D (copy for information to Working Parties 3J, 3K, 3L and 3M) - Information for studies related to WRC-11 Agenda item 1.25	5B2 5B3	97
57	WP4B	Liaison statement to Working Parties 5A, 5B, 5C, 5D and Study Group 5 - Definition of networks that utilize both satellite and terrestrial components	5B3	
56	Chairmen, SGs 5 and 6	Consideration on and proposals for the studies requested in Resolution 224 (Rev.WRC-07) and Resolution 749 (WRC-07)	5B1 5B2 5B3	—
55	WP7C	Liaison statement to Working Party 5B - Considerations relating to sharing and compatibility studies in support of WRC-11 Agenda item 1.16 (Resolution 671 [COM6/16] (WRC-07))	5B2 5B3	
54	WP7B	Liaison statement to Working Party 1B concerning the study of software defined radio and cognitive radio systems in Working Party 1B (copy for information to Working Parties 1A, 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6D, 6G, 7C, 7D)	5B1 5B2 5B3	—
53	WP7B	Liaison statement to Working Parties 4A, 5A, 5B and 5C - WRC-11 agenda item 1.12	5B2	80
52	WP7D	Liaison statement to Working Party 5B - Sharing studies required for WRC-11 agenda item 1.15	5B1	51
51	WP5A	Liaison statement to WPs 5B, 5C, 6D, 7B and 7D on studies related to WRC-11 Agenda item 1.15	5B1	51
50	WP5A	Liaison statement to Working Parties 5B, 5C and 6D on studies related to WRC-11 Agenda item 1.23	5B2 5B3	95
49	WP5A	Liaison statement to Working Parties 5B, 5C and ITU-T Study Group 2 on possible suppression of message formats in Recommendation ITU-R M.1677	5B2 5B3	
48	WP5A	Liaison statement to ITU-R Working Party 1B on software defined radio and cognitive radio systems (copy for information to ITU-R WP 5B and ITU-R Study Groups 3, 4, 6 and 7)	5B1 5B2 5B3	—

文書 番号 Doc.5B/	提出元	題目	担当 WG	出力文書 Doc.5B/ TEMP/
47	WP5C	Liaison statement to ITU-R Working Party 1B (copy for information to ITU-R WP 5B and ITU-R Study Groups 3, 4, 6 and 7) - Studies of software defined radio and cognitive radio systems	5B1 5B2 5B3	—
46	WP5C	Liaison statement to WP 4A (copied to WPs 3M, 5A, 5B, 7B and 7C) - Gateway links for high altitude platforms stations in the range from 5 850 to 7 075 MHz	5B1 5B2 5B3	—
45	Acting Chairman, WP 5B	Acting Chairman's report - meeting 6-14 February 2008	5B1 5B2 5B3	—
45 Annex 27	同上	Working document on the workplan and milestones for UAS - Workplan for studies required for WRC-11 Agenda item 1.3	5B2	79
45 Annex 26	同上	List of documents issued (Documents 8B/641-8B/645 carried forward from the 2003-2007 Study Period and Documents 5B/1-5B/43)	5B1 5B2 5B3	—
45 Annex 25	同上	List of output documents	5B1 5B2 5B3	—
45 Annex 24	同上	Note to the Director, Radiocommunication Bureau from Working Party 5A and Working Party 5B	5B2	—
45 Annex 23	同上	Liaison statements to IMO, IALA and CIRM - Preliminary draft new report	5B3	
45 Annex 22	同上	Liaison statement to IEC TC80, IMO COMSAR, IALA and CIRM - AIS search and rescue transmitter (AIS-SART)	5B3	
45 Annex 21	同上	Liaison statement to IMO and CIRM - Proposed new "DSC CLASS H" of DSC portable radio intended primarily for distress alerting and communication	5B3	
45 Annex 20	同上	Consolidated list of liaison statements	5B1 5B2 5B3	—
45 Annex 19	同上	Revision to long-term Working Party 5B work programme	5B1 5B2 5B3	—
45 Annex 18	同上	Working document - Planning for studies in support of WRC-11 Agenda item 1.15 - Allocations to the radiolocation service within the frequency range 3 to 50 MHz	5B1	53
45 Annex 17	同上	Working document - Implementation of Resolution 355 (WRC-07) concerning the maritime manual	5B3	90, 93
45 Annex 16	同上	WRC-11 Agenda item 1.21 working document towards draft CPM text	5B1	—
45 Annex 15	同上	WRC-11 Agenda item 1.15 working document towards draft CPM text	5B1	57
45 Annex 14	同上	WRC-11 Agenda item 1.14 - Working document towards draft CPM text -	5B1	68
45 Annex 13	同上	WRC-11 Agenda item 1.10 working document towards draft CPM text -	5B3	102

文書 番号 Doc.5B/	提出元	題目	担当 WG	出力文書 Doc.5B/ TEMP/
45 Annex 12	Acting Chairman, WP 5B	WRC-11 Agenda item 1.9 - Working document towards draft CPM text - Chapter 1	5B3	101
45 Annex 11	同上	WRC-11 Agenda item 1.4 - Working document towards draft CPM text - Chapter 1	5B2	78
45 Annex 10	同上	WRC-11 Agenda item 1.3 - Working document towards draft CPM text - Chapter 1	5B2	82
45 Annex 9	同上	Working document on technical characteristics and performance objectives for installed wireless avionics intra-communications (WAIC)	5B2	83
45 Annex 8	同上	Preliminary draft new Question ITU-R [WAIC] - Technical characteristics and operational requirements for Wireless Avionics Intra-Communications (WAIC)	5B2	—
45 Annex 7	同上	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[RNSS-RDS] - Compatibility of the radionavigation-satellite service with radiodetermination service systems receivers in the 1 215-1 300 MHz band	5B1	—
45 Annex 6	同上	Working document towards a draft new Report ITU-R M.[UAS-SPEC] - Characteristics and spectrum requirements for Unmanned Aircraft Systems (UAS)	5B2	76
45 Annex 5	同上	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[AM(R)S_1GHz_SHARING] on AM(R)S sharing feasibility in the 960-1 164 MHz band	5B2	84
45 Annex 4	同上	Preliminary draft new Report ITU-R M.[SAT-AIS] - Improved satellite detection of AIS	5B3	
45 Annex 3	同上	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[HF-RADAR] - Technical and operational characteristics of high-frequency oceanographic radars operating in sub-bands within the frequency range 3-50 MHz	5B1	54, 56
45 Annex 2	同上	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[MET-RAD] - Technical and operational aspects of ground-based meteorological radars	5B1	41, 42
45 Annex 1	同上	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1730 - Characteristics of and protection criteria for the radiolocation service in the frequency band 15.4-17.3 GHz	5B1	—

表6 WP5B出力文書一覧

文書番号 5B/TEMP/	題目	入力文書 Doc.5B/	処理
41	Draft new Report ITU-R M.[METRAD-TEST] – Theoretical analysis and testing results pertaining to the determination of relevant interference protection criteria of ground-based meteorological radars	45Annex2, 91, 121	5/102 <u>承認SG5</u> へ
42	Draft new Recommendation ITU-R M.[MET-RAD] – Technical and operational aspects of ground-based meteorological radars	45Annex2, 91, 121	5/101 <u>承認SG5</u> へ
43	Draft new Recommendation ITU-R M.[ANT PAT] – Mathematical models for radiodetermination radar systems antenna patterns for use in interference analyses	Doc.5/25, 95, 113	5/89 <u>承認SG5</u> へ
44	Liaison statement to ITU-R Working Party 5A (and copy to WP 5C for information) – On the study of software-defined radio and cognitive radio systems and their potential impact to the maritime mobile service including global maritime distress and safety system (GMDSS); aeronautical mobile service and radiodetermination service	82, 122	5A/155 5C/122 <u>リジョン承認</u>
45	Draft new Question ITU-R [WAIC]/5 – Technical characteristics and operational requirements of wireless avionics intra-communications (WAIC)	146, 150	5/88 <u>承認SG5</u> へ
46	Draft new Question ITU-R XXX/5 – Compatibility between digital sound-broadcasting in the band of about 87-108 MHz and both the aeronautical radionavigation service in the band 108-117.975 MHz and the aeronautical mobile (route) service in the band 117.975-137 MHz	69, 93+corr.1	5/87 <u>承認SG5</u> へ
47	Working document toward a preliminary draft new Report ITU-R M.[AMRS-VHF] – Assessment of potential interference from VDL Mode 4 transmissions in the band 112-117.975 MHz into FM broadcasting receivers	145	5B/175 (Annex 15) <u>議長報告書に添付</u>
48	Working document toward a preliminary draft new Report ITU-R M.[AMRSS-RNSS] – Initial considerations on compatibility between proposed new aeronautical mobile (R) service (AM(R)S) and radionavigation satellite service (RNSS) in the 5 010-5 030 MHz band	116	5B/175 (Annex 16) <u>議長報告書に添付</u>
49	Working document toward a preliminary draft new Report ITU-R M.[AMRSS-RNSS-RAS] – Initial considerations on compatibility between proposed new aeronautical mobile (R) service (AM(R)S) and both radionavigation satellite service (RNSS) in the 5 000-5 010 MHz band and radioastronomy in the 4 990-5 000 MHz band	117	5B/175 (Annex 17) <u>議長報告書に添付</u>
50R1	Liaison statement to IMO COMSAR, IEC TC80, IALA and CIRM – AIS search and rescue transmitter (AIS-SART)	63	5B/175 (Annex 38) <u>議長報告書に添付(リ)</u>

51	Draft liaison statement to Working Parties 5A, 7D, 6A, 5C and 7B on studies related to WRC-11 Agenda item 1.15	51, 52, 72, 77, 78, 104, 165, 171	5A/183 5C/142 6A/132 7B/88 7D/69 <u>リエゾン承認</u>
52R1	Draft liaison statement to Working Party 6A (Copy to WPs 5A, 5C, 7B and 7D for information) – Consider possible allocations in the frequency range 3-50 MHz to the radiolocation service for oceanographic radar applications	68, 112, (165), 167	5A/178 5C/133 6A/124 7B/81 7D/67 <u>リエゾン承認</u>
53	Work plan on WRC-11 Agenda item 1.15	128, 45Annex18	5B/175 (Annex 28) <u>議長報告書に添付</u>
54	Working document towards a draft new Report ITU-R M.[RLS 3-50 MHz sharing] on RLS sharing feasibility in the 3-50 MHz bands	45Annex3, (118), 125, 127, 131	5B/175 (Annex 6) <u>議長報告書に添付</u>
55	Working document toward a preliminary draft new Report – Compatibility analysis and results for radiolocation systems planned to operate in the 15.4 to 17.3 GHz band and aircraft landing system operating in the 15.4-15.7 GHz band	103, 132	5B/175 (Annex 7) <u>議長報告書に添付</u>
56	Working document toward a preliminary draft new Report ITU-R M.[HF-RADAR] – Technical and operational characteristics of high-frequency oceanographic radars operating in sub-bands within the frequency range 3-50 MHz	45Annex3, 118, 126	5B/175 (Annex 8) <u>議長報告書に添付</u>
57	WRC-11 Agenda item 1.15 – Working document towards draft CPM text – Chapter 2, Radiolocation and amateur issues	45Annex15, 151	5B/175 (Annex 29) <u>議長報告書に添付</u>
58	Draft liaison statement to ITU-R Working Parties 5A and 5C (Copy to WPs 6A and 7B) – Initial considerations on compatibility between proposed new systems in the radiolocation service in bands 138-144 MHz and 154-156 MHz and other services operating in these bands	140	5A/177 5C/132 6A/123 7B/80 <u>リエゾン承認</u>
59	Draft liaison statement to ITU-R Working Party 7B (copy to WPs 5A, 5C and 6A) - Compatibility studies between radiolocation and space research service	—	5A/179 5C/134 6A/125 7B/82 <u>リエゾン承認</u>
60	Draft liaison statement to ITU-R Working Party 6A (copy to WPs 5A and 5C) on a primary allocation to the radiolocation service in the portion of the band 30-300 MHz	76, 164	5A/176 5C/131 6A/122 <u>リエゾン承認</u>
61	Draft liaison statement to ITU-R Working Party 7D (copy to WP 4A) – Compatibility studies between radiolocation and radioastronomy service	—	7D/65 <u>リエゾン承認</u>

62	Draft liaison statement to ITU-R Working Party 4A (copy to WP 7D) – Compatibility studies between radiolocation and fixed satellite service	—	4A/127 <u>リエゾン承認</u>
63	Draft liaison statement to ITU-R Working Party 1A – Work related to Annex 8 of Recommendation ITU-R SM.1541-2	83	1A/81 <u>リエゾン承認</u>
64	Working document towards a draft new Report ITU-R M.[RLS 30-300 MHz SHARING] on RLS sharing feasibility in the 138-144 MHz and 154-156 MHz bands	140	5B/175 (Annex 9) <u>議長報告書に添付</u>
65	WRC-11 Agenda item 1.21 Work Plan	—	5B/175 (Annex 30) <u>議長報告書に添付</u>
66	Work plan on WRC-11 Agenda item 1.14	142	5B/175 (Annex 26) <u>議長報告書に添付</u>
67	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1802 – Characteristics and protection criteria for radars operating in the radiolocation service in the frequency band 30-300 MHz	143	5B/175 (Annex 2) <u>議長報告書に添付(勸)</u>
68	WRC-11 Agenda item 1.14 – Working document towards draft CPM text, Chapter 2 – Radiolocation and amateur issues	45Annex14, 141, 151, 140	5B/175 (Annex 27) <u>議長報告書に添付</u>
69	Draft liaison statement to Working Party 6A – Additional allocations to the maritime mobile service below 1 GHz (WRC-11 Agenda item 1.10)	75	6A/128 <u>リエゾン承認</u>
70	Draft liaison statement to IALA (copy to the International Committee of the Red Cross (ICRC)) – Revisions of IALA AIS technical clarifications	88	5B/175 (Annex 39) <u>議長報告書に添付(リ)</u>
71R1	Draft framework for studies related to WRC-11 Agenda item 1.10	129	5B/175 (Annex 24) <u>議長報告書に添付</u>
72R1	Framework for studies related to WRC-11 Agenda item 1.9	102, 119	5B/175 (Annex 22) <u>議長報告書に添付</u>
73	Liaison statement to ITU-R Working Party 4C – Organization of AM(R)S spectrum requirement studies (WRC-11 Agenda items 1.3 and 1.7)	96, 139	4C/161 <u>リエゾン承認</u>
74	Liaison statement to Working Party 6A – WRC-11 Agenda item 1.4 (Resolution 413) compatibility studies	69	6A/127 <u>リエゾン承認</u>
75	Liaison statement to ITU-R Working Party 7D – Initial considerations on compatibility between proposed new aeronautical mobile (R) service (AM(R)S) and both radionavigation satellite service (RNSS) in the 5 000-5 010 MHz band and radio astronomy in the 4 990-5 000 MHz band	117	7D/66 <u>リエゾン承認</u>

76	Preliminary draft new Report ITU-R M.[UAS-SPEC] – Characteristics and spectrum requirements for unmanned aircraft systems (UAS)	45Annex6, 97, 133, 134, 135, 154	5B/175 (Annex 10) 議長報告書に添付(レ)
77	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 4C – Compatibility between aeronautical mobile (R) service systems and radionavigation-satellite service systems in the 5 000-5 010 MHz and 5 010-5 030 MHz bands	160	4C/163 <u>リエゾン承認</u>
78	WRC-11 Agenda item 1.4 – Working document towards text for the draft CPM Report	45Annex11, 136	5B/175 (Annex 21) 議長報告書に添付
79	Working document on the work plan and milestones for studies required for WRC-11 Agenda item 1.3 (UAS)	45Annex27, 109	5B/175 (Annex 18) 議長報告書に添付
80	Liaison statement to Working Parties 7B, 4A and 5C – Information regarding aeronautical mobile applications used or planned in the band 37-38 GHz, including technical characteristics and protection criteria	53, 148	4A/128 5C/136 7B/83 <u>リエゾン承認</u>
81	Working document on the milestones for WRC-11 Agenda item 1.4	94	5B/175 (Annex 20) 議長報告書に添付
82	WRC-11 Agenda item 1.3 working document towards text for the draft CPM Report – Chapter 1 – Maritime and aeronautical issues	15, 45Annex10, 108	5B/175 (Annex 19) 議長報告書に添付
83	Working document on technical characteristics and operational objectives for installed wireless avionics intra-communications (WAIC)	45Annex9, 110	5B/175 (Annex 32) 議長報告書に添付
84	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[AM(R)S_1GHz_SHARING] – AM(R)S sharing feasibility in the 960-1 164 MHz band	45Annex5, 92+corr.1, 99	5B/175 (Annex 11) 議長報告書に添付
85	Working document toward a preliminary draft new Report ITU-R M.[COMPAT-VHF] – (Draft new Question ITU-R [COMPAT-VHF])	69Annex2	5B/175 (Annex 12) 議長報告書に添付
86	Working document toward a preliminary draft new Report ITU-R M.[VHF-AM(R)S] – Assessment of potential interference from FM broadcasting stations into aeronautical VDL Mode 4 systems in the band 112-117.975 MHz	144	5B/175 (Annex 13) 議長報告書に添付
87	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 6A – Compatibility between digital sound-broadcasting in the band of about 87-108 MHz and both the aeronautical radio navigation service in the band 108-117.975 MHz and the aeronautical mobile (route) service in the band 117.975-137 MHz	69Annex2	6A/129 <u>リエゾン承認</u>



88	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 4C – Unwanted emission characteristics in the 5 010-5 030 MHz band from the International Civil Aviation Organization (ICAO) standard microwave landing system (MLS) operating in the band 5 030-5 150 MHz	138	4C/162 <u>リエゾン承認</u>
89	Reply liaison statement to Working Party 1A – Information on short-range devices required for WRC-11 Agenda item 1.22	84	1A/82 <u>リエゾン承認</u>
90	Liaison statement to IMO COMSAR – Implementation of Resolution 355 concerning the Maritime Manual	45Annex17	5B/175 (Annex 37) 議長報告書 に添付(リ)
91	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1842 – Characteristics of VHF radio system and equipment for the exchange of data and electronic mail in the maritime mobile service Appendix 18 channels	107	5/117 <u>承認SG5へ</u>
92	Working document – Implementation of Resolution 355 (WRC-07) concerning the maritime service publications - Possible new structure of the List of coast stations and special service stations (List IV) and List of ship stations and maritime mobile service identity assignments (List V)	90	5B/175 (Annex 34) <u>議長報告書 に添付</u>
93	Working document – Implementation of Resolution 355 (WRC-07) concerning the maritime Manual – Possible new structure of the maritime Manual	45Annex17	5B/175 (Annex 33) <u>議長報告書 に添付</u>
94	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1798 – Characteristics of HF radio equipment for the exchange of digital data and electronics mail in the maritime mobile service	155	5B/175 (Annex 1) <u>議長報告書 に添付</u>
95	Reply liaison statement to WP 5A (copy to WPs 5C and 6A) on studies related to WRC-11 Agenda item 1.23	50	5A/180 5C/135 6A/126 <u>リエゾン承認</u>
96	Liaison statement to IMO (COMSAR and NAV), IALA – Improved satellite detection of AIS	115, 129	5B/175 (Annex 35) 議長報告書 に添付(リ)
97	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 4C – Studies related to WRC-11 Agenda item 1.25	58, 70, 137	4C/164 <u>リエゾン承認</u>
98	Draft new Report ITU-R M.[SAT-AIS] – Improved satellite detection of AIS	115, 129	5B/175 (Annex 5) 議長報告書 に添付(レ)
99	Proposed actions for BR on ITU-R Recommendations dealing with maritime and radiodetermination issues	124	5B/175 (Annex 4) 議長報告書 に添付(覚)
100	Working document towards a draft new Report ITU-R M.[CARGO-IDS] – Maritime usage of radio frequency identification tags for freight containers (WRC-11 Agenda item 1.10)	106	5B/175 (Annex 14) <u>議長報告書 に添付</u>

101	Proposed text towards the draft CPM Report for WRC-11 Agenda item 1.9	45Annex12, 101, 102, 119	5B/175 (Annex 23) 議長報告書 に添付
102	Proposed text towards the draft CPM Report for WRC-11 Agenda item 1.10 – Chapter 1, Maritime and aeronautical issues	45Annex13, 75, 106, 120	5B/175 (Annex 25) 議長報告書 に添付
103	Draft liaison statement to International Organization for Standardization Technical Committee 104 (copy to WP 1A and ITU-T SG 16)– Cooperative effort concerning freight container identification and communication as applicable ITU-R (WRC-11 Agenda item 1.10)	60	1A/79 リエゾン承認  5B/175 (Annex 36) 議長報告書 に添付
104	ITU-R Recommendations dealing with maritime and radiodetermination issues	124	5B/175 (Annex 3) 議長報告書 に添付

## 第2回 Working Party 5C会合 報告書(案)

### 1 WP5C

WP5Cは固定無線システム、固定及び陸上移動業務用のHFシステムを扱う作業部会である。

#### 1.1 会議の概要

第2回WP5C会合は、2008年10月27日(月)から11月3日(月)までの実質6日間、スイス国ジュネーブ市のITU本部において開催された。本会議には34カ国から137名が参加し、日本からは別紙のとおり9名が出席した。議長はCharles Glass(米国)が担当し、Working Partyのもとに3 Working Group(WG)、2 AdHoc Groupを設置し(表1)、93件の寄与文書(日本からの寄与文書6件)について審議が行われた。その結果、勧告改訂案2件、勧告改訂暫定案1件、報告改訂暫定案2件、リエゾン文書28件、作業文書(CPMテキスト案、勧告・報告改訂草案、その他)16件を出力文書として承認した。

表1 WP5Cの審議体制

グループ	担務内容	議長
WP5C	固定無線システム、固定及び陸上移動業務用のHFシステム	C. Glass(米国)
WG-1	30MHz以下の課題	G. Odium(豪)
WG-2	30MHz～18GHzの課題	M. Christensen(カナダ)
WG-3	18GHz以上の課題	J. Guyomard(仏)
AdHoc-Work Plans	WRC議題に関する作業計画	S. Ward(米国)
AdHoc-Recommendations	旧WP9Dが作成した古い勧告の見直し	荒木(日本)

### 2 審議の内容

#### 2.1 WG5C-1(30MHz以下の課題)

- (1) 議長: G. Odium(豪)
- (2) 主要メンバ: C. Glass(米国)、M. Christensen(カナダ)、梶原、森崎、辻、小牧、大本、枚田、橋本(日)など約30名
- (3) 入力文書: 5C/28 (WP 5A)、31(WP 5A)、32 (WP 5A)、35 (WP 7C)、54 (カナダ)、57 (WP

6A)、59 (WP 6A)、60 (WP 6A)、63 (WP 6A)、66 (WP 3L)、67 (WP 1C)、78(米国)、  
103 (ブラジル)、114 (WP 7C) 計14件

(4) 出力文書: 5C/TEMP/46、47、48、49、50、54、55 計7件

#### (5) 審議概要

WG5C-1は、30MHz以下の課題について審議するWGである。本WGは今会合中4回開催され、14件の入力寄与文書を審議し、7件の出力文書を作成した。

主な審議結果として、80MHz以下の帯域で運用される電力線通信に関するWP1Aへのリエゾン文書を作成した。

### 2.1.1 電力線通信(PLT)

入力文書: 5C/54 (カナダ)、103(ブラジル)

出力文書: 5C/TEMP/46

80MHz以下の帯域で運用される電力線通信に関し、電力線通信の影響を受ける無線通信システムの干渉保護基準についての情報提供を求める WP1A からのリエゾン文書への回答の要素となる2件の文書(カナダからの計算方法の提案(5C/54)、及びブラジルからのPLTのフィールド実験計画、法制度化の見通し(5C/103))を審議した。

米国、英国より、WP1Aへのリエゾンは有益だが内容について慎重に対応する必要があるとの意見があった。日本より、米国、英国の意見への賛意およびカナダ文書はPLTの干渉量規定値を取り扱っていないのに対し、ブラジル文書はPLTの干渉量規定値を取り扱っているため、リエゾン文書では別Annexとする必要があるとの意見が述べられた。WP5CではまだPLT干渉問題を検討中なので本文書ではprotection levelを提案しないという内容で、カナダ文書の全体とブラジルの文書のうち干渉規定値等を除いた箇所を各々別Annexとして添付したWP1Aへのリエゾン文書(5C/TEMP/46)を作成した。

### 2.1.2 議題1.15(短波海洋レーダ)関連

入力文書: 5C/28 (WP5B)、57 (WP6A)、59 (WP6A)、66 (WP3L)、78(米国)

出力文書: 5C/TEMP/47、48、55

WRC-11議題1.15(3-50MHz帯の海洋レーダ応用のための無線標定への分配の考察)に関し、WP6A から「WP5Bにおいて既存のITU-R Report M.2080(4-10MHz帯の共用問題)の内容を取り込んで3-50 MHz 帯の全ての業務に関する共用を検討する新Reportを作成すべきである」とのリエゾン(5C/57)に対する回答リエゾンを審議した。米国からの入力文書(5C/78)に基づき、3-50MHz帯の海洋レーダ応用に関しては Report M.2080 を改訂・統合するのではなく、別のReportでHF帯の共用を検討すべきという提案を行うという内容のリエゾン(5C/TEMP/55)を作成した。WP6Aからの、海洋レーダに影響を受ける可能性のある

WP6A所掌業務に関するリスト情報を提供するリエゾン(5C/59)、WP3Lからの伝搬モード及びその関連情報提供のリエゾン(5C/66)については特に対応しなかった。

また、WP5B からの3-30MHz帯の海洋レーダに関して、特に4.5、9、13、27、42MHz帯に関する共用検討を依頼するリエゾン(5C/28) に対し、3-30MHz帯の固定通信に関する ITU-R 勧告の情報を追加したリエゾン (5C/TEMP/47)を作成した。

### 2.1.3 その他の審議事項

HF帯のノイズの測定、評価法に関するWP1C からのリエゾン(5C/67) に対する回答(5C/TEMP/54)を作成した。WP5A からの議題1.23に関するリエゾン文書(5C/31)やWP7C からの議題 1.16 に関するリエゾン文書(5C/35)に関しては、今回の会合では結論が出ないため次回会合での審議結果を回答するという内容のリエゾン(5C/TEMP/48、50)を作成した。WP5A からのITU-R勧告M.1677に記載されているMorse message format の削除への意見照会(5C/30)に関し、賛同する旨のリエゾン文書(5C/TEMP/49)を作成した。

この他、WP6AからWP5Aへの議題1.23(415-526.5kHz帯の約15kHz幅のアマチュア業務への二次分配)に関するリエゾンのコピー(5C/60)、WP6AからWP5Bへの議題1.10(船舶港湾安全システムの運用に関する周波数関連事項)に関するリエゾンのコピー(5C/63)は情報提供なので、特に対応しなかった。

## 2.2 WG 5C-2

(1) 議長: M. Christensen(カナダ)

(2) 主要メンバ: C. Glass、D. Jansky(米国)、R. Bunch(豪)、A. Florea(カナダ)、J. Guyomard、J. Bonin(仏)、Klyucharev(ロシア)、S. Mattsson(スウェーデン)、M. Gawron(ドイツ)、J. Park(韓国)、梶原、森崎、辻、小牧、大本、橋本(日)など約50名

(3) 入力文書: 5C/26Annex 1、4、5(WP5C議長報告)、5C/27(WP5B)、29(WP5A)、34(WP7B)、36(WP7C)、37(WP7D)、42(WP7B)、43(WP7B)、45(WP7B)、46(WP4B)、47(WP4C)、48(WP7A)、51(WP4A)、53(WP6D)、58(WP6A)、62(WP6C)、64(WP6A)、65(SG 6)、68(WP1B)、70(WP1A)、72(WMO)、73(WP4B)、75(米国)、76(米国)、77(米国)、79(米国)、80(米国)、84(米国)、87(米国)、90(米国)、91(ロシア)、93(仏)、100(韓国)、101(カナダ)、102(WP5D)、105(ブラジル)、106(ロシア)、107(WP4C)、108(WP4C)、111(WP4A)、115(WP4C)、116(WP4C)、118(WP4A) 計43件(議長報告含む)

(4) 出力文書: 5C/TEMP/41、53、56、57、58、59、60、69、70、71、72、73、74、75、76、77、78、79、80、81、82 計 21件

(5) 審議概要

WG 5C-2は30MHz～18GHzの課題について審議を行うWGである。本WGは、配下に以下

のSWGを設置した。

SWG 5C-2a(議題1.5): 議題1.5(ENG)関連 議長: Bunch(豪)

SWG 5C-2b(Sharing): 近隣国間でのFS干渉の共存性 議長: Klyucharev(ロシア)

SWG 5C-2c(HAPS): 議題1.20(HAPS)関連 議長: Glass(米国)

なお、上記以外の案件の審議は小グループで行った。審議結果等を表2に示す。

今会合中4回開催され、43件の入力寄与文書を審議し、21件の出力文書を作成した。

主な審議結果として、ENGに関するCPMLレポートのテキスト案の更新、近隣国間でのFS干渉の共存性 (compatibility)に関するReport暫定案に向けた作業文書の作成、HAPSゲートウェイ局の干渉モデルに関する新勧告暫定案を目指す作業文書作成が行われた。その他WP5Cが責任または関連WPであるWRC-11議題に関する関係WPへのリエゾンを作成した。

### 2.2.1 議題 1.5 (ENG用周波数帯)関連 (SWG 5C-2a)

入力文書: 5C/26 Annex 1(WP5C議長報告)、29(WP5A)、37(WP7D)、42(WP7B)、62(WP6C)、65(SG6)、75(米国)、84(米国)、100(韓国)

出力文書: 5C/TEMP/70、71、72

米国より入力された議題1.5の所掌事項及び関連勧告の留意点についての提案文書(5C/75)に基づいて、CPMLレポートのテキストの改定(5C/TEMP/70)、議題1.5の共用検討対象周波数帯のまとめ(5C/TEMP/79)を出力した。米国からは議題1.5に関する研究のフレームワーク(5C/84)も入力された。また、これらの検討状況をWP6A、6B、6Cへ伝えるリエゾン(5C/TEMP/72)を作成した。

韓国より議題1.5のCPMLレポートのテキストの材料として、IMT(International Mobile Telecommunications)用に特定された周波数帯における移動業務基地局とENGの共用検討シミュレーション結果(5C/100)が入力されたが、新レポート暫定案ITU-R [ENGSHARE](5C/TEMP/71)として継続検討することとなった。

この他、WP5AからITU-T SG9へのITU-R勧告M.1824(共用検討に用いる移動業務ENG等の方式特性)に関するコメントへの応答リエゾンのコピー(5C/29)、WP7DからWP5Cに対し地上系ENGシステムの調和的周波数利用に関するリエゾン文書の送付に対する謝意を示すリエゾン(5C/37)、WP7Bからの2GHz、7GHzのENGと科学業務の共用に関する意見のリエゾン(5C/42)、WP6CからWP6Aへのデジタル無線マイクロフォンシステムの情報を今後ITU-R勧告BT.2069に盛り込む意見を述べたリエゾンのコピー(5C/62)、SG6からWP5Cへの地上ENG検討の研究計画に関する回答リエゾン(5C/65)が入力されたが、特に対応しなかった。

### 2.2.2 近隣国間でのFS干渉の共存性 (compatibility) (SWG 5C-2b)

入力文書: 5C/26 Annex 4、5(WP5C議長報告)、80(米国)、105(ブラジル)、106(ロシア)

出力文書： 5C/TEMP/59, 78

前回会合で作成された近隣国間でのFS干渉の共存性に関する2つの新Report暫定案 F.[SHARING]とF.[COMPATIBILITY]に向けた作業文書(5C/26 Annex 4, 5)に関して、米国からこれらの文書を一つのReportに纏める提案(5C/80)があった。また、ブラジルからは作業文書作成への賛意と内容追加の提案(5C/105)、ロシアから本件に関する新研究課題、および新Reportの構成(5C/106)が提案された。ロシア提案は固定業務と陸上移動業務を対象としておりWP5A(5A/135)にも入力された。

ロシア、米国、ブラジル提案に従い、前回出力された2つの新 Report 暫定案を1つにまとめることが同意された。

また、米国の意見に従い、WP5C、5Aでそれぞれ固定業務、陸上移動業務を対象とした周波数共用ガイダンスのReportを作成することが同意され、ロシアの提案した新研究課題設立は見送られた。文書タイトルおよび本文中で使われている「coordination」という用語を「Cross-border sharing」に置き換えた新Report F.[CROSS-BORDER]暫定案に向けた作業文書(5C/TEMP/59)を議長報告に添付し、次回会合で継続審議することが同意された。また、WP5Aに対し、FWAの担当WPなので本件に関する検討作業方法の検討を含めた協力依頼のリエゾン(5C/TEMP/78、コンタクトKlyucharev(ロシア))を作成した。

### 2.2.3 議題 1.20 (HAPS)関連 (SWG 5C-2c)

入力文書： 5C/36(WP7C)、48(WP4A)、76(米国)、77(米国)、79(米国)、87(米国)、111(WP4A)

出力文書： 5C/TEMP/73、74、75、76、77

WRC-11議題1.20(HAPS gateway link)に関して、米国から共用研究に必要なHAPSゲートウェイ局の干渉モデルに関する新勧告暫定案に向けた作業文書(5C/76)、HAPSゲートウェイ局の技術・運用上の特性に関する新勧告暫定案に向けた作業文書(5C/87)、勧告F.1764(3GHz以上におけるHAPSから固定無線方式への干渉評価手法)の改定暫定案に向けた作業文書(5C/79)及びCPMLレポートのテキスト案(5C/77)が入力された。これらに基づいて次の出力文書を作成した。

- (1) 5C/TEMP/73: WPs 3M、4A、5A、5B、7B、7Cに対し、今回の会合での審議の状況を報告し共用研究を促すリエゾン文書。
- (2) 5C/TEMP/74: CPMLレポートのテキスト案
- (3) 5C/TEMP/75: HAPSゲートウェイ局の干渉モデルに関する新勧告暫定案F.[HAPS modeling]に向けた作業文書
- (4) 5C/TEMP/76: HAPSゲートウェイ局の仕様に関する新勧告暫定案F.[HAPS Char]に向けての作業文書
- (5) 5C/TEMP/77: 勧告F.1764の改定案に向けた作業文書

## 2.2.4 その他の審議事項

WG5C-2で扱ったその他の審議事項と結果を表2に示す。

表2 WG5C-2のその他の審議の結果

項目	取り纏め コンタクト	入力文書 (5C/)	出力文書 (5C/TEMP/)	出力文書の扱い
議題1.19 (SDR and CR)	Hsu (カナダ)	34(WP7B), 68(WP1B), 101(カナダ)	なし	
勧告F.1247改定	Miller (米国)	43(WP7B)	(41), 63, 80	勧告F.1247改定 案 Liaison to WP7B (注参照)
議題1.14(VHF Radiolocation)	Christensen (カナダ)	27(WP5B), 64(WP6A)	82	Liaison to WP5B
議題1.24(7GHz帯 の気象衛星業務の 分配拡張)	Guyomard (仏)	45(WP7B), 72(WMO), 93(フランス)	60	Liaison to WP7B
Hybrid terrestrial/satellite systems	Weinreich (米国)	46(WP4B), 73(WP4B)	57	Liaison to WP4B
議題1.25(移動衛 星業務への追加分 配)	Kudryashov (ロシア)	47(WP4C), 58(WP6A), 72(WMO), 108(WP4C)	56	Liaison to WP4C (information to WP5A, 5D)
3400-4200MHzの BWAとFSSの共用	Jansky (米国)	51(WP4A), 90(USA), 118(WP4A)	なし	
議題1.22 (SRDの 影響)	Christensen (カナダ)	70(WP1A)	なし	
勧告F.387改定	Kudryashov (ロシア)	91(ロシア)	58	勧告改定暫定案 を承認
M-series 勧告改 訂提案	Hsu (カナダ)	115(WP4C)	69	Liaison to WP4C
議題 1.18(2GHz帯 の無線測位衛星	Guyomard (仏)	116(WP4C)	81	Liaison to WP4C



(宇宙→地球)の世界共通分配)				
IMTとUHF帯の放送を含む一次業務との共用	Guyomard (仏)	53(WP6D)	なし	
Report M.2113(同地域のIMT-2000とノマディックを含む固定BWAの共用)改定	Guyomard (仏)	102(WP5D)	なし	
議題1.3(無人航空システム)および1.7(1.5/1.6GHz帯の航空移動衛星業務)	Guyomard (仏)	72(WMO), 107(WP4C)	なし	

(注) 勧告F.1247と勧告SA.1275は固定業務と科学業務の共用条件についてペアをなすものである。WP7BからのSA.1275の改定作業(地上固定業務からの保護を要する2GHz帯データ中継衛星の軌道位置追加)を伝えるリエゾン(5C/43)に対応して、F.1247のエディトリアル修正案が作成された(5C/TEMP/41)が、日本から、地上業務の運用上の制約を増すことになる今回のF.1247改定はエディトリアルなものではなく、正規の勧告改定手続きを踏む必要があるとの指摘に従い、正規の勧告改定案(5C/TEMP/80: SG5会合送付)、及びその結果を伝えるWP7Bへのリエゾン(5C/TEMP/63)が作成された。

## 2.3 WG 5C-3

(1) 議長: J. Guyomard(仏)

(2) 主要メンバ: E. Millar、C. Glass(米国)、N. Ali、L. Roberti(英国)、M. Christensen(カナダ)、J. Bonin(仏)、M. Tavares(ブラジル)、Klyucharev(ロシア)、J. Park(韓国)、R. Macchi(伊)、梶原、森崎、辻、小牧、大本、枚田、橋本、荒木、(日)など約50名

(3) 入力文書: 5C/26Annex2、3(WP5C議長報告)、27(WP5B)、33(WP7B)、38(WP7B)、40(WP7B)、41(WP7B)、44(WP7B)、49(WP4A)、50(WP4A)、69(WP1A)、74(英国)、81(米国)、82(米国)、83(米国)、88(WP7C)、92(仏)、94(日本)、95(日本)、98(日本)、99(日本)、104(ブラジル)、109(WP7B)、117(WP4A)、119(WP4A) 計24件(議長報告含む)

(4) 出力文書: 5C/TEMP/52、61、62、63、64、65、66、67、68、83、84、85、86、87、88 計15件

## (5) 審議概要

WG 5C-3は18GHz以上の課題について審議を行うWGである。本WGは、配下に以下のSWGを設置した。

SWG 5C-3a(議題1.8) : 議題1.8(71-238GHz帯のFSの技術・規則的検討)

議長 : Ali (英国)

SWG 5C-3b(科学業務関連) : 科学業務との共用に関するWP7Bへのリエゾン作成

議長 : Miller(米国)

SWG 5C-3c(特性) : ITU-R勧告F.758、F.1336改定 議長 : Miller(米国)

なお、上記以外の案件の審議は小グループで行った。審議結果等を表3に示す。

今会合中5回開催され、24件の入力寄与文書を審議し、15件の出力文書を作成した。

主な審議結果としてReport F.2107改定暫定案の作成、議題1.8のCPMLレポートのテキスト案の更新、勧告F.758改定暫定案の作成、その他WP5Cが責任または関連WPであるWRC-11議題に関する関係WPへのリエゾンを作成した。

### 2.3.1 議題1.8(71-238GHz帯における固定業務と地球探査衛星業務(受動)間の周波数共用及び共存性)関連 (SWG 5C-3a)

入力文書 : 5C/50(WP4A)、89(カナダ)、94(日本)、104(ブラジル)

出力文書 : 5C/TEMP/83、86、88

カナダから将来の共用検討に向けて71-76GHz及び81-86GHz帯のFWAの特性やアプリケーションを議論した文書(5C/89)が入力された。今後70GHz以上のFWAについて検討を続けるという内容で、WP5C内での議題1.8に関する今後の議論の方向性を示す作業文書(5C/TEMP/88)のAnnexとして収録された。

日本から入力されたITU-R Report F.2107(57-95GHz帯固定無線方式の特性と応用)に10Gb/s容量を有する120GHz帯無線リンクの情報を追加する改訂提案(5C/94)は、Reportの所掌範囲を57-130GHzに拡張し、更にブラジルから入力された Question ITU-R 234/9の改訂提案(5C/104)の表現を一部入れ込む形で承認され(5C/TEMP/86)、Report暫定改訂案として議長報告に収録し継続審議することが同意された。

WP4Aから前回会合で議題1.8に関連しWP5Cが送付したリエゾンに対して謝意を示すリエゾン(5C/50)が送付されたが、本リエゾンについては特に対応しなかった。

### 2.3.2 議題1.11(23GHz帯における宇宙研究業務(地球から宇宙)への一次分配)関連 (SWG 5C-3b)

入力文書 : 5C/41(WP7B)、44(WP7B)、83(米国)

出力文書 : 5C/TEMP/62

議題1.11(23GHz帯における宇宙研究業務(地球から宇宙)への一次分配)に関して、WP7BよりSRS地球局の特性パラメータを説明するリエゾン(5C/41)、23GHz帯における宇宙研究業務と衛星間、固定、移動業務との共用に関する新勧告暫定案に向けた作業文書へのコメント、特にclear-sky link marginに関するガイダンスを求めるリエゾン(5C/44)が入力された。これに対し、米国よりこのリエゾンに対する以下のコメントを伝えるリエゾン案(5C/83)が入力された。

- ・ SRS地球局の技術パラメータ、展開(局数、場所)が必要であり、それらの情報がWRC-11議題1.11のCPMLレポートのテキスト案に必要。
- ・ RR Appendix 7の19.3-19.7GHzの固定業務のパラメータを流用して、22-23GHz帯の固定業務のパラメータとする。当該パラメータは調整区域の決定に使用されるものであるが、代表的な調整コンタを求めることで、SRS地球局からFSへの影響の評価ができる
- ・ 短時間干渉基準だけでなく、長時間干渉基準での評価も必要。
- ・ 離隔距離の検討では、“time-variant gain”のみならず、RR Appendix 7に基づく“time-invariant gain”を用いた評価をすべき。

これらを基に、WP7Bへのリエゾン(5C/TEMP/62)を作成した(コンタクトはMillar(米国))。

### 2.3.3 議題1.12(37-38GHz帯における航空移動業務から他業務への干渉保護)関連 (SWG 5C-3b)

入力文書: 5C/33 (WP7B)、92(仏)、109(WP7B)、117(WP4A)

出力文書: 5C/TEMP/61、65、66

フランスから入力された37-38GHz帯の自国におけるP-P、P-MP方式固定業務と航空移動業務の共用に関するシミュレーションを用いた基礎検討(5C/92)を基にした新勧告暫定案に向けた作業文書(5C/TEMP/65)を作成し、継続審議することが同意された。本作業文書の作成作業を伝えるリエゾン(5C/TEMP/66)をWP7Bに送付した。また、WP5Bに対しても本作業文書を情報提供するとともに、シミュレーションに用いる航空移動業務に関するパラメータの提供を求めるリエゾン(5C/TEMP/61)を送付した。

また、WP7Bから本議題に関するWP7B4月および10月会合での進捗(新レポート暫定案およびCPMLレポートのテキスト案)を伝えるリエゾン文書(5C/33および5C/109)については特にコメントはない旨を上記リエゾン(5C/TEMP/66)によって伝えた。またWP4Aからの共用検討に用いる固定衛星業務システムの特長(5C/117)が入力されたが、特に意見はなく返答はしなかった。

### 2.3.4 勧告F.758(FSと他業務との共用基準と方式パラメータ)の改定 (SWG 5C-3c)

入力文書: 5C/26+Annex 3(WP5C議長報告)、74(英国)、82(米国)、95(日本)

出力文書: 5C/TEMP/84、87

英国(5C/74)、日本(5C/95)、米国(5C/82)からの寄書、およびイタリア、英国からの表(方式パラメータを収録したもの)に関する議場での提案を合わせて議論した。本勧告がFSと他業務との共用に関するものであり、共用評価に適した固定業務方式パラメータを記載するため、イタリアによる新たな表のテンプレートを採用してその定義等をAnnex 2 § 4に記述することについて以下の内容が検討された。

- ・表の最初にある周波数帯は、対応する周波数配置の勧告に合うようにする。
- ・周波数帯毎に2つのみのシステムを記述する。一方は最も単純なもの(例えば、狭帯域、簡単な変調方式)、他方は高度なもの(例えば、広帯域、高度な多値変調方式)
- ・送信パラメータについては、1つの最大値の代わりに値の範囲を示す。これにより、多くのFS局からの干渉を考える場合、広範なエリアにわたるFS局の配置における最悪値よりはむしろ統計的な値を考慮することができる。
- ・受信パラメータについては、代表値とする。

これらの内容を反映した作業文書(5C/TEMP/87)が作成され、WP5C議長報告に収録し継続審議することが同意された。

また、本文書に対する作業を、次期会合の前に促進するため、Correspondence Groupが設立され、Coordinatorとして荒木(日本)が指名された。

更に、WP5A、5Dに対し、FWAに関する情報も含んでいる作業文書として本文書および2.3.5章の勧告F.1336改定の作業文書情報を伝えるリエゾン(5C/TEMP/84)を作成した(コンタクトは大本)。

### 2.3.5 勧告F.1336(共用検討のためのP-MP方式用アンテナ放射パターン)の改定(SWG 5C-3c)

入力文書: 5C/26+Annex 2(WP5C議長報告)、81(米国)、98(日本)

出力文書: 5C/TEMP/64、84

前回会合において、勧告改定暫定案として議長報告に収録(5C/26+Annex 2)し、次回2008年10-11月会合において新たな修正提案がなければ勧告改定することが同意されていた。

今回会合において、米国より、勧告F.1336の勧告改定案に対し、アンテナ放射パターン近似式の修正およびチルト時のアンテナ放射パターンの近似の内容追加が提案された(5C/81)。日本からは新たな修正提案がないことを条件に勧告改定作業の完了が提案(5C/98)されていたが、米国の提案内容を更に検証するため、勧告改定暫定案に向けた作業文書(Doc. 5C/TEMP/64)として議長報告に収録し継続検討することが同意された。更に、WP5A、5Dに対し、FWAに関する情報も含んでいる作業文書として本文書および2.3.4章の勧告F.758改定の作業文書情報を伝えるリエゾン(5C/TEMP/84)を作成した(コンタクトは大本)。

### 2.3.6 議題1.6 (275–3000GHzの周波数利用および空間光通信に関する検討)関連

入力文書： 5C/38 (WP7B)、69 (WP1A)、99(日本)

出力文書： 5C/TEMP/42、52

WRC-11議題1.6のRes. 955(WRC-07)関連部分(空間光通信の検討)に対し、以下の議論があり、WP1Aへのリエゾン(5C/TEMP/42)ならびにReport ITU-R F.2106改訂暫定案(5C/TEMP/52)を作成した。

- (1) WP7Bより、空間光リンクの衛星応用が互いに影響し合う可能性は極めて限定的であり、今後の新方式に向けた開発の柔軟性を確保するため、地上方式に課する技術的制約を衛星光リンクにそのまま適用しないことを要求する旨のリエゾン(5C/38)については特に意見はなかった。
- (2) 日本から、Report F.2106への情報追加としてRadio on Free-space optical link(RoFSOL)の技術情報、関連略語の追加を提案した(5C/99)。使用する光波長帯がITU-T勧告G.984.5(G-PON: Enhancement band)に記載されている可能性があることを追記した上で、Report F.2106改訂暫定案(5C/TEMP/52)を出力し継続審議することが同意された。
- (3) WP1Aより、Report F.2106では議題1.6で対象とすべき全ての利用可能な空間光リンクの周波数帯を扱っているのかとの確認を要求するリエゾン(5C/69)が入力された。Report F.2106の2.3節記載の内容で対象となる光波周波数帯は全て記述されていることならびにReport F.2106について上記RoFSOLの情報を追加した暫定改訂版を作成したことを伝えるリエゾン(5C/TEMP/42)を作成した(コンタクトはGuyomard(仏))。なお本リエゾンには、275–3000GHz帯の固定業務(Resolution 950関連)については入力寄書がなく提供すべき情報がないことも記載された。

### 2.3.7 その他の審議

WG5C-3で扱ったその他の審議事項と結果を表3に示す。

表3 WG5C-3のその他の審議の結果

項目	取り纏め コンタクト	入力 文書	出力文書の内容と扱い
勧告F.1249(衛星間 業務と共用する 25.25-27.5GHz帯の 固定業務送信局の最 大EIRP)改定	Miller (米国)	5C/40 (WP7B)	勧告F.1249改定案(5C/TEMP/68)を出力し、その情報を伝えるリエゾン(5C/TEMP/63)をWP7Bへ送付。(5C/TEMP/53については注参照)
研究課題Q. 232-1/7	Guyomard	5C/88	現状、提供情報はないが今後も情報交

(31.5-31.8GHz帯での宇宙船受動センサと他業務との共用)への情報提供依頼	(仏)	(WP7C)	換を進めて行く事を提案するリエゾン(5C/TEMP/67)をWP7Cに送付(WP5Aにコピー送付)。
議題1.13(21.4-22GHzにおける放送衛星業務と関連するフィーダリンクの周波数利用)	Jansky (米国)	5C/49 (WP4A)	WP4Cからの決議525(WRC2007)への見解を求め、議題1.13の作業計画を伝えるWP4Cからのリエゾンに対し、Region 2の地上業務とRegion1、3の放送衛星業務との共用検討が必要ということを伝えるリエゾン(5C/TEMP/51)をWP4Aに送付。
17GHz帯以上の周波数帯の固定衛星業務(宇宙から地球放射)と固定業務の共用	Roberti (英国)	5C/119 (WP4A)	WP4Aからの17GHz帯以上の周波数帯の固定衛星業務(宇宙から地球放射)から固定業務への干渉の統計的計算法への見解を求めるリエゾンに対し、両業務の共用検討には多くのシナリオがあり、一般的な方法は不適切であること、提案の計算法はco-primary業務間での共用検討に用いるには不完全であることを伝えるリエゾン(5C/TEMP/85)をWP4Aに送付。

(注) 勧告F.1249と勧告SA.1276は固定業務と科学業務の共用条件についてペアをなすものである。WP7BからのSA.1276の改定作業(地上固定業務からの保護を要する26GHz帯データ中継衛星の軌道位置追加)を伝えるリエゾン(5C/40)に対応して、F.1249のエディトリアル修正案が作成された(5C/TEMP/53)が、日本から、地上業務の運用上の制約を増すことになる今回のF.1249改定はエディトリアルなものではなく、正規の勧告改定手続きを踏む必要があるとの指摘に従い、正規の勧告改定案(5C/TEMP/68:SG 5会合送付)、及びその結果を伝えるWP7Bへのリエゾン(5C/TEMP/63)が作成された。

## 2.4 AdHoc-Work Plans

- (1) 議長: S. Ward (米国)
- (2) 主要メンバ: C. Glass(米国)、梶原、森崎、小牧、大本、枚田、橋本など約30名
- (3) 入力文書: 5C/84(米国)、5C/85(米国)、5C/86(米国)
- (4) 出力文書: 5C/TEMP/38、39、40
- (5) 審議概要

AdHoc-Work Plansは、WP5Cが責任を負っている3つのWRC11のAgenda Item (議題) についての作業計画を審議するAdHocである。本Ad Hocは今会合中1回開催され、米国

提案3件の入力文書を審議し、エディトリアルな修正の上それぞれの議題について作業計画(5C/TEMP/38、39、40)を作成した。3議題は以下の通り。

- (1) 議題 1.5: ENG用周波数帯 (5C/TEMP/38)
- (2) 議題 1.8: 71～238GHz帯のFSの技術的・規則的課題 (5C/TEMP/39)
- (3) 議題 1.20: HAPS (5C/TEMP/40)

議題1.8に関しては関連WPIに対して作業計画の情報を伝えるリエゾン(5C/TEMP/83)を作成した。

今後、この作業計画に従い、3議題のCPMLレポートのテキストを更新していく。

## 2.5 AdHoc-Recommendations

- (1) 議長: 荒木(日)
- (2) 主要メンバ: C. Glass(米国)、梶原、小牧、枚田、橋本など約30名
- (3) 入力文書: 5C/96(日本)、97(日本)、110(WP4A)
- (4) 出力文書: 5C/TEMP/43、44、45
- (5) 審議概要

AdHoc-Recommendationsは、最終改訂から10年以上経過したものを対象にITU-R勧告の見直し作業が促進されており、これに沿った古い勧告の見直しについて審議するAdHocである。本AdHocは今会合中1回開催され、日本提案2件とWP4Aからのリエゾン1件の計3件の入力文書を審議し、3件の出力文書を作成した。

旧WP9Dの所掌であった勧告を対象として1999年以降改訂が行われていない11勧告について、日本の提案(5C/96)に基づいて審議し、提案した削除2件、無修正維持7件を合意した。また、削除かEditorial updatingとした勧告F.1405については削除とし、Editorial Updatingまたは通常改訂とした勧告F.1335については、他の日本寄書(5C/97)で、引用されているP-series勧告の数式、図表を更新し内容の現行化を図って提案した内容について、各国の意見を取入れるために今後の扱いを制限なし(TBD)とすることで合意した。これに基づき、日本提案(5C/96)のAttachment 1に削除予定の勧告F.1405の修正テキスト案に代りに勧告F.1335の改定暫定案を添付した作業文書(5A/TEMP/43)を作成し、WP5C議長報告に収録して継続検討することが同意された。さらに、これらの勧告にはWP5Aが所掌するものも含むため、情報としてWP5Aへのリエゾン(5C/TEMP/45、コンタクトは荒木)を作成した。

WP4Aからのリエゾン(5C/110)は、SF-series勧告の見直しに関するWP5Cからのリエゾンに対する回答で、これに対してWP5Cからの2つの勧告の削除提案にWP4Aが同意した事に感謝するとともに、WP5Cが要求した8つの勧告の見直しについてWP4Aの削除提案に同意する内容のリエゾン(5A/TEMP/44、コンタクトはJansky(米国))を作成した。

## 2.6 その他WP5C全体会合で審議した事項

### 2.6.1 F-series(固定業務)およびSF-series(固定/固定衛星業務の共用)勧告の分析リストの見直しとスコープ追記(CG-Anlist)

入力文書: 5C/112(Rapporteur of CG-anlist)、113(Rapporteur of CG-anlist)

出力文書: 5/114

前回2008年2月WP5C会合で設立されたCorrespondence GroupからSF-series勧告およびF-series勧告の分析リスト修正版と追記するスコープ文書案がそれぞれの-series毎に入力された(5C/112:SF-series、5C/113:F-series)。SF-series勧告の分析リスト修正版と追記するスコープ文書案はそのまま承認、F-series勧告の分析リスト修正版と追記するスコープ文書案は勧告F.1401のスコープのエディトリアルな修正後承認され、両者ともSG5へ送付(5/114)された。

### 2.6.2 FWA関連勧告および課題

入力文書: 5C/71(WP5Aおよび5C議長代理)

出力文書: 5/116

前回2008年2月SG5会合で、FWAの担当をWP5CからWP5Aに移管する方向が合意されたが、両WPでの具体的なシステムおよび関連勧告・Reportの分担が未実施であった。

今回会合ではWP5A/5C合同会合が開催され、一般ユーザ向けサービスを提供するFWA(主にP-MP)はWP5Aで、ビジネスユーザ向けサービスを提供する無線アクセス(主にP-P)はWP5Cで担当することし、それに従い個別勧告・Reportの分担見直しを行った。その結果、従来全てがWP5Cの分担であったF-series勧告、報告のうち、14の勧告、2つの報告がWP5Aの所掌に移行され、さらに24件の勧告を両WPの共同管理とすることが合意され、Doc.5/116としてSG5に送付した。参考として、本報告書末尾にこれらのF-series勧告、Reportをまとめた別表1~3を掲載する。

### 2.6.3 その他の審議

WG5Cのその他の審議事項と結果を表4に示す。

表4 その他の審議の結果

項目	入力文書	入力元	内容、取り扱い
新研究課題案ITU-R [CHAR]/5	5C/39	SG5	前回SG5会合で差し戻しとなったため新研究課題案の再考を求める文書。今回会合では本研究課題の採択は必要なしとの合意が得られた。



SG4からの入力文書 5D/118に記載のトピックに関する作業	5C/52	SG5議長	特にアクションなし。
WP会合報告の掲載 期限	5C/55	SG5議長	2008年2月RAG会合でのWP会合報告とTEMP文書に関するアドバイス情報(WP会合報告は会合終了日から1ヶ月内にWebに掲載すること、WP会合報告またはTEMP文書のいずれかがWebサイトで照会できること)。特にアクションなし。
決議224、749 (WRC-07)に必要な 研究に関する議長文 書の追加割当	5C/56	SG5議長	決議224、749検討に必要な追加文書の 情報提供。特にアクションなし。
第1回JTG5-6会合の 結果	5C/61	SG5、6議 長	2008年5-6月に開催された第1回JTG5-6 会合の結果報告。特にアクションなし。
WRC-11議題に関する WMOの現状の立場	5C/72	WMO	WMOのWRC-11議題全般および個別議 題1.3、1.5、1.6、1.7、1.8、1.15、1.16、 1.22、1.24、1.25、8.1.1、8.2に関する現状 の立場の情報提供。特にアクションなし。
SG5の研究課題の番 号振替	5C/120	無線通信 局長	旧SG8、SG9の研究課題について番号を 振り直したものをSG5(Doc. 5/1)に入力 してあることを伝える情報文書。特に対 応なし。

### 3 今後の予定

次回WP5C関連WG会合およびCGで審議予定の主な課題は以下である。

#### 【WG5C-1】

- ・ 短波海洋レーダの共用検討(WRC-11議題1.15)。
- ・ WP1Aへの電力線通信に対する無線通信システムの保護基準情報の提供。

#### 【WG5C-2】

- ・ ENGの周波数調和。
- ・ HAPS gateway linkと他システムとの共用検討(WRC-11議題1.20)。
- ・ 新Report F.[CROSS-BORDER]の検討。
- ・ 3.4~4.2GHz帯でのBWAと固定衛星業務の共用検討に用いる固定業務 BWAの技

術的パラメータの作成、及び共存性に関するReportの作成。

- ・ 1.5GHz帯での固定業務とAMS(R)Sとの共用検討(WRC-11議題1.7)。
- ・ 2.5GHz帯での固定業務と無線標定システムとの共用検討(WRC-11議題1.18)。
- ・ 固定業務とSDR、CRとの共用検討(WRC-11議題1.19)。
- ・ 7GHz帯での固定業務と気象衛星との共用検討(WRC-11議題1.24)。

#### 【WG5C-3】

- ・ 71～238GHz帯の固定業務の技術的・規則的な検討(WRC-11議題1.8)。
- ・ Report F.2107改定。
- ・ 23GHz帯での固定業務と宇宙研究業務との共用検討(WRC-11議題1.11)。
- ・ 37～38GHz帯での固定業務と航空移動業務との共用検討(WRC-11議題1.12)。
- ・ 勧告F.758改定。CGで検討。
- ・ 勧告F.1336改定。
- ・ Report F.2106改定。
- ・ 22GHz帯での固定業務とBSSとの共用検討(WRC-11議題1.13)。

#### 【AdHoc-Work Plans】

- ・ WRC-11議題の作業計画の更新。

#### 【AdHoc-Recommendations】

- ・ 勧告F.1335の取り扱い見直し(現状維持、エディトリアル改定、改定、削除のいずれかの判断)。

#### 【その他】

- ・ WP5C所掌の勧告への追加Scope (Doc. 5/114)の見直し。

## 4. 次回会合のスケジュールについて

次回のWP5C会合は、2009年5月、ジュネーブ(スイス)にて開催される予定。

表5 日本入力文書の審議結果

文書番号	題目	審議結果	出力文書
5C/94	Proposal for a preliminary draft revision of Report ITU-R F.2107 - Characteristics and applications of fixed wireless systems operating in the 57 GHz to 95 GHz bands	Report改定暫定案の作業文書として議長報告に収録。	5C/TEMP/86
5C/95	Proposals for early completion of the work for draft revision of Recommendation ITU-R F.758-4 - Considerations in the development of criteria for sharing or compatibility between digital fixed wireless systems in the fixed service and systems in other services and other sources of interference	勧告改定暫定案の作業文書として議長報告に収録。	5C/TEMP/84、87
5C/96	Review of certain Recommendations developed by former Working Party 9D	見直し暫定案として議長報告に収録	5C/TEMP/43、45
5C/97	Draft updating of Recommendation ITU-R F.1335 - Technical and operational considerations in the phased transitional approach for bands shared between the mobile-satellite service and the fixed service at 2 GHz	前記見直し暫定案の Attachment 1として議長報告に収録。	5C/TEMP/43
5C/98	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1336-2 - Reference radiation patterns of omnidirectional, sectoral and other antennas in point-to-multipoint systems for use in sharing studies in the frequency range from 1 GHz to about 70 GHz	米国から新規修正提案(5C/81)が入力されたため、勧告改定の完了提案は否認。	-
5C/99	Preliminary draft revision of Report ITU-R F.2106 - Fixed service applications using free-space optical links	Report改定暫定案の作業文書として議長報告に収録。	5C/TEMP/42、52

表6 WP5C入力文書一覧表

文書番号	提出元	題 目	担当WG	出力文書
5C/26	WP5C 議長 代理	CHAIRMAN'S REPORT - MEETING 5-14 FEBRUARY 2008	-	5C/TEMP/64, 70, 78, 87
5C/27	WP5B	Liaison statement to WPs 5A and 5C - Compatibility studies between radiolocation and mobile/fixed service in the band 30-300 MHz	5C-2	5C/TEMP/82
5C/28	WP5B	Liaison statement to WPs 5A, 5C, 6D, 7A and 7D - Sharing studies required for WRC-11 Agenda item 1.15	5C-1	5C/TEMP/47
5C/29	WP5A	Liaison statement to ITU-T Study Group 9 (copy to ITU-R WPs 5C, 6D, 6G and 6X, and SG 6) - Response to the comment from ITU-T Study Group 9 on Recommendation ITU-R M.1824	5C-2	-
5C/30	WP5A	Liaison statement to Working Parties 5B, 5C and ITU-T Study Group 2 on possible suppression of message formats in Recommendation ITU-R M.1677	5C-1 5C-3	5C/TEMP/49
5C/31	WP5A	Liaison statement to Working Parties 5B, 5C and 6D on studies related to WRC-11 Agenda item 1.23	5C-3	5C/TEMP/48
5C/32	WP5A	Liaison statement to WPs 5B, 5C, 6D, 7B and 7D on studies related to WRC-11 Agenda item 1.15	5C-1	-
5C/33	WP7B	Liaison statement to Working Parties 4A, 5A, 5B and 5C - WRC-11 Agenda item 1.12	5C-3	5C/TEMP/66
5C/34	WP7B	Liaison statement to Working Party 1B concerning the study of software defined radio and cognitive radio systems in Working Party 1B (copy for information to Working Parties 1A, 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6D, 6G, 7C, 7D)	5C-2	-
5C/35	WP7C	Liaison statement to Working Party 5C - Considerations relating to sharing and compatibility studies in support of WRC-11 Agenda item 1.16 (Resolution 671 [COM6/16] (WRC-07))	5C-1	5C/TEMP/50
5C/36	WP7C	Liaison statement to Working Party 5C - Gateway links for high altitude platform stations in the range from 5 850 to 7 075 MHz	5C-2	5C/TEMP/73
5C/37	WP7D	Liaison statement to Working Party 5C - Harmonization of spectrum for use by terrestrial electronic news gathering systems	5C-2	-
5C/38	WP7B	Liaison statement to Working Parties 1A and 5C - Considerations for satellite optical links	5C-3	-

文書番号	提出元	題 目	担当WG	出力文書
5C/39	SG5	Draft new Question ITU-R [CHAR]/5 – Technical and operational characteristics for fixed wireless systems operating below 57 GHz	Plenary	-
5C/40	WP7B	Liaison statement to Working Party 5C – Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SA.1276-1	5C-3	5C/TEMP/53, 63, 68
5C/41	WP7B	Liaison statement to Working Party 5C – WRC-11 Agenda item 1.11	5C-3	5C/TEMP/62
5C/42	WP7B	Liaison statement to Working Party 5C – Harmonization of spectrum for use by terrestrial electronic news gathering systems	5C-2	-
5C/43	WP7B	Liaison statement to Working Party 5C – Preliminary draft Revision of Recommendation ITU-R SA.1275-1	5C-2	5C/TEMP/41, 63, 80
5C/44	WP7B	Liaison statement to WP 5C – Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R SA.[23 GHz SRS SHARING] – Sharing between the space research service (Earth-to-space) and the inter-satellite, fixed and mobile services in the band 22.55-23.15 GHz	5C-3	5C/TEMP/62
5C/45	WP7B	Liaison statement to Working Party 5C – Sharing analyses between NON-GSO meteorological satellite systems operating in the Space-to-earth direction and fixed service systems in the band 7 850-7 900 MHz for WRC-11 Agenda item 1.24	5C-2	5C/TEMP/63
5C/46	WP4B	Liaison statement to Working Parties 5A, 5B, 5C, 5D and Study Group 5 – Definition of networks that utilize both satellite and terrestrial components	5C-2	5C/TEMP/57
5C/47	WP4C	Liaison statement to Working Parties 7A, 7B, 7C, 7D, 4A, 4B, 6D, 6X, 6G, 1A, 1B, 1C, 5A, 5B, 5C and 5D (copy for information to Working Parties 3J, 3K, 3L and 3M) – Information for studies related to WRC-11 Agenda item 1.25	5C-2	5C/TEMP/56
5C/48	WP4A	Liaison statement to Working Party 5C for information and possible action to Working Parties 3M, 5A, 5B, 7B and 7C – Gateway links for high altitude platform stations in the range from 5 850 to 7 075 MHz	5C-2	5C/TEMP/73

文書番号	提出元	題 目	担当WG	出力文書
5C/49	WP4A	Liaison statement to Working Parties 5A, 5C and 6X (copy for information and possible action to Working Parties 3M, 4B, 6D,6G and 7D) – Use of the band 21.4–22 GHz for broadcasting-satellite service and associated feeder-link bands in Regions 1 and 3	5C-3	5C/TEMP/51
5C/50	WP4A	Liaison statement to Working Party 5C (copy to Working Parties 1A, 7B, 7C and 7D) – WRC-11 Agenda item 1.8	5C-3	-
5C/51	WP4A	Liaison statement to Working Parties 5A and 5C – Compatibility of broadband wireless access (BWA) networks and fixed-satellite service (FSS) networks in the 3 400–4 200 MHz band	5C-2	-
5C/52	SG5議長	Work on the topic addressed in document 5D/118 from Study Group 4	Plenary	-
5C/53	WP6D	Liaison statement to Working Parties 5D, 5B and 5C and for information to Joint Task Group 5-6 – Sharing studies between IMT and the primary services, including broadcasting, to which the UHF band is allocated	5C-2	-
5C/54	カナダ	Elements of a liaison statement to Working Party 1A – Methodology for calculation of cumulative interference caused by power line telecommunication systems using the electricity supply wiring	5C-1	5C/TEMP/46
5C/55	SG5議長	Availability of meeting reports of Working Parties	Plenary	-
5C/56	SG5議長	Additional assignment of the Chairmen's document on the studies requested in Resolution 224 (Rev. WRC-07) and Resolution 749 (WRC-07)	Plenary	-
5C/57	WP6A	Liaison statement to Working Party 5B (copied to working Parties WP 5A, WP 5C, WP 7B and WP 7D for information) – Consider possible allocations in the frequency range 3–50 MHz to the radiolocation service for oceanographic radar applications – (WRC-11 Agenda item 1.15)	5C-3	5C/TEMP/55
5C/58	WP6A	Liaison reply to Working Party 4C (copied to Working Parties 3J, 3K, 3L, 3M, 7A, 7B, 7C, 7D, 4A, 4B, 6A, 6B, 6C, 1A, 1B, 1C,5A, 5B, 5C and 5D for information) – Studies related to WRC-11 Agenda item 1.25	5C-2	5C/TEMP/56

文書番号	提出元	題 目	担当WG	出力文書
5C/59	WP6A	Liaison statement to Working Parties 5A, 5B, 5C, 7A and 7D – Sharing studies required for WRC-11 Agenda item 1.15	5C-1	-
5C/60	WP6A	Liaison reply to Working Party 5A (copied to WPs 5B and 5C for information) to consider an allocation of about 15 kHz in part of the band 415-526.5 kHz to the amateur service on a secondary basis, taking into account the need to protect existing services	5C-1	5C/TEMP/18
5C/61	SG5、6議長	Result of the first meeting of Joint Task Group 5-6	Plenary	-
5C/62	WP 6C	Liaison statement to Working Party 6A (and for information to Working Parties 5A and 5C) – Radio microphones system parameters operated in the mobile service	5C-2	-
5C/63	WP 6A	Liaison statement to ITU-R Working Party 5B on additional allocations to the maritime mobile service below 1 GHz – (Copy for information to ITU-R Working Parties 5A, 5C, 7B, 7C and 7D)	5C-1	-
5C/64	WP6A	Liaison statement to ITU-R Working Party 5B on a primary allocation to the radiolocation service in the portion of the band 30-300 MHz (copy for information to ITU-R Working Parties 3L, 5A, 5C, 7B and 7D)	5C-2	5C/TEMP/82
5C/65	SG6	Liaison statement to ITU-R Working Party 5C (copy to Working Parties 4A, 4C, 5A, 6A, 6B, 6C, 7B and 7D for information) – Harmonization of spectrum for use by terrestrial electronic news gathering systems	5C-2	-
5C/66	WP3L	Reply to the liaison statement form Working Party 5C in Document 3L/2 – 5B/41 (copy to Working Party 5B) – WRC-11 Agenda item 1.15	5C-1	-
5C/67	WP1C	Liaison statement to Working Parties 5A, 5B, 5C, 6A and 6B (copy to Working Party 3L for information) – Radio noise en the HF frequency band	5C-AH Review	5C/TEMP/54
5C/68	WP1B	Liaison statement to ITU-R WPs 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 6A, 7B, 7C and 7D (copy for information to ITU-R WPs 1A, 3J and 3K) – On the study of software-defined radio and cognitive radio systems	5C-2	-

文書番号	提出元	題 目	担当WG	出力文書
5C/69	WP1A	Liaison statement to Working Party 5C (copy to WP 7B for information) – WRC-11 Agenda item 1.6 , Resolution 955 (WRC-07)	5C-3	5C/TEMP/42
5C/70	WP1A	Liaison statement to relevant Working Parties of Study Groups 3, 4, 5, 6, 7 – Information on short-range devices required for WRC-11 Agenda item 1.22	5C-1, 5C-2, 5C-3	—
5C/71	WP5A、5C 議長代理	Organization of the work on fixed wireless access (FWA)	5A/5C Joint meeting	5/ 116
5C/72	WMO	Preliminary WMO position on WRC-11 agenda	Plenary 5C-2	5C/TEMP/56
5C/73	WP4B	Liaison statement to Working Parties 5A, 5C, 5D and 6A on Preliminary draft new Question ITU-R [HYBRID]/4 – “System architecture and performance aspects on hybrid satellite and terrestrial systems”	5C-2	5C/TEMP/57
5C/74	英国.	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT REVISION TO RECOMMENDATION ITU-R F.758 – SYSTEMS CHARACTERISTICS FOR SHARING WITH POINT-TO-POINT LINKS IN THE 17.7–19.7 GHZ BAND AND 32 GHZ BAND	5C-3	5C/TEMP/84, 87
5C/75	米国	Proposed guidance on harmonization of spectrum for use by terrestrial electronic news gathering (ENG) systems under Agenda item 1.5	5C-2	5C/TEMP/70, 72, 79
5C/76	米国	Working document toward a preliminary draft new Recommendation ITU-R F.[HAPS Modeling] – Interference analysis modeling for sharing between HAPS gateway links in the range 5 850–7 075 MHz and other services	5C-2	5C/TEMP/73, 75
5C/77	米国	Draft CPM text for WRC-11 Agenda item 1.20	5C-2	5C/TEMP/74
5C/78	米国	Consideration of the radiolocation service in the frequency range 3–50 MHz for oceanographic radar applications	5C-1	5C/TEMP/55
5C/79	米国	Comment on the Use of Recommendation ITU-R F.1764 as a basis for identifying suitable spectrum for HAPS below 10 GHz	5C-2	5C/TEMP/73, 77
5C/80	米国	Consideration of preliminary draft new Recommendations ITU-R F.[SHARING] and F.[COMPATIBILITY] dealing with cross border sharing arrangements	5C-2	5C/TEMP/78



文書番号	提出元	題目	担当WG	出力文書
5C/81	米国	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R F.1336-2 – Reference radiation patterns of omnidirectional, sectoral and other antennas in point-to-multipoint systems for use in sharing studies in the frequency range from 1 GHz to about 70 GHz	Plenary	5C/TEMP/64, 84
5C/82	米国	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT REVISION TO RECOMMENDATION ITU-R F.758-4	5C-3	5C/TEMP/84, 87
5C/83	米国	Draft liaison statement to Working Party 7B – Sharing between the space research service(Earth-to-space) and the fixed service in the band 22.55-23.15 GHz	5C-3	5C/TEMP/62
5C/84	米国	WORKING DOCUMENT – FRAMEWORK FOR STUDIES RELATED TO WRC-11 AGENDA ITEM 1.5	5C-AH Work Plans, 5C-2	5C/TEMP/38, 72
5C/85	米国	Working document – Framework for studies related to WRC-11 Agenda item 1.8	5C-AH Work Plans	5C/TEMP/39
5C/86	米国	Working document – Framework for studies related to WRC-11 Agenda item 1.20	5C-AH Work Plans	5C/TEMP/40
5C/87	米国	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R F.[HAPS CHAR] – Technical and operational characteristics of gateway links in the fixed service using high altitude platform stations to be used in sharing studies in the band 5 850-7 075 MHz	5C-2	5C/TEMP/73, 76
5C/88	WP7C	Liaison statement to Working Party 5C – Information for studies related to Question ITU-R 232-1/7	5C-3	5C/TEMP/67
5C/89	カナダ	Technical and operational characteristics of fixed wireless systems and networks operating in the range 71-238 GHz to be used for sharing studies	5C-3	5C/TEMP/88
5C/90	米国	Draft liaison statement to Working Party 4A – Compatibility of broadband wireless access networks and fixed-satellite service (FSS) networks in the 3 400-4 200 MHz band	5C-2	-
5C/91	ロシア	Draft modification of Recommendation ITU-R F.387-10 – Radio-frequency channel arrangements for fixed wireless systems operating in the 11 GHz band	5C-2	5C/TEMP/58

文書番号	提出元	題目	担当WG	出力文書
5C/92	France	WRC-11 Agenda item 1.12 - Sharing between the aeronautical mobile service and the fixed service in the band 37-38 GHz	5C-3	5C/TEMP/61, 65, 66
5C/93	France	Proposed draft liaison statement to Working Party 7B - Sharing analyses between NON-GSO meteorological satellite systems operating in the space-to-earth direction and fixed service systems in the band 7 850-7 900 MHz for WRC-11 Agenda item 1.24	5C-2	5C/TEMP/60
5C/94	日本	Proposal for a preliminary draft revision of Report ITU-R F.2107 - Characteristics and applications of fixed wireless systems operating in the 57 GHz to 95 GHz bands	5C-3	5C/TEMP/86
5C/95	日本	Proposals for early completion of the work for draft revision of Recommendation ITU-R F.758-4 - Considerations in the development of criteria for sharing or compatibility between digital fixed wireless systems in the fixed service and systems in other services and other sources of interference	5C-3	5C/TEMP/84, 87
5C/96	日本	Review of certain Recommendations developed by former Working Party 9D	5C-AH Recommendations	5C/TEMP/43, 45
5C/97	日本	Draft updating of Recommendation ITU-R F.1335 - Technical and operational considerations in the phased transitional approach for bands shared between the mobile-satellite service and the fixed service at 2 GHz	5C-AH Recommendations	5C/TEMP/43
5C/98	日本	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1336-2 - Reference radiation patterns of omnidirectional, sectoral and other antennas in point-to-multipoint systems for use in sharing studies in the frequency range from 1 GHz to about 70 GHz	5C-3	-
5C/99	日本	Preliminary draft revision of Report ITU-R F.2106 - Fixed service applications using free-space optical links	5C-3	5C/TEMP/42, 52
5C/100	Korea	Sharing studies between base stations in the mobile service and ENG systems in frequency bands identified to IMT at WRC-07	5C-2	5C/TEMP/71
5C/101	カナダ	Proposed draft reply liaison statement to Working Party 1B on the study of software-defined radio and cognitive radio systems	5C-2	-

文書番号	提出元	題 目	担当WG	出力文書
5C/102	WP 5D	Liaison statement to Working Parties 5A and 5C – Draft revision of Report ITU-R M.2113 – “Sharing studies in the 2 500–2 690 MHz band between IMT–2000 and fixed broadband wireless access systems including nomadic applications in the same geographical area”	5C–2	–
5C/103	Brazil	Technical information on Power Line Telecommunications – PLT	5C–1	5C/TEMP/46
5C/104	Brazil	Draft revision of Question ITU-R 234/9 – Technical and operational characteristics of fixed wireless systems for frequency bands between 71 and 238 GHz	5C–3	5C/TEMP/83, 86
5C/105	Brazil	Cross-border sharing and compatibility	5C–2	5C/TEMP/78
5C/106	ロシア	Proposal for establishing a draft new ITU-R Question and framework of corresponding draft new ITU-R Report	5C–2	5C/TEMP/78
5C/107	WP 4C	Liaison statement to Working Parties 5B and 5C – Organization of AMS(R)S spectrum requirement studies (WRC–11 Agenda items 1.3 and 1.7)	5C–2	–
5C/108	WP 4C	Liaison statement to Working Party 5C – Information for studies related to WRC–11 Agenda item 1.25	5C–2	5C/TEMP/56
5C/109	WP 7B	Liaison statement to Working Parties 4A, 5A, 5B and 5C on WRC–11 Agenda item 1.12	5C–3	5C/TEMP/66
5C/110	WP 4A	Liaison statement to interim Working Party 5C – Results of the consideration on the SF–Series Recommendations	5C–AH Recomme ndations	5C/TEMP/44
5C/111	WP 4A	Liaison statement to Working Party 5C – Gateway links for high altitude platform stations in the range from 5 850 to 7 075 MHz	5C–2	5C/TEMP/73
5C/112	Rapporteur of CG–anlist	Report of correspondence group for the analytical list and the scopes of the SF–Series Recommendations	Plenary	5/114
5C/113	Rapporteur of CG–anlist	Report of correspondence group for the analytical list and the scopes of the F–Series Recommendations	Plenary	5/114
5C/114	WP 7C	Liaison statement to WPs 3L, 5B and 5C – Arrival time difference lightning detection systems in the meteorological aids service in operation below 20 kHz (WRC–11 Agenda item 1.16)	Plenary	–
5C/115	WP 4C	Liaison statement to ITU–R Woking Party 5C – Proposed revisions to Recommendations ITU–R M.1319–2, ITU–R M.1469–1, ITU–R M.1472, ITU–R M.1473 and ITU–R M.1474	5C–2	5C/TEMP/69

文書番号	提出元	題 目	担当WG	出力文書
5C/116	WP 4C	Liaison statement to ITU-R Working Parties 5A, 5B and 5C – WRC-11 Agenda item 1.18	5C-2	5C/TEMP/81
5C/117	WP 4A	Liaison statement to Working Parties 5B, 5C and 7B – WRC-11 Agenda item 1.12	5C-3	-
5C/118	WP 4A	Liaison statement to Working Party 5A (copy to Working Party 5C for information) – Studies on compatibility of broadband wireless access (BWA) networks and fixed-satellite service (FSS) networks in the 3 400–4 200 MHz band	5C-2	-
5C/119	WP 4A	Liaison statement to Working Party 5C – Methodology for statistically calculating the interference received by the fixed service from space-to-earth emissions for frequency bands above about 17 GHz	5C-3	5C/TEMP/85
5C/120	無線通信 局長	Renumbered Questions within Study Group 5	Plenary	-
5C/121	BR/SGD	List of documents issued (Documents 5C/26 – 5C/121)	Plenary	-

表7 WP5C出力文書一覧表

文書番号	担当WG	題目	入力文書	処理
5C/TEMP/ 38	5C-AH Work Plans	Framework for studies related to WRC-11 Agenda item 1.5	5C/84	WP5Cプレナ リで議長報 告への収録 を承認
5C/TEMP/ 39	5C-AH Work Plans	Framework for studies related to WRC-11 Agenda item 1.8	5C/85	WP5Cプレナ リで議長報 告への収録 を承認
5C/TEMP/ 40	5C-AH Work Plans	Framework for studies related to WRC-11 Agenda item 1.20	5C/86	WP5Cプレナ リで議長報 告への収録 を承認
5C/TEMP/ 41	5C-2	Draft editorial amendments to Recommendation ITU-R F.1247-1 – Technical and operational characteristics of systems in the fixed service to facilitate sharing with the space research, space operation and Earth exploration-satellite services operating in the bands 2 025-2 110 MHz and 2 220-2 290 MHz	5C/43	WP5Cプレナ リで否認。 5C/TEMP/8 0に置換え。
5C/TEMP/ 42	5C-3	Draft liaison statement to Working Party 1A (copy to WP 7B for information) – WRC-11 agenda item 1.6	5C/69, 99	WP5Cプレナ リで承認,リ エゾン送付
5C/TEMP/ 43	WG 5C-AH Recomm endation s	Preliminary review of certain F-series Recommendations developed by former Working Party 9D	5C/96, 97	WP5Cプレナ リで議長報 告への収録 を承認
5C/TEMP/ 44	WG 5C-AH Recomm endation s	Liaison statement to Working Party 4A – Reply to the proposed deletions of certain SF-series Recommendations	5C/110	WP5Cプレナ リで承認,リ エゾン送付
5C/TEMP/ 45	5C-AH Recomm endation s	Liaison statement to Working Party 5A – Preliminary review of certain F-series Recommendations developed by former Working Party 9D	5C/96	WP5Cプレナ リで承認,リ エゾン送付
5C/TEMP/ 46	5C-2	Liaison statement to Working Party 1A – (For information to WPs 5A,5B and 6D) – Interference issues from power line telecommunication systems using the electricity supply wiring	5C/54, 103	WP5Cプレナ リで承認,リ エゾン送付

文書番号	担当WG	題目	入力文書	処理
5C/TEMP/47	5C-1	Liaison statement to WP 5B (for information to WPs 5A, 6D, 7A and 7D) – Sharing studies required for WRC-11 Agenda item 1.15	5C/28	WP5Cプレナリで承認,リエゾン送付
5C/TEMP/48	5C-1	Liaison statement to Working Party 5A – Considerations relating to sharing and compatibility studies in support of WRC-11 Agenda item 1.23	5C/31	WP5Cプレナリで承認,リエゾン送付
5C/TEMP/49	5C-1	Liaison statement to Working Party 5A – (For information Working Parties 5B and ITU-T Study Group 2) – Response Liaison statement to Working Party 5A on possible suppression of message formats in Recommendation ITU-R M.1677	5C/30	WP5Cプレナリで承認,リエゾン送付
5C/TEMP/50	5C-1	Liaison statement to WP 7C – Considerations relating to sharing and compatibility studies in support of WRC-11 Agenda item 1.16 (Resolution 671[COM6/16](WRC-07))	5C/35	WP5Cプレナリで承認,リエゾン送付
5C/TEMP/51	5C-3	Liaison statement to WP 4A – Use of band 21.4-22 GHz for broadcasting-satellite service and associated feeder-link bands in Regions 1 and 3	5C/49	WP5Cプレナリで承認,リエゾン送付
5C/TEMP/52	5C-3	Preliminary draft revision of Report ITU-R F.2106 – Fixed service applications using free-space optical links	5C/99	WP5Cプレナリで承認
5C/TEMP/53	5C-2	Draft editorial Amendments to Recommendation ITU-R F.1249-1 – Maximum equivalent isotropically radiated power of transmitting stations in the fixed service operating in the frequency band 25.25-27.5 GHz shared with the inter-satellite service	5C/40	WP5Cプレナリで否認。 5C/TEMP/68に置き換え。
5C/TEMP/54	5C-1	Draft reply to liaison statement from Working Party 1C – Radio noise in the HF Frequency Band	5C/67	WP5Cプレナリで承認,リエゾン送付
5C/TEMP/55	5C-1	Liaison statement to Working Parties 6A and 5B (Copied to Working Party WP 5A for information) – Consider possible allocations in the frequency range 3-50 MHz to the radiolocation service for oceanographic radar applications	5C/57, 78	WP5Cプレナリで承認,リエゾン送付

文書番号	担当WG	題目	入力文書	処理
5C/TEMP/ 56	5C-2	Liaison statement to WP 4C (information to WP5A, 5D) – Information for studies related to WRC-11 Agenda item 1.25	5C/47, 58, 72, 108	WP5Cプレナ リで承認,リ エゾン送付
5C/TEMP/ 57	5C-2	Liaison statement to Working Party 4B – On preliminary draft new Question ITU-R [HYBRID]/4 – “System architecture and performance aspects on hybrid satellite and terrestrial systems”	5C/46, 73	WP5Cプレナ リで承認,リ エゾン送付
5C/TEMP/ 58	5C-2	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R F.387-10 – Radio-frequency channel arrangements for fixed wireless systems operating in the 11 GHz band	5C/91	WP5Cプレナ リで承認
5C/TEMP/ 59	5C-2	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R F.[CROSS-BORDER] – Guidance to administrations wishing to reach an agreement on compatibility within the fixed service and sharing between stations of fixed service with stations of other terrestrial services operating in the neighbouring countries in [the frequency bands above 29.7 MHz]	5C/26, 80, 105, 106	WP5Cプレナ リで議長報 告への収録 を承認
5C/TEMP/ 60	5C-2	Liaison statement to Working Party 7B – Sharing analyses between NON-GSO meteorological satellite systems operating in the space-to-earth direction and fixed service systems in the Band 7 850–7 900 MHz for WRC-11 Agenda item 1.24	5C/45, 72, 93	WP5Cプレナ リで承認,リ エゾン送付
5C/TEMP/ 61	5C-3	Liaison statement to Working Party 5B – WRC-11 Agenda item 1.12	5C/92	WP5Cプレナ リで承認,リ エゾン送付
5C/TEMP/ 62	5C-3	Liaison statement to WP 7B – Sharing between the space research service (Earth-to-space) and the fixed service in the band 22.55–23.15 GHz	5C/41, 44, 83	WP5Cプレナ リで承認,リ エゾン送付
5C/TEMP/ 63	5C-2 5C-3	Liaison statement to WP 7B – Revision to Recommendations ITU-R F.1247-1 and F.1249-1	5C/43	WP5Cプレナ リで承認,リ エゾン送付

文書番号	担当WG	題目	入力文書	処理
5C/TEMP/ 64	WP 5C	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R F.1336-2 – Reference radiation patterns of omnidirectional, sectoral and other antennas in point-to-multipoint systems for use in sharing studies in the frequency range from 1 GHz to about 70 GHz	5C/26, 81	WP5Cプレナ リで承認
5C/TEMP/ 65	WP 5C	Working document towards a preliminary draft new Recommendation/Report on sharing between AMS and FS in the band 37–38 GHz	5C/92	WP5Cプレナ リで承認
5C/TEMP/ 66	WP 5C	Draft liaison statement to Working Party 7B – WRC-11 Agenda item 1.12	5C/33, 92, 109	WP5Cプレナ リで承認,リ エゾン送付
5C/TEMP/ 67	5C-3	Draft liaison statement to Working Party 7C (copy to WP 5A) – Information for studies related to Question ITU-R 232-1/7	5C/88	WP5Cプレナ リで承認,リ エゾン送付
5C/TEMP/ 68	5C-3	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1249-1 – Maximum equivalent isotropically radiated power of transmitting stations in the fixed service operating in the frequency band 25.25-27.5 GHz shared with the inter-satellite service	5C/43	WP5Cプレナ リで承認,リ エゾン送付
5C/TEMP/ 69	5C-2	Draft reply liaison statement to ITU-R Working Party 4C – Proposed revisions to Recommendations ITU-R M.1319-2, M.1469-1, M.1472, M.1473 and M.1474	5C/115	WP5Cプレナ リで承認,リ エゾン送付
5C/TEMP/ 70	5C-2	WRC-11 Agenda item 1.5 – Proposed revisions to draft text for the CPM Report	5C/75	WP5Cプレナ リで承認
5C/TEMP/ 71	5C-2	Working document toward a preliminary draft new Report [ENGSHARE]	5C/100	WP5Cプレナ リで承認
5C/TEMP/ 72	5C-2	Draft liaison statement to Working Parties 6A, 6B, 6C – WRC-11 Agenda item 1.5	5C/75, 84	WP5Cプレナ リで承認,リ エゾン送付
5C/TEMP/ 73	5C-2	Draft liaison statement to Working Parties 3m, 4A, 5A, 5B, 7B and 7C – Gateway links for high altitude platform stations in the range from 5 850 to 7 075 MHz	5C/36, 48, 76, 77, 79, 87, 111	WP5Cプレナ リで承認,リ エゾン送付
5C/TEMP/ 74	5C-2	Draft CPM text for WRC-11 – Agenda item 1.20	5C/77	WP5Cプレナ リで議長報 告への収録 を承認



文書番号	担当WG	題目	入力文書	処理
5C/TEMP/75	5C-2	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R F.[HAPS MODELING] – Interference analysis modeling for sharing between HAPS gateway links in the range 5 850–7 075 MHz and other services	5C/76	WP5Cプレナリで議長報告への収録を承認
5C/TEMP/76	5C-2	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R F.[HAPS.CHAR] – Technical and operational characteristics of gateway links in the fixed service using high altitude platform stations to be used in sharing studies in the band 5 850–7 075 MHz	5C/87	WP5Cプレナリで議長報告への収録を承認
5C/TEMP/77	5C-2	Consideration of a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R F.1764	5C/79	WP5Cプレナリで承認
5C/TEMP/78	5C-2	Draft liaison statement to Working Party 5A on preliminary draft new Report ITU-R F.[CROSS-BORDER] – Guidance to administrations wishing to reach an agreement on compatibility within the fixed service and sharing between stations of fixed service with stations of other terrestrial services operating in the neighbouring countries	5C/26, 80, 105, 106	WP5Cプレナリで承認,リエゾン送付
5C/TEMP/79	5C-2	WRC-11 Agenda item 1.5 – Proposed methods to satisfy the agenda item	5C/75	WP5C で 承認
5C/TEMP/80	5C-2	Draft revision to Recommendation ITU-R F.1247-1 – Technical and operational characteristics of systems in the fixed service to facilitate sharing with the space research, space operation and earth exploration-satellite services operating in the Bands 2 025–2 110 MHz and 2 200–2 290 MHz	5C/43	WP5Cプレナリで承認,SG5へ送付。
5C/TEMP/81	5C-2	Liaison statement to ITU-R Working Party 4C – (Copy to Working Party 5A for information) – WRC-11 Agenda item 1.18	5C/116	WP5Cプレナリで承認,SG5へ送付。
5C/TEMP/82	5C-2	Liaison statement to Working Party 5B (For information Working to Working Party 5A) – Compatibility studies between radiolocation and fixed service in the band 30–300 MHz (WRC-11 Agenda item 1.14)	5C/27,64	WP5Cプレナリで承認,リエゾン送付。
5C/TEMP/83	5C-3	Liaison statement to Working Parties 1A, 4A, 7B, 7C and 7D – WRC-11 Agenda item 1.8 – Consideration of technical and regulatory issues relative to the fixed service in the bands between 71 GHz and 238 GHz	5C/89	WP5Cプレナリで承認,リエゾン送付。

文書番号	担当WG	題目	入力 文書	処理
5C/TEMP/ 84	5C-3	Liaison statement to Working Party 5A and 5D – Revision of Recommendations ITU-R F.758 and ITU-R F.1336	5C/74, 81, 82, 95	WP5Cプレナ リで承認,リ エゾン送付
5C/TEMP/ 85	WP 5C	Liaison statement to Working Party 4A – Methodology for statistically calculating the interference received by the fixed service from space-to-earth emissions for frequency bands above about 17 GHz	5C/119	WP5Cプレナ リで承認,リ エゾン送付
5C/TEMP/ 86	5C-3	Preliminary draft revision of Report ITU-R F.2107 – Characteristics and applications of fixed wireless systems operating in the 57 GHz to 130 GHz bands	5C/94	WP5Cプレナ リで議長報 告への収録 を承認
5C/TEMP/ 87	5C-3	Working document towards a preliminary draft revision to Recommendation ITU-R F.758-4 – Considerations in the development of criteria for sharing between the fixed service and other services	5C/74, 82, 95	WP5Cプレナ リで議長報 告への収録 を承認
5C/TEMP/ 88	5C-3	Working document on WRC-11 Agenda item 1.8 for further discussion within Working Party 5C – Fixed wireless services in the 71 GHz to 238 GHz	5C/89	WP5Cプレナ リで議長報 告への収録 を承認

別表1 所掌をWP5Aに移行するF-series勧告

文書 番号	版 数	題名
701	2	Radio-frequency channel arrangements for digital point-to-multipoint radio systems operating in frequency bands in the range 1.350 to 2.690 GHz (1.5, 1.8, 2.0, 2.2, 2.4 and 2.6 GHz)
757	3	Basic system requirements and performance objectives for fixed wireless access using mobile-derived technologies offering telephony and data communication services
1103	1	Basic requirements and technologies for fixed wireless systems operating in bands below 3 GHz for the provision of wireless subscriber connections in rural areas
1244	0	Radio local area networks (RLANs)
1399	1	Vocabulary of terms for wireless access
1400	0	Performance and availability requirements and objectives for fixed wireless access to public switched telephone network
1401	1	Considerations for the identification of possible frequency bands for fixed wireless access and related sharing studies
1402	0	Frequency sharing criteria between a land mobile wireless access system and a fixed wireless access system using the same equipment type as the mobile wireless access system
1488	0	Frequency block arrangements for fixed wireless access systems in the range 3 400–3 800 MHz
1489	0	A methodology for assessing the level of operational compatibility between fixed wireless access and radiolocation systems when sharing the band 3.4–3.7 GHz
1490	1	Generic requirements for fixed wireless access systems
1499	0	Radio transmission systems for fixed broadband wireless access based on cable modem standard
1518	0	Spectrum requirement methodology for fixed wireless access and mobile wireless access networks using the same type of equipment, when coexisting in the same frequency band
1613	0	Operational and deployment requirements for fixed wireless access systems in the fixed service in Region 3 to ensure the protection of systems in the Earth exploration-satellite service (active) and the space research service (active) in the band 5 250–5 350 MHz
1763	0	Radio interface standards for broadband wireless access systems in the fixed service operating below 66 GHz

別表2 WP5A と5C で共同管理に移行する F-series 勧告

文書 番号	版 数	題名
592	4	Vocabulary of terms for the fixed service
697	2	Error performance and availability objectives for the local-grade portion at each end of an ISDN connection at a bit rate below the primary rate utilizing digital radio-relay systems
746	9	Radio-frequency arrangements for fixed service systems
748	4	Radio-frequency arrangements for systems of the fixed service operating in the 25, 26 and 28 GHz bands
749	2	Radio-frequency channel arrangements for radio-relay systems in the 38 GHz band
755	2	Point-to-multipoint systems in the fixed service
758	4	Considerations in the development of criteria for sharing between the terrestrial fixed service and other services
1102	0	Characteristics of digital fixed wireless systems above about 17 GHz
1105	2	Fixed wireless systems for disaster mitigation and relief operations
1107	1	Probabilistic analysis for calculating interference into the fixed service from satellites occupying the geostationary orbit
1108	4	Determination of the criteria to protect fixed service receivers from the emissions of space stations operating in non-geostationary orbits in shared frequency bands
1191	2	Bandwidths and unwanted emissions of digital fixed service systems
1247	1	Technical and operational characteristics of systems in the fixed service to facilitate sharing with the space research, space operation and Earth exploration-satellite services operating in the bands 2 025-2 110 MHz and 2 200-2 290 MHz
1336	2	Reference radiation patterns of omnidirectional, sectoral and other antennas in point-to-multipoint systems for use in sharing studies in the frequency range from 1 to about 70 GHz
1404	1	Minimum propagation attenuation due to atmospheric gases for use in frequency sharing studies between systems in the fixed service and systems in the broadcasting-satellite, mobile-satellite and space science services
1509	0	Technical and operational requirements that facilitate sharing between point-to-multipoint systems in the fixed service and the inter-satellite service in the band 25.25-27.5 GHz
1519	0	Guidance on frequency arrangements based on frequency blocks for systems in the fixed service

文書 番号	版 数	題名
1567	0	Radio-frequency channel arrangement for digital fixed wireless systems operating in the frequency band 406.1–450 MHz
1568	1	Radio-frequency block arrangements for fixed wireless access systems in the range 10.15–10.3/10.5–10.65 GHz
1670	1	Protection of fixed wireless systems from terrestrial digital video and sound broadcasting systems in the shared VHF and UHF bands
1671	0	Guidelines for a process to address the deployment of area-licensed fixed wireless systems operating in neighbouring countries
1704	0	Characteristics of multipoint-to-multipoint (MP-MP) fixed wireless systems with mesh network topology operating in frequency bands above about 17 GHz
1760	0	Methodology for the calculation of the aggregate equivalent isotropically radiated power (a.e.i.r.p.) distribution from point-to-multipoint high-density applications in the fixed service operating in bands above 30 GHz identified for such use
1766	0	Methodology to determine the probability of a radio astronomy observatory receiving interference based on calculated exclusion zones to protect against interference from point-to-multipoint high-density applications in the fixed service operating in bands around 43 GHz

別表 3 所掌を WP5A に移行する F-series Report

文書 番号	版 数	題名
2058	0	Design techniques applicable to broadband fixed wireless access (FWA) systems conveying Internet protocol (IP) packets or asynchronous transfer mode (ATM) cells
2086	0	Technical and operational characteristics and applications of broadband wireless access in the fixed service

(別紙)

ITU-R SG5 WP5C 第2回会合 日本代表团

氏名	所属
梶原隆道	総務省
森崎 孝行	(独)情報通信研究機構
辻 宏之	(独)情報通信研究機構
小牧 省三	大阪大学
小川 博世	(社)電波産業会
大本 隆太郎	(株)NTTアクセスサービスシステム研究所
枚田 明彦	(株)NTTマイクロシステムインテグレーション研究所
橋本 明	(株)NTTドコモ
荒木 正治	ドコモ・テクノロジー(株)

ITU-R WP5D  
第4回会合報告書（暫定版）

第0.1版

平成21年4月17日

日 本 代 表 団

## ITU-R WP5D 第4回(スイス、ジュネーブ) 会合報告書 目次

1. はじめに	1
2. 会議構成	2
3. 主要結果	2
3.1 全体の主要結果	2
3.2 各WG等の主要結果	3
(1)WG GENERAL ASPECTS	(2)WG TECHNOLOGY ASPECTS
(3)WG SPECTRUM ASPECTS	(4)WG DEVELOPING ASPECTS
(5)AH WORKPLAN	(6)AH VOCABULARY
4. 所感及び今後の課題	5
5. 各WG等における主要論議	5
5.1 WG GENERAL ASPECTS	5
5.2 WG TECHNOLOGY ASPECTS	6
5.2.1 SWG M.1457	10
5.2.2 SWG M.1580 & M.1581	12
5.2.3 SWG RADIO ASPECTS	13
5.2.3.1 DG ON FEMT	14
5.2.4 SWG EVAL	14
5.2.5 DG SWG CL	15
5.3 WG SPECTRUM ASPECTS	16
5.3.1 SWG SHARING	19
5.3.1.1 DG MBWA	22
5.3.1.2 DG M.2039	23
5.3.1.3 DG SHARING UHF PARAMETER	25
5.3.2 SWG FREQUENCY ARRANGEMENTS	26
5.3.2.1 DG 1036	28
5.4 WG DEVELOPING ASPECTS	30
5.5 AH WORKPLAN	31
5.6 AH VOCABULARY	33
6. Region 3非公式会合	33
7. 今後の予定等	34
7.1 WP5D及び関連会合の今後の開催予定	34
7.2 次会合に向けての日本のアクション事項	35
7.2.1 WG GENERAL ASPECTS 関係	35
7.2.2 WG TECHNOLOGY ASPECTS 関係	35
7.2.3 WG SPECTRUM ASPECTS 関係	35
付属資料1 参加国・機関と寄与文書数	36
付属資料2 ITU-R WP5D 第4回会合日本代表団名簿	38
付属資料3 日本寄書等の審議結果	39



5D/368（日本寄書）、5D/369（日本寄書）、5D/370（日本寄書）、  
5D/371（日本寄書）、5D/372（日本・韓国共同寄書）、5D/373（日本寄書）、  
5D/374（日本寄書）、5D/INFO/9

付属資料4	入力文書一覧	41
付属資料5	出力文書一覧	46
付属資料6	各 WG の当面のスケジュール	49

## 1. はじめに

IMT (IMT-2000 と IMT-Advanced を集散的に称するルートネーム) の地上系コンポーネントの更なる開発を目指す "Future development of the terrestrial component of IMT" を所掌とする ITU-R SG5 (Study Group 5) WP5D (Working Party 5D) の第 4 回会合が、2009 年 2 月 10 日～2 月 17 日にスイスのジュネーブにおいて開催されたので、その結果について報告する。

本 WP5D は、2008 年 11 月 10-11 日にスイス、ジュネーブにおいて開催された SG5 第 2 回会合の結果を受けて、正式に SG5 傘下の WP 構成となった最初の WP5D 会合であり、WP 議長も同 SG5 会合において正式決定された議長のもとで開催された。

前回の WP5D 第 3 回会合 (2008 年 10 月 8 日～10 月 15 日、韓国のソウルにて開催) では、無線インタフェースの評価手法に関するレポート草案 (IMT.EVAL) の承認、及び、IMT-Advanced の要求条件と評価条件の概要、テスト環境、技術提案のガイドライン等を記述したレポート草案 (IMT.REST) 中の Technology Description Template 及び Link Budget Template を完成し、レポート草案 IMT.REST として承認することを重点として議論が行われた。また、IMT-2000 無線インタフェースの不要輻射に関する勧告 (M.1580/1581) の改訂、IMT の周波数配置に関する勧告 (M.1036) の改訂、2.5GHz 帯の固定系 BWA と IMT との周波数共用に関するレポート (M.2113) の改訂に関する検討等が行われた。結果として、IMT.EVAL 及び IMT.REST 及びレポート M.2113 の改訂草案は承認され、前々回承認された無線インタフェース技術の要求条件に関するレポート草案 (IMT.TECH) とともに SG5 (2008 年 11 月 10-11 日、スイス、ジュネーブにて開催) へ送られ、ともに同 SG5 において承認された。

今回の WP5D 第 4 回会合では、複信方式用の追加を伴う IMT-2000 無線インタフェースの詳細勧告の第 9 版 (M.1457-9) に向けた改訂、IMT-2000 無線インタフェースの不要輻射に関する勧告 (M.1580/1581) の改訂、IMT-Advanced 無線インタフェースの検討プロセスの各ステップの責任部署とその所掌、2.5GHz 帯における IMT-2000 CDMA-DS と IMT-2000 OFDMA TDD WMAN の周波数共用に関する新レポート草案 (MBWA レポート)、M.2116 (BWA の共用検討パラメータレポート) に含まれる IEEE 802.16e の項目から、レポート M.2039 (IMT-2000 システムの共用検討パラメータレポート) に OFDMA TDD WMAN として反映させる改訂草案、IMT の周波数配置に関する勧告 (M.1036) の改訂に関する検討等が行われた。

今回の会合には、30 ヶ国及び 19 機関から合計 138 名の参加 (付属資料 1 参照) があり、そのうち、日本からは 20 名が参加した (付属資料 2 参照)。

入力文書は合計 86 件であり、そのうち日本から入力した寄書は 7 件 (日本・韓国の共同寄書 1 件を含む)、また、日本から入力した情報文書が 1 件であった (付属資料 3、4 参照)。なお、前回会合からキャリアフォワードされた文章が 1 件あった。

本会合における出力文書 (TEMP 文書) は合計 47 件であった (付属資料 5 参照)。

## 2. 会議構成

各 WG 等の担当項目と議長を表 1 に示す。

日本は各 WG、SWG、AH および DG に積極的に参加し、会議の進展に貢献した。

表 1 各 WG 等の担当項目と議長

Group	担当項目	議長
<b>WP5D</b>	ITU-R WP5D 全体	S. BLUST (米)
<b>WG DEV (DEVELOPING ASPECTS)</b>	途上国への適用	J. COMARGO (メキシコ)
<b>WG GEN (GENERAL ASPECTS)</b>	IMT 関連の全般的事項	K. J. WEE (韓)
<b>WG SPEC (SPECTRUM ASPECTS)</b>	スペクトラム関連	A. JAMIESON(ニュージーランド)
SWG – SHARING	周波数共用研究	代行 R. AREFI (米/インテル)
DG-MBWA	2.5GHz 帯 CDMA DS と OFDM TDD	R. AREFI (米/インテル)
DG-M.2039	WMAN 共用検討の新レポート草案 レポート M.2039(共用検討パラメータ)	J. WILLIAMS (WiMAX Forum)
DG Sharing UHF Parameter	改定 CDMA2000 UHF 帯共用検討パラメータ	J. P. Millet (仏)
SWG-FREQUENCY	周波数アレンジメント勧告 (M.1036-3)	Z. MENG (中)
ARRANGEMENTS	M.1036-3 改定及び 698-960MHz 帯の新	J. COSTA (加)
DG 1036	レポート草案[IMT.700]検討	
<b>WG TECH (TECHNOLOGY)</b>	無線伝送技術関連	SUN LIXIN(中)
SWG - M.1457	既存勧告の維持改定管理(無線伝送技術 勧告 (M.1457) )	N. P. MAGNANI (伊)
SWG - M.1580&1581	不要輻射	U. LÖWVENSTEIN (独)
SWG - RADIOASPECTS	無線関連技術	M. GRANT (米)
DG on FEMT	フェムトセルアンケート調査用リエゾ ン	M. GRANT (米)
SWG - EVAL	無線インタフェース評価基準	H. WANG (中)
DG SWG CL	評価グループのコーディネート作業	本多美雄 (日)
<b>AH VOCABURARY</b>	用語関連	H. MENNENGA (独)
<b>AH WORKPLAN</b>	WP8D 全体の作業計画等調整	H. OHLSEN (スウェーデン)

AH VOCABURARY および SWG - EVAL は、今回は開催されなかった。

## 3. 主要結果

### 3. 1 全体の主要結果

- ・ IMT-2000 無線インタフェースの不要輻射に関する勧告 (M.1580, M.1581) の改訂草案を完成・承認した。
- ・ 2.5GHz 帯の移動系 BWA と IMT との周波数共用に関する新レポート草案 (MBWA) を完成・承認した。
- ・ IMT-2000 の周波数共用パラメータレポート (M.2039) の改訂草案を完成・承認した。
- ・ IMT-2000 無線インタフェース検討プロセスの各ステップの責任部署を決定し、WG-TECH 内に新 SWG-Coordination を設置することで合意した。SWG 議長に本多氏が選出された。
- ・ 3.4-3.6GHz 帯の IMT に対する PFD 制限値算出法の検討に関して WP5D との連携を求める WP4A へのリエゾンバック文書を承認・発出した。
- ・ WTSA-08 の結果を WP5D 作業計画に取り込み、議長報告の第 2.4 項を更新した。

- ・ IMT-2000 無線インタフェース詳細勧告第 9 版 (M.1457-9) の改訂に関して、複信方式追加の対応方法はほぼ合意したが、本改訂の完成を次回会合に先送りした。
- ・ IMT-2000 無線インタフェース詳細勧告第 10 版 (M.1457-10) の改訂作業は、第 6 回会合以降に開始することで合意した。
- ・ ITU-D Q.18-1/2 で改訂作業中のガイドラインに対して、サプリメントという形で IMT-2000 の最新状況を次回会合までに作成・提供することが合意された。
- ・ コグニティブ無線に関する WP5D の作業範囲を確認した。

### 3. 2 各WG等の主要結果

#### (1) WG GENERAL ASPECTS

- ・ 作業計画の 2.4 項に ITU-T の WTSA-08 の結果を反映した。
- ・ Cognitive Radio (CR) に関して他の ITU-R グループでの検討状況と歩調を合わせる事、WP5D としては CR に関し IMT に特化した問題を取り扱い、CR が IMT に適用可能かどうかについて検討することを確認した。その上で、以下の SOW を合意した。
  - － ITU-R 他グループの CR 関連報告からその検討状況と歩調を合わせ、既存及び新 IMT 文書で考慮
  - － CR 関連の技術で他グループが言及していない IMT に特化した問題を特定
  - － 他のサービスと IMT の最適な共存を前提に IMT システムにおける CR 使用の利点及び影響の分析
  - － CR が周波数の使用の効率化の促進あるいは簡素化するのは、IMT 関連のどのシナリオかを決定
  - － IMT 関連シナリオにおける測定結果 and/or 無線環境モデルを検討し、CR の IMT への適用可否を決定

#### (2) WG TECHNOLOGY ASPECTS

- ・ IMT-2000 の詳細無線インタフェース(RSPC)勧告 (Rec. ITU-R M.1457)については、各無線インタフェースからの入力、及び事務的な入力についての報告があり第 9 版に向けた改訂作業を実施した。このうち 5.2 章 (CDMA MC)及び 5.6 章 (OFDMA TDD WMAN)に関しては従来の複信方式に加え新たな複信方式を Update として追加提案しており、この Update 方法に対して議論を行った。又 OFDMA TDD WMAN の 5.6.2 章の改訂方法に関しては BR に対して事務・権利的な確認作業も行われた。結論として、新たな複信方式の追加を同一の章内で実施することに対しては合意の方向であるが、更に 5.2 章及び 5.6 章の入力元に確認すべき事項があるとの理由で勧告改訂原案の完成を次回会合に順延し、各 Stakeholder SDO に対して現在の勧告改訂の検討状況及び現行作業文書を添付した Liaison を発出した。又、勧告改訂原案の完成が次回に順延されても各 Stakeholder SDO の Link 提出期限は変更しないことで合意した。
- ・ 勧告改訂 Roadmap に関しては、今回何も入力が無かったため各 Stakeholder SDO に対して Roadmap 改訂の意義を連絡し入力を要請する Liaison を発出した。
- ・ IMT-2000 の不要輻射に関する勧告(Rec. ITU-R M.1580,M.1581)に関しては、今回第 3 版に向けた勧告改訂原案を完成した。これらの勧告改訂原案は WP5D Plenary でも承認され、5 月に開催される SG5 に承認を求め上提される。
- ・ Femto Cell に関しては技術的な事項を検討するとの WP5D Plenary での合意に従って今後の検討方法について討議を行い、外部団体における検討状況を調査の上 ITU 内での Deliverables (勧告 or Report)の開発要否を決定することに合意し、外部団体に対して情報提供を求める Liaison を発出した。
- ・ IMT-Advanced の無線インタフェース選定の Step 3, 5 及び 7 に関連する新 SWG に関しては、WP5D Plenary での合意 (T に従いその Scope of work を DG-CL で検討し、WG で承認した SoW は WP5D Plenary で Editorial な修正を加え承認され、新 SWG は SWG-Coordination として WG-TECH 内に発足した。尚、本 SWG 議長

には DG の議長を勤めた日本の本多氏が就任した。

- ・ 今回合会では IMT-Advanced の無線インタフェースの提案入力があったため SWG-EVAL は開催されなかったが、韓国から Evaluation に関する情報入力及び日本から Channel Model に関する情報入力があったため、これらを ITU Web 内の IMT-Advanced 関連ページに掲載することとした。

### (3) WG SPECTRUM ASPECTS

#### 周波数アレンジメント関連

- ・ 周波数アレンジメント勧告 M.1036-3 の改訂に向けた作業文書の更新を行い、キャリアフォワードした (TEMP/145)。作業文書には、3.4-3.6GHz 帯の周波数アレンジメントとして、日韓共同提案の内容が反映された。
- ・ 勧告 M.1036-3 のワークプランは、日付等のエディトリアルな修正のみを実施した (TEMP/156)。
- ・ 698-960MHz 帯の周波数アレンジメントの策定に向けての新レポート案[IMT.700]の作業文書の更新を行い、キャリアフォワードした (TEMP/146Rev.2)。なお、文書形式をレポートとすることは継続検討事項とした。本作業文書には、ケーススタディの 1 つとして、日本からの 700/900MHz 帯をペアにする周波数アレンジメントの提案が、反映された。

#### 共用検討関連

- ・ 3.4-3.6GHz 帯の IMT に対する PFD 制限値の算出法の検討に関連し、SG4 及び WP4A から送付されたリエゾン文書 (5D/118, 328) に対して、作業のスコップ、ワークプラン等を合意する必要がある等、WP5D との連携を求めるリエゾン文書を WP4A に発出した (TEMP/169Rev.2)。なお、リエゾン文書には、日本からの提案内容が反映された。
- ・ 2.5GHz 帯における IMT-2000 CDMA DS と IMT-2000 OFDMA TDD WMAN の共用検討新レポート案 (通称 MBWA レポート) について、OFDMA TDD WMAN の隣接チャネル選択度(ACS)及び関連パラメータについて合意が図られたことから、新レポート案として合意され、SG5 へ承認を求めることになった (TEMP/142)。
- ・ レポート M.2116 (BWA の共用検討パラメータレポート) に含まれる IEEE 802.16e の項目から、レポート M.2039 (IMT-2000 システムの共用検討パラメータレポート) に OFDMA TDD WMAN として反映させる改訂案が合意され、SG5 へ承認を求めることになった (TEMP/141Rev.2)。なお、WP5A に、改定案の作成が完了したことを知らせるリエゾン文書を発出した (TEMP/168)。
- ・ 790-862MHz 帯の IMT パラメータの取りまとめ更新を行い、前回合会場で情報を提供した WP5B (WP5A, 6A にも情報提供) に対して、新たなリエゾン文書を発出した (TEMP/160Rev.3)。なお、本取りまとめには、外部団体からの情報をマージする形で、"Preliminary generic set of parameters for IMT in the band 790-862 MHz" がまとめられた。
- ・ 790-862MHz 帯の IMT パラメータの取りまとめで引用している勧告 F.1336 のアンテナパターンについて、790-862MHz の周波数帯へ適用可能であるかを問い合わせるリエゾン文書を、WP5A 及び 5C (WP5B にも情報提供) に発出した (TEMP/159)。
- ・ 790-862MHz 帯の IMT パラメータの取りまとめで作成した、"Preliminary generic set of parameters for IMT in the band 790-862 MHz" の内容のレビューを外部団体に要請するリエゾン文書を作成したが、WP5B からの回答を待って対応することにし、次回 WP5D 会合にキャリアフォワードした (TEMP/161Rev.2)。

### (4) WG DEVELOPING ASPECTS

次回 WP5D 会合において、ITU-D で作成した "Guidelines on the Smooth Transition of Existing Mobile Networks to IMT-2000 for Developing Countries" について、IMT-2000 の最新状況を反映したサブリメントを完

成することとした。

(5) AH WORKPLAN

- ・ WP5Dの全般的ワークプランの最新化を行った。特に、会合計画では次回の第5回会合はジュネーブで、第6回会合はドレスデン（ドイツ）で開催することとなった。
- ・ IMT.RADIO は、成果物がレポート等に拘らずコンセンサス形成を容易化するための作業としてワークプランに残すこととされた。

(6) AH VOCABULARY

- ・ 本 AH への入力文書がなかったため、開催されなかった。前回会合において、AH 議長は、時期をみて Recommendation をチェックする形で開催したいが、当面会合は開く予定はないとオフラインで述べていた。

(7) AH VOCABULARY

- ・ 本 AH への入力文書がなかったため、開催されなかった。オフラインで AH 議長は、時期をみて Recommendation をチェックする形で開催したいが、当面次回会合は開く予定はないと述べていた。

4. 所感及び今後の課題

- ・ IMTの周波数アレンジメント勧告（M.1036）の改訂に関しては、CJK-B3G WG 会合での議論を踏まえた日韓共同提案等が盛り込まれた形で作業文書が更新されたが、第6回会合での改訂草案を完成させるためには、次回会合にも積極的な寄与が必要であろう。
- ・ UHF 帯の周波数アレンジメントについては、IMTへの特定が地域や国によって異なることや、地上放送のアナログからデジタルへの移行時期が各国で異なるために複雑な要因を含んでいる。Region 3 非公式会合で、韓国代表から APT 関係国での協調の提案があったが、WP5D としてもそろそろ協調に向けた対応を検討する時期ではないだろうか。
- ・ 3.4-3.6GHz 帯の IMT に対する PFD 制限値算出法の検討に対して WP5D との連携を求めるリエゾンバックを WP4A へ発出したが、4月末～5月上旬に開催される WP4A 会合からの返答により、更なる作業が必要になるため、それを想定した検討が必要であろう。
- ・ IMT-2000 無線インタフェースの不要輻射に関する勧告（M.1580/1581）の改訂草案は、M.1457-9 の改訂作業との兼ね合いで若干危ぶまれたが、予定通り完成・承認することができた。本件担当者の継続的な寄与と CJK-B3G WG 会合等での関係国との連携・調整活動に深く感謝する。
- ・ 今会合で新設された SWG-Coordination は、IMT-Advanced 無線インタフェース技術開発プロセスの重要なステップの一端を担うことになったので、日本としても本多・議長を盛り立てるべく万全の体制で臨む必要がある。次回会合から直ぐに作業が開始する可能性があるため、その対応も含めて、具体的な検討をする必要があるだろう。

5. 各WG等における主要論議

5. 1 WG GENERAL ASPECTS

- (1) 議長： Dr. K.Wee (韓)
- (2) 主要メンバー： 佐藤(孝)、橋本、鬼頭、広池、白石、菅田、畑川、吉井、森脇、佐藤(一)、本多、林、小林、小畑、北、石川、中国、韓国、米国、英国、カナダ、ドイツ、イタリア、フランス、ロシア、エジプト、DoCoMo、IEEE、WiMAX Forum、Intel、Qualcomm、Ericsson 他全 50 名程度

(3) 入力文書：5D/394(ブラジル、WP5D作業計画の改訂)、5D/391(ドイツ、IMT関連CRIに関する新研究課題案)、5D/407 (CVC 及びRAG会合結果)、Temp/140(WP5D 1<sup>st</sup> PL result))

(4) 出力文書：5D/Temp/164 (WG General Aspects 会合報告)

(5) 審議概要：

(5-1) 経緯と所掌

本 WG は、IMT-2000 の高度化及び後継システムの Framework に関する勧告草案が WP8F 第 9 回会合で承認されたことを受け、WP8F 第 10 回会合から新たに設定された WG に源がある。ITU-R の組織改編後、WP8F は WP5D となり、技術、運用、及び周波数に関する課題を含む、将来の地上系 IMT システムに関連する課題を扱い、Work program plan for IMT、Terms of reference of WP5D、Possible future working items に関する検討を行う。

(5-2) 審議概要と主要結果

○ WP5D の長期作業計画の改訂における、“2.4 ITU working relationships”の内容の一部を ITU-T の WTSA-08 の結果を反映させる改訂を行った。具体的には ITU-T 決議 38 に関する記述を更新し、以前は IMT-2000 の標準化活動としていた箇所を、IMT 関連の標準化活動とし、そのためロードマップを ITU-T が維持するとした。

○ Cognitive Radio (CR) (5D/391, 404 and TEMP/140)

- ・ CR について WP5D 議長作成の TEMP 文書に従って議論した。
- ・ WG GEN の SoW として以下を合意した。
  - － CR に関して他の ITU-R グループからの報告を検討および必要に応じて歩調を合わせ、既存及び新 IMT 文書に取り込む
  - － CR 関連でスペクトラムセンシング、位置情報取得、ビーコンの活用等、CR の技術を含み他グループが言及していない IMT に特化した問題を特定
  - － 他のサービスと IMT の最適な共存を含む、IMT システムにおける CR の利点及び影響の分析
  - － CR が周波数の使用の効率化を促進するあるいは簡素化するのは IMT 関連のどのシナリオかを決定
  - － 上記 IMT 関連のシナリオにおいて、測定結果 and/or 無線環境モデルを検討することにより、CR を IMT に適用することの可否を決定
- ・ 上記の第一スコープにもあるように他グループとの歩調を合わせるために、WP5D は CR について他の IMT-R のグループにおいて検討中の情報を知っておくべきことがノートされた。
- ・ 利用可能な関係情報として、WP1B、および SG5 内での情報があるが、CR に関して他の ITU-R 寄与グループおよび関心を有するグループにおける活動内容について知る価値があるとした。
- ・ 次回 6 月会合に寄与文書の入力を要望した。

(6) 今後の課題：

IMT に係る WP5D における将来の検討項目を描き出すこと。今会合において、CR の切り口で将来の IMT を検討してみようということになったが、この無線方式に限らず、目を配る必要がある。

## 5. 2 WG TECHNOLOGY ASPECTS

(1) 議長：Lixin Sun (中国)

(2) 主要メンバー：坂中、佐藤(孝)、橋本、鬼頭、広池、白石、新、田中、菅田、畑川、小松、吉井、森脇、佐藤(一)、本多、林、小林、小畑、北、石川、中国、韓国、米国、英国、カナダ、ドイツ、イタリア、フランス、ロシア、エジプト、DoCoMo、IEEE、WiMAX Forum、Intel、Qualcomm、Ericsson 他全 150 名程度

### (3) 入力文書

#### (3-1) RSPC 勧告 M.1457 Update

5D/337 (Lebanon) , 5D/338 (ETSI), 5D/339 (露), 5D/340 (ATIS), 5D/348 (Nortel, Sprint),  
5D/350,352 (米), 5D/353 (Zimbabwe), 5D/357 (IEEE), 5D/358 (Egypt), 5D/365 (WiMAX  
Forum), 5D/366,367 (AT&T), 5D/388 (Intel), 5D/389 (独), 5D/393 (Colombia), 5D/397 (英),  
5D/399 (仏), 5D/401 (Alcatel Lucent, Telecom Italia, DoCoMo, Motorola, Ericsson, Nokia,  
Nokia-Siemens, AT&T), 5D/406 (BR/TIA), 5D/408 (BR)

#### (3-2) 不要輻射勧告 M.1580/M.1581

5D/341,342 (Alcatel Lucent, Qualcomm), 5D/354 (ATIS), 5D/364 (WiMAX Forum), 5D/368 (日),  
5D/375 (中), 5D/383 (BR/TTA), 5D/392 (独), 5D/402,405 (Alcatel Lucent, Telecom Italia,  
DoCoMo, Motorola, Ericsson, Nokia, Nokia-Siemens, AT&T)

#### (3-3) Femto Cell 関連

5D/346 (加), 5D/349 (米), 5D/369 (日), 5D/376 (中), 5D/382 (韓), 5D/398 (英), 5D/TEMP/140  
(Plenary)

#### (3-4) その他

5D/333 (WP5A : ANTS 関連), 5D/335 (ITU-T SG15 : ANTS 関連), 5D/336 (ITU-T SG15 :  
G.Hntreq 関連), 5D/356 (IEEE : IMT-Advanced 関連), 5D/377 (中 : SWG-EVAL 関連), 5D/378  
(中 : IMT.RADIO 関連), 5D/381 (韓 : Evaluation 関連), 5D/384 (ITU-T SG13 : IMT 関連), 5D/387  
(ITU-T SG13 議長 : FG-FN 関連), 5D/TEMP/140 (Plenary : 新 SWG 関連)

- (4) 出力文書 :
- |               |   |
|---------------|---|
| 5D/TEMP/143r2 | (勧告 ITU-R M.1581 第 3 版改訂原案),                        |
| 5D/TEMP/143r3 | (勧告 ITU-R M.1580 第 3 版改訂原案),                        |
| 5D/TEMP/147   | (新 SWG Scope of work),                              |
| 5D/TEMP/148   | (DG-CL Meeting Report),                             |
| 5D/TEMP/149r1 | (EO に対する M.1457 第 10 版改訂に向けた Liaison 原案),           |
| 5D/TEMP/151   | (EO に対する M.1457 Roadmap に関する Liaison),              |
| 5D/TEMP/152r1 | (EO に対する Femto Cell に関する Liaison),                  |
| 5D/TEMP/153r1 | (SWG-Radio Aspects Meeting Report),                 |
| 5D/TEMP/154   | (ITU-T SG15 に対する ANTS 関連の Liaison),                 |
| 5D/TEMP/157   | (ATIS に対する ACLR に関する Liaison),                      |
| 5D/TEMP/158   | (SWG-M.1580/81 Meeting Report),                     |
| 5D/TEMP/171   | (TIA に対する M.1457 第 9 版改訂関連の Liaison),               |
| 5D/TEMP/172   | (IEEE, WiMAX Forum に対する M.1457 第 9 版改訂関連の Liaison), |
| 5D/TEMP/173   | (ATIS に対する M.1457 第 9 版改訂関連の Liaison),              |
| 5D/TEMP/174r1 | (M.1457 第 9 版改訂の現状),                                |
| 5D/TEMP/175   | (3GPP に対する M.1457 第 9 版改訂関連の Liaison),              |
| 5D/TEMP/176   | (ETSI に対する M.1457 第 9 版改訂関連の Liaison),              |
| 5D/TEMP/178   | (勧告 ITU-R M.1457 第 9 版に向けた 5.2 章作業文書),              |
| 5D/TEMP/179   | (勧告 ITU-R M.1457 第 9 版に向けた 5.1 章作業文書),              |
| 5D/TEMP/180   | (勧告 ITU-R M.1457 第 9 版に向けた 5.3 章作業文書),              |



- 5D/TEMP/181 (勧告 ITU-R M.1457 第 9 版に向けた 5.4 章作業文書),
- 5D/TEMP/182 (勧告 ITU-R M.1457 第 9 版に向けた 5.6 章作業文書),
- 5D/TEMP/183 (勧告 ITU-R M.1457 第 9 版に向けた 5.5 章作業文書),
- 5D/TEMP/184r1 (WG-TECH 議長報告)

(5) 審 議 概 要 :

(5-1) 所掌と経緯

本 WG は、IMT-2000 の無線インタフェースに関する技術仕様の改訂、IMT-Advanced の無線技術の検討を所掌としている。

本会合の検討課題は、RSPC 勧告 M.1457 の改訂原案検討、不要輻射勧告 M.1580/M.1581 改訂原案完成、及び IMT-Advanced の無線インタフェースの選定のための準備、及び Femto Cell に関する検討準備であった。

(5-2) 体制

下記の 4 つの SWG、及び WG 配下の DG という体制で審議を行った。

Group	Chairman	Topic
SWG M.1457	Mr. Nicola Pio Magnani (伊)	RSPC勧告M.1457の第9版に向けた改訂原案検討
SWG M.1580/81	Mr. Uwe Lowenstein (独)	不要輻射勧告M.1580/81の第3版改訂に向けた検討
SWG Radio Aspects	Mr. Marc Grant (米)	Femto Cellに関する検討及びIMT-Advanced関連文書の検討
SWG EVAL	Mr. Hu Wang (中)	今回は会合開催されず
DG-CL	Mr. Yoshio Honda (日)	IMT-Advanced無線インタフェース選定プロセス対応新SWGのScope of works討議

(5-3) 審議概要と主要結果

- 1) RSPC 勧告 M.1457 Update: 勧告 M.1457 の第 9 版に向けた改訂については、各無線インタフェースからの入力、及び事務的な入力についての報告があり改訂に向け作業を実施した。

このうち 5.2 章(CDMA MC)及び 5.6 章 (OFDMA TDD WMAN)に関しては従来の複信方式(CDMA MC : FDD, OFDMA TDD WMAN : TDD)に加え新たな複信方式を(CDMA MC : TDD, OFDMA TDD WMAN : FDD)を Update として追加提案しており、この Update 方法に対して Lebanon, 露, Zimbabwe, Egypt, Colombia, 英 及び Nortel & Sprint が賛意を入力、独、仏が追加で検討すべき項目があるとの入力を行った。又 OFDMA TDD WMAN の 5.6.2 章の改訂方法に関しては AT&T からの入力を検討し、BR に対して事務・権利的な確認作業も行われた。

結論として、新たな複信方式の追加を同一の章内で実施することに対しては合意の方向であるが、更に 5.2 章及び 5.6 章の入力元に確認すべき事項があるとの理由で勧告改訂原案の完成を次回会合に順延し、各 Stakeholder SDO に対して現在の勧告改訂の検討状況 (TEMP/174r1)及び現行作業文書(TEMP/178~183)のうち関連の章を添付した Liaison (TEMP/171~173, 175 及び 176)を発出した。又、勧告改訂原案の完成が次回に順延されても各 Stakeholder SDO の Link 提出期限は変更しないことで合意した。

勧告改訂 Roadmap に関しては、今回何も入力が無かったため前回会合で作成した Roadmap を再度 Carry Forward すると共に、各 Stakeholder SDO に対して Roadmap 改訂の意義を連絡し入力を要請する Liaison (TEMP/151)を発出した。

尚、第 10 版に向けた勧告改訂のスケジュールも検討されたが、今回会合で第 9 版改訂原案が完成しなかったことから、第 10 版改訂は第 6 回会合以前には開始しないことのみを合意し、Liaison 案は作業文書として

Carry Forward した。

- 2) 不要輻射勧告 M.1580/1581: 勧告 M.1580 及び M.1581 に関しては今回 TDMA SC を除く各無線インタフェースから改訂提案入力があり、日本、中国、独から改訂に関する入力があり、それらを盛り込んで第 3 版に向けた勧告改訂原案を TEMP/144r2 及び 143r3 に完成した。これらの勧告改訂原案は WP5D Plenary でも承認され、5月に開催される SG5 に承認を求め上提される。
- 3) Femto Cell 関連 : Femto Cell に関しては技術的な事項を検討するとの WP5D Plenary での合意 (TEMP/140) に従って SWG-Radio Aspects で今後の検討方法について討議を行った。結論として外部団体における検討状況を調査の上 ITU 内での Deliverables (勧告 or Report) の開発要否を決定することに合意し、外部団体に対して情報提供を求める Liaison (TEMP/152) を発出した。又、暫定的な Femto Cell 検討 Workplan を作成した。
- 4) M.[IMT.TADIO] 関連 : IMT-Advanced の無線インタフェースの Key Characteristic を纏める文書として予定されている M.[IMT.RADIO] に案しては今回中国から Micro Workplan の入力があり、次回会合から検討を開始すべきとの提案があったが、これに対しては次回会合で完全な提案入力がないことが不明なこと、又 IMT-2000 の同様な勧告である勧告 ITU-R M.1455 が廃棄されていることから Deliverables 作成に必要な性に関する疑問も提示されたため、今回会合では詳細な議論を行わず SWG-Radio Aspects の議長報告に含める形で次回会合にて討議することとした。
- 5) 新 SWG : IMT-Advanced の無線インタフェース選定の Step 3, 5 及び 7 に関連する新 SWG に関しては、WP5D Plenary での合意 (TEMP/140) に従いその Scope of work を DG-CL で検討した。DG において決定し、WG で承認した SoW は WP5D Plenary で Editorial な修正を加え承認され、新 SWG は SWG-Coordination として WG-TECH 内に発足した。尚、本 SWG 議長には DG の議長を勤めた日本の本多氏が就任した。
- 6) Evaluation 関連 : 今回会合では IMT-Advanced の無線インタフェースの提案入力なかったため SWG-EVAL は開催されなかったが、韓国から Evaluation に関する情報入力 (5D/381) 及び日本から Channel Model に関する情報入力 (Info/09) があったため、これらを ITU Web 内の IMT-Advanced 関連ページに掲載することとし、WP5D Plenary に議長より報告した。
- 7) その他 ITU-T SG15 から届いた ANTS に関しての情報に関しては、TEMP/154r1 として Liaison Back を作成し発出することが合意された。
- 8) SG8 に承認を求める文書。

5D/TEMP/143r2	(勧告 ITU-R M.1581 第 3 版改訂原案),
5D/TEMP/143r3	(勧告 ITU-R M.1580 第 3 版改訂原案),
- 9) Carry forward documents: 今会合では、下記文書を次回会合へ Carry forward することにした。

5D/327 Att. 6.9	(M.1457 第 1 章～第 4 章改訂原案),
5D/327 Att. 6.11	(M.1457 Roadmap),
5D/TEMP/149r1	(EO に対する M.1457 第 10 版改訂に向けた Liaison 原案),
5D/TEMP/174	(M.1457 第 9 版改訂の現状),
5D/TEMP/178	(勧告 ITU-R M.1457 第 9 版に向けた 5.2 章作業文書),
5D/TEMP/179	(勧告 ITU-R M.1457 第 9 版に向けた 5.1 章作業文書),
5D/TEMP/180	(勧告 ITU-R M.1457 第 9 版に向けた 5.3 章作業文書),
5D/TEMP/181	(勧告 ITU-R M.1457 第 9 版に向けた 5.4 章作業文書),
5D/TEMP/182	(勧告 ITU-R M.1457 第 9 版に向けた 5.6 章作業文書),
5D/TEMP/183	(勧告 ITU-R M.1457 第 9 版に向けた 5.5 章作業文書),
- 10) Bookshelf に入れた Document.

無し

## 5. 2. 1 SWG M.1457

(1) 議長： Nicola Pio Magnani (伊)

(2) 主要メンバー： 坂中、佐藤(孝)、鬼頭、広池、白石、新、田中、菅田、畑川、小松、吉井、森脇、佐藤(一)、本多、林、小林、小畑、北、石川、中国、韓国、米国、英国、カナダ、ドイツ、イタリア、フランス、ロシア、エジプト、DoCoMo、IEEE、WiMAX Forum、Intel、Qualcomm、Ericsson 他全 150 名程度

(3) 入力文書：

5D/337 (Lebanon) , 5D/338 (ETSI), 5D/339 (露), 5D/340 (ATIS), 5D/348 (Nortel, Sprint), 5D/350,352 (米), 5D/353 (Zimbabwe), 5D/357 (IEEE), 5D/358 (Egypt), 5D/365 (WiMAX Forum), 5D/366,367 (AT&T), 5D/388 (Intel), 5D/389 (独), 5D/393 (Colombia), 5D/397 (英), 5D/399 (仏), 5D/401 (Alcatel Lucent, Telecom Italia, DoCoMo, Motorola, Ericsson, Nokia, Nokia-Siemens, AT&T), 5D/406 (BR/TIA), 5D/408 (BR)

(4) 出力文書： 5D/TEMP/149r1 (EO に対する M.1457 第 10 版改訂に向けた Liaison 原案),

5D/TEMP/151 (EO に対する M.1457 Roadmap に関する Liaison),

5D/TEMP/171 (TIA に対する M.1457 第 9 版改訂関連の Liaison),

5D/TEMP/172 (IEEE, WiMAX Forum に対する M.1457 第 9 版改訂関連の Liaison),

5D/TEMP/173 (ATIS に対する M.1457 第 9 版改訂関連の Liaison),

5D/TEMP/174r1 (M.1457 第 9 版改訂の現状),

5D/TEMP/175 (3GPP に対する M.1457 第 9 版改訂関連の Liaison),

5D/TEMP/176 (ETSI に対する M.1457 第 9 版改訂関連の Liaison),

5D/TEMP/178 (勧告 ITU-R M.1457 第 9 版に向けた 5.2 章作業文書),

5D/TEMP/179 (勧告 ITU-R M.1457 第 9 版に向けた 5.1 章作業文書),

5D/TEMP/180 (勧告 ITU-R M.1457 第 9 版に向けた 5.3 章作業文書),

5D/TEMP/181 (勧告 ITU-R M.1457 第 9 版に向けた 5.4 章作業文書),

5D/TEMP/182 (勧告 ITU-R M.1457 第 9 版に向けた 5.6 章作業文書),

5D/TEMP/183 (勧告 ITU-R M.1457 第 9 版に向けた 5.5 章作業文書),

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

本 SWG の所掌は、WG-TECH 管轄既存勧告の改訂と維持、及び TECHNOLOGY に関する他部門との連携、及び Question に対する検討である。既存勧告とは、M.1457 (IMT-2000 詳細無線インタフェース仕様)、M.1079 (QoS 要求条件) であり、今回会合では M.1457 改訂に関する論議、次回改訂スケジュールに関連する検討が実施された。

(5-2) 審議概要と主要結果

勧告 ITU-R M.1457 の各無線インタフェースに対しては、5D/401 により 3GPP メンバから Section 5.1 (CDMA DS)及び Section 5.3 (CDMA TDD)、5D/406 により BR 経由 TIA から Section 5.2 (CDMA MC)、5D/340 により ATIS から Section 5.4 (TDMA SC)、5D/338 により ETSI より Section 5.5 (TDMA FDMA)、5D/357、5D/365 により IEEE 及び WiMAX Forum から Section 5.6 (OFDMA TDD WMAN)の第 9 版改訂案が入力された。又、BR から 5D/408 により各 Stakeholder SDO から Letter of Conveyance 等の入力が行われたとの情報入力があり、改訂の検討を実施した。

Section 5.1, 5.3, 5.4 及び 5.5 に関しては入力を反映させ、各々の改訂作業文書を TEMP/179, 180, 181 及び 183 として作成した。このうち Section 5.4 においては第 8 版まで Indoor の Option として記載されていた TDD 方式削除の変更が加えられ、Section 5.5 に関しては改訂を盛り込んだ元文書が第 7 版であったため、第 8 版で修正を加えた部分を追加している。

しかし Section 5.2 及び 5.6 に関しては、第 8 版に対して新たな複信方式の追加を提案しているため、別に検討が行われた。

新たな複信方式の追加方法に関しては、Lebanon (5D/337), 露 (5D/339), Zimbabwe (5D/353), Egypt (5D/358), Colombia (5D/393)、英 (5D/397) の 6 カ国と Nortel, Sprint (5D/348) が同一章に対する Update で可能との意見入力を行い、Intel は前回会合で議論となった欧州の制度関連の情報入力 (5D/388) を行った。これに対して独 (5D/389) 及び仏 (5D/399) は制度的な事項以外に Update として新たに Component を追加する際の必要事項が抜けており、入力は要提出情報を満たしていないとの意見入力を行った。

SWG では Section 5.2 及び 5.6 の複信方式追加を新たな無線インタフェースとして登録が必要かどうかに関して、上記の関連入力に加え IMT-2000 無線インタフェース提案及び勧告 ITU-R M.1457 の改訂関連の回章である 8/LCCE/47 及び 8/LCCE/95 の規定も再確認を行いながら議論を実施し、必要な検討・評価がなされていれば Update とすることが可能だが、“Special Issues”が存在するとの認識で今後の検討を進めることとなった。

結論として“Special Issues”に関して次回会合までに更に検討が必要な事項について 3 月 25 日までに独、仏が入力し、Section 5.2 及び 5.6 章の Stakeholder SDO がそれに対する回答入力を次回会合で行うことで合意した。

又、Section 5.2 及び 5.6 に対しては複信方式毎に Sub-Section (5.2a.1, 5.2b.1 等) を設ける案が SWG から示され、この記載方式に基づいて各々の改訂作業文書を TEMP/178 及び 182 に作成した。

尚、前回議論となった Section 5.6.2 の記載に関しては AT&T が 5D/367 において確認すべき項目を入力し、これに基づいて GCS の確認作業を実施した結果、WiMAX Forum から入力された Document において“Profile Release 1 IMT-2000 Edition”は第 7 版の勧告 ITU-R M.1457 記載の Table をそのまま文書化しているため整合性が確保されていることが確認された。但し、本 Document では勧告のページをそのまま複製しているにも係らず Document の著作権が WiMAX Forum と記載されているため、権利問題について ITU 事務局の確認が必要となった。この他 5.6 章関連の Global Core Specification (GCS) では WiMAX Forum Profile V.1.2.2 と上記 IMT-2000 Edition の内容が異なること、Profile 1.5 に「断り無く記載内容を変更することがある」との記載がなされていること、WiMAX Forum の Document が Proprietary であること及び WiMAX Forum から提出された Document が参照している IEEE Standard と IEEE が提出した GCS の版数が異なっていること等の点が指摘され、GCS 再提出の要否も含めて ITU 事務局と打ち合わせる事となった。

結果として、“Profile Release 1 IMT-2000 Edition”の著作権に関しては記載内容の大元が WiMAX Forum の Profile であることを理由に ITU 事務局が本 Document に対して問題視しないこと、WiMAX Forum Profile V.1.2.2 は M.1457 の 5.6.2 章から引用される部分のみを有効とすること、Profile 1.5 は GCS として掲載されたものと同じのものを Transpose するとの理解であること、IEEE Standard は WiMAX Forum が参照している版の内容を包含していること等が確認され、又 WiMAX Forum Document が Proprietary であっても必要情報は ITU Web の GCS から確認できることから GCS の再提出は不要との認識となった。

上記の議論の結果、第 9 版改訂作業が今回会合で改訂案が完了しなかったため、第 9 版改訂案完成を次回会合に順延すると共に現状を纏めた文書を TEMP/174r1 として作成し、各 Section の作業文書と共に添付して各 Stakeholder SDO に Liaison を発出した。尚、Section 5.2 及び 5.6 の Stakeholder SDO に対しては特に今回議論となった点を記載し、3 月 25 日までに提示される具体的な“Special Issue”に対する回答、及び今回作成した作業文書の内容確認を含め次回入力を促す内容となっている。

尚、今回作成された作業文書 (TEMP/178~183) は前回 WG 承認を行った第 1 章～第 4 章の改訂案 (5D/327 Att. 6.9)

と共に次回会合に Carry Forward した。

勧告改訂 Roadmap に関しては、今回何も入力が無かったため前回会合で作成した Roadmap (5D/327 Att. 6.11) を再度 Carry Forward すると共に、各 Stakeholder SDO に対して Roadmap 改訂の意義を連絡し入力を要請する Liaison (TEMP/151) を発出した。

SWG では、第 10 版に向けた勧告改訂のスケジュールも検討し、その原案を TEMP/149r1 として作成したが、今回で第 9 版改訂原案が完成しなかったことから第 10 版改訂は第 6 回会合以前には開始しないことのみを合意し、Liaison 案は作業文書として Carry Forward した。

(6) 今後の課題：

CDMA MC の Stakeholder SDO として、ARIB/TTC は Section 5.2 の入力チェックを行う必要がある。

## 5. 2. 2 SWG M.1580 & M.1581

(1) 議長：U. Lowenstein (独)

(2) 主要メンバー：坂中、佐藤 (孝)、本多、小畑、菅田、畑川、米、中、韓、英、独、仏、Telecom Italia、Qualcomm、Intel、WiMAX Forum 他各国 (約 50 名)

(3) 入力文書：5D/341、342 (TIA)、354 (ATIS)、364 (WiMAX Forum)、368 (日本)、375 (中国)、383 (TTA)、392 (独)、402、405 (3GPP)

(4) 出力文書：5D/TEMP/158 SWG-M.1580 & M.1581 議長報告  
5D/TEMP/144R 3 勧告 ITU-R M.1580-2 の改訂案  
5D/TEMP/143R 2 勧告 ITU-R M.1581-2 の改訂案  
5D/TEMP/157 ATIS に対するリエゾン

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

- RA-07 において、勧告 ITU-R M.1580 及び勧告 ITU-R M.1581 の Annex6 (OFDMA-TDD WMAN) に対して、「新たな無線インタフェースと既存の無線インタフェースの地理的な共用を確保するため、出力マスク及び隣接チャネル漏洩電力に関するさらなる検討が早急に必要である」旨の noting が追加された。また、関連項目検討の早期着手と迅速な推進を求める旨のステートメントが RA-07 会合レポートに記載された。WP5D 第一回会合では、WP5D 第三回会合で改訂作業を終了するという内容のワークプランが作成されたが終了せず、SDO に対して ACLR と Test tolerance の取り扱いに関する情報提供を求めるリエゾンを発出した上で、最終化は WP5D 第四回会合まで延期された。

(5-2) 審議概要と主要結果

- SWG-M.1580 & M.1581 は、合計 4 回、4 Period 開催された。
- 勧告 ITU-R M.1580-2、及び M.1581-2 の改訂作業が完了した。
- 改訂作業の完了にあたっては、日本が寄与文書入力した Test tolerance の取り扱いについて現状維持とする旨の内容が反映された。
- RA-07 で追加された、*noting c*) “with regard to Annex 6, IMT 2000 OFDMA TDD WMAN, additional urgent work, in particular on emission mask and ACLR, is needed to ensure geographical coexistence with other IMT-2000 radio interfaces,” は、作業が完了したため削除された。
- ドイツの提案により、ACLR が記載されていない場合、又は記載されていても共用検討等に使用できない場合は、Spectrum mask と受信側フィルターの情報から ACLR を計算し、それを利用することができるとする Note 6 が追加された。

\*：例として、ドイツにおける DVB システムとの共用検討が上げられている。規定されている ACLR 値で

は、共用検討でその値が低過ぎ、被干渉側からもっと高いレベルの不要輻射許容値で検討すべきだとする議論が背景にあり、このようなケースが追記された。マスクからの計算値は許容不要輻射レベルとしては最悪値なので、被干渉側はマージンを得られる面がある。

- ・ Annex2 (CDMA MC) で参照するための、バンドクラス、周波数帯域名、基地局側送信周波数帯、移動局側送信周波数帯を示す表が Note3 に追加された。
  - ・ Annex2 について、参考情報として入力された ACLR 値が、両勧告に含まれることになった。但し、本値は制度上の義務として必須とすることを志向されたものではなく、各国の制度における取り扱いについては各国主管庁に委ねるという内容がフットノートに記載された。
  - ・ 当該勧告の Appendix に Test tolerance の定義に関する説明が追加され、説明の中では勧告 ITU-R M.1545 が参照された。
  - ・ SG5 提出用に改訂内容をまとめたカバーページを作成した。
  - ・ ドイツからの入力寄与文書 (5D/392) を参照する形で、ACLR の算出方法の情報を ATIS に提供するためのリエゾンを作成した。
- (6) 今後の課題：
- ・ SG5 に送られた勧告改訂案が採択・承認されることを確認する必要がある。
  - ・ 勧告 ITU-R M.1457 に新しい複信方式 (CDMA MC の TDD 方式及び IMT 2000 OFDMA WMAN における FDD 方式) を追加する改訂作業が進められているので、勧告 ITU-R M.1580/1581 においても、新たな複信方式に対応した不要輻射規定の追加が必要になる可能性が高い。その際は、国内無線設備規則との間で不整合が生じることのないように対処する必要がある。

## 5. 2. 3 SWG RADIO ASPECTS

(1) 議長： Marc Grant(米)

(2) 主要メンバー： 鬼頭、広池、白石、田中、畑川、吉井、森脇、佐藤(一)、林、北、石川、中国、韓国、米国、英国、カナダ、ドイツ、イタリア、Intel 全 40 名程度

(3) 入力文書： 5D/346 (加), 5D/349 (米), 5D/369 (日), 5D/376,378 (中), 5D/382 (韓), 5D/398 (英), 5D/TEMP/140 (Plenary)

(4) 出力文書： 5D/TEMP/152r1 (EO に対する Femto Cell に関する Liaison),  
5D/TEMP/153r1 (SWG-Radio Aspects Meeting Report),

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

本 SWG の所掌は IMT-Advanced の無線インタフェースに関わる検討である。

(5-2) 審議概要と主要結果

IMT-Advanced 無線インタフェース関連の作業に関しては中国が 5D/378 により Key Characteristic を規定する M.[IMT.RADIO]に案する Micro Workplan 案を入力し、次回会合からの検討開始を提案した。これに対して米国、カナダ等から IMT-2000 の RKEY 勧告 M.1455 が RA-07 で廃棄されたこと等を理由として ITU Deliverables として作成することに疑義が示された。

結論として、議長報告の第 2 章に Document Identifier が記載されていること、次回会合でも完全な無線インタフェース提案入力となされるかが不明なことから今回会合での討議は行わず、次回会合で再度検討することとした。尚、中国の提案 Micro Workplan は議長報告に添付する形で Carry Forward する。

前回会合で Brazil から入力の有った Femto Cell 関連の検討に関しては、Plenary における討議結果(TEMP/140)を受け、今後の進め方について討議を行った。

Report を作ることを前提に Femto Forum に Liaison を発出すべきとする加 (5D/346)に対して米(5D/349)は Report の作成を含め検討開始は拙速であると反対、又 Liaison 発出をする際にもその発出先、問い合わせ内容が問題との意見が出、日本もその検討する必要があると主張した。

結論として、Start Pointとして外部団体が Femto Cell に関してどのような検討を行っているかの調査を行うための Liaison を発出し、その回答内容を検討して Deliverables 作成要否を含めた WP5D 内での作業の必要性を議論することとし、作業が必要な際の Micro Workplan を議長が作成することとなった。

又、具体的な Liaison 内容に関しては Drafting Group を作成して検討することとし、発出先として Femto Forum、GSM Association、UMTS Forum、3G America、3GPPs、IEEE、WiMAX Forum 等が候補として挙げられた。

(6) 今後の課題：

Femto Cell に関しては日本が主張したように Global Circulation を除いて技術的な検討要否から討議を始めることとなったが、外部団体からの入力をチェックして日本の Femto Cell に関するガイドラインとの整合性を確認する必要がある。

### 5. 2. 3. 1 DG on FEMT

(1) 議長： Marc Grant(米)

(2) 主要メンバー： 田中、森脇、佐藤(一)、林、小畑、石川、中国、韓国、米国、英国、カナダ、ドイツ、Intel、France Telecom, 全 20 名程度

(3) 入力文書：

(4) 出力文書： 5D/TEMP/152r1 (EO に対する Femto Cell に関する Liaison)

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

本 DG の所掌は Femto Cell に関する外部団体への Liaison 案作成である。

(5-2) 審議概要と結果：

SWG-Radio Aspects における議論を受け、DG において Liaison 案の記載を討議した。

EO に対して提供を求める情報は、①定義、②仕様、標準、③想定している網構成、④想定アプリケーション、⑤導入時の検討項目、⑥干渉問題の 6 つの大項目に分類し、広く一般的な情報を求めることで合意した。

又、Licence Band か Unlicence Band かに関して France Telecom が問うべきとの意見を述べたため、導入時の検討項目に周波数帯域と送信出力の項目を含めた。又、中国が GPS 信号を受けられない場合の考慮についての質問を盛り込むべきとの意見を述べたが、IMT-2000 無線インタフェースの全てが GPS 同期を必要とせず、又同期に関しては干渉問題の項目で述べるのが可能との結論となり、不採用となった。

上記の討議の上、Liaison 案を TEMP/152 として作成し、WG-TECH Plenary, WP5D Plenary での Editorial な修正を加え TEMP/152r1 として承認し、外部団体に向け発出した。

外部団体に関しては、従来の IMT-2000 関連の団体に加え、SWG にて候補となった団体を事務局に連絡し、事務局が発出先を選定することとなった。

(6) 今後の課題：

今回合会で所掌の作業が完了したため、次回合会では本 DG は開催されない。

### 5. 2. 4 SWG EVAL

特段の審議事項がなく、今回は開催されなかった。

## 5. 2. 5 DG SWG CL

(1) 議長：本多 (日本)

(2) 主要メンバー：佐藤 (孝)、石川、林、菅田、他日本代表团、中国、韓国、米国、英国、カナダ、Intel、Ericsson、Nokia、BT、AT&T 他 全約 50 名程度

(3) 入力文書：5D/370 (日本), 5D/377(中国), 5D/TEMP/140

(4) 出力文書：5D/TEMP/147 (新 SWG のスコープ案), 5D/TEMP/147R1,(新 SWG のスコープ)  
5D/TEMP/148 (DG SWG CL 議長報告)

(5) 審議概要：

### (5-1) 所掌と経緯

本 DG の所掌は、IMT-Advanced 無線インタフェース技術開発プロセス（提案・評価プロセス）に関連して、新しく設立される SWG のスコープをドラフトすることであった。WP 5D プレナリで、開発プロセスにおける責任グループの提案が、日本(5D/370)、および中国(5D/377)からあり、WP 5D 内外のコーディネーションを行なう SWG を WG Technology Aspects に設立することが合意されていた(5D/TEMP/140)。

### (5-2) 審議概要と主要結果

本 SWG 会合は今会期中に 1 回開催され、新 SWG の名称を「SWG – Coordination」とすること、及びそのスコープ案を完成した(TEMP/147)。

審議ではまず TEMP/140 の結論として、IMT-Advanced 無線インタフェース技術開発プロセスのステップ 3（提案の入力とその受領）、ステップ 5（外部評価グループ活動のレビューとコーディネーション）、およびステップ 7（コンセンサス形成と決定）に新 SWG は係わることを確認した。その際、メンバーからの意見の集約として、技術的な IMT-Advanced 無線技術の決定は WG-Technology Aspects の責任であること、外部評価グループのコーディネーションには追加評価手法を使用する評価グループがある場合にその情報共有を促進すること等を認識した。

次に議長提案のスコープ案のドラフト作業に入った。Intel、および BT は、ステップ 5 に対応するスコープについて、“review”という用語を入れることに反対した。理由は“review”がある場合、新 SWG が外部評価グループの活動内容を技術的にチェックすることとなり、例えば SWG EVAL の所掌に触れる恐れがあるとの主張であった（議長提案は、“To be the focal point for the review/coordination of evaluation activities in external groups, ….”）。これに対して、エリクソン、ノキア、カナダは、IMT-ADV/2 Rev.2 のステップ 5 の名称にしたがって、“review”の入った議長提案を支持した。議論の結果、下記の BT 妥協案を採用することとなった。

“To review the evaluation activities in external groups, and to be the focal point for the coordination of those activities, in terms of the IMT-Advanced submission and evaluation processes.”

これは、“Review”を“focal point”から切り離しその意味を弱めることで、両者の主張を取り入れたものである。さらにステップ 7 に対応するスコープは、議長提案にカナダ、中国からのエディトリアルな修正を反映して、以下となった。

“To be the focal point for the coordination of the consensus-building for IMT-Advanced radio interface technologies.”

最後に新 SWG の名称を「SWG-Coordination」とすることを合意した。本スコープ案は WG Technology Aspects に報告され、承認されている（TEMP/147）。

なお、スコープ案は最終プレナリでも議論された。ステップ 5 に対応するスコープについて外部機関との関係を明確にするために、シリアから修正が出され、最終的には以下の内容で承認されている（TEMP/147R1）。



- To review the evaluation activities by external evaluation groups to the ITU, and to be the focal point for the coordination of those activities, in terms of the IMT-Advanced submission and evaluation processes.

(6) 今後の課題：

次回、または次々回会合に IMT-Advanced 無線インタフェース提案が ITU に入力され、また外部評価グループも活動を開始することが予想される。まずはステップ3、およびステップ5で SWG-Coordination の具体的な活動を検討し、必要に応じて提案していくべきである。その際 SWG EVAL との連携、作業分担をよく考慮することが重要と考えられる。

### 5. 3 WG SPECTRUM ASPECTS

- (1) 議長： Alan Jamieson(ニュージーランド)、※第3回会合では Reza Arefi (インテル) が議長代行
- (2) 主要メンバー： 米、英、仏、独、加、中、韓、露、ニュージーランド、スウェーデン、フィンランド、メキシコ、アルカテル-セント、エリクソン、ノキア、NDR&ZDF (独)、FreeTV (豪)、坂中、小松、広池、新、全 120 名程度
- (3) 入力文書： Doc.5D/
- ①全般、リエゾン文書： 327 (第3回会合議長報告、Ch.2, Att2.9, Ch.5)、331 (SG5 議長)、407 (SG5 議長)、332 (WP5A)、334 (WP5A)
  - ②SWG Sharing：
    - 118 (SG4)、328 (WP4A)、330 (WP5C)、343 (TIA)、355 (ATIS)、359 (WiMAX-F)、360 (WiMAX-F)、361 (WiMAX-F)、362 (WiMAX-F)、374 (日)、380 (韓)、403 (アルカテル-セント他)、404 (アルカテル-セント他)
  - ③SWG Frequency arrangement：
    - 344 (加、米)、345 (加)、347 (ノテル)、351 (米)、371 (日)、372 (日、韓)、373 (日)、379 (中)、390 (独)、396 (スウェーデン)
- (4) 出力文書： Doc.5D/TEMP
- 141Rev.2 レポート M.2039 (IMT-2000 システムの共用検討パラメータ) の改定案
  - 142Rev.1 2.5GHz 帯における IMT-2000 CDMA DS と IMT-2000 OFDMA TDD WMAN の共用検討新レポート案
  - 145 周波数アレンジメント勧告 M.1036-3 の改訂案の作業文書
  - 146Rev.2 698-960MHz 帯の周波数アレンジメントのための新レポート案[IMT.700]の作業文書
  - 156 周波数アレンジメント勧告 M.1036-3 の改訂案作成のワークプラン
  - 159 790-862MHz 帯における F.1336-2 のアンテナパターン適用に関する WP5A, 5C へのリエゾン文書
  - 160Rev.3 790-862MHz 帯の IMT パラメータに関する WP5B へのリエゾン文書
  - 161Rev.2 790-862MHz 帯の一般的な IMT パラメータの取りまとめに対する外部団体へのリエゾン文書
  - 168 レポート M.2039 の改定案完成を知らせる WP5A へのリエゾン文書
  - 169Rev.2 3.4-3.6GHz 帯の IMT に対する PFD 制限値の算出法に関する WP4A へのリエゾン文書
  - 170Rev.1 SWG Frequency Arrangements 議長報告
  - 177Rev.1 SWG Sharing 議長報告
  - 186 WG Spectrum Aspects 議長報告

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

WG Spectrum Aspects(WG-SPEC)は、IMT の周波数全般に関連する事項についての検討を行うことを所掌とし、周波数アレンジメント勧告の改訂、共用検討関連の検討、リエゾン文書の作成について議論を行った。

## (5-2) 体制

第1回 WG 会合において、SWG-Sharing と SWG-Frequency Arrangements の2つの SWG を構成すること、SWG 議長は、それぞれ Reza Arefi 氏（インテル）※ Michael Kraemer 氏（独）の代行）、Meng ZHOU 氏（中）が担当することが承認された。

SWG の構成は以下の通り。

SWG 名	SWG 議長	主なトピック
SWG-Sharing	Reza Arefi 氏（インテル）※議長代行	2.5GHz帯の共用検討、IMTの共用検討パラメータの検討、等
SWG-Frequency Arrangements	Zhou Meng 氏（中）	勧告M.1036-3の改訂、IMT.700の検討

## (5-3) 審議概要と主要結果

第1回会合では、WG レベルで審議すべき一般文書やリエゾン文書が審議された。なお、SWG に割り振られた文書は直接 SWG で審議することにした。

- ・ 橋本 SG5 議長より、文書 331(決議 749(WRC-07) 及び決議 224(WRC-07 改) の共用検討に関する JTG5-6 議長からのノート) 及び 407 (CVC 及び RAG 会合の結果) の内容について説明が行われた。WG SPEC 議長から、①JTG5-6 の作業について注視していく必要があること、②シリアより指摘のあった protection criteria, sharing criteria 等の用語を使うべきでないこと、③複数の WP にまたがる共用検討は、その手法について複数の WP で合意する必要がある、リエゾンでのやり取りが必要であること、がコメントされた。
- ・ J.Costa 氏 (WP5A 議長、加) より文書 332 (WRC 議題 1.22 SRD の検討に関する WP5A から WP1A へのリエゾン文書) 及び 334 (多数のユビキタスセンサ、アクチュエータへ無線通信を行う無線アクセスシステムの検討に関する WP5A からのリエゾン文書) について説明が行われた。文書 332 は情報扱い、334 については既にプレナリで説明済であったため、了知した。
- ・ WG SPEC 議長からは、周波数アレンジメントの検討に関連し、M.1036 の改定については、①3.4-3.6GHz の検討が必要であること、②急いで検討を進めるよりも完成度の高いものを検討して欲しいとコメントされた。また、新レポート案[IMT.700]については、まだ Preliminary であり検討が必要であるとコメントされた。

第2回会合は、第1週目の最終日に開催され、SWG の進捗状況の報告、下記出力文書の審議が行われた。

- ・ TEMP/141 (レポート M.2039 (IMT-2000 システムの共用検討パラメータ) の改定案) の審議では、一部内容の確認等のコメントが出されたが、議論の結果、問題はなく、WP5D プレナリに承認を求めることにした。なお、SWG 議長代行から、本レポートの改訂が完了したことを WP5A に送る必要がある、リエゾン文書を準備するとコメントされた。
- ・ TEMP/142 (2.5GHz 帯における IMT-2000 CDMA DS と IMT-2000 OFDMA TDD WMAN の共用検討新レポート案) の審議が行われたが、特段コメントはなかった。WG SPEC 議長より SWG 議長代行に確認が行われ、PDN Report に格上げし、WP5D プレナリにおいて、DN Report への格上げとともに承認を求めることにした。

第3回会合（最終）では、Reza Arefi 氏（インテル）が WG SPEC 議長代行を務めた。まず、SWG の報告として、SWG 議長から報告が行われ、以下の質疑があった。

- ・ SWG Frequency Arrangements 議長報告(TEMP/170)

- IMT.700 の作業文書について、Rev.1 への修正は、テーブルの修正であると SWG 議長より説明された。
- SWG 議長より、SWG Frequency Arrangements の第 2 回で議論された、IMT.700 に関する外部団体へのリエゾン文書の草案を SWG 議長報告(TEMP/170)の Attachment としてキャリアフォワードすることが提案されたが、米国、韓国から時期尚早としてキャリアフォワードすることに反対意見が述べられた。WG 議長代行より、SWG 議長に対して、当該草案を添付しないように指示された。
- フランスより、議長報告内の文書番号を修正するように要請され、SWG 議長が修正を行うことにした。
- SWG Sharing 議長報告(TEMP/177)
  - 日本より、WP4A へのリエゾン文書の作成について、取りまとめの Lewis 氏（仏）の貢献について触れるようにコメントし修正を行った。

引き続き、リエゾン文書の審議が行われた。

- TEMP/159 (F.1336-2 のアンテナパターンの 790-862MHz 帯への適用可能性に関する WP5A 及び 5C への問い合わせ) については、特段議論なく承認。
- TEMP/160Rev.2 (WP5B への IMT パラメータ更新版の提供) については、脚注 48 の記述について、米国、サウジアラビアより指摘があり、下線部の通り修正 “The narrow band systems are not deployed in the Regions of interest for the studies called for under Resolution 749”。その他、一部エディトリアルな修正後、承認。
- TEMP/161R1 (IMT パラメータの一般的な値に関する外部団体への問い合わせ) については、脚注 1 を TEMP/162Rev.2 と同様な修正を行って、承認。
- TEMP/168 (M.2039 の改定案の作成完了を WP5A へ知らせるリエゾン文書) については、特段議論なく承認。
- TEMP/169Rev.1 (PFD 制限値の検討に関する WP4A へのリエゾン文書) については、特段議論なく承認。

引き続き、次回 WP5D 会合にキャリアフォワードする文書について確認が行われた。

- TEMP/145 (周波数アレンジメント勧告 M.1036 改定の作業文書) については、特段質疑なく、次回 WP5D 会合にキャリアフォワードすることにした。
- TEMP/146Rev.1 (新レポート案 IMT.700 の作業文書) については、スイスより、タイトルにおいて TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R M.[IMT.700]を、[ ]に入れることが提案された。特段反対はなく、当該修正後、次回 WP5D 会合にキャリアフォワードすることにした。
- TEMP/156(周波数アレンジメント勧告 M.1036 改定のワークプラン)の確認が行われたが、特段議論なく、AH Workplan の議長報告に添付することが確認された。

#### (6) 今後の課題：

- 周波数アレンジメント勧告 M.1036-3 の改訂、及び新レポート案[IMT.700]については、我が国では、3400-3600MHz 帯、及び 698-806MHz 帯の一部を IMT に使用予定であることを踏まえ、引き続き、適切に対処していく必要がある。
- 3.4-3.6GHz 帯の IMT に対する PFD 制限値の算出法の検討については、WP5D と WP4A と間での検討の連携が図られるよう、WP4A での検討を引き続き注視し、必要に応じて WP5D としても対応していく必要がある。
- 790-862MHz 帯における IMT パラメータの取りまとめに当たっては、我が国にとって不利となる拙速な結論が導かれないよう注視していく必要がある。
- 作成が完了した、レポート M.2039 (IMT-2000 システムの共用検討パラメータ) の改定案、及び 2.5GHz 帯における IMT-2000 CDMA DS と IMT-2000 OFDMA TDD WMAN の共用検討新レポート案については、

SG5 での議論を注視する必要がある。

### 5. 3. 1 SWG SHARING

(1) 議長： Mr.Reza Arefi(Intel) ( Mr.Michael KRAEMER(独)の代理)

(2) 主要メンバー： 米、英、仏、独、加、中、韓、露、豪、瑞、NZL、フィンランド、ブラジル、WiMAX-Forum、ケルコム、インテル、エリクソン、ノキア、サムソン、坂中、橋本、佐藤（孝）、広池、新、佐藤（一）、菅田、小畑、北、吉井、小松、他 全 70 名程度

(3) 入力文書： Doc.5D/

- |                        |   |
|------------------------|---|
| ①MBWA 共用検討レポートに関するもの   | 360(WiMAX Forum)                              |
| ②M.2039 レポート改訂に関するもの   | 362(WiMAX Forum)                              |
| ③UHF 帯 IMT パラメータに関するもの | 343(TIA), 355(ATIS), 361(WiMAX), 404(ALU etc) |
| ④ACS 値の明確化に関するもの       | 359(WiMAX), 403(ALU etc),                     |
| ⑤PFD 制限値の計算法に関するもの     | 118(SG4), 328(WP4A), 374(J), 380(KOR)         |
| ⑥その他                   | 330(WP5C)                                     |

(4) 出力文書： Doc.5D/TEMP

141Rev.2 レポート M.2039 (IMT-2000 システムの共用検討パラメータ) の改定案

142Rev.1 2.5GHz 帯における IMT-2000 CDMA DS と IMT-2000 OFDMA TDD WMAN の MBWA 共用検討新レポート案

159 790-862MHz 帯における F.1336-2 のアンテナパターン適用に関する WP5A, 5C へのリエゾン文書

160Rev.3 790-862MHz 帯の IMT パラメータに関する WP5B へのリエゾン文書

161Rev.2 790-862MHz 帯の一般的な IMT パラメータの取りまとめに対する外部団体へのリエゾン文書

168 レポート M.2039 の改定案完成を知らせる WP5A へのリエゾン文書

169Rev.2 3.4-3.6GHz 帯の IMT に対する PFD 制限値の算出法に関する WP4A へのリエゾン文書

177Rev.1 SWG Sharing 議長報告

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

本 SWG SHARING は、IMT-2000、IMT-Advanced の周波数帯における共用検討、共用検討に用いるパラメータを主な所掌とし、WP5D 第 2 回会合から Mr.Michael KRAEMER(独)が議長を務めているが、今回は Mr.Reza Arefi(Intel)が議長代行を務めた。

今会合では、2.5GHz 帯 MBWA 共用検討レポート、共用検討用 IMT パラメータレポート M.2039 の改訂、UHF 帯の IMT パラメータ、ACS (Adjacent Channel Selectivity) の明確化、WP4A への 3.4GHz 帯の PFD 制限値の算出方に関するリエゾン等についての審議が行われた。

(5-2) 体制

第 1 回 SWG 会合において、下表の通り 3 つの Drafting Group を構成することとし、それぞれの議長が承認された。

DG 構成と議長：

GROUPS	CHAIRPERSON	TOPIC
DG MBWA	Mr.J.Williams (MiMAX Forum)	2.5GHz帯MBWA共用検討レポート
DG M.2039	Mr.J.Williams (MiMAX Forum)	レポートM.2039の改定
DG UHF PARAMETER	Mr.J.P.Millet (仏)	UHF帯のIMTパラメータ

### (5-3) 審議概要と主要結果

第1回会合では、SWGにアサインされた文書のプレゼンと質疑が行われ、2.5GHz帯MBWA共用検討レポート、レポートM.2039の改訂及びUHF帯のIMTパラメータに関する3つのDrting Groupの設立が合意され、それぞれの議長が承認された。

第2回会合では、各DGからの進捗報告を受け、新2.5GHz帯MBWA共用検討レポート案、IMT共用検討パラメータレポートM.2039の改定案が承認され、WP4Aへのリエゾンバック案が議論された。

第3回会合では、UHF帯のIMTパラメータに関するリエゾン案、M.2039改訂完了に関するリエゾン及びWP4Aへのリエゾンバック案、キャリアフォワードする作業文書、ワークプランについて審議された。

主な審議内容と結果は以下の通り。

#### ①MBMA 共用検討レポート関係 (DG MBWA 議長 : Mr.J.Williams/WiMAX-F)

- ・ 本レポート案は、前会合でほぼ完成していたが、ACS値(隣接チャンネル選択度)の明確化が必要として完成が延期されていた。
- ・ 今会合での入力文書は、WiMAXFから別途入力されたACSの明確化に関する文書(5D/359)の内容に沿った作業文書の修正案(5D/360)のみで、第1回のDG会合で修正箇所を確認を行って作業が終了した。
- ・ 今会合における主な修正箇所は、表中のACS値、ACIR値、電力制御範囲値の変更と、これらの変更に伴う計算結果(Additional isolation)の変更、脚注のテキストの修正等である。
- ・ 新レポート案は、第2回SWG-Sharing会合、第2回WG-SPEC会合で承認され、WP5Dプレナリでも特段の異議無く承認された(5D/TEMP/142Rev1)。

#### ②M.2039 共用検討パラメータレポートの改訂関係 (DG M.2039 議長 : Mr.J.Williams/WiMAX-F)

- ・ 本レポート改訂案は、前会合でほぼ完成していたが、ACS、ACLR等の議論の結果で出ていなかったため完成には至らず、今会合にキャリアフォワードされていた。
- ・ 今会合での入力文書は、WiMAXFから別途入力されたACSの明確化に関する文書(5D/359)の内容に沿った作業文書の修正案(5D/362)のみで、合計3回のDG会合で修正箇所を確認を行って作業が終了した。
- ・ 今会合における主な修正箇所は、表中のACS値と計算式、ACIR値、ACLR値の変更、脚注のテキストの修正及びSNR計算式の追加等である。
- ・ レポート改訂案は、第2回SWG-Sharing会合、第2回WG-SPEC会合で承認され、WP5Dプレナリで脚注番号の訂正、[]の消し忘れの削除など、エディトリアルな修正の上承認された(5D/TEMP/141Rev2)。
- ・ WP5Aへ改訂作業を完了した旨を通知するリエゾンが作成され、承認された(5D/TEMP/168)。
- ・ 仏(J.P.Millet)が「WP5DでWiMAXのパラメータをM.2116のものから変更したので、WP5A側もM.2116のBWAパラメータを変更する必要がある」と指摘したが、SWG議長は「WP5Dマターでないのでdon't careでよい」とし、WiMAXFからも「802.16e(non-IMT)はOFDMA TDD WMANのスーパーセット(M.2116の変更は不要の意味)」と説明され、特段のアクションはとらないこととした。

#### ③UHF帯IMTパラメータ関連 (DG UHF PARAMETER 議長 : Mr.J.P.Millet/仏)

- ・ 今会合では、TIA(5D/343), ATIS(5D/355), WiMAXF(5D/361), 3GPP(ALU etc : 5D/404)の入力文書に基づき、790-862MHz 帯における W-CDMA/LTE, cdma2000/HRPD/UMB, MWAXのパラメータを Specific Parameter (方式毎のパラメータ) 及び Generic Parameter (方式に依存しない代表的な値や範囲で表すもの) の2種類にまとめられた。
- ・ WP5B(無線標定を担当)に対して、前会合で暫定パラメータを送付していたが、今会合では上記2種類の更新したパラメータを通知するリエゾンバックが作成され、承認された。(5D/TEMP/160Rev.3)
- ・ まとめられたパラメータリストではアンテナの垂直パターンとして勧告 F.1336-2が参照されているが、同勧告は本来 1GHz 以上の周波数帯を対象としたものであるため、790-862MHz 帯における適用性を確認するため、同勧告を担当している WP5A 及び 5 C(Copy: 5 B)へのリエゾンが作成され、承認された(5D/TEMP/159)。また、このリエゾンは、WP5Cからの勧告 F.1336-2 の改訂作業中であることを通知する入力文書(5D/330)へのリエゾンバックを兼ねることとなった。
- ・ また、パラメータ情報を入力した外部機関に対して、WP5Dのとりまとめた Generic Parameters の確認を求めるためのリエゾン案が DG において作成され、第2回 SWG-Sharing 会合、第2回 WG-SPEC 会合で承認されたが、WP5D プレナリにおいて WP5D 議長より WP5B の回答を待つ対応することが提案され、リエゾン案は次回の WP5D 会合にキャリアフォワードすることになった(5D/TEMP/161Rev2)。
- ・ DG 議長より、まとめられたパラメータ(WP5B へのリエゾンの Attachment)を各国主管庁またはセクターメンバーが JTG5-6 に直接入力し、JTG5-6 におけるパラメータ最終化に貢献するよう要請された。

#### ④ACSの明確化

- ・ 前回の WP5D からの要請に応じて、WiMAXF から 2.5GHz 帯固有の新しい ACS 値(5D/359)、3GPP (ALU らが代表) から ACS 規定の条件が「REFSENS (基準受信感度) +14dB」であることの説明(5D/403)が入力され、これ以上の明確化は必要ないとされた。そして、WiMAXF の新たな ACS 値に基づく MBWA 共用検討レポート案の修正提案(5D/360)、M.2039 改訂案の修正提案(5D/362)が、それぞれの DG で作業文書に反映された。

#### ⑤3.4-3.6GHz 帯 PFD 制限値の算出方に関するもの

- ・ 第1回 SWG 会合で、関連する入力文書(5D/118(SG4), 328(WP4A), 374(J), 380(KOR))のプレゼンが行われ、WP4A へのリエゾンを作成すること、日本の 5D/374 をスターティングポイントとすること、SG5 議長の CVC/RAG に関する情報(5D/407)の 1.2、2.1 節も考慮することが合意された。
- ・ 第2回 SWG 会合で、Samsung (J.Lewis 氏)の用意したリエゾンバック案が審議された。原案に IMT と FSS の共用検討を WP5D が再度行うかのような記述があったため、日、露、仏、Ericsson らが WRC-07 前の WP8F で IMT-FSS の共用検討を実施しレポート M.2109 として承認されており新たな共用検討は不要と指摘し、共用検討が必要ないことが認識された。また、責任箇所、伝搬モデル、パラメータ、複数局の扱い、移動機の扱いが議論され、リエゾンバック案は再検討することになった。
- ・ 第3回 SWG 会合では、第2回 SWG 会合での議論と日本を含む関係者のコメントを反映した修正版が議論された。韓国が、共同作業に関して引用している SG5 議長の 5D/407、CVC-15/2 が「sharing study」に関するものであることに強い懸念を示し、2~5 段落を全文削除することを要求したが、John 氏が「共同作業の方法を説明した CVC15/2 の引用は重要」、米国らが「sharing study は sharing や compatibility、methodology を含む広い表現」と説明し、結果として 2~5 段落内の「sharing study」を削除することで合意された。結果として、WP5D は WP4A で作業中であることを承知しているが、早い段階でスコープ、作業計画、作業手順、検討終了後の提案方法、メンテナンス方法などについて、双方の SG で合意することが必須とする

点を含むほか、以下の点をコメントする内容となった。

- a) 検討が進み、成熟したら2つのWPで相互に承認する必要がある（CVC-15-2の2.2.3を参照）
  - b) 手法について合意すべき事項
    - i) 伝搬モデルについては、WP3Mからのアドバイスにより勧告P.452が適当と考えるが、移動機への勧告P.452の適用についてWP4AがSG3に確認することを推奨する。
    - ii) IMT-2000パラメータはレポートM.2039に含まれ、IMT-Advanced無線インタエースの初版は2011年Q1頃に完成予定である。IMT-Advancedの想定パラメータはM.2109を参照のこと。メソドロジー自体は実際のIMTパラメータに依存しないので、例を示す場合には典型的な値が想定値で十分である。
    - iii) 周波数の有効利用の観点から、保守的すぎるメソドロジーは適当でない。
  - c) 検討スケジュールは上記課題に大きく依存する。最初のメソドロジー勧告はレポートM.2039のIMT-2000パラメータ及びレポートM.2109の想定IMT-Advancedパラメータを用い、IMT-Advancedパラメータがはっきりした段階で改訂するのが適当。
- ・ 本リエゾンバック案は、第2回WG-SPEC会合で承認され、WP5Dプレナリでも特段の異議無く承認された(5D/TEMP/169Rev2)。

#### ⑥ キャリードフォワード文書

- ・ SWG-Sharing段階ではキャリーフォワードすべき文書は無いとされていたが、WP5Dクロージングプレナリにおいて、UHF帯IMTパラメータに関する外部団体へのリエゾン案（5D/TEMP/161Rev2）をキャリーフォワードすることが承認された。

#### ⑦ ワークプラン（Att.5.7 to 5D/327）

- ・ FBWA共用検討レポートは前会合で完了、MBWA共用検討レポート及びレポートM.2039の改訂は今会合で作業が完了、2.3GHz帯共用検討は入力文書無し、という今会合までの成果から、第2回SWG-Sharing会合ではスケジュールのみ変更するという提案が議長より行われたが、第3回SWG-Sharing会合で、WG-SPEC議長（Mr.Alan氏：途中で帰国）からの「今会合で作業が進展したものがあるが、ワークプランそのものは今会合で変更しなくてもよい。ワークプランは現状のままキャリーフォワードし、次回に検討すればよい」とのアドバイスに従い、今会合ではワークプランの改訂は行わなかった。

#### (6) 今後の課題：

- ・ 3.4-3.6GHz帯PFD制限値の算出方に関するWP4Aとの連携において、WP4Aでの審議動向に注意し、適切に対処する必要がある。
- ・ WP5Dでは、790-862MHz帯のIMTパラメータに関する作業文書等を作成しているわけではないが、日本で導入している帯域、今後予定している帯域におけるパラメータが議論される場合、日本に不都合が生じないよう、審議の動向に注意し適切に対応する必要がある。

#### 5. 3. 1. 1 DG MBWA

- (1) 議長： Mr. John Williams (WiMAX Forum)
- (2) 主要メンバー： 米,仏,露,中韓, FT, BT, Ericsson, Qualcomm, Intel, 新, 北, 小松 全30名程度
- (3) 入力文書： Doc.5D/  
- 327 Att 5.2 (WP5D) (前会合の議長報告：現作業文書)

- 360 (WiMAXF) (前会合の作業文書への修正提案)

(4) 出力文書: Doc.5D/TEMP/

142Rev.1 2.5GHz帯における IMT-2000 CDMA DS と IMT-2000 OFDMA TDD WMAN の MBWA 共用検討新レポート案

(5) 審議概要:

(5-1) 所掌と経緯

本 DG は、2.5GHz 帯における IMT-2000 CDMA DS と IMT-2000 OFDMA TDD WMAN の MBWA 共用検討新レポート案を完成させるために、第 1 回 SWG-Sharing 会合で設立と議長が合意され、DG 会合は 1 回だけ開催された。

(5-2) 審議概要と結果:

① MBWA 共用検討レポート検討作業

- 第 1 回 SWG-Sharing 会合において、前回懸案だった ACS 値 (隣接チャネル選択度) の明確化に関する議論が決着したため、DG 会合では WiMAXF からの前会合の作業文書(5D/327 Att5.2)への修正提案(5D/360)の修正内容の確認と、冗長な NOTE を削除する方針が合意され、DG 議長が作業文書を改訂して SWG-Sharing に報告することが合意された。
- 主な修正点は、表中の ACS 値、ACIR 値、電力制御範囲値の変更と、これらの変更に伴う計算結果 (Additional isolation) の変更、脚注のテキストの修正等である。
- 第 2 回 SWG-Sharing 会合において、DG 議長より作業文書の Update がほぼ終了したが、移動機の電力制御範囲 80dB の参照先は 3 GPP の TR25.942 を示すか数値を 71dB に変更するかが課題として残っているということが報告された。ロシアから数値を変更しても結果に大差ないので数値を変更すべきと提案し、変更反対が無かったため、数値を変更して TEMP 文書として WG-SPEC に諮ることが合意された。
- 第 2 回 WG-SPEC 会合において、SWG-Sharing 議長より新レポート案が完成した旨が報告され、文書のステータスを PDN Report に格上げし、WP5D プレナリにおいて、DN Report への格上げの承認を得ることが合意された。WP5D クロージングプレナリにおいても、特段の異議無く承認された。

② マイクロワークプランの改訂

今会合で作業が完了したため、本来はワークプランをアップデート (削除) してもよかったが、WG-SPEC 議長 (Mr.Alan 氏: 途中で帰国) のアドバイスもあり、今会合では改訂は行わなかった。

(6) 今後の課題

今会合で完成したので、課題は特に無い。

### 5. 3. 1. 2 DG M.2039

(1) 議長: John Williams (WiMAX Forum)

(2) 主要メンバー: 主要メンバー: 米、中、英、韓、独、仏、露、Intel、WiMAX Forum、Motorola、BT、Qualcomm、Ericsson、日本代表团 (小松、新、北) 他約 40 名 (DG 第 2 回以降は 15 名)

(3) 入力文書: Doc.5D/INPUT/

- 327 Att 5.3(現在の作業文書。)
- 327 Att 5.4(ACS 明確化に関する WiMAX Forum へのリエゾン)
- 359 (ACS の明確化に関する WiMAX Forum からのリエゾンバック)
- 362 (作業文書の更新のための WiMAX Forum からの入力)

(4) 出力文書: Doc.5D/TEMP/



- 141 Rev2 (SWG Sharing): レポート M.2039 の改定最終化版
- 168 (SWG Sharing): レポート改定作業の終了をWP5A報告するリエゾン文書

(5) 審議概要 :

(5-1) 所掌と経緯

本 DG は OFDMA-TDD-WMAN が 6 番目の IMT-2000 無線インターフェースとして認められたため、WP5A のリエゾン (5D/107) に従い、従来 BWA の共用検討レポート(M.2116)に含まれていた Mobile WiMAX の内容を IMT 共用検討パラメータレポート (M.2039) に移管する作業を行うために第 2 回会合で設立され、第 3 回会合、今会合で作業を実施した。作業は前会合で合意した作業文書(議長報告 5D/ 327 Att5.3, オリジナルのソースは 5D/163)に WiMAX Forum からの入力 5D/362 の未合意事項の項目の入力を反映させた形で完了し 5D/TEMP/141 を出力した。また、SWG 議長から作業完了を報告する旨の WP5A への liaison letter が SWG Sharing 提示され、Plenary で了承された。

(5-2) 審議概要と主要結果

- DG 議長より、前回会合で ACLR, ACS の値については M.1580/81 の結論がでるまで作業ができないため見送りとし、今回も他の結論を待つのであれば作業は実施できないとコメントがあったが、今回会合では特に作業の進行に反対意見はでなかった。
- 作業は議長の提案により、まず未合意事項に関する入力 5D/IMP/362 の内容を審議後に、作業文書に内容を盛り込む方法が提案され、議長案で実施することとなった。

5D/IMP/362 の審議(DG 第 1, 2 回)

- ACS に関しては絶対値、相対値が明記されていたが Motorola, France-Telecom などから共用検討なので相対値のみの表記でよいとの意見がでて反映された。
- FT から ACLR の値について M.1457 の値、前回会合で説明された IEEE Standards, 今回会合の提案の現実的な値があるが整合性が取れているのかとの質問があり、議長は整合性があると回答した。Motorola からは M.2039 では共用検討であり現実的な値を利用するという意見に対し FT も賛成したが説明を要求。議長より、Implementation Loss 等を含んだ SNR の項目と Note を追加することとなった。
- FT 等から ACLR 値について共用検討対象が 5MHz の場合のみなので LTE の場合等を考慮した記載が必要との意見でため M.1580/81 記載の 5MHz、10MHz の場合の値を記載した。
- FT からの要望で議長から ACS の Note(14a)に具体的な計算式を提案、Ericsson は賛成、一部 FT からの提案をもとに修正を実施した。
- 米国から Reference に関して GCS を参照すべきとの意見がでたため議長が現状の Reference を確認することとなった。(5D/TEMP/141 Rev1 までは[24]の Reference は[]付であったが Plenary の Rev2 で[]が除かれた。)

M.2039 の修正作業 (DG 第 3 回)

- 議長から作業文書の更新版が入力され全体のレビューを実施した。
- FT から Table2 と Table3 の Data rate の整合性が取れていないとのコメント指摘があり、他のインターフェースと記載に合わせることを考慮し、基地局側の Table3 の部分がハイライトされている。(SWG Sharing で Table3 の値を Table2 に記載することが了承された。)
- FT から Receiver reference sensitivity に使用する NF を 3dB 変更して 5dB に変更できないかとの提案があったが議長は整合性がとれているとし変更は実施せず SWG Sharing に持ち越しとなった。(SWG Sharing に議長から値と Note の修正の入力が行われた。)
- FT の要望により Interference threshold in macro BS NF が 3dB の場合と 5dB の場合の値を記載。
- 不要な Note、カラムを削除して作業文書の更新の作業を終了し、5D/TEMP/141 を出力した。

(5-3) マイクロプランの更新

予定通り第4回会合で作業を完了したため更新なし。5月のSG5に諮られる。

(5-4) 今後の課題

WP5Aのリエゾン（5D/107）に基づいた作業は完了。今後 IMT-Advancedのパラメーターを含めた形でのレポート M.2039 の改定の議論される可能性があるため、その場合は日本にとって不利にならないような対応をする必要がある。

5. 3. 1. 3 DG Sharing UHF Parameter

(1) 議長： Mr.J.P.Millet(仏)

(2) 主要メンバー： 仏、独、伊、英、米、スウェーデン、フィンランド、中国、韓国、NZL、WiMAX-F、Intel、Qualcomm、広池、新、小畑、北、小松、他 全50名程度

(3) 入力文書： Doc.5D/343(TIA), 355(ATIS), 361(WiMAX Forum), 404(3GPP/ALU etc)

(4) 出力文書： 5D/TEMP

159 790-862MHz帯における F.1336-2のアンテナパターン適用に関する WP5A, 5Cへのリエゾン文書

160Rev.3 790-862MHz帯の IMTパラメータに関する WP5Bへのリエゾン文書

161Rev.2 790-862MHz帯の一般的な IMTパラメータの取りまとめに対する外部団体へのリエゾン文書

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

第2回 WP5D ソウル会合において、WP5B（無線標定業務担当：本帯域における ARNS 航空管制レーダと移動業務との共用検討を実施予定）に対して 790-862MHz帯における IMT 暫定パラメータを通知し、外部機関（EO）に対しては未だ不足するパラメータがあるので可能な限り完全なパラメータを求めるリエゾンを発出していた。

本 DG は、外部機関から新たなパラメータに関する情報が入力されたため、WP5B への新たなリエゾンバック作成を主な目的とし、第1回 SWG-Sharing 会合で DG の設立及び議長が承認された。

今会合では、TIA(5D/343), ATIS(5D/355), WiMAXF(5D/361), 3GPP(ALU ら：5D/404)の入力文書に基づき、790-862MHz帯における W-CDMA/LTE、cdma2000/HRPD/UMB、MiWAXのパラメータを Specific Parameter（方式毎のパラメータ）及び Generic Parameter（方式に依存しない代表的な値や範囲で表すもの）の2種類にまとめられ、WP5Bへ更新したパラメータを通知するリエゾン、WP5A&5Cへ勧告 F.1336-2の本帯域における適用性を確認するリエゾン、外部機関へ Generic Parameterのレビューを求めるリエゾンが作成された。

(5-2) 審議概要と主要結果

- ・ 第1回 DG 会合では、DG 議長が入力文書に基づいてまとめた作業文書を説明し、どのように Single Parameter Setにまとめるかが議論された。会場から積極的な意見は出なかったが、DG 議長提案により、現状通りの方式毎に Specificな値のものと、Generalで方式に依存しない代表的な値や範囲で表すものの2種類を用意することで合意した。また、WP5Bに更新したパラメータを通知するリエゾン、WP5Cに勧告 F.1336-2の本帯域における適用性を確認するリエゾン、外部機関に再度の確認を求めるリエゾンを作成する方針が合意された。また、TIAから提案された EDGE（Narrow band方式）については、現在使用されている地域は無いが、方式毎に Specificなパラメータの Part3として添付しておくことが合意された。
- ・ 第2回 DG 会合では、DG 議長の作成した、WP5Cへの F.1336-2に関するリエゾン、WP5Bへの更新したパラメータを含むリエゾンが審議された。WP5Cへのリエゾンでは、加が F.1336は WP5Aと5Cの Jointで作

成されていることを指摘し、WP5B も本帯域での共用検討を予定していることから、リエゾンの宛先を WP5A&5C とし、Copy を WP5B とすることとした。WP5B の改訂版パラメータに関するリエゾンでは、方式毎に Specific なパラメータ (Attachment1)、General なパラメータ (Attachment2) を含むリエゾン案が議論された。DG 議長より、Attachment1 の装置密度やセルあたりの容量、Attachment2 のスペクトルマスク、帯域幅、アンテナチルト、アンテナパターンなど、技術方式やネットワーク導入(deployment)に関わるパラメータは外部機関の標準にも含まれず、まとめるのは困難と説明されたところで時間切れとなった。

- ・ 第 3 回 DG 会合では、再度 WP5B へのリエゾンバック案から審議された。技術方式に依存し、最大値、最小値、間の数値など選択肢が幾つか考えられるパラメータについてのまとめ方について特段の意見は無く、DG 議長のまとめた作業文書に沿って、熱雑音の基本帯域幅と単位(dBm/5MHzに統一)、アンテナ開口角の前提条件の NOTE、移動機の送信電力範囲などの明確化が図られ、Attachment2 の Generic Parameter が暫定値であることの記述を追加して IMT パラメータリスト及びリエゾン案が完成した。
- ・ 外部機関へ Generic パラメータの確認を求めるリエゾン案について、日本は WP5D のまとめたものに意見を求めても回答に困るとコメントし、米国も当初はリエゾンを出すことに疑念を呈したが、「意見を求める」との部分で「レビューを求める」との変更を提案し、反対がなかったため、修正してリエゾンを出すことが合意された。
- ・ 最後に、DG 議長から、WP5B へのリエゾンに添付されたパラメータを主管庁あるいはセクターメンバーが JTG5-6 に直接入力することを要請して DG が終了した。
- ・ WP5A&5C へ勧告 F.1336-2 の本帯域における適用性を確認するリエゾン、WP5B へ更新したパラメータを通知するリエゾンは、それぞれ 5D/TEMP/159、5D/TEMP/160 として第 3 回 SWG-Sharing 会合、第 2 回 WG-SPEC 会合、WP5D クロージングプレナリで承認された。一方、外部機関へ Generic Value のレビューを求めるリエゾンは、第 2 回 SWG-Sharing 会合、第 2 回 WG-SPEC 会合で承認されたが、WP5D クロージングプレナリにおいて WP5D 議長より WP5B の回答を待つて対応することが提案され、リエゾン案は次回の WP5D 会合にキャリアフォワードすることになった (5D/TEMP/161Rev2)。

(6) 今後の課題 :

- ・ 外部機関に Generic Value のレビューを求めるリエゾンは、今会合ではキャリアフォワードされ、WP5B からの回答を待つて対応を検討することになったので、次回の WP5B からの入力文書の内容に注意する。
- ・ WP5D では、790-862MHz 帯の IMT パラメータに関する作業文書等を作成しているわけではないが、日本で導入している帯域、今後予定している帯域におけるパラメータが議論される場合、日本に不都合が生じないよう、審議の動向に注意し適切に対応する必要がある。

5. 3. 2 SWG FREQUENCY ARRANGEMENTS

(1) 議長 : Mr. Zhou Meng (中)

(2) 主要メンバー : 米、英、仏、独、加、中、韓、露、ニュージーランド、スウェーデン、フィンランド、メキシコ、ケルコム、アルカテル-ルセント、Ericsson、ノキア、NDR&ZDF (独)、FreeTV (豪)、坂中、小松、広池、新、全 80 名程度

(3) 入力文書 : Doc.5D/344 (加、米)、345 (加)、347 (ノテル)、351 (米)、371 (日)、372 (日、韓)、373 (日)、379 (中)、390 (独)、396 (スウェーデン)

(4) 出力文書 :

作業文書 : 5D/TEMP/

145 (周波数アレンジメント勧告 M.1036-3 の改訂案の作業文書)、

ワークプラン：5D/TEMP/156 (勧告 M.1036-3 の改訂案作成に関するワークプラン)

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

WRC-07 において新たな周波数が IMT に特定されるとともに、既存 IMT-2000 帯域も IMT に特定し直されたことにより、周波数アレンジメント勧告 M.1036-3 を改定することが WP5D 第 1 回会合で合意され、勧告改定の作業が実施されている。本 SWG は、WG-SPEC 会合で設置が合意されたもので、前回の WP5D 会合に引き続き、SWG 議長に Zhou Meng 氏 (中) が任命された。また Editor は、Amy L. Sanders 女史 (米国) が務めた。

(5-2) 審議概要と主要結果

第 1 回会合では、入力文書の紹介、及び SWG の作業方法の議論が行われた。主な議論があった入力文書は以下の通りである。

345 (カダ) IMT.700 の作業文書に関する修正提案

- ・ NDR&ZDF より、4.2 章の記述 (デジタル TV への移行により周波数の有効利用ができる、ホワイトスペースの記載) について WP5D で検討すべき内容でなく問題があるとコメント。
- ・ カダからは、必要に応じて関連する記述は削除可能と回答。
- ・ スウェーデンより、ホワイトスペースは周波数アレンジメントに関係しないので記述を含めるべきでないとコメント。

351 (米国) 700MHz帯の周波数アレンジメントの提案

- ・ スウェーデンより Figure 2bis の Un-paired の帯域が IMT に使用できるのか確認のコメント。
- ・ 米国からは、IMT に使用可能であり、NOTE2 に説明の記載があると回答。

371(JPN) M.1036 改訂の作業文書の修正提案

- ・ (本寄与文書の提案とは直接関係ないが) Free TV (豪) より、Reverse duplex direction の検討については、検討が十分ではなく、JTG5-6 の検討結果も待つべきではないかとコメント。
- ・ 英国からは、SG5 で議論になったが、周波数アレンジメントの検討は JTG5-6 の検討は独立であるはずとコメント。

390 (独) M.1036 改訂の作業文書の修正提案

- ・ Free TV (豪) より、6.4.2 章の[references?]は何を指すのか、Reverse/Conventional duplex direction の選択は各主管庁によるべき、とコメント。
- ・ 独からは、[references?]、については現在検討中の文書を指す、Reverse duplex direction の記載については文書 344 (カダ、米国) のアプローチでもよいがまずは議論が必要と回答。Reverse duplex direction については CEPT では検討されている旨回答。

396 (スウェーデン) 450MHz帯の周波数アレンジメントの修正提案

- ・ 米国より、NOTE 1 の削除には懸念、周波数アレンジメントを列記した表の順番の入れ替えについては議論が必要とコメント。ロシア支持。
- ・ ALU から、スウェーデンからの修正は特定の周波数アレンジメントをハイライトしており問題とコメント。

入力文書の紹介を行った後、以下の作業方法で作業文書の更新を行うことにした。

- ・ M.1036 の改定は、DG を設置して作業し、DG 議長には J.Costa 氏 (カダ) を指名。
- ・ IMT.700 関連については、カダと日本、及び関係の入力文書をマージして、M.1036 改定の DG の残りの時間で議論を実施。なお作業方法の議論の際に、以下のコメントが出された。
  - NDR&ZDF は、Digital dividend の記述を残すことについて反対、フランスは残すべきとコメント

- スウェーデンからは RRに関する記述を多数含めることに懸念のコメント
- 米国、中国からは、文書の目的が不明確であることに対する懸念のコメント

第2回会合では、DGで作成された TEMP 文書として、TEMP/145 (M.1036改定の作業文書) 及び TEMP/146 (新レポート案 IMT.700の作業文書) の報告が、DG 議長の Costa 氏 (加) より行われた。これらの TEMP 文書に対する特段のコメントはなく、WG Spectrum Aspects に確認を求めることにした。

なお新レポート案 IMT.700 の作業に関連し、J.Costa 氏 (加) より、外部団体に当該作業文書を送り、作業文書更新に関わる情報を求めているかどうかと提案が行われ、リエゾン文書の草案が提示された。以下の議論があったが、最終的にはリエゾン文書を出すことは時期尚早であるとして、リエゾンの発出は行わないことにした。

- ・ 中国からは、IMT.700 は作業文書であり、最終的なドキュメント形式 (レポート、勧告) が決まっていない段階で、外部団体にリエゾンを出すことに懸念があるとコメントされた。加からは、IMT.700 の目的は M.1036 改定の作業を促進させるためのもので、勧告にするつもりはないと回答された。
- ・ 米国からは、外部団体からどのような情報を求めるのか不明とコメントした。加からは、作業文書に用意している共用検討等のプレースホルダーに埋まるような情報を意図していると回答した。
- ・ NDR&ZDF からは現状では外部団体に送ることに懸念が示されるとともに、もし周波数の使用に関する記述を含むのであれば、WP6A にもリエゾンを送るべきとコメントした。スウェーデン、英国は ITU-R 内にリエゾンを送る必要はないとコメントした。Free TV からも、現状の作業文書は RR の引用が適切でない部分があり、外部団体に出すことには反対した。
- ・ ノルウェーからは、リエゾンの文面においては、IMT.700 の目的が M.1036 の改定のためのものであることを言及すべきとコメント。英国、中国移動が支持した。
- ・ 韓国は、米国を支持し、外部団体からからどのような情報を得るのか不明であるとコメントした。米国もどのような情報を得るのか、まず WP5D の中で議論をしてから結論を出すべきとコメントした。

またワークプランの修正の確認が行われたが、特段議論はなく、日付等のエディトリアルな修正のみを実施し、TEMP 文書を作成し、WG Spectrum Aspects に確認を求めることにした。

#### (6) 今後の課題：

- ・ 周波数アレンジメント勧告 M.1036-3 の改訂、及び新レポート案[IMT.700]については、我が国では、3400-3600MHz 帯、及び 698-806MHz 帯の一部を IMT に使用予定であることを踏まえ、引き続き、適切に対処していく必要がある。

### 5. 3. 2. 1 DG 1036

(1) 議長： Jose Costa (加)

(2) 主要メンバー： 米、英、仏、独、加、中、韓、露、ニュージーランド、スウェーデン、フィンランド、メキシコ、ケルコム、アルカテル-ルンベント、エリクソン、ノルウェー、NDR&ZDF (独)、FreeTV (豪)、坂中、小松、広池、新、全 50 名程度

(3) 入力文書： Doc.5D/344 (加、米)、345 (加)、347 (ノルウェー)、351 (米)、371 (日)、372 (日、韓)、373 (日)、379 (中)、390 (独)、396 (スウェーデン)

(4) 出力文書： Doc.5D/TEMP/

145 (周波数アレンジメント勧告 M.1036-3 の改訂案の作業文書)、

146 (698-960MHz 帯の周波数アレンジメントのための新レポート[IMT.700]案の作業文書)

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

本 DG は、SWG-Frequency Arrangements の第 1 回会合の合意に基づき、①周波数アレンジメント勧告 M.1036 の改定のための作業文書の更新作業、及び②698-960MHz 帯の周波数アレンジメントのための新レポート案 [IMT.700]の作業文書の更新作業を行った。DG 議長は、Jose Costa 氏（加）が務め、会合は 2 回開催された。

#### (5-2) 審議概要と主要結果

周波数アレンジメント勧告 M.1036 の改定に当たっては、入力文書の提案をマージした作業文書が DG 議長より提示され、作業を進めた。作業文書全体の修正を行った後、次回 WP5D 会合にキャリアフォワードするため TEMP 文書にし、SWG Frequency Arrangements に確認を求めることにした。DG での主な議論は以下の通り。

- ・ 第 1 章における IMT 周波数の列記方法は、表形式とし関連する RR の脚注番号を引用することで合意し、作業文書に反映した。
- ・ Consideration b)における「周波数アレンジメントは国際的に調和が取れることが望ましい」との記述については、"that globally harmonized spectrum and globally frequency arrangements for IMT are desirable"、との表現で合意した。米国より、globally が 2 回続くことについて英文上の指摘があったが、強調の目的でそのまま残すことにした。
- ・ 日本から提案した、「上り/下り周波数のオーバーラップした周波数アレンジメントを隣接国で使うと干渉の問題が発生するかもしれない」の記述については、一部修正を行って作業文書に反映した。
- ・ Reverse duplex direction の記述について、加、米国からの提案に基づいて修正した。日本も同様な趣旨の提案を行っていたため支持した。なお、独は当該記述について次回 WP5D 会合で再提案を行う可能性があることをコメントした。
- ・ 各周波数帯の周波数アレンジメントを記載する各 Annex において、NOTE の整理・統合が図られた。
- ・ 450MHz 帯の周波数アレンジメントについて、スウェーデンより自身の提案の周波数アレンジメントの使用を推奨するテキストの提案が行われたが、米国、中が反対し、非公式の DG での調整の結果、中立的な表現で記述を行うことにした。
- ・ 米国より、自国の使用状況に基づく、700MHz 帯の周波数アレンジメントの提案が作業文書に反映された。なお付随する NOTE において、FDD, TDD の様々な周波数アレンジメントの使用の可能性を示唆する文章となっていたため、中より不適とのコメントが出され、次回 WP5D で継続検討することになった。
- ・ 2.3-2.4GHz 帯における TDD 及び Flexible FDD/TDD の周波数アレンジメントについて、スウェーデン、中国、イタリ、中は前者を支持、米国、加は後者を支持する意見を示したが結論が出ず、次回 WP5D で継続検討することになった。
- ・ 2.5GHz 帯の周波数アレンジメントを記載した Annex における衛星コンポーネントとの共用検討の記述について、独から削除提案が出されたが、加からはいくつかの主管庁には重要な記述であり、慎重に検討すべきとのコメントが出され、次回 WP5D 会合で引き続き議論することにした。
- ・ 3.4-3.6GHz 帯の周波数アレンジメントとして、日韓共同提案の内容が作業文書に反映された。なお、当該アレンジメントにおける FDD の要検討事項は、本文ではなく、Editor's Note として盛り込まれた。

一方、新レポート案[IMT.700]の作業文書は、DG 議長が、SWG Frequency Arrangements でのコメントに基づいて 4.2 章 Digital Dividend の記述を修正するとともに、日本からの 700/900MHz 帯をペアにする周波数アレンジメントの考え方の提案をマージした作業文書を用意して、審議した。作業文書全体の修正を行った後、次回 WP5D 会合にキャリアフォワードするため TEMP 文書にし、SWG Frequency Arrangements に確認を求めることにした。DG での主な議論は以下の通り。

- ・ スウェーデンより 4.2 章の中の、"In some countries, digital technology switchover in the implementation of existing services in the band 470-806/862 MHz, may enable a certain amount of spectrum …" の文について、空き

周波数ができるのは事実であるとして、In some countries を削除するか、may を削除するかの提案が行われた。NDR&ZDR からはデジタル TV に移行しても、サービスの拡充のためさらに周波数が必要にあるケースもあり、当該提案は不適切、本件は過去にも長く議論しており、さらに議論すべきでないコメントした。米国からは、4.2章は問題が多いので削除してはどうかと提案があった。

- ・ 日本提案の 700/900MHz 帯をペアにする周波数アレンジメントの考え方については、「5.4 章 Other technical considerations」にマージされたが、特段コメントはなかった。

#### (6) 今後の課題

- ・ 周波数アレンジメント勧告 M.1036-3 の改訂、及び新レポート案[IMT.700]については、我が国では、3400-3600MHz 帯、及び 698-806MHz 帯の一部を IMT に使用予定であることを踏まえ、引き続き、適切に対処していく必要がある。

### 5. 4 WG DEVELOPING ASPECTS

(1) 議長： Javier Camargo (メキシコ)

(2) 主要メンバー： ブラジル、メキシコ、米国、中国、韓国、佐藤(一)・吉井・鬼頭 全 18 名程度

(3) 入力文書： 5D/363(メキシコ)、5D/386(ITU-T SG13)、5D/395(ブラジル)

(4) 出力文書： 5D/TEMP/165 (ITU-T SG 13 および ITU-D Q.18-1/2 へのリエゾン文書)

5D/TEMP/166 (ITU-D Q.18-1/2 へのリエゾン文書)

5D/TEMP/167r1 (議長報告)

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

WG DEV は発展途上国の立場から IMT-2000 及びそれ以降のシステム及びサービスについて審議することが所掌である。

(5-2) 審議概要と結果：

- ・ WG-DEV は会期中に 4 回開催された。
- ・ メキシコからの提案は、” Guidelines on the Smooth Transition of Existing Mobile Networks to IMT-2000 for Developing Countries ” (以下 GST とする) で使用されている ”IMT-2000” という用語をすべて、IMT-2000 と IMT-Advanced を総称する ”IMT” に変更することを求めるものであったが、ITU-D 課題 18-1/2 は IMT-2000 を扱う課題であり、IMT は扱っていないとの理由により、変更されないこととなった。ただし、メキシコからの提案があったことについて、議長報告(TEMP/167r1)に記載することとなった。
- ・ 当初は GST に改訂を行った文書を ITU-D に対してリエゾンバックすることで作業を進めたが、議長から GST の改版を行うのではなく、サプリメントという形で IMT-2000 の最新の状況を反映した文書を作成することが提案され、了承された。サプリメントの完成時期としては、シリアからの ITU-D のスケジュールを考慮すると次回 WP5D 会合とすべきであるとの意見が採用された。これらの内容を記載したリエゾン文書(TEMP/166)を ITU-D Q.18-1/2 へ送付することとした。
- ・ ブラジルからの OFDMA TDD WMAN の追加およびサービスの記述の充実を中心とした提案、およびメキシコからの周波数に関する WRC-07 の結果反映という提案をベースとして、サプリメントの目次案が作成された。サプリメントの作成のために、ブラジルおよびメキシコの寄与文書を次回会合にキャリアフォーワードした。
- ・ ITU-T SG13 からの、課題 15-13 「発展途上国の移動通信網における IMS と IMT の適用」の検討において、WTSA-08 決議 38 “Coordination among ITU-T, ITU-R and ITU-D for activities relating to IMT” に基

づいて協調することを求めるリエゾンが審議された。決議 38 を考慮して、ITU-T SG13 および ITU-D Q18-1/2 と協力してロードマップの作成を提案すること、ロードマップ作成のために、ITU-T SG13 の関連パーティ、ITU-D Q18-1/2 のレポートおよび ITU-R WP5D の直接的な協働を提案するリエゾンバックを、ITU-T SG13 および ITU-D Q18-1/2 に送付した。

- ・ 次回 WP5D 会合における主要議題は、サプリメントを完成することである。

(6) 今後の課題

特になし。

## 5. 5 AH WORKPLAN

(1) 議長：Hakan OHLSEN (スウェーデン)

(2) 主要メンバー：S.Blust (WP8F 議長)、KJ.Wee (WG-GEN 議長)、A. JAMIESON (WG-SPEC 議長)、S.Lixin (WG-TECH 議長)、M.Grant (SWG-Radio Aspect 議長)、N. P. Magnani (SWG-1457 議長)、J.Costa (加)、S.Grreen (UK) 他、坂中団長、佐藤副団長、広池、本多、菅田、鬼頭、石川、畑川、林(日)、佐藤(一)他、合計約 50 名

(3) 入力文書：

Doc. 5D/327 (WP5D 議長)：前回 WP5D 第 3 回議長報告第 2 章「ITU-R WP5D の構成とワークプラン」

(4) 出力文書：

5D/TEMP/163 (AH WORKPLAN の会合報告)

5D/TEMP/162 (WP5D 議長報告 第 2 章「構成とワークプラン」の最新化版)

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

中長期的作業計画に従って活動する必要があるとされた経緯から、毎回会合ごとに Living Document として各作業グループ間の相互に関連ある作業計画等の調整作業を行うこと、また、WP5D 全体のワークプランを最新化して維持管理している。結果を WP5D 議長報告の第 2 章として添付している。

(5-2) 審議経過

- ・ 今回会合では、AH-WORKPLAN は何時もより若干早い週末に 1 回開催された。
- ・ 前回 WP5D 第 2 回ジュネーブ会合の議長報告 (Doc. 5D/327) の第 2 章を最新化する作業が行われた。

(i) AH Circular Letter(AH-CL)の廃止と SWG-Coordination の新設：

今回会合では、特に、初日の WP5D プレナリー会合で AH Circular Letter を廃止し、日本等からの提案 (Doc.5D/370)等によって IMT-Advanced の新無線インタフェース技術を選定するプロセス上に ITU 内外の評価グループをコーディネートする活動が必要とのことが合意された。

体制として新たに SWG-Coordination を WG-TECH 配下に設けることとし議長に本多氏を内定した。本多氏を議長とする DG が設けられてその SWG の作業スコープが作成された。しかし、本 AH Workplan 会合にはその SWG の作業スコープが間に合わないことから、WG-TECH のハイレベルスコープ章には日本からの提案によりその作業スコープの完成結果を待って簡潔なハイレベルなテキストを追加することとした。

結果は、最終日のプレナリーで了承された形となった。

- ・ 具体的には、上記の改廃に関連した下記項目の最新化が行なわれた。
  - Attachment(以下 Att)2.2： AH-CL を WG 等の一覧表、同図示並びにハイレベルスコープから削除した。
  - ハイレベルスコープの WG-TECH のスコープ欄に ITU 内外部とのコーディネートを行う旨文言が追記されていた。



(ii) その他の WP5D のワークプラン (Doc. 5D/327) の会合毎の見直し及び最新化 :

① WG-GEN の作業分担分の改定の結果 :

- ・ 前回 WP5D 第 3 回会合で、WG-GEN が完成させて挿入された Att. 2.7(Long-range WP5D work program plan)の ITU-T 関連テキストを WSTA-08 の結果を受けて、改めて WG-GEN が一部改定した。

② 最新化の結果 :

- ・ 会合スケジュールでは、第 5 回会合 (2009 年 6 月会合) が元アジア/ジュネーブと未定であったがジュネーブとなった。
- ・ 第 6 回会合 (2009 年 10 月会合) はドイツのドレスデンに開催地が決まったとドイツ代表が報告した。
- ・ 初日の WG-TECH プレナリー会合で中国入力(Doc. 5D/378)により IMT.RADIO を作成するか否かについて議論があった。AH Workplan 議長から IMT-2000 の前例を考慮すると IMT.RADIO の作業の成果物はレポート等ではないかも知れないが IMT-Advanced 技術の選定途上のハーモナイゼーションを行なう過程でコンセンサス形成に役立つものが想定されるとのコメントがあったこともあり、現状では成果物は不明ではあるが作業としてはワークプランに残しておくこととされた。ワークプランでは現状通り残すことに異議はなかった。

(5-3) 審議結果

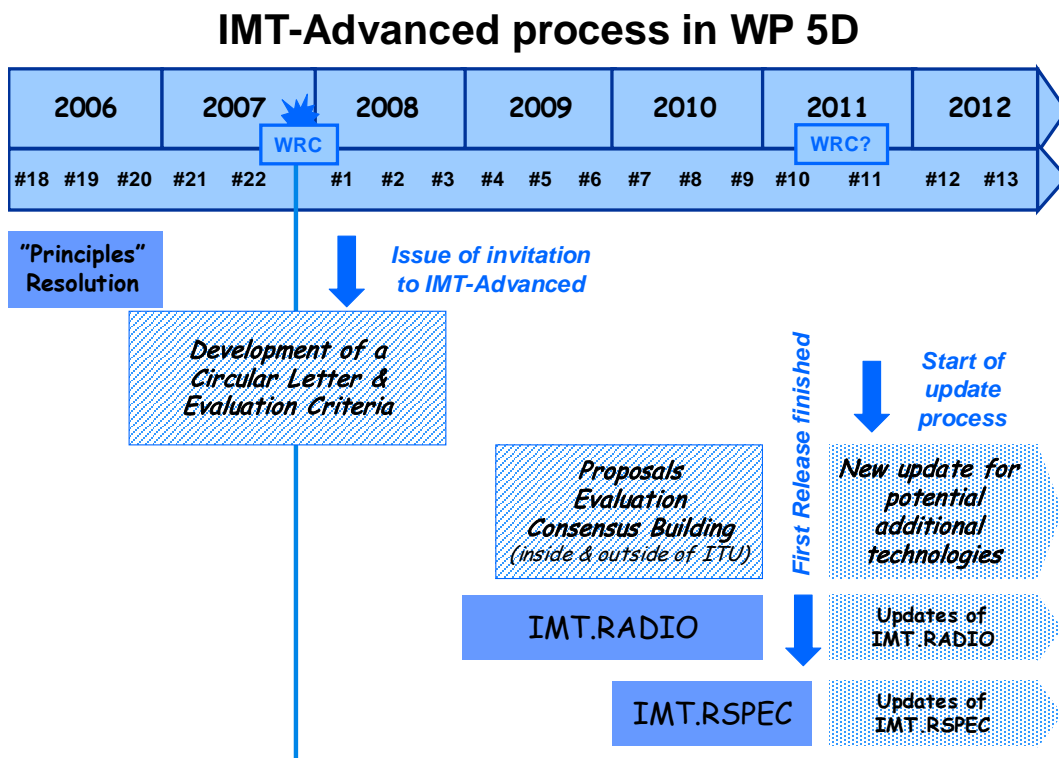
- ・ WP5D 議長報告第 2 章のワークプランが最新化された。

(5-4) 今後の課題

- ・ 毎会合でスケジュールをフォローし、2011 年 2 月頃の WP5D 第 10 回会合で「IMT.RSPEC」の第 1 版を出すスケジュールを維持すること。

FIGURE 1

Preliminary overall time schedule for the IMT-Advanced process



## 5. 6 AH VOCABULARY

本 AH への入力文書がなかったため、開催されなかった。前回会合において、AH 議長は、時期をみて Recommendation をチェックする形で開催したいが、当面会合は開く予定はないとオフラインで述べていた。

## 6. Region 3非公式会合

(1) 議長：佐藤(日本)

(2) 主要メンバー：Y. Wan(中国)、K.J.Wee,D.J.Kim(韓国)、坂中、白石、広池(日本)、A.Jamieson(ニュージーランド)、Nguyen (ベトナム)、J. Lewis (APT/AWF)、他

(3) 審議概要：

Region 3 参加国から、各国での IMT 等の移動通信システムの検討・導入状況ならびに本 WP5D 会合における関心事項について情報を提供してもらい、それについての質疑応答をする形で議事を進めた。各国の状況及び関心事項等は以下のとおりである。

### ①中国：

- 2009年1月に正式に3Gのライセンスが3オペレータに交付された。チャイナモバイルはTD-SCDMA、チャイナユニコムはWCDMA、チャイナテレコムはcdma2000を運用することとなった。
- IMT-Advanced提案方式のための評価グループを設立した。議長はWan Yi氏であり、中国提案をITUへ提出する為のワークプランを検討中である。
- PHSについては3年後にサービス停止をすることは正式な決定である。しかし、現在の加入数は7千万であり問題・混乱が生じるだろう。TD-SCDMAとPHS間で干渉問題がある。

### ②ベトナム：

- 前回のAWFマカオ会合以降、IMTの検討は進んでいる。7オペレータが競争（Beauty Contest）で4つのライセンスを争う予定であり、応募は2009年2月に始まり選定結果は2009年4月にアナウンスされるであろう。
- 次回 AWF ベトナム会合にて国内情勢について詳しく説明する。450-470MHz など UHF 帯に関心をもっている。

### ③ニュージーランド：

- 最大オペレータのVodafoneはWCDMAとGSMを運用中である。続くTelecomニュージーランドはこれまでcdma2000を運用してきたが、WCDMAに切り替える判断をし、今年の中頃にWCDMAを開始する予定である。新たな第3オペレータは900MHz帯でWCDMAを運用すると考えられている。
- ニュージーランドは700MHzなどのUHF帯に関心がある。AWFにおいて周波数アレンジメントの面で各国と協調したい。M.1457改訂における複信方式（FDD/TDD）の追加の課題については特にポジションは無いが注視している。

### ④韓国：

- KCCは昨年、470MHz -698MHz のDTVのチャンネルアレンジメントを完了した。その結果空いた698MHz から上の周波数は移動通信で使用されるであろう。
- 韓国内では800MHz帯のライセンスが2011年の6月に切れる。現時点で800MHz帯はオペレータ1社だけに50MHz (25×2)が割当てられているが、期限切れ後にこの50MHz中の20MHz(10×2)を他のオペレータに競争で割り当てる予定。900MHz帯についても将来新たに20MHz (10×2)を移動通信に割り当てる予定。
- TTAはIMT-Advancedのための評価グループをITUに登録した。
- 今回の会合ではM.1457の改訂等に関心あり。

### ⑤APT/AWF：

- AWFにとってDTVは大きな 이슈である。

- AWFベトナム会合の前日の3/30にスペクトラム管理をテーマにしたワークショップを開催する。

日本からは、以下の情報を提供した。

- 総務省はIMT-2000の高度化システム、即ちLTEやUMBのような3.9Gシステムの導入のための準備を進めているところである。技術的な要件については情通審が昨年12/11に部分答申した。それを受けて総務省は無線設備規則の改正案について電監審に本年1/21に諮問し同時にパブコメの受付を開始した。また、ライセンスポリシーに関する公開ヒアリングを昨年11/7に実施し、本年1/23にポリシーのドラフトについてのパブコメ受付を開始した。3.9Gは3Gの周波数を使うことになっており、800MHz、1.5GHz、1.7GHz、2GHzが考えられるがスタートポイントとして日本固有バンドの1.5GHz (10MHz × 2を3ブロック)と1.7GHz (15MHz × 2を1ブロック)を考えている。
- ARIBはIMT-Advanced提案技術のための評価グループを設立し、ITUへ登録した。
- BWAシステムについてはUQコミュニケーションズ社がモバイルWIMAXによるサービスを本年2/26に東京で開始、ウイルコム社がXGPでのサービスを本年4月に開始予定である。
- 日本は、IMT-Advancedの技術開発プロセスにおいてWG-TECH配下の新SWG活動を通して外部との協調を進めていきたい。また、3.4GHz-3.6GHzの周波数アレンジメントについての寄書を提出したが今後更なる検討が必要である。

また、Region 3 各国間での協力エリアを模索・特定する目的で意見交換を行った。出席メンバーからの主な意見は以下の通りであった。

- UHF帯の周波数アレンジメントについての協調をAWFの中でいつ成し遂げるかが大事な点である。本年5月に開催のJTG5-6の中でのUHF帯の議論に我々はもっと集中すべきであり、Region3としての協調力を高めたい。(Wee氏)
- AWFは年2回の開催が限度。よって何か議論を促進させるためのアイデアが望まれる。(議長)
- AWFのWGのF2F会合をAWFの会期間に持つことが一案。または、非公式なグループ活動を行いその成果をAWFに入力することも考えられる。(Wee氏)
- 3月末のAWFベトナム会合でそのような改善プロセスについて議論するとよからう。(議長)
- AWFのステアリング委員会で議論してはどうか。アジェンダ案をAPT事務局に送ってみる。(Lewis氏)
- JTG5-6に向けて各国の責任者のEメールリストを作成し、事前に意見交換、議論資料の交換を行い共通のポジション形成をこころみたらどうか。(Wee氏)

その場の結論としては、JTG5-6に向けて、AWFの枠組みの中での検討とともにEメールでJTG前の意見交換を進めること(そのために各国からLewis氏へEメールリストに入れるべき人名を連絡する)、またJTG会期中にもF2F会合を持つ努力をすることとなった。

## 7. 今後の予定等

### 7. 1 WP5D 及び関連会合の今後の開催予定

WP5D 及び関連の会合の今後の予定は以下のとおりである。

[WP5Dの開催予定]

- |                |             |            |   |            |
|----------------|-------------|------------|---|------------|
| ・ WP5D 第 5 回会合 | スイス (ジュネーブ) | 2009.6.10  | — | 2009.6.17  |
| ・ WP5D 第 6 回会合 | ドイツ (ドレスデン) | 2009.10.14 | — | 2009.10.21 |

[関連する会合の開催予定 (日程は ITU の Web から抜粋)]

WP5A	スイス（ジュネーブ）	2009.5.18	－	2009.5.27
SG5	スイス（ジュネーブ）	2009.5.29		
WP5A	スイス（ジュネーブ）	2009.11.23	－	2009.12.4
SG5	スイス（ジュネーブ）	2009.12.7	－	2009.12.8

## 7. 2 次会合に向けての日本のアクション事項

### 7. 2. 1 WG GENERALASPECTS 関係

・

### 7. 2. 2 WG TECHNOLOGY ASPECTS 関係

- ・ 勧告 M.1457 に関しては特に必要事項はない。
- ・ 勧告 M.1580/M.1581 に関しては特に必要事項はない。
- ・ Femto Cell に関して外部団体の入力をチェックする。
- ・ IMT-Advanced の無線インタフェース提案が入力された場合の具体的な作業に関して検討を行う。

### 7. 2. 3 WG SPECTRUM ASPECTS 関係

- ・ 周波数アレンジメント勧告 M.1036-3 の改訂、及び新レポート案[IMT.700]については、我が国では、3400-3600MHz 帯、及び 698-806MHz 帯の一部を IMT に使用予定であることを踏まえ、引き続き、適切に対処していく必要がある。
- ・ 3.4-3.6GHz 帯の IMT に対する PFD 制限値の算出法の検討については、WP5D と WP4A と間での検討の連携が図られるよう、WP4A での検討を引き続き注視し、必要に応じて WP5D としても対応していく必要がある。
- ・ 790-862MHz 帯における IMT パラメータの取りまとめに当たっては、我が国にとって不利となる拙速な結論が導かれないう注視していく必要がある。

付属資料 1 参加国・機関と寄与文書数

参加国	参加者数	寄与文書数
アルメニア	3	
オーストラリア	1	
ブラジル	3	2
ブルネイ	1	
カナダ	6	3(再掲 1)
中国	8	5
コロンビア	1	
エジプト	1	1
フィンランド	1	
フランス	1	1
ドイツ	6	4
イラン	1	
イタリア	2	
日本	15	7
ケニア	1	
韓国	12	4(再掲 1)
マレーシア	2	
メキシコ	2	1
ニュージーランド	1	
ロシア	3	1
南アフリカ	2	
スウェーデン	1	1
スイス	1	
シリア	1	
タンザニア	1	
チュニジア	2	
UAE	2	
英国	6	2
米国	10	5
ベトナム	2	
コロンビア		1
レバノン		1
ジンバブエ		1
小計	99	38

2月10日版の参加者リストに基づいて作成。

最終の参加者リストは未発行（2/24 現在）。

機関別も同参加者リストを使用。

参加機関	参加者数	寄与文書数
フランステレコム	1	
ドイツテレコム	1	
Norddeutscher Rundfunk(NDR)	1(再掲 1)	
O2	1(再掲 1)	
Zweites Deutsches Fernsehen	1(再掲 1)	
テレコムイタリア	2 (再掲 2)	5(再掲 5)
NTT ドコモ	1	5(再掲 5)
テリアソネラ (スウェーデン)	2	
ブリティッシュテレコム	1(再掲 1)	
AT&T	2	2
スプリント・ネクステル		1 (再掲 1)
Free TV Australia	1	
ノーテル	1 (再掲 1)	2
大唐テレコム	1	
Huawei	5	
ZTE	2	
ノキア	2	5(再掲 5)
サムスン	3	
OJSC Intellect テレコム (ロシア)	1	
エリクソン	4	5 (再掲 5)
インテル (英国)	1 (再掲 1)	1
アルカテルルーセント (フランス)		5
アルカテルルーセント(米国)	3	8 (再掲 5)
インテル (米国)	2	
モトローラ (米国)	3	
Qualcomm	2	3 (再掲 3)
IEEE	2(再掲 1)	2
WiMAX Forum	2	6
ノキア・シーメンス		5(再掲 5)
ATIS		3
BR Study Group Department		1
Chairman, ITU-T SG 13		1
Chairman, SG 5		2
Chairman, WP5D		1
Director, BR		1
Director, Radiocommunication Bureau		4
ETSI		1
ITU-T SG13		3
ITU-T SG15		2
Region 1(CEPT) Rapporteur		1
Region 2 Rapporteur		1
Region 3 Rapporteur		1
WP 4A		1
WP 5A		3
WP 5C		1
小計	39	48
合計	138	86

付属資料2 ITU-R WP5D第4回会合日本代表団名簿

区分	氏名	会社名・団体名	所属・役職
団長	坂中 靖志	総務省 総合通信基盤局	電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室長
副団長	佐藤 孝平	(社)電波産業会	常務理事
構成員	小畑 至弘	イー・モバイル I(株)	専務執行役員
構成員	北 豊	イー・モバイル I(株)	技術本部 技術企画部 技術企画 G
構成員	橋本 明	(株)NTTドコモ	無線標準化推進室 室長
構成員	新 博行	(株)NTTドコモ	電波部電波企画担当 課長
構成員	田中 晋也	(株)NTTドコモ	無線アクセス開発部 無線基地局担当 担当課長
構成員	菅田 明則	KDDI(株)	技術渉外室 電波部 企画・制度グループ 担当部長
構成員	畑川 養幸	KDDI(株)	KDDI 研究所 無線通信方式グループ 研究員
構成員	森脇 鉄朗	シャープ(株)	研究開発本部 標準化戦略推進室 主事
構成員	小松 裕	ソフトバンク モバイル(株)	モバイルネットワーク本部 ネットワーク統括部 電波部 課長
構成員	小林 誠	(株)東芝	東芝 モバイルコミュニケーション社 NMD 開発統括部 NMD ソフトウェア設計部参事
構成員	本多 美雄	日本エリクソン(株)	技術本部 標準化・レギュレーション担当部長
構成員	鬼頭 英二	日本電気(株)	モバイルネットワーク事業企画部 エグゼクティブエキスパート
構成員	石川 禎典	(株)日立製作所	Network Platform 事業推進室 主任技師
構成員	林 律雄	富士通(株)	モバイルシステム事業本部 標準化推進部
構成員	吉井 勇	パナソニック(株)	東京R&Dセンター 次世代モバイル開発センター 主任技師
構成員	佐藤 一美	三菱電機(株)	通信システム事業本部通信システムエンジニアリングセンター 戦略事業推進グループ 担当部長
構成員	広池 彰	(社)電波産業会	研究開発本部 移動通信グループ 担当部長
構成員	白石 基	(社)電波産業会	研究開発本部 移動通信グループ 主任研究員

付属資料3 日本寄書等の審議結果

項 目	日本寄書等	内 容	結 果
WG-TECH	Doc. 5D/368	本寄与文書は、勧告 ITU-R M.1580-2 / M.1581-2 の改訂にあたって、測定誤差の取り扱いについては現状から変更すべきではないと意見表明するためのものである。変更すべきではない理由は、両勧告における測定誤差の扱いは、測定誤差に関連する勧告 ITU-R M.1545 に沿ったものになっていること、勧告 ITU-R M.1580-2 及び M.1581-2 の内容は各国のレギュレーションに密接に関連していることから変更は混乱を招くことになることを挙げた。	測定誤差の取り扱いについては、変更されないこととなり、日本提案が反映された形で勧告の最終化を完了した。
WG-TECH WG-GEN	Doc. 5D/369	本寄与文書は、Femto Cell の検討に際し、定義、要求条件、技術的な検討を行い、その検討が完了した後に Global Circulation の検討要否を討議することを提案したものである。又、IMT に関連した外部団体と協調して検討を進めることも提案している。	Femto Cell の検討に関しては、提案通り定義を含めた技術的事項の検討要否を討議することとなり、Global Circulation は検討項目から省かれた。 又、外部団体の検討状況を調査してから検討要否を決定することとなり、外部団体との協調が重要とした提案の趣旨にそった結論となっている。 Femto Cell に関しては次回外部団体からの回答入力を討議して今後の作業要否を決定することとなっている。
Plenary WG-TECH	Doc. 5D/370	本寄与文書は、IMT-Advanced の無線インタフェースの選定プロセスにおいて、提案受付を行う Step 3 及び合意形成を行う Step 7 の作業を行うために WG-TECH 内に新たな SWG 作成を提案したものである。	Plenary において討議され、WG-TECH 内に Step 3, 5, 7 の内部/外部の Coordination を行う SWG を新設することを前提に Scope of Work の討議が実施された。 結果として新 SWG-Coordination が新設され、その議長として日本から本多氏が氏名された。
WG-SPEC	Doc. 5D/371	本寄与文書は、M.1036-3 勧告の改訂に関わり、周波数アレンジメントに関する一般的な技術的内容を記述している第 1~6 章について、第 3 回 WP5D 会合（2008 年 10 月）で更新された作業文書に対する修正提案を行うものである。特に、第 3 回会合で合意されずに [ ] 付のまま継続審議となっている部分について、日本の見解を示している。	本寄与文書で修正提案した内容は、ほぼすべてが M.1036-3 勧告改定の作業文書に反映された。当該作業文書は、次回 WP5D で継続議論するため、キャリアフォワードされた。
WG-SPEC	Doc. 5D/372 ※日韓共同提案	本寄与文書は、3.4-3.6GHz 帯に関する周波数アレンジメントに関する日韓の共同提案である。具体的には、以下の原則に基づいた提案を行った。 (1) 2 つの基本的なアレンジメント（FDD 及び TDD）を含むこととする。 (2) FDD の周波数アレンジメントについては、基本的なパラメータ（下り/上りの各ブロックの大きさ、センターギャップ、デュプレックス間隔）は当初は決定しない。 (3)（3400-3600MHz 帯以外の）外部の帯域の利用についても考慮する。	本寄与文書の内容は、M.1036-3 勧告改定の作業文書の、Annex6（3.4-3.6GHz 帯の周波数アレンジメント）に反映された。なお、(2)、(3)の項目については、今後の要検討項目として、Edistor's Note として反映された。当該作業文書は、次回 WP5D で継続議論するため、キャリアフォワードされた。



項 目	日本寄書等	内 容	結 果
WG-SPEC	Doc. 5D/373	<p>本寄与文書は、新レポート案 M.[IMT.700]の提案について、日本からのコメントを述べるとともに、具体的検討内容として、700MHz 帯と 900MHz 帯をペアにする周波数アレンジメントを、ケーススタディの 1 つとして提案した。</p>	<p>[IMT.700]の作業文書の更新が行われるとともに、日本が提案した 700MHz 帯と 900MHz 帯をペアにする周波数アレンジメントの考え方が、作業文書に反映された。当該作業文書は、次回 WP5D で継続議論するため、キャリアフォワードされた。</p>
WG-SPEC	Doc. 5D/374	<p>本寄与文書は、3.4-3.6GHz 帯 PFD 制限値の算出方に関する WP4A へのリエゾンバック作成にあたって、WP5D で考慮すべき事項とドラフトエレメントを提案するものである。</p> <p>ドラフトエレメントには、(1) WP5D と WP4A の間で検討のスコープや作業計画を合意することが重要であること、(2) 周波数の有効利用の観点から、保守的なメソドロジーは適当でないこと、(3) 共用検討パラメータに関する IMT-2000 の M.2039 の現状と IMT-Advanced 無線インタフェースの作成スケジュール、を含む。</p>	<p>本寄与文書で提案したドラフトエレメントは、リエゾンバック作成の際のスターティングポイントとされ、提案した内容の基本的な内容が全てリエゾンバックに反映された。</p> <p>現地で対応した、伝搬モデル、パラメータ等に関する修正コメントもほとんど原案通り採用され、日本は WP4A へのリエゾンバック作成に多大な貢献を行った。</p>
WG-TECH	Doc. 5D/INFO/9	<p>本情報文書は、前会合で完成した評価基準レポート ITU-R M.2135 が示すチャンネルモデルのうち、日本が提案した Extension Module のソフトウェア実装を提供するものである。</p> <p>このソフトウェア実装は、入力パラメータにより遅延スプレッド、到来角スプレッド等を生成するもので、添付ソフトウェアパッケージには、パラメータ定義用エクセルシート、Matlab®のソースコード、および説明文が含まれている。</p>	<p>本情報文書は、WP5D オープニングプレナリで紹介され、WG-TECH においても評価プロセスで重要なシミュレーションに関する情報と認識され、今後 ITU-R の IMT-Advanced 評価関連の Web に掲載（参照）されることになった。</p>

Doc.	TITLE	Source
5D/118	Liaison statement to relevant Working Parties of Study Group 5 - Methodology for determining whether a transmit IMT station meets the pfd limit in provisions of the Radio Regulations	carried forward
5D/327	Report of the third meeting of Working Party 5D (Seoul, Korea, 8-15 October 2008)	Acting Chairman, WP 5D
5D/328	Liaison statement to Working Party 5D (copy to Working Party 5A for information) - Methodologies for determining whether an IMT base station at a given location could transmit in the band 3 400-3 600 MHz without exceeding the PFD limits in Nos. 5.430A, 5.432A, 5.432B and 5.433A of the Radio Regulations	WP 4A□
5D/329	Renumbered Questions within Study Group 5	Director, Radiocommunication Bureau
5D/330	Liaison statement to Working Parties 5A and 5D - Revision of Recommendations ITU-R F.758 and ITU-R F.1336	WP 5C □
5D/331	Note from the Chairman of Joint Task Group 5-6 - Sharing studies under Resolution 749 (WRC-07) and Resolution 224 (Rev.WRC-07)	Chairman, SG 5□
5D/332	Liaison statement to Working Party 1A (copy for information to Working Parties 5B, 5C and 5D) - Information on short-range devices related to WRC-11 Agenda item 1.22	WP 5A□
5D/333	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 on ANTS (copy for information to ITU-R WP 5D)	WP 5A□
5D/334	Liaison statement to ITU-R Working Parties 1A, 1B, 4C, 5B, 5D and 7C, ITU-D SG 2 (Question 14/2) and ITU-T SG 16 - The study of mobile access systems providing radiocommunications to a large number of ubiquitous sensors and/or actuators scattered over wide areas	WP 5A□
5D/335	Liaison statement - New versions of the Access Network Transport (ANT) Standardization Plan and Work Plan	ITU-T SG 15□
5D/336	Liaison statement - Draft Recommendation G.Hntreq	ITU-T SG 15□
5D/337	Recommendation ITU-R M.1457	Lebanon□
5D/338	DECT information regarding the update of Recommendation ITU-R M.1457	European Telecommunications Standard Institute□
5D/339	On the inclusion of additional FDD/TDD functionality in the existing IMT-2000 radio interfaces	Russian Federation□
5D/340	Recommendation ITU-R M.1457-8 update package for TDMA-SC in response to Circular Letter 8/LCCE/95	Alliance for Telecommunications Industry Solutions□
5D/341	Proposed revisions to the working document towards the draft revised Recommendation ITU-R M.1580-2	Alcatel-Lucent USA Inc., Qualcomm, Inc.□
5D/342	Proposed revisions to the working document towards the draft revised Recommendation ITU-R M.1581-2	Alcatel-Lucent USA Inc., Qualcomm, Inc.□
5D/343	Response to liaison entitled "Parameters of IMT Radio Interface Technologies following WRC-07"	Alcatel-Lucent USA Inc., Qualcomm, Inc.□
5D/344	Proposed revisions to working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1036-3	Canada, United States of America □

付属資料4 入力文書一覧 (2/5)

Doc.	TITLE	Source
5D/345	Progression of the working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[IMT.700]	Canada□
5D/346	Working document towards preliminary draft new Report ITU-R M.[IMT.FEMTO]	Canada
5D/347	Information on the 3.5 GHz band that may be useful to determine IMT frequency arrangements	Nortel Networks (Canada)□
5D/348	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1457-8	Nortel Networks (Canada), Sprint Nextel Corporation□
5D/349	Femto cells	United States of America□
5D/350	Completion schedule for Recommendation ITU-R M.1457-9	United States of America□
5D/351	Proposed revision to the working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1036-3	United States of America□
5D/352	Revision of Recommendation ITU-R M.1457-8	United States of America□
5D/353	Recommendation ITU-R M.1457	Zimbabwe (Republic of)□
5D/354	Response to liaison to external organizations - Request for information for Recommendations ITU-R M.1580 and ITU-R M.1581 (Unwanted emission characteristics)	Alliance for Telecommunications Industry Solutions□
5D/355	Response to liaison to external organizations - Parameters of IMT radio interface technologies following WRC-07	Alliance for Telecommunications Industry Solutions□
5D/356	Intention to submit candidate IMT-Advanced RIT based on IEEE project 802.16m	IEEE□
5D/357	Updated material on IMT-2000 OFDMA TDD WMAN for Revision 9 of Recommendation ITU-R M.1457	IEEE□
5D/358	Views on Revision of Recommendation ITU-R M.1457-8	Egypt (Arab Republic of)□
5D/359	Further correspondence on ACS	WiMAX Forum□
5D/360	Update of MBWA Report	WiMAX Forum□
5D/361	Response to request for parameters of IMT radio interface technologies following WRC-07 - UHF parameters	WiMAX Forum□
5D/362	On the revision of Report ITU-R M.2039	WiMAX Forum□
5D/363	Proposed changes to the guidelines on the smooth transition of existing mobile networks to IMT for developing countries	Mexico□
5D/364	Revisions of Recommendations ITU-R M.1580-2 and M.1581-2	WiMAX Forum□
5D/365	Updated material on IMT-2000 OFDMA TDD WMAN for Revision 9 of Recommendation ITU-R M.1457	WiMAX Forum□
5D/366	Schedule for Revision 10 update of Recommendation ITU-R M.1457-9	AT&T□
5D/367	Structure of Section 5.6.2 in Recommendation ITU-R M.1457	AT&T□
5D/368	Views on treatment of test tolerance for the update of Recommendations ITU-R M.1580 and ITU-R M.1581	Japan□
5D/369	Proposals on the process of studying Femto cell base station in Working Party 5D	Japan□

Doc.	TITLE	Source
5D/370	A proposal on the responsible group for conducting each step of IMT-Advanced radio interface development process in Working Party 5D	Japan
5D/371	Proposed modifications on Sections 1 to 6 in the working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1036-3	Japan
5D/372	Proposed frequency arrangements for IMT in the band 3 400-3 600 MHz	Japan, Korea (Republic of)
5D/373	Comments on development of a PDN Report ITU-R M.[IMT.700]	Japan
5D/374	Proposed draft elements for reply liaison statement to Working Party 4A	Japan
5D/375	Clarification of relationship between spectrum emission mask and ACLR	China (People's Republic of)
5D/376	Consideration of Femto cells for IMT	China (People's Republic of)
5D/377	Proposed task assignment for the SWG evaluation in developing IMT-Advanced radio interface technologies	China (People's Republic of)
5D/378	Proposed scope and workplan for PDNR ITU-R M.[IMT.RADIO]	China (People's Republic of)
5D/379	Working items related to Recommendation ITU-R M.1036	China (People's Republic of)
5D/380	On the liaison statement of Working Party 4A in the band 3 400-3 600 MHz	Korea (Republic of)
5D/381	Link-Level simulation results for IMT.EVAL	Korea (Republic of)
5D/382	Issues of Femto cell system for IMT	Korea (Republic of)
5D/383	Response for the liaison statement to external organizations on request for information for Recommendations ITU-R M.1580 and ITU-R M.1581 (Unwanted emission characteristics)	Director, BR
5D/384	Reply Liaison statement to ITU-R Study Group 5 on Future development of the terrestrial component of IMT	ITU-T SG 13
5D/385	Reply Liaison statement to ITU-R Study Group 5 on future development of the terrestrial component of IMT	ITU-T SG 13
5D/386	Liaison statement to ITU-R on applying IMS and IMT in Developing Country mobile telecom networks	ITU-T SG 13
5D/387	Establishment of Focus Group on Future Networks (FG-FN)	Chairman, ITU-T SG 13
5D/388	Information paper on the revision of Recommendation ITU-R M.1457	Intel Corporation (UK) Ltd.□
5D/389	Proposal for revision of Recommendation ITU-R M.1457	Germany (Federal Republic of)□
5D/390	Proposals for revision of Recommendation ITU-R M.1036-3	Germany (Federal Republic of)□
5D/391	Draft new Working Party 5D study Question on IMT specific Cognitive Radio (CR) topics	Germany (Federal Republic of)

付屬資料 4 入力文書一覽 (4/5)

Doc.	TITLE	Source
5D/392	Revisions of Recommendations ITU-R M.1580-2 and M.1581-2 - ACLR calculations	Germany (Federal Republic of) □
5D/393	Views on updated Recommendation ITU-R M.1457	Colombia (Republic of) □
5D/394	Revision of long range workplan of Working Party 5D	Brazil (Federative Republic of) □
5D/395	Proposed revisions guidelines on the smooth transition of existing mobile networks to IMT-2000 for developing countries - GST	Brazil (Federative Republic of) □
5D/396	Proposal for revision of Recommendation ITU-R M.1036-3 - Frequency arrangements for the terrestrial component of International Mobile Telecommunications (IMT) in the 450 MHz band	Sweden □
5D/397	Revision of Recommendation ITU-R M.1457-8	United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland □
5D/398	Femto cells	United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland □
5D/399	Revision of Recommendation ITU-R M.1457-8	France □
5D/400	This document has been withdrawn	BR Study Group Department □
5D/401	Updated material on IMT-2000 CDMA DS and IMT-2000 CDMA TDD for Revision 9 of ITU-R M.1457	Alcatel-Lucent France, Telecom Italia S.p.A., NTT DoCoMo Inc., Nokia Siemens Networks GmbH & Co. KG, Nokia Corporation, Motorola, Inc., Telefon AB-LM Ericsson, AT&T, Alcatel-Lucent USA Inc. □
5D/402	Corrections on revision of Recommendation ITU-R M.1581-2	Alcatel-Lucent France, Telecom Italia S.p.A., NTT DoCoMo Inc., Nokia Siemens Networks GmbH & Co. KG, Nokia Corporation, Motorola, Inc., Telefon AB-LM Ericsson, AT&T, Alcatel-Lucent USA Inc.

付屬資料 4 入力文書一覽 (5/5)

Doc.	TITLE	Source
5D/403	Test condition for adjacent channel selectivity	Alcatel-Lucent France, Telecom Italia S.p.A., NTT DoCoMo Inc., Nokia Siemens Networks GmbH & Co. KG, Nokia Corporation, Motorola, Inc., Telefon AB-LM Ericsson, AT&T, Alcatel-Lucent USA Inc.□
5D/404	Parameters of IMT radio interface technologies following WRC-07	Alcatel-Lucent France, Telecom Italia S.p.A., NTT DoCoMo Inc., Nokia Siemens Networks GmbH & Co. KG, Nokia Corporation, Motorola, Inc., Telefon AB-LM Ericsson, AT&T, Alcatel-Lucent USA Inc.□
5D/405	Request for information for Recommendations ITU-R M.1580 and M.1581	Alcatel-Lucent France, Telecom Italia S.p.A., NTT DoCoMo Inc., Nokia Siemens Networks GmbH & Co. KG, Nokia Corporation, Motorola, Inc., Telefon AB-LM Ericsson, AT&T, Alcatel-Lucent USA Inc.□
5D/406	Update material for CDMA MC for Recommendation ITU-R M.1457-9	Director, Radiocommunication Bureau
5D/407	Results of the meetings of the CVC and the RAG	Chairman, SG 5
5D/408	Correspondence received regarding the update of Recommendation ITU-R M.1457 to revision 9	Director, Radiocommunication Bureau
5D/409	Update on recent activities within CEPT	Region 1 (CEPT) Rapporteur
5D/410	Update on standards activities	Region 2 Rapporteur
5D/411	Activities related to IMT-2000 and ITM-Advanced in Region 3	Region 3 Rapporteur
5D/412	Final List of Participants - Working Party 5D (10-17 February 2009)	Director, Radiocommunication Bureau

付属資料5 出力文書一覧 (1/3)

Doc. 5D/TEMP/	Title	Source	Staus
140	SUMMARY OF CONCLUSIONS OF THE OPENING PLENARY ON DOCUMENT 5D/ADM/97, AGENDA ITEM 8	Chairman, WP5D	1、ハ、d
141 Rev.2	WORKING DOCUMENT TOWARDS A REVISION OF REPORT ITU-R M.2039 CHARACTERISTICS OF TERRESTRIAL IMT-2000 SYSTEMS FOR FREQUENCY SHARING/INTERFERENCE ANALYSES	WG Spectrum Aspects	2、イ、a
142 Rev.1	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ON COEXISTENCE BETWEEN IMT-2000 CDMA-DS AND IMT-2000 OFDMA-TDD-WMAN IN THE 2 500-2 690 MHz BAND OPERATING IN ADJACENT BANDS IN THE SAME GEOGRAPHICAL AREA	WG Spectrum Aspects	2、イ、a
143 Rev.2	DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R M.1581-2 Generic unwanted emission characteristics of mobile stations using the terrestrial radio interfaces of IMT 2000	WG Technology Aspects	1、イ、a
144 Rev.3	DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R M.1580-2 Generic unwanted emission characteristics of base stations using the terrestrial radio interfaces of IMT 2000	WG Technology Aspects	1、イ、a
145	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R M.1036-3	WG Spectrum Aspects	1、イ、f
146 Rev.2	WORKING DOCUMENT [TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R M.[IMT.700]]	WG Spectrum Aspects	1、イ、f
147	SCOPE OF WORK FOR NEW SWG IN WG TECHNOLOGY ASPECTS	WG Technology Aspects	2、ハ、b
148	MEETING REPORT	Chairman, DG SWG-CL	1、ハ、d
149 Rev.1	Liaison statement to external organizations on the schedule for updating Recommendation ITU-R M.1457 to Revision 10	WG Technology Aspects	1、ロ、f
150	欠番	—	—
151	LS TO EOs ON THE ROADMAP UPDATE	WG Technology Aspects	1、ロ、a
152 Rev.1	DRAFT LIAISON STATEMENT TO EXTERNAL ORGANIZATIONS REQUEST FOR INFORMATION ON FEMTOCELLS	WG Technology Aspects	1、ロ、a
153 Rev.1	MEETING REPORT OF SUB-WORKING GROUP RADIO ASPECTS	Chairman, SWG Radio Aspects	1、ハ、d (Attachment 1, 2 は f)
154	DRAFT LIAISON STATEMENT TO ITU-T STUDY GROUP 15 ON ANTS (COPY FOR INFORMATION TO ITU-R WP 5A)	WG Technology Aspects	2、ロ、a
155	欠番	—	—
156	Detailed workplan for revision(s) of Recommendation ITU-R M.1036-3	WG Spectrum Aspects	1、ハ、f

Doc. 5D/TEMP/	Title	Source	Status
157	LIAISON RESPONSE TO ALLIANCE FOR TELECOMMUNICATIONS INDUSTRY SOLUTIONS REVISION OF RECOMMENDATIONS ITU-R M.1580-2 AND M.1581-2 AND ACLR PARAMETERS	WG Technology Aspects	1、□、a
158	MEETING REPORT	Chairman, SWG M.1580/1581	1、ハ、d
159	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTIES 5A AND 5C (COPY TO WORKING PARTY 5B) USE OF RECOMMENDATION ITU-R F.1336-2 FOR THE 790 862 MHz BAND	WG Spectrum Aspects	2、□、a
160 Rev.3	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 5B (COPY TO WORKING PARTIES 5A AND 6A FOR INFORMATION) IMT PARAMETERS IN THE 790-862 MHz FREQUENCY BAND	WG Spectrum Aspects	2、□、a
161 Rev.2	LIAISON STATEMENT TO EXTERNAL ORGANIZATIONS IMT PARAMETERS IN THE 790-862 MHz FREQUENCY BAND	WG Spectrum Aspects	2、□、f
162	ITU-R WP 5D Structure and Workplan	AH Workplan	2、ハ、c&f
163	MEETING REPORT	Chairman, Ad Hoc Workplan	1、ハ、c
164	MEETING REPORT	Chairman, WG General Aspects	1、ハ、c ( Cognitive Radio 関連は f)
165	LIAISON STATEMENT TO ITU-T SG-13 & ITU-D Q.18-1/2	WG Developing Aspects	2、□、a
166 Rev.1	LIAISON STATEMENT TO ITU-D Q.18-1/2	WG Developing Aspects	2、□、a
167 Rev.1	MEETING REPORT	Chairman, WG Developing Aspects	1、ハ、c (Annex1, 2は f)
168	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 5A UPDATE OF REPORT ITU-R M.2039	WG Spectrum Aspects	1、□、a
169 Rev.2	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 4A (COPY TO WORKING PARTY 5A) METHODOLOGIES FOR DETERMINING WHETHER AN IMT STATION COULD TRANSMIT IN THE BAND 3 400-3 600 MHz WITHOUT EXCEEDING THE PFD LIMITS IN NOS. 5.430A, 5.432A, 5.432B AND 5.433A OF THE RADIO REGULATIONS	WG Spectrum Aspects	1、□、a
170 Rev.1	MEETING REPORT OF SUB-WORKING GROUP FREQUENCY ARRANGEMENTS	Chairman, SWG Frequency Arrangements	1、ハ、d
171	LIAISON STATEMENT TO TIA STATUS OF REVISION 9 OF RECOMMENDATION ITU-R M.145	WG Technology Aspects	2、□、a
172	LIAISON STATEMENT TO IEEE AND WIMAX FORUM STATUS OF REVISION 9 OF RECOMMENDATION ITU-R M.1457	WG Technology Aspects	2、□、a
173	LIAISON STATEMENT TO ATIS STATUS OF REVISION 9 OF RECOMMENDATION ITU-R M.1457	WG Technology Aspects	2、□、a



Doc. 5D/TEMP/	Title	Source	Staus
174 Rev.1	STATUS OF DRAFT REVISION 9 OF RECOMMENDATION ITU-R M.1457	WG Technology Aspects	1、ハ、b&f
175	LIAISON STATEMENT TO 3GPP STATUS OF REVISION 9 OF RECOMMENDATION ITU-R M.1457	WG Technology Aspects	2、ロ、a
176	LIAISON STATEMENT TO ETSI STATUS OF REVISION 9 OF RECOMMENDATION ITU-R M.1457	WG Technology Aspects	2、ロ、a
177 Rev.1	CHAIRMAN'S REPORT	Chairman, SWG Sharing	1、ハ、d
178	PROPOSED UPDATE OF SECTION 5.2 OF M.1457-8	WG Technology Aspects	1、イ、f
179	PROPOSED UPDATE OF SECTION 5.1 OF RECOMMENDATION ITU-R M.1457-8	WG Technology Aspects	1、イ、f
180	PROPOSED UPDATE OF SECTION 5.3 OF M.1457-8	WG Technology Aspects	1、イ、f
181	PROPOSED UPDATE OF SECTION 5.4 OF M.1457-8	WG Technology Aspects	1、イ、f
182	PROPOSED UPDATE OF SECTION 5.6 OF M.1457-8	WG Technology Aspects	1、イ、f
183	PROPOSED UPDATE OF SECTION 5.5 OF RECOMMENDATION ITU-R M.1457-8	WG Technology Aspects	1、イ、f
184 Rev.1	MEETING REPORT	Chairman, SWG M.1457	1、ハ、d
185	MEETING REPORT	Chairman, WG Technology Aspects	2、ハ、c
186	CHAIRMAN'S REPORT	Chairman, WG Spectrum Aspects	1、ハ、c

\* 分類

1 : 無修正                      2 : Editorial change 有

イ : 勧告案、レポート案、ハンドブック      ロ : リエゾン文書、サーキュラーレター      ハ : internal 文書  
ニ : Question、Resolution、CPM レポート案

a : WP5D として承認                      b : WP5D として合意                      c : WP5D としてノート  
d : WP5D PL 審議対象外                  e : WP5D として削除                      f : キャリーオーバー

付属資料6 各WGの当面のスケジュール

WG 区分	2007												2008												2009											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
全体	☆ 21 CPM-07 Cameroon			☆ 22 SG8 Kyoto			☆ RA-07 WRC-07			☆ WP5D 1st Geneva			☆ SG5			☆ WP5D 2nd U.A.E			☆ WP5D 3rd Korea			☆ WP5D 4th Geneva			☆ WP5D 5th Geneva			☆ WP5D 6th Germany								
AH Circular Letter	○				● サークュラーレター 作業文書作成				○				○ サークュラーレター 一部完成				○				○				○				○							
WG TECH	○ Report M.[IP CHAR]承認				○ Report M.[IP CHAR]採択				○ RSPC改訂勧告草案 M.1457-8承認 (5.X.1章等)				○ RSPC改訂勧告草案 M.1457-8承認 (5.X.1章等)				○ RSPC改訂勧告草案 M.1457-9検討				○ RSPC改訂勧告草案 M.1457-9検討				○ RSPC改訂勧告草案 M.1457-9承認 (5.X.1章等)				○ RSPC改訂勧告草案 M.1457-9承認 (5.X.1章等)							
WG-SPEC	● MBWA共用 作業文書作成		○		● MBWA共用 作業文書作成		○		● MBWA共用 作業文書作成		○		● MBWA共用 作業文書作成		○		● MBWA2.5GHz 作業文書		○		● MBWA2.5GHz 作業文書		○		● MBWA2.5GHz 新報告案承認		○		● MBWA2.5GHz 新報告案承認		○		● MBWA2.5GHz 新報告案承認		○	
	● 作業文書 CL Annex5-8 の作成		○		● IMT.SHARING CANDI承認		○		● IMT.SHARING 2300検討		○		● IMT.SHARING 2300検討		○		● IMT.SHARING 2300検討		○		● IMT.SHARING 2300検討		○		● IMT.SHARING 2300検討		○		● IMT.SHARING 2300作業文書作成		○		● IMT.SHARING 2300作業文書作成		○	
	● M1036-3 改訂検討		○		● M1036-3 改訂作業文書作成		○		● M1036-3 改訂作業文書作成		○		● M1036-3 改訂作業文書作成		○		● M1036-3 改訂作業文書作成		○		● M1036-3 改訂作業文書作成		○		● M1036-3 改訂作業文書作成		○		● M1036-3 改訂作業文書作成		○		● M1036-3 改訂勧告案承認		○	

注1) ●: 作業文書の作成 △▲: 準備等 ○: 勧告草案の承認 (WP5D) ◎: 勧告案の採択又は報告案の承認 (SG5) ⊙: 勧告として成立

